R5-9 国営備北丘陵公園
運営維持管理業務
別添資料

令和5年4月

国土交通省　中国地方整備局

仕様書に関連する別添・様式

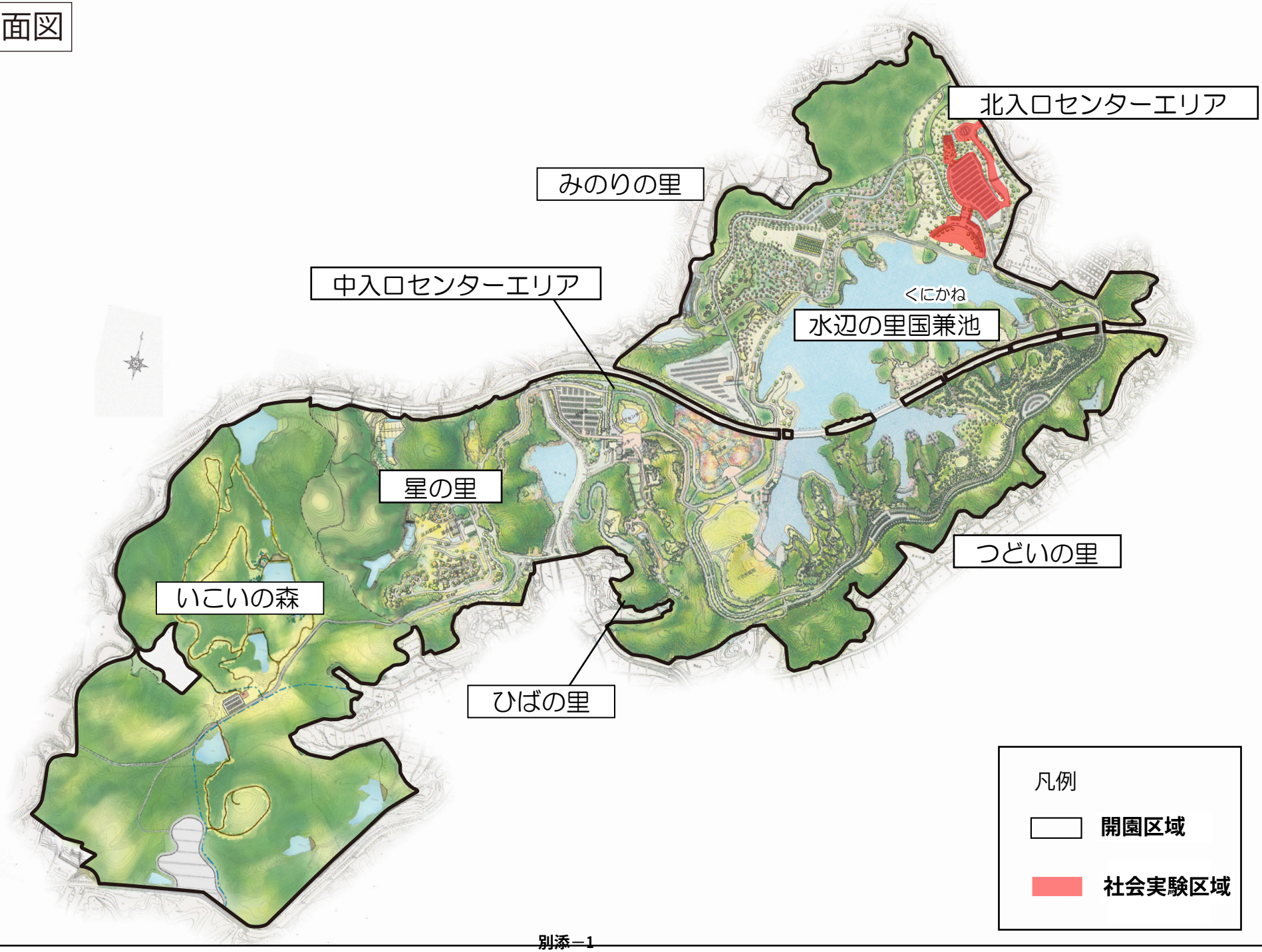
【国営備北丘陵公園】

分類	資料No	資料名	頁番号
共通仕様書	別添－1	公園平面図	1
	別添－2	土地利用方針	2
	別添－3	管理事務所図	4
	別添－4	国土交通本省委託取扱要領	8
	別添－6	三次河川国道事務所災害対策計画書	32
	別添－7	提供施設一覧表（建築物）	89
	別添－8	提供施設一覧表（機械器具等）	91
	別添－9	提供施設の取扱	95
	別添－10	取得した備品の取扱	100
	別添－11	準備室位置図	104
企画立案及びマネジメント	別添－12	国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領	105
	別添－13	国営備北丘陵公園園内車両入園規則	114
	別添－14	行催事について	116
	別添－15	春まつり実施計画書（記載例）	119
	別添－16	都市公園占用等申請書	138
	別添－17	公園利用重点調整区域図	144
	別添－18	ボランティア活動規約・活動内容	145
	別添－19	グラフィックマニュアル	152
	別添－20	国営備北丘陵公園利用指導・利用サービスマニュアル（案）	193
	別添－21	シルバーカー運行計画	231
	別添－22	国営備北丘陵公園巡視計画（案）	232
施設維持管理	別添－23	エレベーター保守点検計画	240
	別添－24	電気通信設備保守点検計画	241
	別添－25	消防設備保守点検計画	253

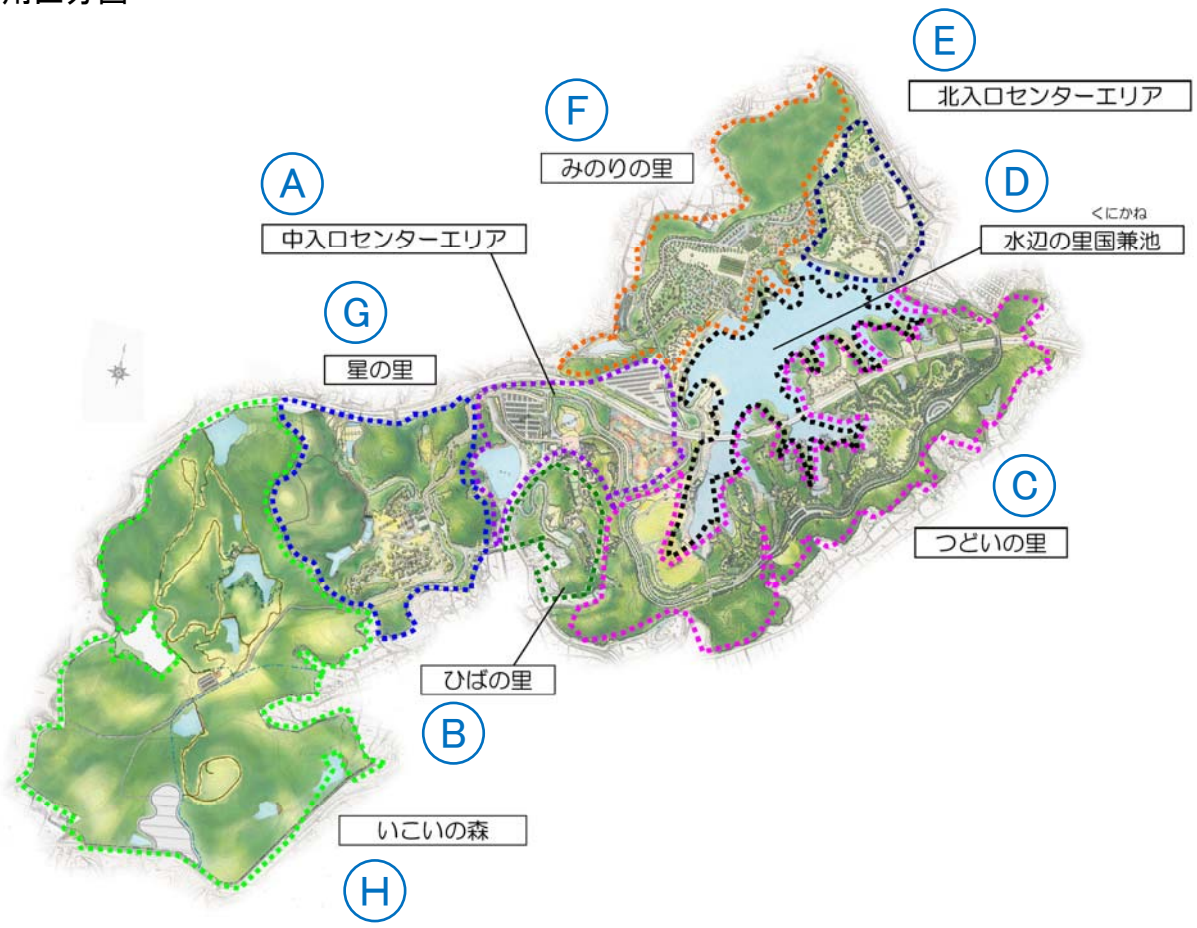
分類	資料No	資料名	頁番号
施設維持管理	別添－26	建築物維持修繕主要箇所位置図	261
	別添－27	工作物維持修繕主要箇所位置図	262
	別添－28	園路広場維持修繕主要箇所位置図	263
	別添－29	遊具等維持修繕主要箇所位置図	264
	別添－30	電気設備維持修繕主要箇所位置図	265
	別添－31	通信設備維持修繕主要箇所位置図	266
	別添－32	浄化槽（汚水）維持修繕主要箇所位置図	267
	別添－33	給水設備維持修繕主要箇所位置図	268
	別添－34	ポンプ設備（水循環設備）維持修繕主要箇所位置図	269
	別添－35	建物・工作物にかかる冬季対応	270
植物管理業務	別添－36	芝生管理区域図	272
	別添－37	中低木管理区域図	273
	別添－38	高木管理区域図	275
	別添－39	草地管理区域図	276
	別添－40	花壇管理区域図	277
	別添－41	花畑管理区域図	278
	別添－42	草花管理区域図	279
	別添－43	特殊管理区域図	280
収益施設管理運営規定等書	別添－44	収益施設等位置図	281
	別添－45	収益施設等財産区分一覧表及び図面	314
	別添－46	食中毒と懸念される事案が発生した場合の対応マニュアル（案）	329
	別添－47	自主事業における飲食・物販施設等の設置管理運営可能範囲	336
	別添－48	自主事業対象施設（指定する既存施設の改修可能施設）	337
様式	様式－1	管理月報	339
	様式－2	管理四半期報	345
	様式－3	収益施設等管理運営業務の管理に関する勤務簿（案）	347
	様式－4	事故報告様式	348

※別添5は欠番

公園平面図


北入口センターエリア
みのりの里
中入口センターエリア
くにかね
水辺の里国兼池
星の里
つどいの里
いこいの森
ひばの里
凡例
開園区域
社会実験区域

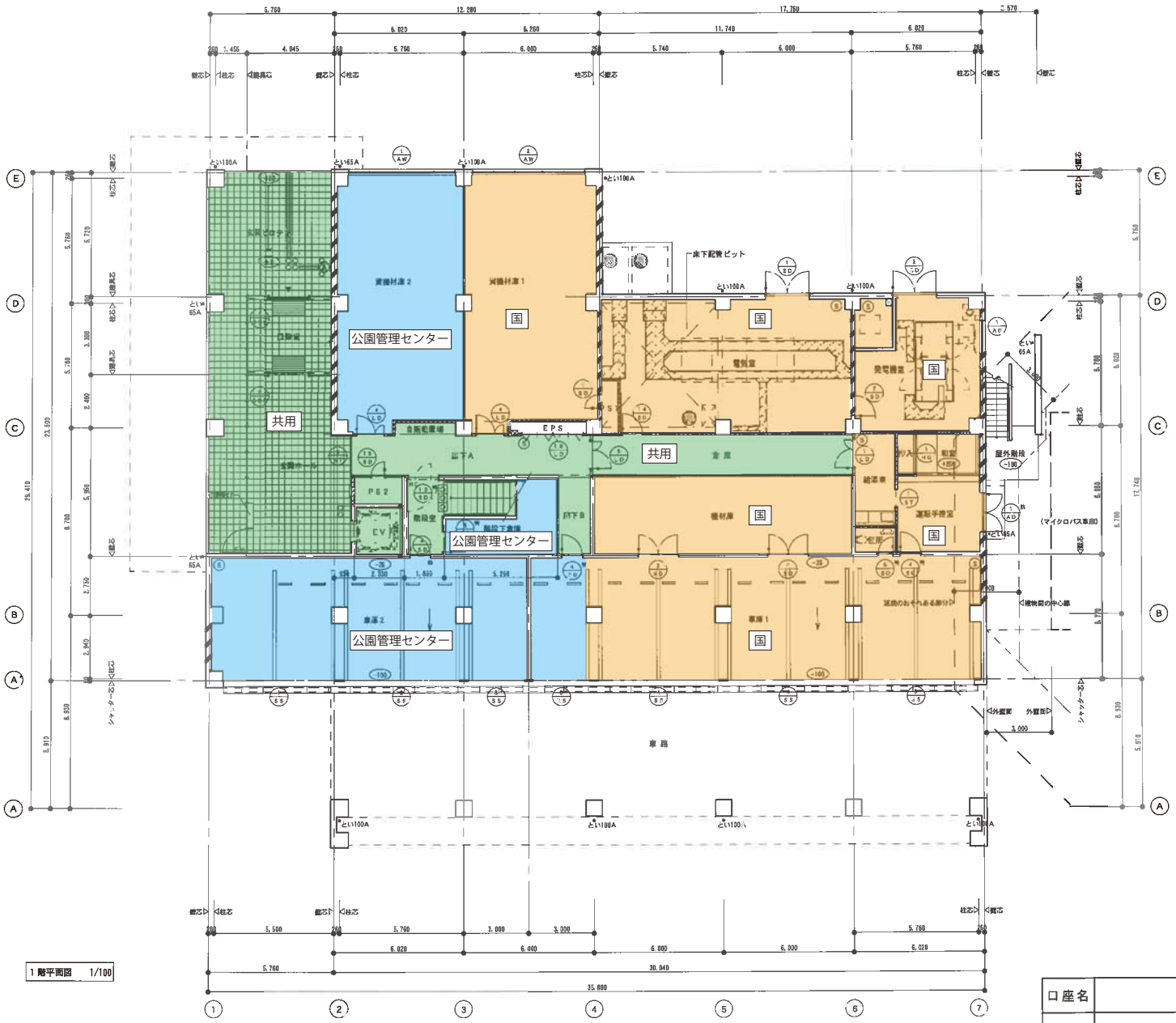
土地利用区分図



ゾーニング及び主要施設

	エリア名	特色	主要施設
A	中入口センターエリア	本公園の入り口で公園利用の案内、飲食、物販施設がある。また花の広場では、季節毎の花風景を楽しむことができる。	ビジターセンター、花の広場、中入口食堂「中の茶屋」、中入口売店「ランバス」、中入口サイクリングセンター、駐車場等
B	ひばの里	昔なつかしいふるさとの暮らしが体験できる施設がある。	さとやま屋敷、農家群、神楽殿、工房群等
C	つどいの里	スポーツ・アスレチック・レクリエーションなど多様なイベントの場として活用できるスペースが広がっている。	大芝生広場、きゅうの丘、きゅうの森、林間アスレチック、グラウンド・ゴルフコース等

	エリア名	特色	主要施設
D	水辺の里国兼池	国兼池に面した約1haの芝生広場はゆったりとした眺望を眺めながら水と緑と花を体現できる。	国兼池、つどい橋
E	北入口センターエリア	本公園の入り口で公園利用の案内、飲食、物販施設がある。	エントランスセンター国兼、湖畔広場、北入口サイクリングセンター、駐車場等
F	みのりの里	春は中国地方最大級のスイセンが観賞できるスイセンガーデンや、夏はヒマワリ、秋にはソバの花修景を楽しむことができるピクニック広場がある	スイセンガーデン、ピクニック広場
G	星の里	本公園の野外宿泊利用の拠点となるキャンプ場やコテージ等があり、アウトドアライフを体験することができる。	備北オートビレッジ（キャンプ場）、備北オートビレッジ管理センター等
H	いこいの森	自然環境の保全に重点を置き、多様な動植物が生育・生息する自然環境が残るエリア。	第7駐車場、いこいの森トイレ、カブトムシドーム、南臨時駐車場、散策路、田渕池、日の本池他



1F

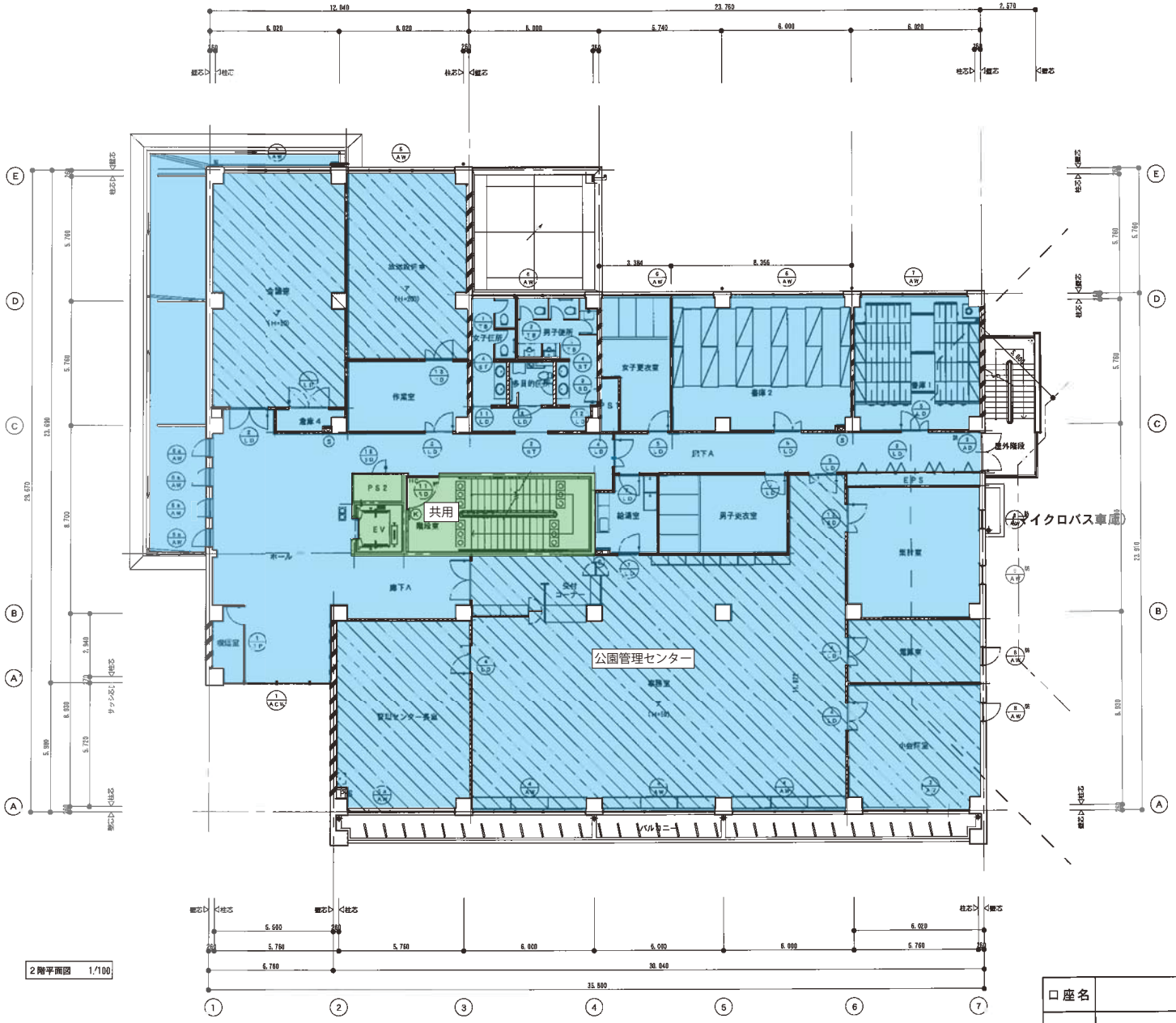
凡例

- 国使用区域
- 公園管理センター提供使用区域
- 共用区域

N

口座名			索引番号	88	図面番号 5/10
所在	広島県庄原市上原町地内		図面の名称	1階平面図	縮尺 1/200
建物番号	9-0	建物名称	(仮称)総合管理事務所	調製年月日	平成19年3月14日
建・階面積	984.99㎡	延面積	2,916.97㎡	調製者 官職又は資格	国土交通技官
構造	鉄筋コンクリート造3階			氏名	大国 安次

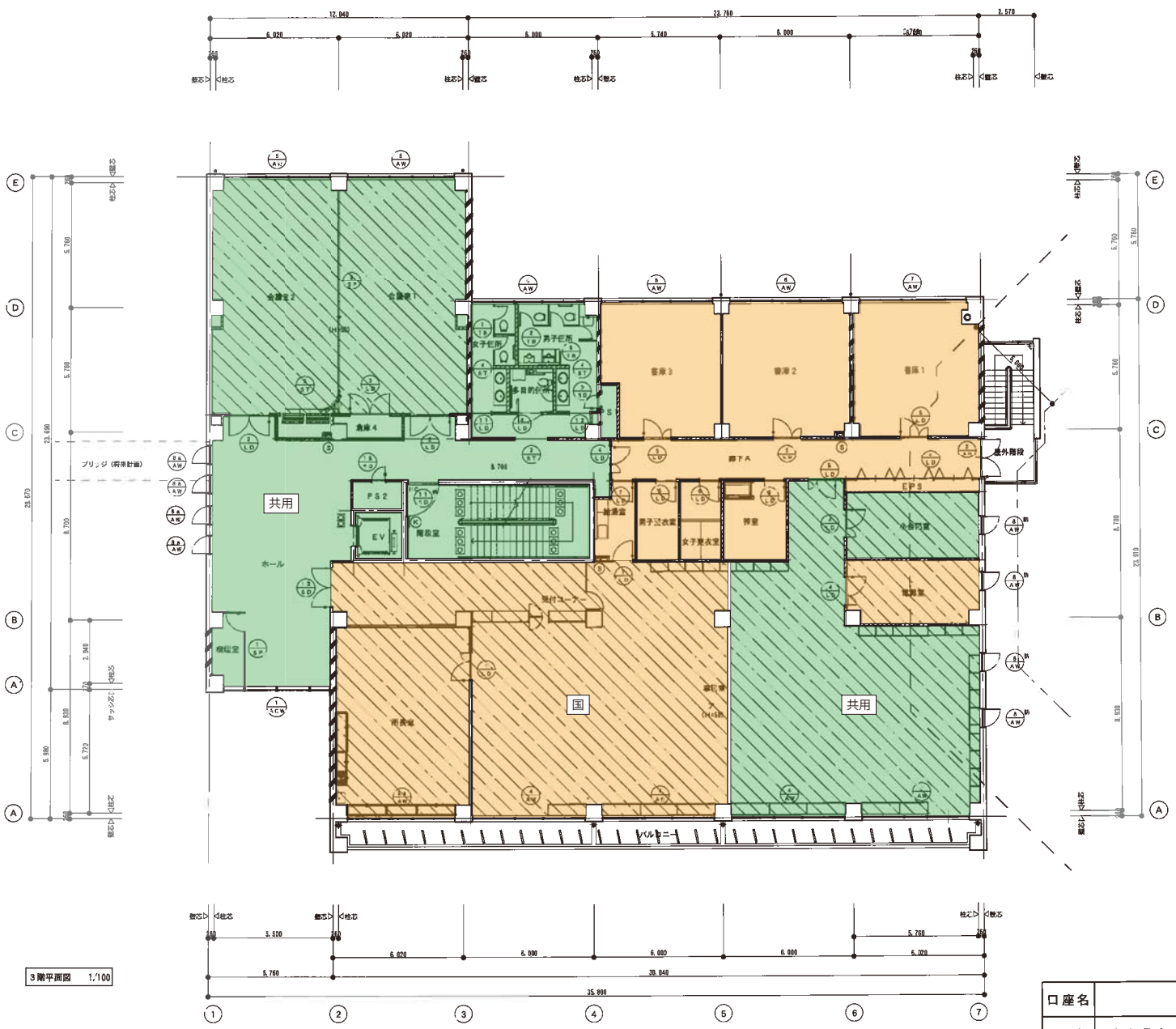
別添－4



2階平面図　1/100

口座名				索引番号	88	図面番号	6
所在	広島県庄原市上原町地内			図面の名称	2階平面図	縮尺	1/200
建物番号	9-3	建物名称	(仮称)総合管理事務所	調製年月日		平成19年3月14日	
建・階面積	984.99㎡	延面積	2,916.97㎡	調製者	官職又は資格	国土交通技官	
構造	鉄筋コンクリート造3階				氏名	大国 安次	

別添－5



3階平面図　1/100

3F

凡例

- 国使用区域
- 共用区域

口座名			索引番号	88	図面番号 7
所在	広島県庄原市上原町地内		図面の名称	3階平面図	縮尺 1/200
建物番号	9-3	建物名称	(仮称)総合管理事務所	調製年月日	平成19年3月14日
建・階面積	984.99㎡	延面積	2,916.97㎡	調製者 官職又は資格	国土交通技官
構造	鉄筋コンクリート造3階			調製者 氏名	大国 安次

別添－6

鉄筋コンクリート
RC 打放鉄骨下地間仕切壁（一般）（LP-1）
RC 軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）（LP-2）
RC 軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音）（LP-3）
RC 軽量鉄骨下地間仕切壁（耐火）
耐震壁

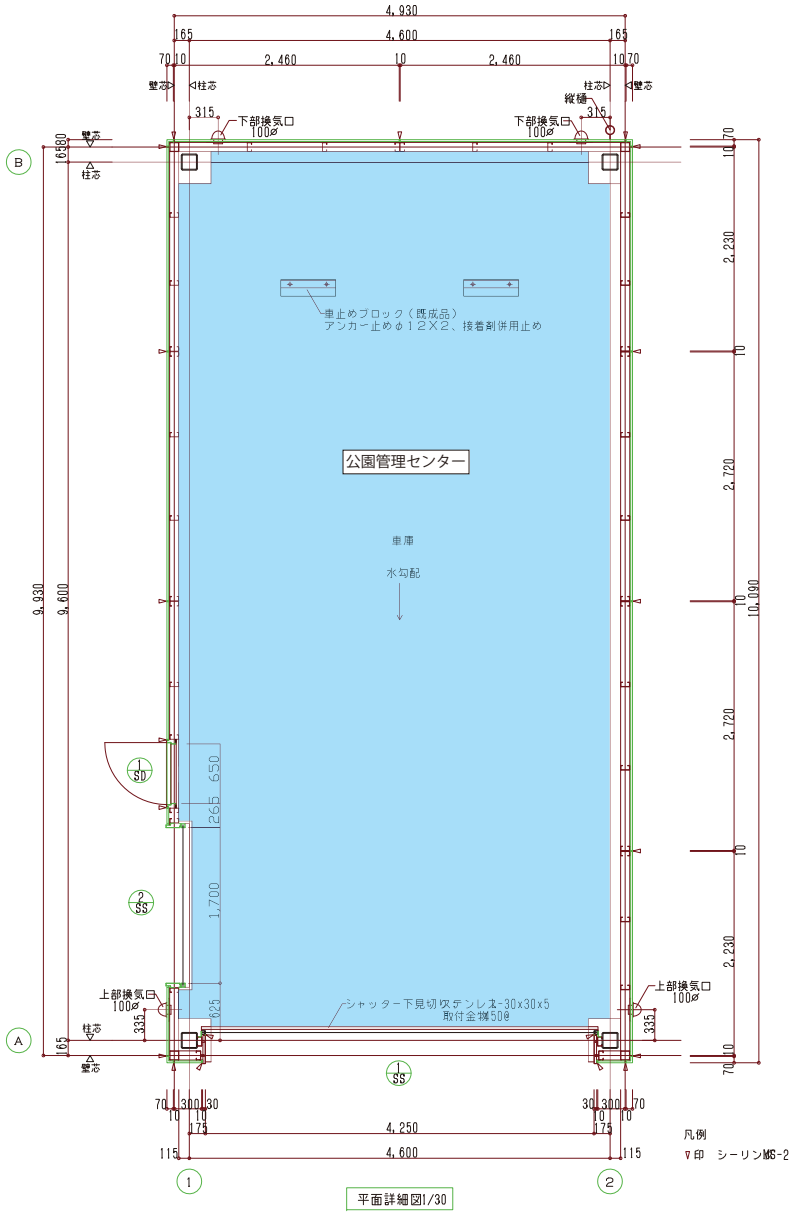
HC ヒンジクローザー
HC ドアクローザー（ストップあり）
HC ドアクローザー（ストップなし）
アームストッパー

RD ルーフドレイン
視覚障害者用 誘導用床材Aタイプ
視覚障害者用 注意喚起用床材Bタイプ
フリーアクセスフロアー

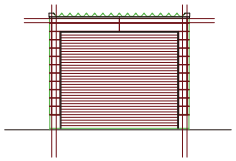
TD 中継ドレイン
YD 雨引ドレイン

消火栓ボックス（消火栓10号一別途）D−16
基準FLからの高さ

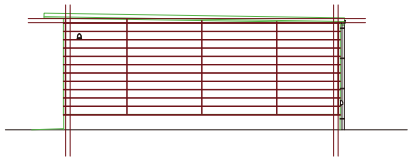
各種案内板
庁舎案内板
館名サイン
A
K 階段階数表示サイン



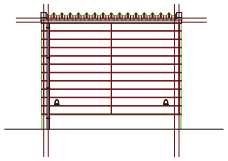
平面詳細図1/30



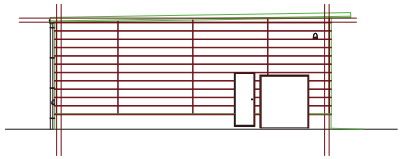
西 立面図 1/100



南 立面図 1/100



東 立面図 1/100

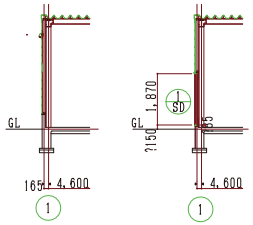


北 立面図 1/100

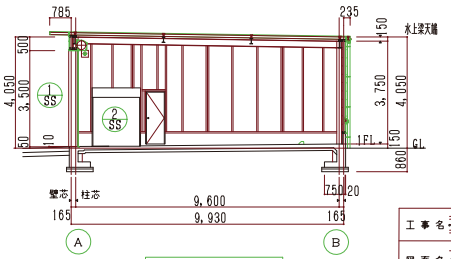
車庫

凡例

公園管理センター
提供使用区域



Y方向断面図1/100



X方向断面図1/100

工事名	鶴北丘陵公園総合管理事務所建築工事	図面番号	113
図面名称	車庫 求積図,平面図,立面図,断面図,仕上表	縮尺	1/30、1/100
調製年月日	平成19年 3月14日	調製者	管職又は資格 氏名 国土交通技官 大国 安次

別添－7

国土交通本省委託契約取扱要領

平成１３年４月２日
国官会第２９３号

改　正	平成１７年６月　２日	国官会第３２１－２号
改　正	平成１７年９月　１日	国官会第８２３号
改　正	平成２０年８月　１日	国官会第８３６－２号
改　正	平成２０年９月１７日	国官会第９８４号
改　正	平成２２年３月２３日	国官会第２１１７号
改　正	平成２３年３月３１日	国官会第２９９４号
改　正	平成２４年３月３０日	国官会第３３８３号
改　正	平成２５年３月２５日	国官会第３６７７号
改　正	平成２６年３月２８日	国官会第３３９５号
改　正	平成２７年３月３１日	国官会第４０４９号
改　正	平成２８年３月２９日	国官会第４２４４号
改　正	平成２９年３月２８日	国官会第４４１０－２号
改　正	平成３１年３月２５日	国官会第２３７５７号
改　正	令和　元年６月　７日	国官会第６１２号
改　正	令和　２年３月２５日	国官会第２８５８５号
改　正	令和２年１２月２３日	国官会第１９８１７号
改　正	令和３年　３月１９日	国官会第２５４７７号

（通則）

第１　国土交通本省の所掌業務を委託契約を締結して国以外の者に委託する場合の取扱いについては、他の法令等に定めるもの並びに各委託事業に係る委託契約書又は委託費の取扱いに関する要領等に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

（委託業務実施要領）

第２　支出負担行為担当官（分任支出負担行為担当官を含む。以下「担当官」という。）は、業務委託をしようとするときは、次に掲げる項目を明らかにした委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）を、委託しようとする者に送付するものとする。

一　名称

二　委託料の限度額

三　業務の目的及び内容

四　業務の実施場所

五　業務の実施期間

六　その他必要な事項（成果物の仕様）

（委託料の算定）

第３　担当官は、実施要領に基づく委託料の積算調書を作成する。

（実施計画書等の提出）

第４　担当官は、第２により実施要領の送付を受けこれを受託しようとする者（以下「受託者」という。）から、次に掲げる計画書等を提出させるものとする。なお、変更しようとするときも同様とする。

一　実施計画書（別記様式第１）

二　四半期別必要経費内訳書（別記様式第２）

三　承諾書

四　実施体制書(別記様式第３）

五　その他担当官が必要とする書類

（契約の締結）

第５　担当官は、受託者から第４に掲げる書類を受理し、その内容を審査のうえ適当と認めたときは、別紙委託契約書により委託契約を締結するものとする。

２　委託契約書の各条項により難い特別の事情がある場合においては、必要に応じ適宜条項を変更することができる。

（再委託等）

第６　受託者は、業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするとき（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託（変更等）承諾申請書（別記様式第４）を委託者に提出し、承諾を得なければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。

２　前項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、その履行体制に関する書面（別記様式第５）を委託者に提出しなければならない。なお、変更しようとするときも同様とする。

（報告書等の提出）

第７　担当官は、受託者が当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。

一　完了報告書（別記様式第６）

二　精算報告書（別記様式第７）

三　委託費経費内訳報告書（別記様式第８）

四　残存物件報告書（別記様式第９）

２　担当官は、受託者が第８第３項による補正命令に基づき当該業務の委託を完了したときは、遅滞なく、次に掲げる報告書（正副２通）を成果物に添えて提出させるものとする。

一　補正完了報告書（別記様式第６に準ずる様式）

二　精算報告書

三　残存物件報告書

（検 査 等）

第８　担当官は、第７第１項の成果物及び完了報告書等を受理したときは、自ら又は国土交通本省会計事務取扱細則（以下「細則」という。）第３３条に基づき補助者に命じて検査を行うものとする。

２　前項により検査を命じられた職員（以下「検査職員」という。）は、前項の検査の結果不合格と認めたときは、細則第３４条に定める検査調書に次に掲げる事項を付記して担当官に提出するものとする。

一　不合格である旨

二　不合格と認めた理由

三　その措置についての意見

３　担当官は、第１項の検査の結果不合格と認めたとき、又は前項の検査調書を受理したときは、受託者に対し補正を命ずるものとする。

４　第１項の規定は、第７第２項の成果物及び補正完了報告書等を受理した場合に準用する。

５　検査職員は、第１項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果合格と認めたときは、細則第３４条により検査調書を担当官に提出するものとする。

（担当職員の任命等）

第９　担当官は、必要があると認めたときは、次に掲げる事務を行わせるため、担当職員を任命し、任命後すみやかに受託者に通知するものとする。

一　委託業務の処理状況についての調査

二　委託料の経理状況についての監査

三　その他委託業務についての必要な指示

（概　算　払）

第 10　担当官は、必要があると認めたときは、受託者に対し概算払を請求させることができる。

（委託費の精算）

第 11　担当官は、受託者から第７の報告を受けたときは、遅滞なくその内容を審査し、適正と認めたときは、委託費の額を確定し、これを受託者に通知するものとする。

（請求書の受理）

第 12　担当官は、受託者から官署支出官官職宛ての請求書を受理するものとし、受理後は、必要書類を添えて官署支出官に回付するものとする。

附則

１．この要領は、平成１３年４月２日から適用する。

附則（平成１７年６月　２日国官会第３２１－２号）

１．この要領は、平成１７年６月２日から適用する。

附則（平成１７年９月　１日国官会第８２３号）

１．この要領は、平成１７年９月１日から適用する。

附則（平成２０年８月　１日国官会第８３６－２号）

１．この要領は、平成２０年８月１日から適用する。

附則（平成２０年９月１７日国官会第９８４号）

１．この要領は、平成２０年１０月１日以降に入札手続を開始する契約について適用する。

附則（平成２２年３月２３日国官会第２１１７号）

１．この要領は、平成２２年４月１日から適用する。

附則（平成２３年３月３１日国官会第２９９４号）

１．この要領は、平成２３年４月１日から適用する。

附則（平成２４年３月３０日国官会第３３８３号）

１．この要領は、平成２４年４月１日から適用する。

附則（平成２５年３月２５日国官会第３６７７号）

１．この要領は、平成２５年４月１日から適用する。

附則（平成２６年３月２８日国官会第３３９５号）

１．この要領は、平成２６年４月１日から適用する。

附則（平成２７年３月３１日国官会第４０４９号）

１．この要領は、平成２７年４月１日から適用する。

附則（平成２８年３月２９日国官会第４２４４号）

１．この要領は、平成２８年４月１日から適用する。

附則（平成２９年３月２８日国官会第４４１０－２号）

１．この要領は、平成２９年４月１日から適用する。

附則（平成３１年３月２５日国官会第２３７５７号）

１．この要領は、平成３１年４月１日から適用する。

附則（令和元年６月　７日国官会第６１２号）

１．この要領は、令和元年６月７日から適用する。

附則（令和２年３月２５日国官会第２８５８５号）

１．この要領は、令和２年４月１日から適用する。

附則（令和２年１２月２３日国官会第１９８１７号）

１．この要領は、令和３年１月１日から適用する。

附則（令和３年　３月１９日国官会第２５４７７号）

１．この要領は、令和３年４月１日から適用する。

委　託　契　約　書

委託業務の名称　　（委託件名）

委託業務実施期間　　自　　年　　月　　日
　　至　　年　　月　　日

委託料の限度額　　￥　◆◆，◆◆◆，◆◆◆－
（うち消費税及び地方消費税額¥♦♦♦,♦♦♦－）

成果物の納入場所　　国土交通本省

頭書業務の委託について、委託者　支出負担行為担当官国土交通省　〇〇〇〇　◆◆◆◆と、受託者　□□□□　◆◆◆◆は、次の条項により委託契約を締結する。

（総　則）

第１条　受託者は、委託業務実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、頭書の委託料の限度額をもって、頭書の委託業務実施期間（以下「実施期間」という。）までに、頭書の委託業務（以下「委託業務」という。）を完了しなければならない。

２　前項の実施要領に明記されていない事項があるときは、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（権利義務の譲渡等）

第２条　受託者は、この契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継してはならない。ただし、書面により委託者の承諾を得たときは、この限りではない。

（再委託の禁止等）

第３条　受託者は、業務の全部を一括して又は主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、第三者への委任が業務の一部であり、書面により委託者の承諾を得たときはこの限りではない。

２　前項の「主たる部分」とは、業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断等をいうものとする。

３　受託者は、業務の一部（「主たる部分」を除く。）を第三者に委任し、又は請け負わせようとするとき（以下「再委託」という。）は、あらかじめ再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した書面を委託者に提出し、承諾を得なければならない。

なお、再委託の内容を変更しようとするときも同様とする。

４　前項の規定は、受託者がコピー、ワープロ、印刷、製本、トレース、資料整理、計算処理、模型製作、翻訳、参考書籍・文献購入、消耗品購入、会場借上等の軽微な業務を再委託しようとするときには、適用しない。ただし、保有個人情報、個人番号、特定個人情報及び行政機関非識別加工情報を扱う業務はこの限りではない。

５　第３項なお書きの規定は、軽微な変更に該当するときには、適用しない。

６　受託者が委託業務の一部を第三者に委託する場合において、これに伴う第三者の行為については、その責任を受託者が負うものとする。

（履行体制の把握）

第４条　受託者は、前条第３項の承諾を得た場合において、再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは、前条第４項の軽微な業務を除き、あらかじめ当該複数段階の再委託の相手方の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲を記載した書面（以下「履行体制に関する書面」という。）を委託者に提出しなければならない。履行体制に関する書面の内容を変更しようとするときも同様とする。

２　受託者は、前項の場合において、委託者が契約の適正な履行確保のため必要な報告等を求めた場合には、これに応じなければならない。

（実施計画書等の変更等）

第５条　受託者は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書の変更（当該金額の相互間における２割以内の変更を除く。）をしようとするときは、変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書を委託者に提出し承認を受けなければならない。

２　委託者は、前項の変更後の実施計画書及び四半期別必要経費内訳書について遅滞なくその内容を審査し、不適当と認めたときは、受託者と協議するものとする。

３　委託者は、必要と認めるときは、受託者に対して委託業務の処理状況につき調査を行い、又は報告を求めることができる。

（委託業務の内容の変更等）

第６条　委託者は、必要がある場合には、委託業務の内容を変更し、又は委託業務を一時中止し、若しくは打ち切ることができる。

この場合において、実施期間又は委託料を変更する必要があるときは、委託者と受託者とが協議して書面によりこれを定めるものとする。

２　前条第１項及び第２項の規定は、前項の場合について準用する。

３　第１項の場合において、受託者が損害を受けたときは、委託者は、その損害を賠償するものとし、その額は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（実施期間の延長等）

第７条　受託者は、その責に帰することができない事由により、実施期間までに委託業務を完了することができないことが明らかとなったときは、委託者に対して遅滞なくその理由を付して、実施期間の延長を求めることができる。

この場合において、その延長日数は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

２　委託者は、受託者の責に帰する事由により実施期間までに委託業務を完了することができない場合において、実施期間後に完了する見込みがあると認めたときは、その内容を審査し、損害金を付して実施期間を延長することができる。

３　前項の損害金は、委託料に対して延長日数に応じ年３．００パーセントの割合を乗じて計算した額とする。

（損害のために必要を生じた経費の負担）

第８条　委託業務の処理に関し発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。以下同じ。）のために必要を生じた経費は、受託者が負担しなければならない。

ただし、その損害が委託者の責に帰する事由による場合においては、その損害のために必要を生じた経費は、委託者が負担するものとし、その額は、委託者と受託者とが協議して定めるものとする。

（検査及び引き渡し）

第９条　受託者は、委託業務を完了したときは、遅滞なく、成果物に添えて完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を委託者に提出しなければならない。

２　委託者は、前項の成果物、完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理したときは、その日から１０日以内に委託者又は委託者の指定した職員により検査を行わなければならない。

３　受託者は、前項の検査の結果不合格となり、補正を命ぜられたときは、遅滞なく当該補正を行い、成果物に添えて補正完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を委託者に提出しなければならない。

４　第２項の規定は、委託者が前項の成果物、補正完了報告書、精算報告書、委託費経費内訳報告書及び残存物件報告書を受理した場合に準用する。

５　委託者は、第２項（第４項において準用する場合を含む。）の検査の結果、合格と認めた場合は、委託料の額を確定し、受託者にその旨を通知しなければならない。
６　前項の委託料の確定額は、委託業務に要した経費の実支出額と委託料の限度額のいずれか低い額とする。
７　受託者は、第５項の通知を受けたときは、遅滞なく、当該成果物を委託者に引き渡さなければならない。

（委託料の支払）
第１０条　受託者は、前条第７項により、成果物の引き渡しを完了したときは、委託者に対して、確定した委託料の支払いを請求することができる。
２　委託者は、前項の規定により、適法な請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。
３　受託者は、委託者の責に帰すべき事由により、前項の委託料の支払いが遅れた場合には、委託者に対して遅延日数に応じ、年２．５０パーセントの割合を乗じて得た額の遅延利息の支払いを請求することができる。

（概算払）
第１１条　受託者は、実施計画書及び四半期別必要経費内訳書に基づいて、各四半期における所要額として委託料の概算払いを請求することができる。
２　委託者は、前項の請求により、必要があると認められる金額については、前条第１項の規定にかかわらず、概算払をすることができるものとする。
３　前条第２項の規定は、前項の場合について準用する。

（概算払の精算）
第１２条　受託者は、第９条の精算報告の確認の結果、既に概算払により受領した金額に差額が生じた場合は、委託者にその旨を申請する。
２　受託者は、前項の結果に不足額が生じた場合には、委託者に不足額の支払いを請求することができる。
３　委託者は、前項の規定による請求書を受理したときは、その日から３０日以内に委託料を支払わなければならない。
４　受託者は、第１項の結果に余剰額が生じた場合には、遅滞なくこれを委託者に返還しなければならない。

（無体財産権の帰属）
第１３条　委託業務の成果及び委託業務の実施の過程において、派生的に生じた著作権、特許権及び実用新案権等の無体財産権については、委託者が承継するものとする。

（残存物件の返還）

第１４条　受託者は、委託業務の実施により生じた残存物件の返還については、成果物の引渡し前に委託者と協議のうえ、委託者の指示に従うものとする。

（契約の解除及び違約金等）

第１５条　委託者は、受託者が次の各号の一に該当するときは、契約を解除することができる。

一　受託者の責に帰すべき事由により、実施期間内に委託業務が完了しないとき、又は完了する見込みがないと明らかに認められるとき。

二　前号のほか、委託者において、受託者が第１６条第１項に定める帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）の整備保存、委託費の区分経理の実施、十分な根拠資料に基づく精算報告書の作成・提出その他本契約条項又は実施要領の定めるところ若しくはその他この契約に関する委託者の指示に違反していると認めるとき、又は契約の目的を達成することができないと認めるとき。

三　受託者（受託者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下この号において同じ。）が次のいずれかに該当するとき。

イ　役員等（受託者が個人である場合にはその者を、受託者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第 77 号。以下「暴力団対策法」という。）第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

ロ　暴力団（暴力団対策法第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ハ　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

ニ　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

ホ　役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

ヘ　再委託契約その他の契約に当たり、その相手方がイからホまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。

ト　受託者が、イからホまでのいずれかに該当する者を再委託契約その他の契約の相手方としていた場合（ヘに該当する場合を除く。）に、委託者が受託者に対して当該契約の解除を求め、受託者がこれに従わなかったとき。

２　受託者は、前項により委託者が契約を解除したときは、委託料の限度額の１０分の１に相当する金額を違約金として委託者の指定する期限までに納付しなければならない。
３　受託者は、第１項により、委託者が契約を解除した場合において第１１条により概算払を受けているときは、委託者に対してその概算払の額に、概算払日から返還の日までの日数に応じ、年２．５０パーセントの割合を乗じて得た額の利息を付して返還しなければならない。

（委託料の経理及び監査）
第１６条　受託者は、委託料の経理について、別に帳簿を備え、その収入・支出をその都度記録してこれを明らかにするとともに、当該収入・支出を証する証拠書類を整備保存しなければならない。
　なお、当該帳簿については、受託者において、委託費経費内訳報告書を参考に、委託費の収入・支出を記録した正規の帳簿として作成し、保存するものとする。
２　受託者は、実施計画書に記載された各費目相互間の流用（当該金額の相互間における２割以内の変更を除く。）をしてはならない。ただし、書面により委託者の承諾を得たときは、この限りではない。
３　委託者は、必要と認めるときは、受託者に対して委託料の経理状況について監査し、資料の提出を求めることができる。
４　受託者は、第１項の帳簿及び証拠書類を、業務終了の年度の翌年度から５年間保存しなければならない。

（秘密の保持）
第１７条　受託者は、委託業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

（談合等不正行為があった場合の違約金等）
第１８条　受託者が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、受託者は、委託者の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の１０分の１に相当する額を違約金として委託者の指定する期間内に支払わなければならない。
一　この契約に関し、受託者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号。以下「独占禁止法」という。）第３条の規定に違反し、又は受託者が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第８条第１号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が受託者に対し、独占禁止法第７条の２第１項（独占禁止法第８条の３において準用する場合を含む。）の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命

令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第６３条第２項の規定により取り消された場合を含む。）

二　納付命令又は独占禁止法第７条若しくは第８条の２の規定に基づく排除措置命令（これらの命令が受託者又は受託者が構成事業者である事業者団体（以下「受託者等」という。）に対して行われたときは、受託者等に対する命令で確定したものをいい、受託者等に対して行われていないときは、各名宛人に対する命令すべてが確定した場合における当該命令をいう。次号において同じ。）において、この契約に関し、独占禁止法第３条又は第８条第１号の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

三　前号に規定する納付命令又は排除措置命令により、受託者等に独占禁止法第３条又は第８条第１号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象となった取引分野が示された場合において、この契約が当該期間（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が受託者に対して納付命令を行い、これが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ、当該取引分野に該当するものであるとき。

四　この契約に関し、受託者（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治４０年法律第４５号）第９６条の６又は独占禁止法第８９条第１号若しくは第９５条第１項第１号に規定する刑が確定したとき。

２　受託者が前項の違約金を委託者の指定する期間内に支払わないときは、受託者は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年３．００パーセントの割合で計算した額の遅延利息を委託者に支払わなければならない。

（補則）

第１９条　本契約に関し、前各条項に疑義を生じ、又は、各条項に規定のない事項については、委託者と受託者とが協議のうえ、これを解決するものとする。

上記契約の証しとして、本書２通を作成し、当事者記名のうえ各自１通を保有する。

年　　月　　日

委託者　東京都千代田区霞ヶ関２－１－３
支出負担行為担当官　　〇〇〇〇◆◆◆◆

受託者　住　　所
団　体　名
代表者氏名

（別　紙）

委託契約に関する特約条項

第１　受託者は、委託費の経理については、委託契約書の約定等に従い、国土交通本省委託契約取扱要領第４に規定する実施計画書（別記様式第１）の経費積算内訳に計上した経費ごとに、受託者の財源負担による単独事業、国庫補助事業又は他の委託事業の経費等との区分経理の徹底を図ること。

第２　受託者は、当該委託費に係る収入・支出の実績を確認しうる帳簿及び証拠書類（以下「根拠資料」という。）を整備し、かつ、当該根拠資料を業務終了年度の翌年度から最低５年間必ず保存すること。

第３　受託者は、当該委託料の精算に当たっては、委託契約書に定める委託料の経理に係る帳簿等の十分な根拠資料に基づく支払実績の計数、すなわち、根拠資料により確認しうる委託料の支払実績額を精算報告書に記載し報告すること。

第４　委託者は、当該委託業務の実施状況及び当該委託料の使途その他必要な事項について、国土交通省の職員により所要の調査報告を求め、又は実地に調査する場合があるものとし、この場合、受託者はこれに応じなければならないこと。

第５　当該委託料からの支出は、本委託業務の目的及び内容と直接的に関連性のあるものに限定することとし、また、各委託事業の契約書、委託費取扱要領等において指示する使途基準に従わなければならないこと。

第６　委託者は、受託者が前記第１から第５までの特約のいずれかに違反した場合には、委託料の精算日から返還の日までの日数に応じ、年３．００パーセントの割合を乗じて得た額の違約金を付して交付した委託料の返還を求めるものとし（委託料未交付の場合にはその交付を要しないものとし）、受託者は当該返還請求又は不交付の措置に応じなければならないこと。

別記様式第1（第4）

実　施　計　画　書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

受託の内容	実施期間	経 費 積 算 内 訳	成果物	摘要

（備　考）

1．用紙の大きさは、日本産業規格A列4縦とする。

2．必要に応じ適宜項を加除して使用すること。

3．受託の内容は、調査項目毎に区分すること。

4．経費積算内訳は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。

5．変更にあたっては、変更前の部分を上段に（　）書きし、変更後を下段に記載すること。

6．業務委託の処理を第三者に委託する必要があるときは、摘要欄にその事務の内容及び委託先等必要な事項を記載すること。

別記様式第2（第4）

四 半 期 別 必 要 経 費 内 訳 書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（単位：千円）

四半期別 経費区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計	摘　要

（　備　考　）1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4横とする。

2. 経費区分は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費の区分により記載すること。なお、区分は必要に応じ適宜加除して記載すること。

3. 変更にあたっては、変更前の部分を上段に（　）書きし、変更後を下段に記載すること。

別記様式第3（第4）

実 施 体 制 書

（受託の名称）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

再委託先等の名称等

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

名称		代表者名	
所在地			
電話番号			
再委託を予定する業務内容			
再委託の必要性			
契約予定金額			
備考			

（注）再々委託の場合にはその旨を備考欄に記載すること。

（備考）

本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが次の項目は必須事項とする。

①相手方の名称及び代表者名

②所在地

③再委託を予定する業務内容及び必要性

④契約予定契約

別記様式第4（第6）

再委託（変更等）承諾申請書

年　　月　　日

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○　殿

受託者　住　所
　　氏　名

　年　月　日付けの「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿業務契約」（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円、税込み）に関して、下記の通り申請するので、手続き方お願いします。

記

1．再委託の（変更等）承諾を申請する業務及びその範囲（具体的に記載すること）

2．再委託の（変更等）承諾を申請する必要性（具体的に記載すること）

3．再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約（予定）金額（総計）

4．再委託の（変更等）承諾を申請する業務の契約金額の根拠
- 業務の再委託に際し、当該業務の履行（予定）者から、入札書・見積書を徴収した結果（この場合、その「写し」を添付）
- 継続的な履行関係が存在する（この場合、その証明書（契約書、協定書）の「写し」を添付）

5．その他特記事項

年　　月　　日

受託者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　殿

　年　月　日付けで申請のあった上記については、承諾したので、その旨通知する。なお、承諾内容等に変更等を生じる場合は、あらかじめ協議すること。

　また、当該承諾内容等の履行については、次のことを承諾の条件とする。

① 受託者は、再委託の相手方に対し業務の適正な履行を求めること。
② 受託者は、再委託業務に係る契約書、請求書、領収書などの書類を提出させた場合は、適切に保管し、事後において履行の確認ができるように徹底すること。
③ 受託者は、委託者（支出負担行為担当官等）からの求めに応じ、②の書類の写しを提出すること。

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○

（備考）　1．用紙の大きさは、日本産業規格A列4縦とする。
　　2．必要に応じ、適宜加除して使用すること。

別紙様式第５（第６）

履 行 体 制 に 関 す る 書 面
（実施計画書の別紙資料）

年　　月　　日

〇当該履行体制に関する書面は、「委託契約書第４条」に基づいて作成したものである。

（受託者）
住　所
氏　名

受託者
××株式会社

（再委託先１）

○○○有限会社	
住　所	
電話番号	
代表者氏名	
担当業務範囲若しくは内容	△△に関する□□地区基礎調査

（再々委託先１）

○○○株式会社	
住　所	
電話番号	
代表者氏名	
担当業務範囲若しくは内容	

（再委託先２）

○○○株式会社（予定）	
住　所	
電話番号	
代表者氏名	
担当業務範囲若しくは内容	

（再委託先３）

○○○合資会社	
住　所	
電話番号	
代表者氏名	
担当業務範囲若しくは内容	

（再々委託先２）

○○○株式会社	
住　所	
電話番号	
代表者氏名	
担当業務範囲若しくは内容	

（再委託先□）
…… ……

（ 備 考 ）本様式は、適宜加除して差し支えないものであるが、次の項目は必須事項とする。
①再委託の相手方の住所
②氏名（若しくは代表者氏名）
③再委託を行う業務の範囲

別記様式第6（第7）

完　了　報　告　書

年　　月　　日

支出負担行為担当官
　国土交通省　○　○　○　○　殿

受託者　住 所
　　氏 名

　年　月　日付契約（契約金額　￥◆◆，◆◆◆，◆◆◆円）の○○○○が完了したので、成果物及び下記の書類を添えて報告します。

記

1．精 算 報 告 書　　通

2．残存物件報告書　　通

（備 考）用紙の大きさは、日本産業規格A列4縦とする。

別記様式第7（第7）

精　算　報　告　書

（単位：円）

経　費　区　分	予定経費(A)	支出額(B)	過不足額 (A)−(B)	摘　　要
計				

（　備　考　）1．用紙の大きさは、日本産業規格A列4横とする。
2．経費区分は、別記様式第1備考4により記載すること。
3．第7第2項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

別記様式第8（第7）

〇〇年度　×××　委託費経費内訳報告書

受託の名称	

（単位：円）

年月日	件　　名	予定経費額 A	支出額 B	過不足額 A−B	支出費目														備　　考		
					直接人件費	技術経費	謝金	旅費	庁費									再委託費	諸経費			
									備品費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	光熱水料	賃金	会議費	雑役務費	小計					
																	0					
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	伝票番号	支払い先	その他
					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

（備考）　1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4横とする。

2. 年月日は、契約毎に、その都度、記載すること。

3. 支出費目は、直接人件費、技術経費、謝金、旅費、庁費、再委託費及び諸経費に区分し、庁費にあっては、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、光熱水料、賃金、会議費及び雑役務費に細分して計上すること。なお、区分等は必要に応じ適宜加除して計上すること。 また、各区分の上段は予定経費額、中段は支出額、下段は過不足額である。

別記様式第9（第7）

残　存　物　件　報　告　書

取得年月日	物　件　名	規　格	数　量	単　価	価　格	経費区分	摘　要

（　備　考　）1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4横とする。
2. 価格は取得価格を記載し、受託中に派生的に取得した物件については、見積額を記載すること。
3. 経費区分は、別記様式第1備考4の区分により記載し、区分が明らかでないものは、摘要に取得の理由を記載すること。
4. 第7第2項に基づき提出する場合は、その旨を付記すること。

令和４年度

災害対策計画書

【抜粋】

国土交通省　中国地方整備局

三次河川国道事務所

１．共　　通　　編

目　　次

（1）三次河川国道事務所防災業務運営要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 1
表－１　発令基準・・1- 5
表－２　発令体制までの手続き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 9
表－３　観測通報要領・・・1- 13
表－４　三次支部組織表・・・1- 15
表－５　警報・注意報発表基準一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 16
表－６　中国横断自動車道尾道松江線　通行規制基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 40
（2）三次河川国道事務所危機管理対策支部等の設置要領
（防災業務計画を除く）・・・・・・・・・・・1- 41
（3）三次支部災害対策組織表（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 44
3.1-1　災害対策組織表（風水害関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 45
3.1-2　災害対策組織表（地震関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 48
3.1-3　災害対策組織表（水質事故関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 52
3.2　長期にわたる場合の体制について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 53
3.3-1　運営要領第４条第２項にもとづく要員変更計画表（風水害関係）・・・・・・1- 54
3.3-2　運営要領第４条第２項にもとづく要員変更計画表（地震関係）・・・・・・・・1- 56
3.4　三次河川国道情報連絡業務から連絡通報を受けた場合の連絡先・・・・・・・・・・1- 58
3.5　災害発生時における出張所の電話対応について（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 59
3.6　勤務時間外及び緊急時における連絡先
（貸与携帯電話番号・メールアドレス）・・・・・・・・・・・・1- 61
3.7　災害対策三次支部設置配置図（災害対策室）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 64
3.8　中国管内災害体制時連絡先一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 66
3.9　災害対策本部配席・電話番号図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 67
（4）風水害に関する事項・・1- 68
4.1 記録的短時間大雨情報の発表時の初動対応について（案）・・・・・・・・・・・・・・・1- 69
（5）通信に関する事項・・・1- 72
5.1　回線系統図（多重無線）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 73
5.2　回線系統図（テレメーター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 74
5.3　移動型衛星通信設備（Ｃａｒ－ＳＡＴ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 75
5.4　保有車両及びＫ－λ一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 76
5.5　Ｋ－λ通話装置呼出名称一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 80
5.6　無線設備取扱心得（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 84
5.7　中国地方整備局の無線設備の無償貸付に係わる事務取扱について・・・・・・・・1- 87
5.8　業務委託等による国土交通省所属無線設備の取扱要領・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 94
5.9　自公・公自接続電話番号一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 96
5.10 防災相互用周波数装備無線局数一覧表（広島県内）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1- 98
（6）災害対策本部配置図・・1- 99

（７）中国地方整備局災害対策用機械管理運営要領…… 1- 105
（８）災害臨時ヘリポート…… 1- 139
（９）河川、道路等災害応急対策活動等に関する基本協定…… 1- 143
(10) 災害応急対策活動等に関する基本協定…… 1- 152
(11) 災害時確保可能（協定業者）資材・機材総括表…… 1- 164
(12) 水防資材備蓄状況…… 1- 169
(13) 国土交通省保有資材位置図…… 1- 176
(14) 災害協定業者確保可能資材位置図…… 1- 178
(15) ボランティアに関する事項…… 1- 184
(16) 広報に関する事項…… 1- 187
(17) 災害時における情報交換に関する協定書…… 1- 192
(18) 大規模災害時の情報交換に関する協定書…… 1- 196
(19) 中国地方における災害時の支援に関する申し合わせ…… 1- 201
(20) 中国地方整備局地現地情報連絡員（リエゾン）派遣要領…… 1- 206
(21) 防災他体制時における通信施設等の点検実施要領…… 1- 216
(22) 風水害・地震時における庁舎の被災情報伝達要領について…… 1- 225

（１）三次河川国道事務所　防災業務運営要領

三次河川国道事務所　防災業務運営要領

（目　的）

第１条　この要領は、中国地方整備局防災業務計画第１編第３章第５節２項に基づき、防災に関し三次河川国道事務所における要員の配置及び業務分担を明らかにし、支部の円滑な運営を図ることを目的とする。

（組織及び業務分掌）

第２条　三次河川国道事務所に総務班、経理班、情報連絡班、広報班、調査班、河川班、道路班、公園班、三次班、吉田班、灰塚ダム班、三次国道班、松江自動車道班、予備班を設け、その組織は、表－４のとおりとし、業務分掌は別に定める災害対策組織表に示す。ただし、人員配置は、必要に応じ各班の判断により適宜増減することができるものとする。

（勤務体制）

第３条　三次河川国道事務所の勤務体制は、次の各号に掲げる体制とし、事務所長の発令により、それぞれの体制に入るものとする。その発令基準及び手続は、表－１，表－２の通りとする。

（１）　注意体制１．２．３（支部設置）

（２）　警戒体制（支部設置）

（３）　非常体制（支部設置）

２　事務所長が不在又は連絡がとれない場合の支部長代行者としては、（技河）副所長、（技道）副所長、（技公）副所長、（事務）副所長の順とし、副所長とも不在又は連絡がとれない場合、工務課長、調査設計課長、河川管理課長、道路管理課長のうち、連絡がとれる者を支部長代行者とする。

（出動及び待機）

第４条　各体制の発令に応じて各班長は、別に定める災害対策組織表に示す要員を配置させるものとする。

２　前項に定めるもののほか、状況に応じて支部長は、要員数の変更を指令することができるものとする。

３　各班長は、各体制の発令に応じて係員の出動あるいは待機の状況を掌握しなければならない。

（本部への報告）

第５条　支部長は、次の各号に該当する場合、速やかに局長（本部長）に報告しなければならない。

（１）　支部を設置（体制の発令・移行）又は廃止（体制の解除）を行ったとき。

（２）　支部が洪水予報または水防警報を発したとき。

（３）　異常気象時における道路交通規制要領に定める措置を実施したとき。

（４）　豪雪災害時における道路交通確保のための緊急措置要領に定める措置を実施したとき。

（５）　公共用物に被害のあったとき。

（６）　広島県から一般災害状況の報告があったとき。

（７）　職員をリエゾンとして派遣した場合。

（８）　その他災害対策上重要な事項が発生したとき。

（支部長への報告）

第６条　各班長は、次の各号に該当する場合には、ただちに支部長に報告しなければならない。但し、（１）号は除く。

（１）　支部が水防警報を発するとき

（２）　公共用物に被害があったときその状況

（３）　観測通報要領（表－３）に定めるもの

（４）　道路雪害対策計画書に定めるもの

（５）　各県の一般災害状況

（６）　直轄区域内で重大な災害の恐れがある場合、又は発生したとき

（７）　本部から災害対策上重要な事項について指令または通知を受けた場合

（８）　本部設置の通知を受けた場合

（９）　その他、本部から警告及び情報を入手した場合

２　別に定める災害対策組織表の各担当者は、次項（１）から（５）に該当した場合にはただちに、支部長の承認を得て、本局担当班に報告するものとする。

（１）　水文及び気象、並びに予警報に関するもの

（２）　河川災害に関するもの

（３）　ダム管理に関するもの

（４）　一般国道の交通情報並びに災害に関するもの

（５）　直轄工事区間の国道の災害に関するもの

（６）　前号以外の一般災害状況に関するもの（直轄区域内）

３　灰塚ダムについては、次の各号に該当する情報は、灰塚ダム班より本部、支部、関係機関へ連絡、通知、情報提供を行うものとする。

（１）　洪水警戒体制を発令・解除したとき

（２）　洪水調節を開始・終了したとき

（３）　ダムの放流警報を行うとき

（４）　非常用洪水吐きより越流を開始・終了した時

（５）　前号以外の灰塚ダムに関するもの

（災害時の措置）

第７条　河川及び道路の各班長は、担当区域内に災害が生じるおそれがある場合及び災害が発生した場合、ただちに自ら又は係官を派遣して現地調査を実施し適切な処置をとらなければならない。

２　支部長は、班長の報告を受けた場合、必要に応じて自ら現地に赴き、若しくは係官を派遣し、被害状況を調査し、班長の報告とあわせて、本部長に報告し、指示を受けるものとする。

３　支部長は、本部長に報告すると同時に、関係機関とも密接な連絡の上、応急復旧及び迂回路の指示等、臨機応変の措置をとるものとする。

（観　測）

第８条　表－３の観測通報要領に定める観測は、第３条の勤務体制にかかわりなく、一般業務に優先してそれぞれ実施するものとする。

（記録の整備）

第９条　各班長は、災害時の活動及び連絡状況（特に部外の連絡事項については内容、日時、相手方の名前、担当者名）を記録すると同時に重要な事項については支部長に報告し、その指示に従うものとする。

（業務の引継）

第１０条　支部の体制が解除になったとき、各班は、勤務中の業務をすみやかに整理し、その担当業務をそれぞれ主管課に引継ぐものとする。

（組織計画）

第１１条　各課長及び出張所長は、それぞれ班の業務内容、要員の配置を決定し、毎年度始めに事務所長に報告しなければならない。

２　各班長は，それぞれ班の業務内容及び要員の配置を，各係長及び係員に周知徹底させるものとする。

３　各班長は，業務に必要な用具及び書類を指示し，整備状況を確認し，緊急時の処置により管内の出張所等に支部を移設するものとする。

（情報交換のための職員の派遣）

第１２条　管内の地方公共団体等の所管に係る著しい災害が発生した場合等で、本部長が災害情報の交換等のため地方公共団体等へリエゾンの派遣が必要と認めた場合は、本部長の指示により、支部から地方公共団体等の災害対策本部等へ職員を派遣するものとする。ただし、災害の発生やその恐れがあり、地方公共団体等の被災情報を緊急に収集する必要が生じた場合には、被災した地方公共団体等に関係する支部長の判断により、支部よりリエゾンを

派遣することができるものとする。なお、その場合、派遣した旨を速やかに本部長に報告するものとする。

〔付則〕

１．この運営要領は平成１６年４月１日より適用する。
２．この運営要領は平成２１年４月１日より適用する。
３．この運営要領は平成２２年４月１日より適用する。
４．この運営要領は平成２３年４月１日より適用する。
５．この運営要領は平成２４年４月６日より適用する。
６．この運営要領は平成２５年５月１６日より適用する。
７．この運営要領は平成３０年５月２２日より適用する。
８．この運営要領は令和３年５月３１日より適用する。

令和　３　年　５　月　３１　日　改正

三 次 河 川 国 道 事 務 所 長

表－１　（１）体制発令基準（風水害・地震）（案）

<table>
<tr><td>体制区分</td><td colspan="4">事務所（支部）</td></tr>
<tr><td></td><td>河川</td><td>ダム</td><td>道路</td><td>公園</td><td>支援体制</td></tr>
<tr><td rowspan="2">注意体制１</td><td colspan="3">①台風が中国地方付近を通過する恐れがあり、台風による影響が予想される場合
②気象庁が事務所管内の地域で震度４の地震を発表した場合</td><td>①気象庁が事務所管内の地域で震度４の地震を発表した場合</td><td rowspan="3">①事務所管内・管外の地方公共団体等から災害に係る支援要請があり、支部から職員又は災害対策用機械の派遣等、地方公共団体等に対する支援を実施する場合</td></tr>
<tr><td>③大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発令され，支部長が必要と判断した場合</td><td>③大雨警報又は洪水警報が発令され，支部長が必要と判断した
④灰塚ダムが洪水警戒体制に入った場合
⑤灰塚ダム堤体内の地震計により観測された地震動の最大加速度25gal以上である場合</td><td>③大雨警報が発令された場合</td><td>②台風が広島県に接近又は上陸の恐れがある場合</td></tr>
<tr><td>注意体制２</td><td>①水防団待機水位に達する恐れがある場合</td><td>①灰塚ダムが洪水調節を開始する場合。</td><td>①暴風警報が発令された場合
②事前通行規制が発令される恐れがある場合</td><td>①大雨洪水警報が発令され、公園内において災害発生の恐れがある場合（連続雨量が200㎜を超えることが想定される場合）
②暴風警報が発令された場合</td><td>・事務所組織(人員)は、支援活動等の内容により、その都度定めるものとする。</td></tr>
<tr><td>注意体制３</td><td>①水防団待機水位に達し、なお、水位上昇の恐れがある場合</td><td></td><td>①交通規制（通行止めを除く）が伴う道路災害が発生した場合</td><td>①公園内において、開園に支障とならない程度の小規模な災害が発生した場合</td><td></td></tr>
<tr><td>警戒体制</td><td colspan="4">①大雨に関する特別警報が発令された場合
②気象庁が事務所管内の地域で震度５弱又は5強の地震情報を発表した場合
③地震により被害が発生した場合
④明らかに台風による影響が予想される場合
⑤はん濫注意水位に達し、なお、水位上昇の恐れのある場合、氾濫危険水位に達することが予測される場合又は被害が発生した場合
⑥灰塚ダムが洪水時最高水位（サーチャージ水位）に達すると予測される場合
⑦土師ダムが計画最大放流量に達すると予測される場合
⑧土師ダムがただし書き操作に移行すると予測される場合
⑤灰塚ダムが洪水時最高水位（サーチャージ水位）に達すると予測される場合
⑤暴風に関する特別警報が発令された場合
⑥道路災害が発生し、交通が途絶した場合
⑦通行止め規制を実施した場合
⑤暴風に関する特別警報が発令された場合
⑥公園内において、園路への土砂流出等開園に支障となる災害が発生した場合</td><td>①事務所管内の地方公共団体等が災害対策本部等を設置し、甚大な災害の発生が見込まれる場合
・事務所組織(人員)は、支援活動等の内容により、その都度定めるものとする。</td></tr>
<tr><td>非常体制</td><td colspan="4">①気象庁が事務所管内の地域で震度６弱以上の地震情報を発表した場合
②地震により、大規模な災害が発生した場合
③計画高水位以上の洪水が予想される場合、又は洪水によって重大な被害が発生する恐れがある場合
④灰塚ダムが洪水時最高水位（サーチャージ水位）を超える場合
⑤土師ダムがただし書き操作を実施する場合
③灰塚ダムが洪水時最高水位（サーチャージ水位）を超える場合
③道路災害が発生し、広範囲にわたり交通が途絶し、重大な被害が発生した場合
③公園内において広範囲にわたり災害が発生し、長期間開園に支障がある場合</td><td>①事務所管内の地方公共団体等において甚大な災害が発生した場合
・事務所組織(人員)は、支援活動等の内容により、その都度定めるものとする。</td></tr>
</table>

注）１．地震時の震度対象区域は、（地震に関する特別警報は、実施の震度状況に応じ対応する。）
河川：　表１－１のとおり。
公園：　表１－２のとおり。
道路：　広島県北部（「三次市」、「庄原市」、「安芸高田市」）、広島県南部（「尾道市」、「世羅町」）及び島根県東部（「雲南市」）とする。
２．事務所管内とは、三次河川国道事務所が管轄する施設（区域内）をいう。
３．気象台発表の予報及び注意報・警報・特別警報の細分区分は以下のとおりとする。
河川：　「庄原市」、「三次市」、「安芸高田市」、「北広島町」が対象地域
ダム：「庄原市」、「三次市」が対象地域
公園：　「庄原市」が対象地域
道路：　「尾道市」、「世羅町」、「庄原市」、「三次市」、「安芸高田市」、「雲南市」が対象地域
４．公園の発令基準の詳細については、「11.公園編」を参照。

表－１　（２）体制発令基準（雪害）

体制区分	事務所（支部） 道路
注意体制１	①大雪に関する気象情報が発表された対象地域で大雪注意報が発表された場合
注意体制２	①気象、路面状況により広範囲な除雪及び凍結防止作業や関係機関等と調整すべき事象の発生が予想される場合 ②大雪警報が発令された場合 ③管内の地方公共団体等から災害に係る支援要請があり、支部から職員又は災害対策用機械の派遣等、地方公共団体等に対する支援を実施する場合
警戒体制	①大雪又は、雪崩により交通が途絶した場合、あるいはその恐れがある場合 ②気象庁が道路の管理区間の存する地域で大雪に関する特別警報を発表した場合 ③管内の地方公共団体等が災害対策本部等を設置し、甚大な災害の発生が見込まれる場合
非常体制	①大雪又は、なだれにより広範囲にわたり交通が途絶し、重大な被害が発生した場合 ②管内の地方公共団体等において甚大な災害が発生し、支援が必要と認められる場合

表－１　（３）体制発令基準（道路事故災害）

体制区分	事務所（支部） 道路
注意体制３	①通行止めが２時間以上におよび、周辺の道路網や地域交通への影響が大きいと予想される場合 ②人的被害のおそれのある場合 ③危険物に関連する事故、重大な環境汚染等の可能性のある事故等が発生した場合 ④トンネル内事故、ガス漏れ事故及び道路施設損傷等が発生し、道路網や地域交通に影響を及ぼす可能性がある場合 ⑤管内の地方公共団体等から事故に係る支援要請があり、職員又は災害対策用機械の派遣等、地方公共団体等に対する支援を実施する場合
非常体制	①通行止めが２４時間以上におよび、周辺の道路網や地域交通への影響がきわめて大きいと予想される場合 ②人的被害が大きい場合 ③危険物に関連する事故、重大な環境汚染等の可能性のある事故等が発生し、被害が拡大する可能性がある場合 ④トンネル内事故、ガス漏れ事故等が発生し、社会的影響が大となる可能性がある場合 ⑤管内の地方公共団体等において重大な事故が発生し、支援が必要と認められる場合

表－１　（４）体制発令基準（原子力災害）

体制区分	事務所(支部)
警戒体制	①管内において、原子力災害対策特別措置法第10条に基づく特定事象が発生した旨の通報があった場合 （管内とは中国５県１０７市町村のことをいう。）
非常体制	①管内において、原子力災害対策特別措置法第15条に基づく特定事象が発生した旨の通報があった場合もしくは原子力緊急事態宣言が出された場合 （管内とは中国５県１０７市町村のことをいう。）

表－１　（５）体制発令基準（水質事故）

体制区分	事務所(支部)
注意体制	①利水に影響が生じる恐れのある場合 ②危険物や環境汚染に関する水質事故が発生した場合、あるいはそのおそれのある場合
警戒体制	①利水に重大な影響が生じた場合、あるいは生じる恐れのある場合 ②危険物や環境汚染につながる重大な水質事故が、広範囲にわたって発生した場合
非常体制	①利水に重大な影響が生じた場合、あるいは重大で相当長期に影響が生じる恐れのある場合 ②危険物や環境汚染につながる重大な水質事故が、相当広範囲かつ長期間に及ぶ場合

注）体制発令の対象区域は、江の川水系の直轄管理区間に影響がある場合とする。

表－１　（６）体制発令基準（その他災害）

体制区分	事務所（支部）
注意体制	①管轄区域内で重大な災害の発生のおそれがある場合 ②管轄区域内で災害が発生した場合
警戒体制	①管轄区域内で重大な災害が広範囲にわたり発生するおそれがある場合 ②管轄区域内で重大な災害が発生した場合 ③公園閉園時間中に火災が発生した場合
非常体制	①管轄区域内で重大な災害が広範囲にわたり発生した場合 ②公園開園時間中に火災が発生した場合 ③ 公園内で大規模な交通事故等が発生し、開園に支障となる場合。 ④公園において危険物に関する事故、重大な環境汚染等の可能性がある事故等が発生し被害が拡大するおそれがある場合 ⑤ 公園内でテロリスト等による爆破、危険物持込等の予告があった場合。 ⑥ 公園内で重大な殺傷事件や施設破壊事件が発生し、救護や捜査活動が継続して行われる場合。 ⑦人的被害が大きい場合

表－１　（７）体制発令基準（南海トラフ地震対策室）

体制区分	事務所（支部）
警戒体制	① 気象庁より南海トラフ地震に関する情報（臨時）「観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合【情報2】」の発表があった場合。 ② その他、上記に準じて対策が必要と判断した場合。
	支部は本部対策室の指示により必要な体制を確保する。

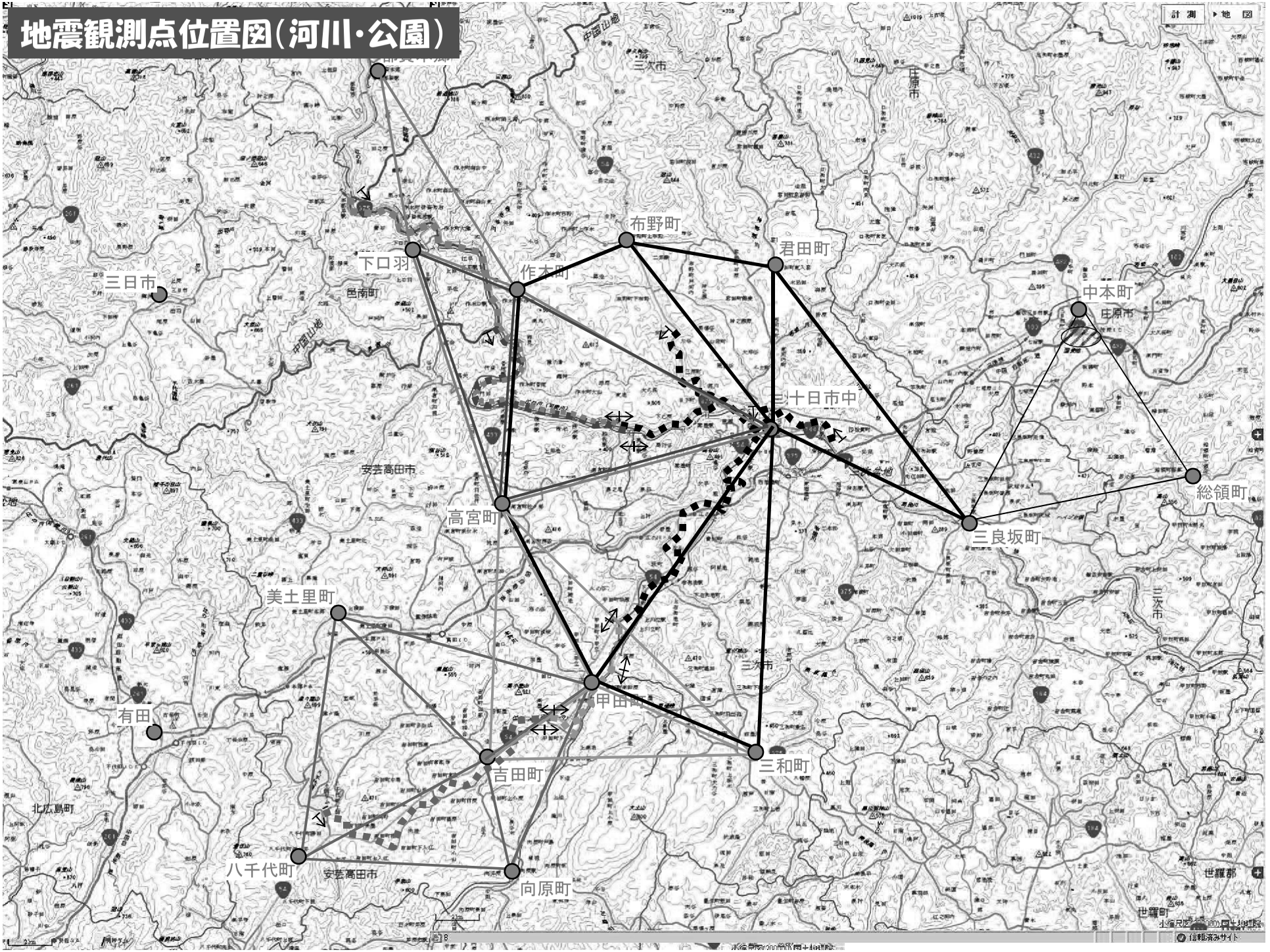
表１－１　河川対象震度対象気象官署一覧（案）

	点検区分（市区町村名）	判断する地震観測所	点検区分の参考			
			河川名	左岸	右岸	担当部署名
江の川（上流）	三次市（旧作木村）	広島県 三次市作木町 広島県 三次市十日市中 広島県 安芸高田市高宮町 島根県 美郷町都賀本郷 島根県 邑南町下口羽	江の川	－	106k100～132k000	三次出張所
	安芸高田市（旧高宮町）	広島県 三次市作木町 広島県 三次市十日市中 広島県 安芸高田市高宮町 島根県 邑南町下口羽	江の川	118k300～132k820	－	
	三次市（旧三次市）	広島県 三次市作木町 広島県 安芸高田市高宮町 広島県 三次市十日市中 広島県 三次市布野町 広島県 三次市君田町	江の川	132k820～152k200	132k000～157k300	
			馬洗川	0k000～5k800	0k000～5k800	
			西城川	0k000～1k300	0k000～1k300	
			神野瀬川	0k000～5k500	0k000～2k970	
	三次市（旧布野村）	広島県 三次市布野町 広島県 三次市十日市中	神野瀬川	－	2k970～5k500	
	安芸高田市（旧甲田町）	広島県 安芸高田市甲田町 広島県 三次市十日市中 広島県 安芸高田市吉田町	江の川	152k200～163k840	157k300～164k100	吉田出張所
	安芸高田市（旧吉田町）	広島県 安芸高田市吉田町 広島県 安芸高田市甲田町 広島県 安芸高田市八千代町	江の川	163k840～177k780	164k100～177k770	
	安芸高田市（旧八千代町）	広島県 安芸高田市八千代町 広島県 安芸高田市甲田町 広島県 北広島町有田	江の川	177k780～179k000	177k7700～179k000	

表１－２　公園対象震度対象気象官署一覧（案）

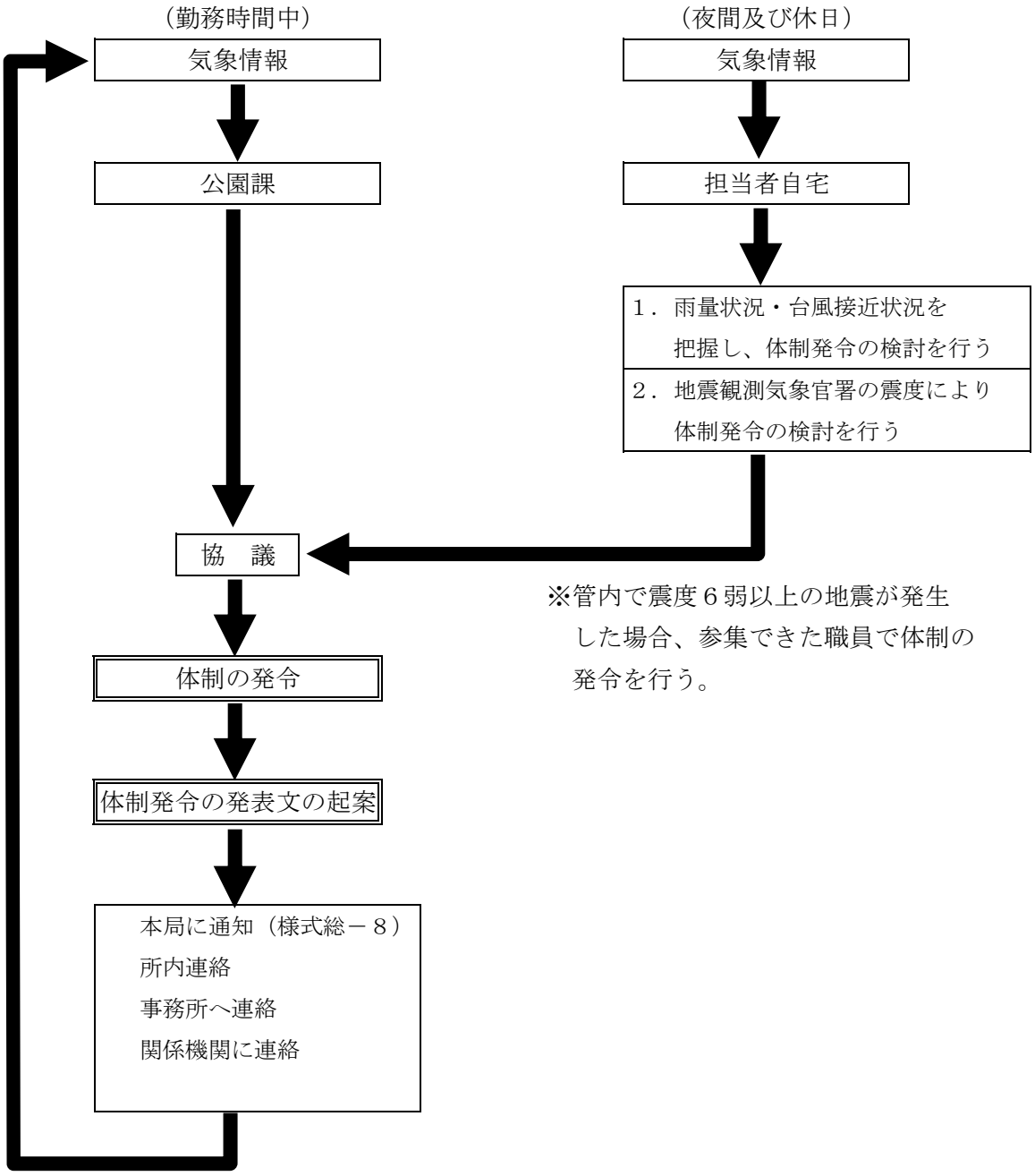
	郡市区町村名	判断する地震観測点	点検区分の参考	担当部署名
国営備北丘陵公園	庄原市、三次市	広島県 庄原市中本町、 広島県 庄原市総領町、 広島県 三次市三良坂町	国営備北丘陵公園内	公園課

地震観測点位置図（河川・公園）



表－2　　発令体制までの手続き

4)　公　園　※詳細は公園編を参照。



注）情報が入れば、表－1発令基準により体制発令の検討、協議を行う。
なお、発令基準は発令する要因であり、その要因を備北丘陵公園に当てはめ内容等を検討して発令を決定する。
従って、要因があっても必ず体制を発令するものではない。
詳細は、「11.公園編」を参照

表－３　観測通報要領

１．雨量観測通報条件（河川・道路・公園共通）

通報を行う時期	通報時刻	通報内容
大雨注意報が発令され前３時間雨量20㎜を超え、なお、降雨のある場合	3時間おき 正　時	3時間雨量と降り始めからの累加雨量 （降り始めの時間）
時間雨量30㎜を超え、なお降雨の激しい場合	毎正時	時間雨量と降り始めからの累加雨量 （降り始めからの時間雨量）
日雨量が80㎜を超え、なお降雨のある場合	〃	〃
通報指示のあった場合は、やめの指示があるまで通報する。		

注）統一河川情報をもって、通報に替える。

２．水位観測通報条件

通報を行う時期	通報時刻
雨量通報を行うと同時に行う	3時間おき
水防団待機水位に達した場合	やめの指示があるまで毎正時
はん濫注意水位に達した場合	原則として毎正時、指示のあった場合30分毎
計画高水位を超えた場合	30分毎
最高水位	起生時後速やかに
通報指示のあった場合	その都度
水位の上昇が急で必要と思われるとき	その都度

注）統一河川情報をもって、通報に替える。

表－３　観測通報要領

１．雨量観測通報条件（灰塚ダム）

通報を行う時期	通報時刻	通報内容
洪水警戒体制時	１０分毎	10分毎の雨量と降り始めからの累加雨量

注）ダムコン情報をもって、通報に替える。

２．貯水位、流入量、放流量、水位、流量観測条件

通報を行う時期	通報時刻
洪水警戒体制時	10分毎（放流量は不要）
ゲート操作時	その都度（放流量のみ）

注）ダムコン情報をもって、通報に替える。

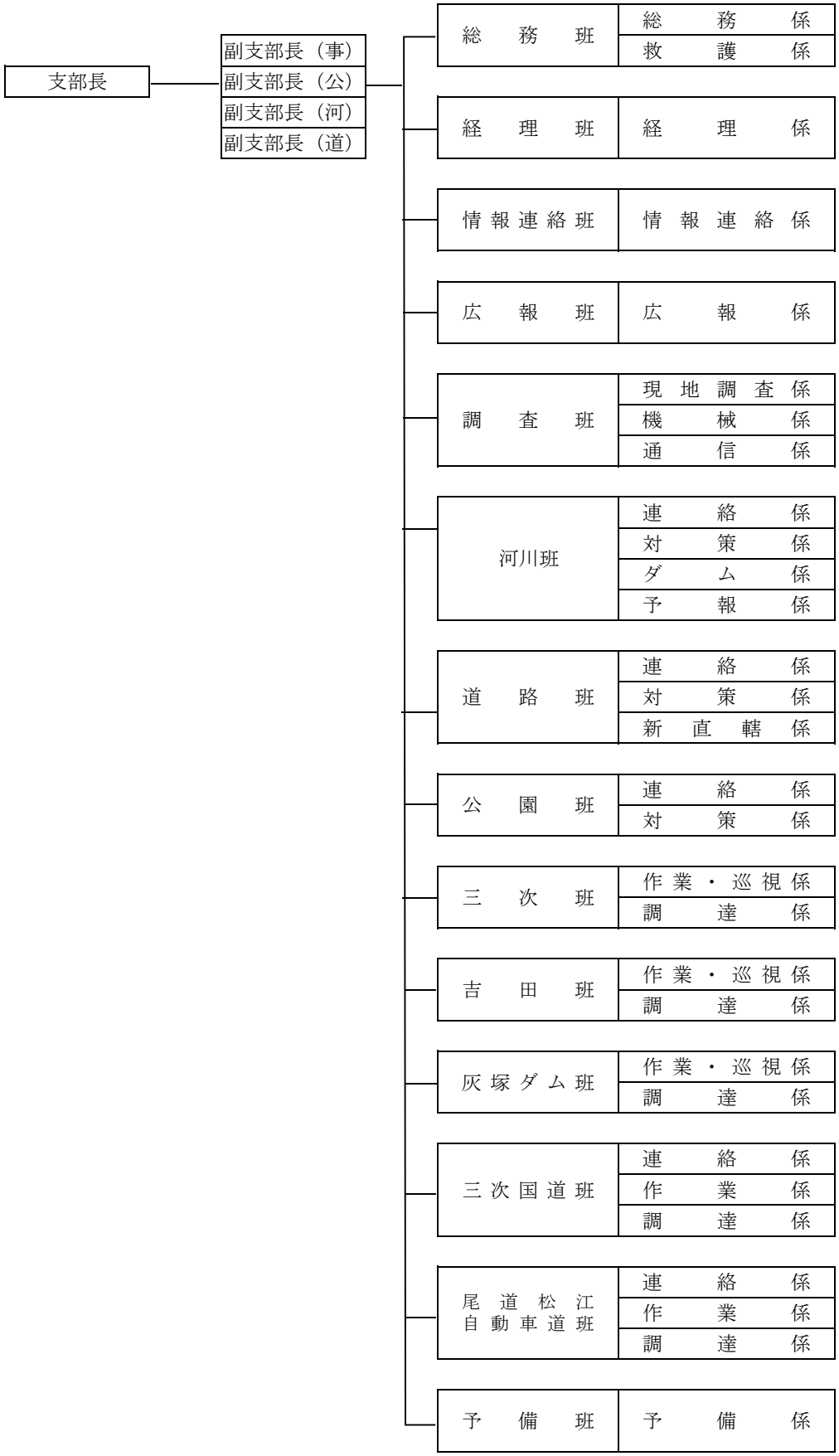
３．水質観測通報条件

通報を行う時期	通報時刻
洪水の前後	10分毎

注）ダムコン情報をもって、通報に替える。

※上記以外の観測については「灰塚ダム調査測定要領（案）」を参照すること。

表－４　三次支部組織表


支部長
副支部長（事）
副支部長（公）
副支部長（河）
副支部長（道）
総務班
総務係
救護係
経理班
経理係
情報連絡班
情報連絡係
広報班
広報係
調査班
現地調査係
機械係
通信係
河川班
連絡係
対策係
ダム係
予報係
道路班
連絡係
対策係
新直轄係
公園班
連絡係
対策係
三次班
作業・巡視係
調達係
吉田班
作業・巡視係
調達係
灰塚ダム班
作業・巡視係
調達係
三次国道班
連絡係
作業係
調達係
尾道松江自動車道班
連絡係
作業係
調達係
予備班
予備係

警報・注意報発表基準一覧表

（大阪管区気象台管内）　　令和4年3月24日現在

発表官署		広島地方気象台				
府県予報区		広島県				
一次細分区域		南部			北部	
市町村等をまとめた地域		広島・呉	福山・尾三	東広島・竹原	備北	芸北
警報	大雨	区域内の市町村で別表1の基準に到達することが予想される場合				
	洪水	区域内の市町村で別表2の基準に到達することが予想される場合				
	暴風（平均風速）	陸上　20m/s，海上　25m/s			20m/s	
	暴風雪（平均風速）	陸上　20m/s，海上　25m/s 雪を伴う			20m/s 雪を伴う	
	大雪	平地　12時間降雪の深さ20cm 山地　12時間降雪の深さ45cm	平地　12時間降雪の深さ15cm 山地　12時間降雪の深さ25cm		平地　12時間降雪の深さ30cm 山地　12時間降雪の深さ45cm	
	波浪（有義波高）	2.5m				
	高潮	区域内の市町村で別表5の基準に到達することが予想される場合				
注意報	大雨	区域内の市町村で別表3の基準に到達することが予想される場合				
	洪水	区域内の市町村で別表4の基準に到達することが予想される場合				
	強風（平均風速）	陸上　12m/s，海上　15m/s			12m/s	
	風雪（平均風速）	陸上　12m/s，海上　15m/s 雪を伴う			12m/s 雪を伴う	
	大雪	平地　12時間降雪の深さ10cm 山地　12時間降雪の深さ25cm	平地　12時間降雪の深さ5cm 山地　12時間降雪の深さ10cm		平地　12時間降雪の深さ15cm 山地　12時間降雪の深さ25cm	
	波浪（有義波高）	1.5m				
	高潮	区域内の市町村で別表5の基準に到達することが予想される場合				
	雷	落雷等により被害が予想される場合				
	融雪					
	濃霧（視程）	陸上　100m，海上　500m			100m	
	乾燥	最小湿度35%で実効湿度65%				
	なだれ	①降雪の深さ40cm以上 ②積雪の深さ50cm以上あり最高気温10℃以上＊1				
	低温	夏期：最高気温又は最低気温が平年より6℃以上低い 冬期：最低気温−4℃以下＊2				
	霜	4月以降の晩霜　最低気温4℃以下＊1				
	着氷					
	着雪	24時間降雪の深さ：平地10cm以上　山地30cm以上 気温：0℃～3℃				
記録的短時間大雨情報（1時間雨量）		110mm				

＊1 気温は広島地方気象台、呉特別地域気象観測所、福山特別地域気象観測所の値。

＊2 冬期の気温は広島地方気象台、呉特別地域気象観測所、福山特別地域気象観測所の値。

別添－48

警報・注意報発表基準一覧表

（大阪管区気象台管内）　　令和3年6月8日現在

発表官署		松江地方気象台						
府県予報区		島根県						
一次細分区域		東部			西部			隠岐
市町村等をまとめた地域		松江地区	出雲地区	雲南地区	大田邑智地区	浜田地区	益田地区	
警報	大雨	区域内の市町村で別表1の基準に到達することが予想される場合						
	洪水	区域内の市町村で別表2の基準に到達することが予想される場合						
	暴風（平均風速）	陸上 20m/s ，海上 25m/s		20m/s	陸上 20m/s ，海上 25m/s			
	暴風雪（平均風速）	陸上 20m/s ，海上 25m/s 雪を伴う		20m/s 雪を伴う	陸上 20m/s ，海上 25m/s 雪を伴う			
	大雪	平地 12時間降雪の深さ25cm，山沿い 12時間降雪の深さ35cm						12時間降雪の深さ25cm
	波浪（有義波高）	6.0m			6.0m			
	高潮	区域内の市町村で別表5の基準に到達することが予想される場合						
注意報	大雨	区域内の市町村で別表3の基準に到達することが予想される場合						
	洪水	区域内の市町村で別表4の基準に到達することが予想される場合						
	強風（平均風速）	陸上 12m/s ，海上 15m/s		12m/s	陸上 12m/s ，海上 15m/s			
	風雪（平均風速）	陸上 12m/s ，海上 15m/s 雪を伴う		12m/s 雪を伴う	陸上 12m/s ，海上 15m/s 雪を伴う			
	大雪	平地 12時間降雪の深さ15cm，山沿い 12時間降雪の深さ25cm			平地 12時間降雪の深さ15cm，山沿い 12時間降雪の深さ20cm			12時間降雪の深さ15cm
	波浪（有義波高）	3.0m			3.0m			
	高潮	区域内の市町村で別表5の基準に到達することが予想される場合						
	雷	落雷等により被害が予想される場合						
	融雪							
	濃霧（視程）	陸上 100m，海上 500m		100m	陸上 100m，海上 500m			
	乾燥	最小湿度40%で実効湿度65%			最小湿度40%で実効湿度60%			最小湿度40%で実効湿度65%
	なだれ	①積雪の深さ100cm以上の場合 ②積雪の深さ 50cm以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ30cm以上 2 最高気温が8℃以上*1 3 かなりの降雨			①積雪の深さ100cm以上の場合 ②積雪の深さ 50cm以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ30cm以上 2 最高気温が8℃以上*2 3 かなりの降雨			①積雪の深さ100cm以上の場合 ②積雪の深さ 50cm以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ30cm以上 2 最高気温が8℃以上*3 3 かなりの降雨
	低温	最低気温-4℃以下*1			最低気温-4℃以下*2			最低気温-4℃以下*3
	霜	4月上旬～5月中旬の晩霜 最低気温3℃以下						
	着氷							
	着雪	12時間降雪の深さ：平地15cm以上 山沿い25cm以上 気温：-2℃～1℃			12時間降雪の深さ：15cm以上 気温：-2℃～1℃			
記録的短時間大雨情報（1時間雨量）		100mm						

別添一49

*1 気温は松江地方気象台の値。
*2 気温は浜田特別地域気象観測所の値。
*3 気温は西郷特別地域気象観測所の値。

警報・注意報発表基準一覧表

令和3年6月8日現在
発表官署　広島地方気象台

庄原市	府県予報区		広島県	
	一次細分区域		北部	
	市町村等をまとめた地域		備北	
警報	大雨（浸水害） （土砂災害）	表面雨量指数基準	18	
		土壌雨量指数基準	150	
	洪水	流域雨量指数基準	神野瀬川流域=14，奥門田川流域=9.2，和南原川流域=5.9，西城川流域=21.7， 竹地川流域=11，萩川流域=11.3，湯木川流域=9，比和川流域=14.8， 布見川流域=6.5，比和谷川流域=6.2，川北川流域=14，大津恵川流域=7.5， 戸郷川流域=6.6，大屋川流域=8.6，八鳥川流域=6.2，小鳥原川流域=10.4， 国兼川流域=7.5，本村川流域=12.5，田総川流域=16.7，帝釈川流域=12.4， 成羽川流域=22.5，戸宇川流域=7.7，内堀川流域=7.4，道後川流域=7， 持丸川流域=9.5	
		複合基準*1	西城川流域=(8，19.5)，竹地川流域=(8，9.9)，湯木川流域=(12，7.7)， 比和川流域=(8，13.3)，布見川流域=(8，5.8)，大屋川流域=(8，7.7)， 八鳥川流域=(10，6)，小鳥原川流域=(8，8.6)，田総川流域=(8，15)， 成羽川流域=(8，20.2)，道後川流域=(8，6.3)，持丸川流域=(8，7.7)	
		指定河川洪水予報による基準	＿	
	暴風	平均風速	20m/s	
	暴風雪	平均風速	20m/s　雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	平地	12時間降雪の深さ30cm
			山地	12時間降雪の深さ45cm
	波浪	有義波高		
	高潮	潮位		
注意報	大雨	表面雨量指数基準	7	
		土壌雨量指数基準	133	
	洪水	流域雨量指数基準	神野瀬川流域=11.2，奥門田川流域=7.3，和南原川流域=4.7， 西城川流域=17.3，竹地川流域=8.8，萩川流域=9，湯木川流域=7.2， 比和川流域=11.8，布見川流域=5.2，比和谷川流域=4.9，川北川流域=11.2， 大津恵川流域=6，戸郷川流域=5.2，大屋川流域=6.8，八鳥川流域=4.9， 小鳥原川流域=8.3，国兼川流域=5.4，本村川流域=10，田総川流域=13.3， 帝釈川流域=9.9，成羽川流域=18，戸宇川流域=6，内堀川流域=5.9， 道後川流域=5.6，持丸川流域=7.6	
		複合基準*1	神野瀬川流域=(7，11.2)，奥門田川流域=(5，7.3)， 和南原川流域=(8，3.8)，西城川流域=(8，17.3)，竹地川流域=(8，8.8)， 萩川流域=(9，9)，湯木川流域=(7，6.4)，比和川流域=(8，11.8)， 布見川流域=(7，5.2)，比和谷川流域=(5，4.9)，川北川流域=(5，11.2)， 大屋川流域=(8，6.8)，八鳥川流域=(9，4.9)，小鳥原川流域=(5，7.7)， 国兼川流域=(5，5.4)，田総川流域=(5，13.3)，帝釈川流域=(5，9.9)， 成羽川流域=(7，18)，戸宇川流域=(7，6)，内堀川流域=(7，5.9)， 道後川流域=(8，4.5)，持丸川流域=(5，6.9)	
		指定河川洪水予報による基準	＿	
	強風	平均風速	12m/s	
	風雪	平均風速	12m/s　雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	平地	12時間降雪の深さ15cm
			山地	12時間降雪の深さ25cm
	波浪	有義波高		
	高潮	潮位		
	雷	落雷等により被害が予想される場合		
	融雪			
	濃霧	視程	100m	
	乾燥	最小湿度35%で実効湿度65%		
	なだれ	①降雪の深さ40cm以上 ②積雪の深さ50cm以上あり最高気温10℃以上*2		
	低温	夏期：最高気温又は最低気温が平年より6℃以上低い 冬期：最低気温-4℃以下*3		
	霜	4月以降の晩霜　最低気温4℃以下*4		
	着氷			
	着雪	24時間降雪の深さ：平地10cm以上　山地30cm以上 気温：0℃～3℃		
記録的短時間大雨情報		1時間雨量	110mm	

*1（表面雨量指数，流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

*2 気温は広島地方気象台、呉特別地域気象観測所、福山特別地域気象観測所の値。

*3 冬期の気温は広島地方気象台、呉特別地域気象観測所、福山特別地域気象観測所の値。

*4 気温は広島地方気象台、呉特別地域気象観測所、福山特別地域気象観測所の値。

（別表1）大雨警報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準
広島・呉	広島市中区	16	120
	広島市東区	16	120
	広島市南区	16	120
	広島市西区	16	118
	広島市安佐南区	16	118
	広島市安佐北区	16	115
	広島市安芸区	16	118
	広島市佐伯区	16	116
	呉市	22	137
	大竹市	23	145
	廿日市市	23	140
	江田島市	14	143
	府中町	23	147
	海田町	20	146
	熊野町	18	144
	坂町	22	147
福山・尾三	三原市	14	140
	尾道市	10	137
	福山市	12	132
	府中市	16	137
	世羅町	17	139
	神石高原町	12	137
東広島・竹原	竹原市	12	153
	東広島市	16	153
	大崎上島町	13	154
備北	三次市	13	146
	庄原市	18	150
芸北	安芸高田市	12	145
	安芸太田町	18	152
	北広島町	11	147

（別表2）洪水警報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	流域雨量指数基準	複合基準*1	指定河川洪水予報による基準
広島・呉	広島市中区	旧太田川流域=43.5，天満川流域=20.5， 元安川流域=23.1，京橋川流域=5	－	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市東区	府中大川流域=9.2，矢口川流域=2.6， 小河原川流域=6.1	太田川流域=(8，54.8)	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市南区	猿猴川流域=22，府中大川流域=12.4	－	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市西区	八幡川（はちまんがわ）流域=6.9	太田川流域=(8，44.9)	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市安佐南区	山本川流域=7.1，古川流域=21.4， 安川流域=16.2，奥畑川流域=8.2， 大塚川流域=7.7，吉山川流域=11.4	太田川流域=(8，55.5)， 安川流域=(8，14.5)， 奥畑川流域=(8，7.3)， 吉山川流域=(8，10.3)	太田川上流[土居・加計・飯室]， 太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市安佐北区	鈴張川流域=10.7，吉山川流域=14.8， 小河内川流域=9.4，根谷川流域=17.1， 南原川流域=10，小河原川流域=10.1， 栄堂川流域=10.8，山倉川流域=4， 行森川流域=5.7，矢口川流域=3.7， 三篠川流域=19.4，大毛寺川流域=9.4	太田川流域=(8，50.8)， 鈴張川流域=(8，9.6)， 吉山川流域=(8，13.3)， 小河内川流域=(8，8.4)， 根谷川流域=(8，13.2)， 三篠川流域=(14，17.5)	太田川上流[土居・加計・飯室]， 太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]， 三篠川[中深川]， 根谷川[新川橋]
	広島市安芸区	瀬野川流域=17.2，矢野川流域=8.8， 熊野川流域=11.2	瀬野川流域=(8，17.2)， 矢野川流域=(8，7.9)	－
	広島市佐伯区	八幡川（やはたがわ）流域=21， 石内川流域=10.7，岡ノ下川流域=12.8， 打尾谷川流域=10.1，水内川流域=23.1， 伏谷川流域=8.8	太田川流域=(8，45.5)， 八幡川（やはたがわ）流域=(8，18.9)， 石内川流域=(8，9.5)， 打尾谷川流域=(8，9)， 伏谷川流域=(8，7.9)	太田川上流[土居・加計・飯室]
	呉市	黒瀬川流域=29.8，長谷川流域=4.5， 野呂川流域=17.7，大谷川流域=6.6， 二河川流域=16.2，中切川流域=9.4， 中畑川流域=8.4，堺川流域=10.2	黒瀬川流域=(9，26.8)， 大谷川流域=(9，5.3)， 中畑川流域=(9，8.4)	黒瀬川水系黒瀬川[町田]
	大竹市	玖島川流域=20.8，恵川流域=11， 大膳川流域=8.2	玖島川流域=(10，18.7)	小瀬川[小川津・両国橋]
	廿日市市	太田川流域=14.8，中津谷川流域=12.8， 小瀬川流域=26.9，玖島川流域=15， 市野川流域=7.9，七瀬川流域=14.8， 中道川流域=7，大虫川流域=8.6， 吉末川流域=5.8，永慶寺川流域=6.7， 可愛川流域=11.1，御手洗川流域=10.7， 中津岡川流域=9.9	太田川流域=(10，13.9)， 中津谷川流域=(10，11.5)， 小瀬川流域=(10，26.7)， 玖島川流域=(10，13.5)， 市野川流域=(10，7.1)， 七瀬川流域=(10，13.3)， 中道川流域=(10，6.3)， 永慶寺川流域=(10，6.6)	－
	江田島市	木ノ下川流域=7.8	－	－
	府中町	府中大川流域=10.7，榎川流域=6.8	－	－
	海田町	瀬野川流域=24.6，唐谷川流域=7.2	－	－
	熊野町	二河川流域=10，熊野川流域=9.6	二河川流域=(9，9)	－
	坂町	総頭川流域=8	－	－
福山・尾三	三原市	八幡川流域=6.8，御調川流域=4.9， 天井川流域=10.2，仏通寺川流域=11.2， 尾原川流域=12.5，菅川流域=7.7， 椋梨川流域=17.9，三次川流域=5.2， 大草川流域=7，平坂川流域=7.5， 徳良川流域=7.7，和久原川流域=10.2， 西野川流域=5.6，梨和川流域=8.6， 本谷川流域=7.4，恵下谷川流域=5.3， 千川流域=5.2，太郎谷川流域=6， 藤井川流域=7.1，細川流域=4.5， 能良川流域=5.5，田打川流域=4.2， 篠川流域=5，芦田川流域=9， 野間川流域=6.4	八幡川流域=(8，6.1)， 御調川流域=(8，4.1)， 沼田川流域=(8，30.7)， 菅川流域=(10，6.9)， 椋梨川流域=(8，17.6)， 大草川流域=(8，6.3)， 徳良川流域=(8，6.9)， 和久原川流域=(8，8.9)， 藤井川流域=(8，6.3)	沼田川水系沼田川[七宝・船木]
	尾道市	御調川流域=19.8，八幡川流域=7.2， 栗原川流域=7.1，藤井川流域=12.4， 木梨川流域=6.6，木門田川流域=6.4， 本郷川流域=17.4	八幡川流域=(5，6.4)， 栗原川流域=(5，6.3)， 藤井川流域=(5，11.1)	－
	福山市	小田川（山野方面）流域=21.2， 瀬戸川流域=13.9，高屋川流域=15.1， 服部川流域=8.6，有地川流域=10.8， 神谷川流域=16.2，河手川流域=5.8， 吉野川流域=4.6，加茂川流域=10.9， 四川流域=6.2，箱田川流域=6.6， 手城川流域=3.9，山南川流域=10.2， 新川流域=5.7，羽原川流域=6.2， 本郷川流域=9.5，藤井川流域=14.2， 本谷川（能登原方面）流域=5.2， 菅田川流域=3.7，猪之子川流域=4.6， 小田川（山手方面）流域=4.2， 本谷川（津之郷方面）流域=3.7， 加屋川流域=2.6，狭間川流域=5.8， 西谷川流域=3.9，市原川流域=4.4， 堀町川流域=5.1，久田谷川流域=4.9， 小山田川流域=2.8，戸手川流域=3.6， 砂川流域=6.9，見谷川流域=6.9， 父尾川流域=7.9，藤尾川流域=5.8， 本永谷川流域=3.3，百谷川流域=4.8， 深水川流域=3.5，堂々川流域=4.5， 竹田川流域=9.2，高尾川流域=7.1， 矢川流域=9.2，下原川流域=6.9	芦田川流域=(6，42.8)， 瀬戸川流域=(6，11.7)， 羽原川流域=(6，4.4)， 本郷川流域=(6，8.8)	芦田川[矢野原・府中・山手]， 高屋川[御幸]
	府中市	上下川流域=9.6，砂川流域=4.7， 出口川流域=7.4，御調川流域=23.9， 矢多田川流域=14，阿字川流域=12.9	－	芦田川[矢野原・府中・山手]
	世羅町	美波羅川流域=12.2，冠川流域=5.3， 黒淵川流域=9.8，芦田川流域=13.9， 宇津戸川流域=7.5，山田川流域=8.5， 神崎川流域=4.3，手綱川流域=5.8	美波羅川流域=(10，10.3)， 黒淵川流域=(8，8)， 芦田川流域=(8，12.5)， 宇津戸川流域=(8，6.7)， 神崎川流域=(8，3.8)	－

（別表2）洪水警報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	流域雨量指数基準	複合基準*1	指定河川洪水予報による基準
	神石高原町	天田川流域=7.2，成羽川流域=32.3， 高光川流域=10.4，牧川流域=6.6， 阿下川流域=12.4，安田川流域=8， 仁吾川流域=8.6，小田川流域=15， 帝釈川流域=26.8，福枡川流域=18.7	―	―
東広島・竹原	竹原市	賀茂川流域=15，本川流域=5.7	賀茂川流域=(5，9.4)	―
	東広島市	東川流域=8.9，沼田川流域=24.8， 椋梨川流域=8.9，入野川流域=14， 宇山川流域=5.8，造賀川流域=8.5， 入寺川流域=6.7，黒瀬川流域=24， イラスケ川流域=8.1，松板川流域=9.5， 古河川流域=13.6，木谷郷川流域=9.3， 三津大川流域=10，高野川流域=8.9， 番蔵川流域=3.8，光路川流域=5.3， 霜降川流域=4.8，大谷川流域=8.1， 半尾川流域=6，中川流域=6.8， 原比川流域=6.2，半川流域=5.9	沼田川流域=(9，22.2)， 椋梨川流域=(11，8)， 入野川流域=(7，12.6)， 宇山川流域=(7，5.2)， 入寺川流域=(7，6.7)， 黒瀬川流域=(7，21.6)， イラスケ川流域=(7，8)	―
	大崎上島町	原田川流域=5.9，原下川流域=4.9	―	―
備北	三次市	神野瀬川流域=26.2，馬洗川流域=33， 北溝川流域=7.7，上村川流域=3.8， 板木川流域=14.7，永屋川流域=5.1， 布野川流域=14.8，中郷川流域=4.9， 吸谷川流域=7.2，西城川流域=48.3， 国兼川流域=11.6，美波羅川流域=24.2， 飯田川流域=8.9，吉原川流域=11.3， 上下川流域=32.4，抜湯川流域=4.1， 宇賀川流域=6.1，友森川流域=5， 小童川流域=7.1，長田川流域=6.4， 片野川流域=3.8，矢井川流域=6.9， 山福田川流域=6.1	江の川流域=(6，49.6)， 神野瀬川流域=(10，24)， 馬洗川流域=(6，29.7)， 北溝川流域=(6，7.1)， 西城川流域=(10，35.6)， 美波羅川流域=(6，19.2)， 宇賀川流域=(6，5.7)， 長田川流域=(8，5.7)， 片野川流域=(6，3.7)， 山福田川流域=(6，4.6)	江の川上流[吉田・粟屋・尾関山]， 神野瀬川[神野瀬川]， 馬洗川[南畑敷]， 西城川[三次]
	庄原市	神野瀬川流域=14，奥門田川流域=9.2， 和南原川流域=5.9，西城川流域=21.7， 竹地川流域=11，萩川流域=11.3， 湯木川流域=9，比和川流域=14.8， 布見川流域=6.5，比和谷川流域=6.2， 川北川流域=14，大津恵川流域=7.5， 戸郷川流域=6.6，大屋川流域=8.6， 八鳥川流域=6.2，小鳥原川流域=10.4， 国兼川流域=7.5，本村川流域=12.5， 田総川流域=16.7，帝釈川流域=12.4， 成羽川流域=22.5，戸宇川流域=7.7， 内堀川流域=7.4，道後川流域=7， 持丸川流域=9.5	西城川流域=(8，19.5)， 竹地川流域=(8，9.9)， 湯木川流域=(12，7.7)， 比和川流域=(8，13.3)， 布見川流域=(8，5.8)， 大屋川流域=(8，7.7)， 八鳥川流域=(10，6)， 小鳥原川流域=(8，8.6)， 田総川流域=(8，15)， 成羽川流域=(8，20.2)， 道後川流域=(8，6.3)， 持丸川流域=(8，7.7)	―
芸北	安芸高田市	長瀬川流域=17.8，生田川流域=16.2， 大土川（向原町）流域=11，本村川流域=15.8， 戸島川流域=11.4，多治比川流域=10.2， 簸ノ川流域=11，田草川流域=8， 奈良谷川流域=3.9，三篠川流域=18.2， 見坂川流域=11，大土川（甲田町）流域=5， 篠原川流域=7.1，式敷川流域=5.4， 用地川流域=4.4，福田川流域=5.4， 房後川流域=7.4，宮迫川流域=5.3， 茂谷川流域=4.4，叶口川流域=4.9， 桑田川流域=6.9，馬の谷川流域=3.9， 二重谷川流域=5.1，上河内川流域=6.2， 小谷川流域=4.8，竹ノ内川流域=3.9， 火の谷川流域=4，金口川流域=6.2， 室坂川流域=5.2，於手保川流域=5， 河内川流域=4.9，後相生川流域=4.5， 高地川流域=5.5，油川流域=4.9， 砂田川流域=4.9，山田川流域=4.9， 根谷川流域=10.1，有坂川流域=5.7	生田川流域=(5，14.5)， 大土川（向原町）流域=(11，7.8)， 本村川流域=(5，14.2)， 戸島川流域=(11，8.8)， 多治比川流域=(5，9.1)， 簸ノ川流域=(5，9.9)， 田草川流域=(5，8)， 奈良谷川流域=(5，3.6)	江の川上流[吉田・粟屋・尾関山]
	安芸太田町	滝山川流域=35.3，筒賀川流域=10.6， 田吹川流域=5.3，柴木川流域=23.7， 松原川流域=9.7，西宗川流域=22.2	太田川流域=(6，32.5)， 田吹川流域=(8，4.7)， 柴木川流域=(6，19.6)	太田川上流[土居・加計・飯室]
	北広島町	江の川（川井地区）流域=30.1， 出原川流域=9.4，志路原川流域=15， 江の川（大朝地区）流域=18.2， 冠川流域=11.4，寺原川流域=8.6， 小河内川流域=3.8，西宗川流域=8.4， 滝山川流域=13.4，柴木川流域=10.2， 根谷川流域=6.7，都志見川流域=5.8， 大佐川流域=12.7，空城川流域=5.5， 才乙川流域=6.6	江の川（川井地区）流域=(10，27)， 出原川流域=(8，8.4)， 志路原川流域=(8，13.5)， 冠川流域=(8，10.2)， 寺原川流域=(8，7.7)， 根谷川流域=(8，6)， 大佐川流域=(8，11.4)， 才乙川流域=(8，5.2)	―

*1 （表面雨量指数，流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

（別表3）大雨注意報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準
広島・呉	広島市中区	11	94
	広島市東区	11	94
	広島市南区	11	94
	広島市西区	11	93
	広島市安佐南区	11	93
	広島市安佐北区	11	90
	広島市安芸区	11	93
	広島市佐伯区	11	91
	呉市	10	108
	大竹市	14	114
	廿日市市	10	110
	江田島市	9	112
	府中町	18	116
	海田町	13	115
	熊野町	7	113
	坂町	17	116
福山・尾三	三原市	10	117
	尾道市	7	115
	福山市	7	110
	府中市	9	115
	世羅町	10	116
	神石高原町	9	115
東広島・竹原	竹原市	6	125
	東広島市	8	125
	大崎上島町	9	126
備北	三次市	8	129
	庄原市	7	133
芸北	安芸高田市	7	113
	安芸太田町	10	118
	北広島町	6	114

（別表4）洪水注意報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	流域雨量指数基準	複合基準*1	指定河川洪水予報による基準
広島・呉	広島市中区	旧太田川流域=30.5，天満川流域=16.4， 元安川流域=18.4，京橋川流域=4	―	―
	広島市東区	府中大川流域=7.4，矢口川流域=2， 小河原川流域=4.8	太田川流域=(5，49.3)	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市南区	猿猴川流域=17.6，府中大川流域=9.9	猿猴川流域=(9，17.6)	―
	広島市西区	八幡川(はちまんがわ)流域=5.5	太田川流域=(5，40.4)， 八幡川(はちまんがわ)流域=(5，5.5)	太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市安佐南区	山本川流域=5，古川流域=17.1， 安川流域=12.9，奥畑川流域=6.5， 大塚川流域=6.1，吉山川流域=9.1	太田川流域=(5，49.9)， 安川流域=(5，12.5)， 奥畑川流域=(8，5.2)， 吉山川流域=(8，7.3)	太田川上流[土居・加計・飯室]， 太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]
	広島市安佐北区	鈴張川流域=8.5，吉山川流域=11.8， 小河内川流域=7.5，根谷川流域=13.6， 南原川流域=8，小河原川流域=8， 栄堂川流域=8.6，山倉川流域=3.2， 行森川流域=4.5，矢口川流域=2.9， 三篠川流域=15.5，大毛寺川流域=7.5	太田川流域=(5，45.7)， 鈴張川流域=(8，8.5)， 吉山川流域=(8，9.4)， 小河内川流域=(8，7.5)， 根谷川流域=(5，7.4)， 山倉川流域=(9，2.6)， 三篠川流域=(7，13.1)， 大毛寺川流域=(9，6)	太田川上流[土居・加計・飯室]， 太田川下流[中野・矢口第一・祇園大橋]， 三篠川[中深川]， 根谷川[新川橋]
	広島市安芸区	瀬野川流域=13.7，矢野川流域=7， 熊野川流域=8.9	瀬野川流域=(8，13.7)， 矢野川流域=(5，7)， 熊野川流域=(8，8.9)	―
	広島市佐伯区	八幡川(やはたがわ)流域=16.8， 石内川流域=8.5，岡ノ下川流域=10.2， 打尾谷川流域=8，水内川流域=18.4， 伏谷川流域=7	太田川流域=(5，40.9)， 八幡川(やはたがわ)流域=(5，16.2)， 石内川流域=(5，8.5)， 打尾谷川流域=(8，8)， 水内川流域=(9，14.7)， 伏谷川流域=(8，5.6)	太田川上流[土居・加計・飯室]
	呉市	黒瀬川流域=23.8，長谷川流域=3.6， 野呂川流域=14.1，大谷川流域=5.2， 二河川流域=12.9，中切川流域=7.5， 中畑川流域=6.7，堺川流域=8.1	黒瀬川流域=(9，23.8)， 長谷川流域=(6，3.6)， 大谷川流域=(6，4.8)， 中畑川流域=(9，6.7)	黒瀬川水系黒瀬川[町田]
	大竹市	玖島川流域=16.6，恵川流域=8.8， 大膳川流域=6.5	小瀬川流域=(6，36)， 玖島川流域=(10，16.6)， 恵川流域=(10，7.7)	小瀬川[小川津・両国橋]
	廿日市市	太田川流域=11.8，中津谷川流域=10.2， 小瀬川流域=21.5，玖島川流域=12， 市野川流域=6.3，七瀬川流域=11.8， 中道川流域=5.6，大虫川流域=6.8， 吉末川流域=4.6，永慶寺川流域=5.3， 可愛川流域=8.8，御手洗川流域=8.5， 中津岡川流域=7.9	太田川流域=(6，11.6)， 中津谷川流域=(10，8.2)， 小瀬川流域=(10，17.2)， 玖島川流域=(6，12)， 市野川流域=(10，5)， 七瀬川流域=(10，9.4)， 中道川流域=(10，5.6)， 大虫川流域=(10，5.4)， 吉末川流域=(6，4.6)， 永慶寺川流域=(10，4.2)， 可愛川流域=(6，8.7)， 御手洗川流域=(6，8.5)	―
	江田島市	木ノ下川流域=6.2	―	―
	府中町	府中大川流域=8.5，榎川流域=5.4	―	―
	海田町	瀬野川流域=19.6，唐谷川流域=5.7	瀬野川流域=(6，12.6)	―
	熊野町	二河川流域=8，熊野川流域=7.6	二河川流域=(9，8)	―
	坂町	総頭川流域=6.4	―	―
福山・尾三	三原市	八幡川流域=5.4，御調川流域=3.9， 天井川流域=8.1，仏通寺川流域=8.9， 尾原川流域=10，菅川流域=6.1， 椋梨川流域=14.3，三次川流域=4.1， 大草川流域=5.6，平坂川流域=6， 徳良川流域=6.1，和久原川流域=8.1， 西野川流域=4.4，梨和川流域=6.8， 本谷川流域=5.9，恵下谷川流域=4.2， 千川流域=4.1，太郎谷川流域=4.8， 藤井川流域=5.6，細川流域=3.6， 能良川流域=4.4，田打川流域=3.3， 篠川流域=4，芦田川流域=7.2， 野間川流域=5.1	八幡川流域=(8，5.4)， 御調川流域=(7，3.6)， 沼田川流域=(7，27.6)， 仏通寺川流域=(8，7.5)， 菅川流域=(9，6.1)， 椋梨川流域=(7，14.3)， 大草川流域=(8，5.6)， 平坂川流域=(9，6)， 徳良川流域=(8，6.1)， 和久原川流域=(5，8)， 藤井川流域=(7，5.6)	沼田川水系沼田川[七宝・船木]
	尾道市	御調川流域=15.8，八幡川流域=5.7， 栗原川流域=5.6，藤井川流域=9.9， 木梨川流域=5.2，木門田川流域=5.1， 本郷川流域=13.9	御調川流域=(5，15.8)， 八幡川流域=(5，4.6)， 栗原川流域=(5，4.8)， 藤井川流域=(5，7.9)， 木梨川流域=(6，4.2)， 木門田川流域=(6，4.1)	―

（別表4）洪水注意報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	流域雨量指数基準	複合基準*1	指定河川洪水予報による基準
	福山市	小田川（山野方面）流域=16.9, 瀬戸川流域=11.1，高屋川流域=12, 服部川流域=6.8，有地川流域=8.6, 神谷川流域=12.9，河手川流域=4.6, 吉野川流域=3.6，加茂川流域=8.7, 四川流域=4.9，箱田川流域=5.2, 手城川流域=3.1，山南川流域=8.1, 新川流域=4.5，羽原川流域=4.9, 本郷川流域=7.6，藤井川流域=11.3, 本谷川（能登原方面）流域=4.1, 菅田川流域=2.9，猪之子川流域=3.6, 小田川（山手方面）流域=3.3, 本谷川（津之郷方面）流域=2.9, 加屋川流域=2，狭間川流域=4.6, 西谷川流域=3.1，市原川流域=3.5, 堀町川流域=4，久田谷川流域=3.9, 小山田川流域=2.2，戸手川流域=2.8, 砂川流域=5.5，見谷川流域=5.5, 父尾川流域=6.3，藤尾川流域=4.6, 本永谷川流域=2.6，百谷川流域=3.8, 深水川流域=2.8，堂々川流域=3.6, 竹田川流域=7.3，高尾川流域=5.6, 矢川流域=7.3，下原川流域=5.5	芦田川流域=(6，30.4)， 瀬戸川流域=(5，10.5)， 高屋川流域=(5，12)， 有地川流域=(5，8.6)， 手城川流域=(6，3.1)， 新川流域=(5，4.5)， 羽原川流域=(5，4)， 本郷川流域=(5，7.6)	芦田川[矢野原・府中・山手]， 高屋川[御幸]
	府中市	上下川流域=7.6，砂川流域=3.7, 出口川流域=5.9，御調川流域=19.1, 矢多田川流域=11.2，阿字川流域=10.3	芦田川流域=(7，25.2)， 砂川流域=(5，3.5)， 御調川流域=(7，15)	芦田川[矢野原・府中・山手]
	世羅町	美波羅川流域=9.7，冠川流域=4.2, 黒淵川流域=7.8，芦田川流域=11.1, 宇津戸川流域=6，山田川流域=6.8, 神崎川流域=3.4，手綱川流域=4.6	美波羅川流域=(9，8.8)， 冠川流域=(9，4.2)， 黒淵川流域=(8，5.7)， 芦田川流域=(5，10.5)， 宇津戸川流域=(8，6)， 神崎川流域=(8，2.7)， 手綱川流域=(9，4.6)	－
	神石高原町	天田川流域=5.7，成羽川流域=25.8, 高光川流域=8.3，牧川流域=5.2, 阿下川流域=9.9，安田川流域=6.4, 仁吾川流域=6.8，小田川流域=12, 帝釈川流域=21.4，福枡川流域=14.9	天田川流域=(5，5.7)， 高光川流域=(7，6.6)， 牧川流域=(7，4.2)， 安田川流域=(7，5.1)， 仁吾川流域=(7，5.4)， 小田川流域=(7，9.6)	－
東広島・竹原	竹原市	賀茂川流域=12，本川流域=4.5	賀茂川流域=(5，8.5)	－
	東広島市	東川流域=7.1，沼田川流域=19.8, 椋梨川流域=7.1，入野川流域=11.2, 宇山川流域=4.6，造賀川流域=5.8, 入寺川流域=5.3，黒瀬川流域=19.2, イラスケ川流域=6.4，松板川流域=7.6, 古河川流域=10.8，木谷郷川流域=7.4, 三津大川流域=8，高野川流域=7.1, 番蔵川流域=3，光路川流域=4.2, 霜降川流域=3.8，大谷川流域=6.4, 半尾川流域=4.8，中川流域=5.4, 原比川流域=4.9，半川流域=4.7	沼田川流域=(7，14.5)， 椋梨川流域=(7，5.7)， 入野川流域=(7，9)， 宇山川流域=(7，3.7)， 造賀川流域=(7，4.6)， 入寺川流域=(5，5.3)， 黒瀬川流域=(7，15.4)， イラスケ川流域=(5，6.4)， 松板川流域=(5，7.6)， 三津大川流域=(7，6.6)， 高野川流域=(5，7)， 番蔵川流域=(5，3)， 光路川流域=(5，4.2)	－
	大崎上島町	原田川流域=4.7，原下川流域=3.9	－	－
備北	三次市	神野瀬川流域=20.9，馬洗川流域=26.4, 北溝川流域=6.1，上村川流域=3, 板木川流域=8.7，永屋川流域=3, 布野川流域=11.8，中郷川流域=3.9, 吸谷川流域=5.7，西城川流域=38.6, 国兼川流域=9.2，美波羅川流域=19.3, 飯田川流域=6.3，吉原川流域=9, 上下川流域=25.9，抜湯川流域=3.2, 宇賀川流域=4.8，友森川流域=4, 小童川流域=5.6，長田川流域=5.1, 片野川流域=3，矢井川流域=5.4, 山福田川流域=4.8	江の川流域=(5，44.6)， 神野瀬川流域=(7，16.5)， 馬洗川流域=(5，26.4)， 北溝川流域=(6，4.9)， 上村川流域=(5，3)， 板木川流域=(5，8.7)， 永屋川流域=(5，3)， 布野川流域=(5，11.8)， 中郷川流域=(5，3.6)， 吸谷川流域=(6，4.6)， 西城川流域=(5，32)， 国兼川流域=(6，9.2)， 美波羅川流域=(6，15.4)， 飯田川流域=(6，5)， 吉原川流域=(6，7.2)， 上下川流域=(6，20.7)， 抜湯川流域=(6，2.6)， 宇賀川流域=(5，4.8)， 友森川流域=(6，3.2)， 小童川流域=(6，4.5)， 長田川流域=(5，5.1)， 片野川流域=(5，3)， 矢井川流域=(5，5.4)， 山福田川流域=(6，4.1)	江の川上流[吉田・粟屋・尾関山]， 神野瀬川[神野瀬川]， 馬洗川[南畑敷]， 西城川[三次]

（別表4）洪水注意報基準

令和4年3月24日現在

市町村等をまとめた地域	市町村等	流域雨量指数基準	複合基準*1	指定河川洪水予報による基準
	庄原市	神野瀬川流域=11.2，奥門田川流域=7.3， 和南原川流域=4.7，西城川流域=17.3， 竹地川流域=8.8，萩川流域=9， 湯木川流域=7.2，比和川流域=11.8， 布見川流域=5.2，比和谷川流域=4.9， 川北川流域=11.2，大津恵川流域=6， 戸郷川流域=5.2，大屋川流域=6.8， 八鳥川流域=4.9，小鳥原川流域=8.3， 国兼川流域=5.4，本村川流域=10， 田総川流域=13.3，帝釈川流域=9.9， 成羽川流域=18，戸宇川流域=6， 内堀川流域=5.9，道後川流域=5.6， 持丸川流域=7.6	神野瀬川流域=(7，11.2)， 奥門田川流域=(5，7.3)， 和南原川流域=(8，3.8)， 西城川流域=(8，17.3)， 竹地川流域=(8，8.8)， 萩川流域=(9，9)， 湯木川流域=(7，6.4)， 比和川流域=(8，11.8)， 布見川流域=(7，5.2)， 比和谷川流域=(5，4.9)， 川北川流域=(5，11.2)， 大屋川流域=(8，6.8)， 八鳥川流域=(9，4.9)， 小鳥原川流域=(5，7.7)， 国兼川流域=(5，5.4)， 田総川流域=(5，13.3)， 帝釈川流域=(5，9.9)， 成羽川流域=(7，18)， 戸宇川流域=(7，6)， 内堀川流域=(7，5.9)， 道後川流域=(8，4.5)， 持丸川流域=(5，6.9)	ー
芸北	安芸高田市	長瀬川流域=14.2，生田川流域=12.9， 大土川（向原町）流域=8.8， 本村川流域=12.6，戸島川流域=9.1， 多治比川流域=8.1，簸ノ川流域=8.8， 田草川流域=6.4，奈良谷川流域=3.1， 三篠川流域=14.5，見坂川流域=8.8， 大土川（甲田町）流域=4，篠原川流域=5.6， 式敷川流域=4.3，用地川流域=3.5， 福田川流域=4.3，房後川流域=5.9， 宮迫川流域=4.2，茂谷川流域=3.5， 叶口川流域=3.9，桑田川流域=5.5， 馬の谷川流域=3.1，二重谷川流域=4， 上河内川流域=4.9，小谷川流域=3.8， 竹ノ内川流域=3.1，火の谷川流域=3.2， 金口川流域=4.9，室坂川流域=4.1， 於手保川流域=4，河内川流域=3.9， 後相生川流域=3.6，高地川流域=4.4， 油川流域=3.9，砂田川流域=3.9， 山田川流域=3.9，根谷川流域=8， 有坂川流域=4.5	江の川流域=(5，25.2)， 長瀬川流域=(5，12.2)， 生田川流域=(5，12.7)， 大土川（向原町）流域=(6，7)， 本村川流域=(5，11)， 戸島川流域=(5，7.1)， 多治比川流域=(5，8.1)， 簸ノ川流域=(5，8.8)， 田草川流域=(5，6.4)， 奈良谷川流域=(5，3.1)， 三篠川流域=(5，14.4)， 見坂川流域=(5，8.8)， 大土川（甲田町）流域=(5，4)， 桑田川流域=(5，5.2)， 山田川流域=(5，3.5)	江の川上流［吉田・粟屋・尾関山］
	安芸太田町	滝山川流域=28.2，筒賀川流域=8.4， 田吹川流域=4.2，柴木川流域=18.9， 松原川流域=7.7，西宗川流域=17.7	太田川流域=(5，29.3)， 筒賀川流域=(8，6.7)， 田吹川流域=(7，4.2)， 柴木川流域=(5，17.6)， 松原川流域=(5，7.3)	太田川上流［土居・加計・飯室］
	北広島町	江の川（川井地区）流域=24，出原川流域=7.5， 志路原川流域=12， 江の川（大朝地区）流域=14.5， 冠川流域=9.1，寺原川流域=6.8， 小河内川流域=3，西宗川流域=6.7， 滝山川流域=10.7，柴木川流域=7.8， 根谷川流域=5.3，都志見川流域=4.6， 大佐川流域=10.1，空城川流域=4.4， 才乙川流域=5.2	江の川（川井地区）流域=(9，24)， 出原川流域=(5，7.5)， 志路原川流域=(8，9.6)， 江の川（大朝地区）流域=(8，11.6)， 冠川流域=(8，7.3)， 寺原川流域=(8，6.8)， 小河内川流域=(8，2.4)， 西宗川流域=(8，5.4)， 滝山川流域=(8，8.6)， 柴木川流域=(5，7.8)， 根谷川流域=(8，4.2)， 都志見川流域=(8，3.7)， 大佐川流域=(5，10.1)， 空城川流域=(8，3.5)， 才乙川流域=(8，4.7)	ー

*1 （表面雨量指数，流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

11. 公　　園　　編

目　　次

降雨・台風による災害対策フロー（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・　11- 1

国営備北丘陵公園体制発令基準の目安・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11- 3

国営備北丘陵公園の異常気象等による開・閉園判断目安・・・・・・・・・・・・・・・　11- 4

国営備北丘陵公園閉園の判断についての指示系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11- 8

風水害及び地震時の連絡体制（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11- 9

事故発生時の連絡体制（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-12

情報伝達フロー（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-14

通信関係（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-16

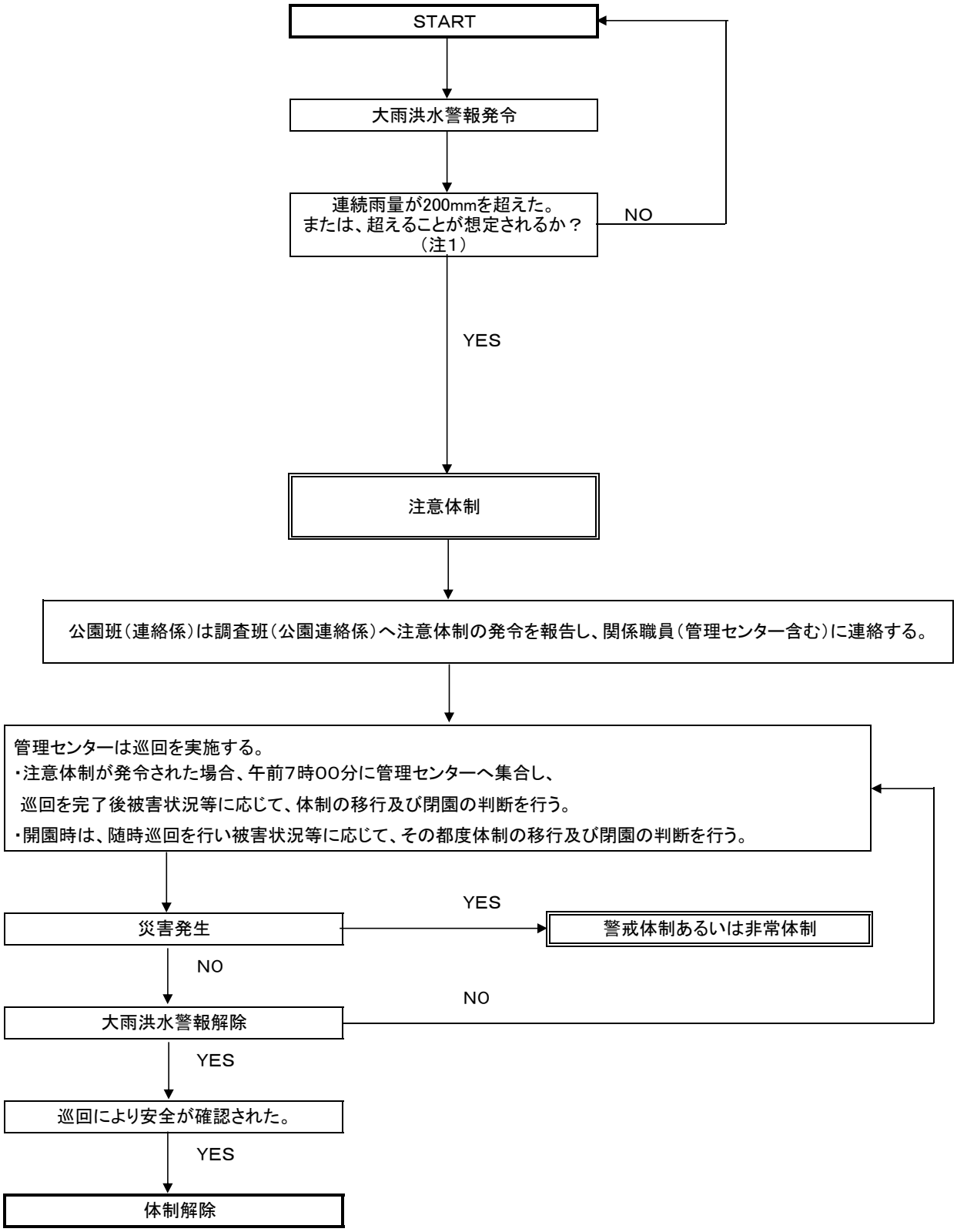
地震に関する事項（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-17

災害対策に関する事項（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-19

体制時初期点検ルート（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-28

災害時点検箇所リスト（国営備北丘陵公園）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11-29

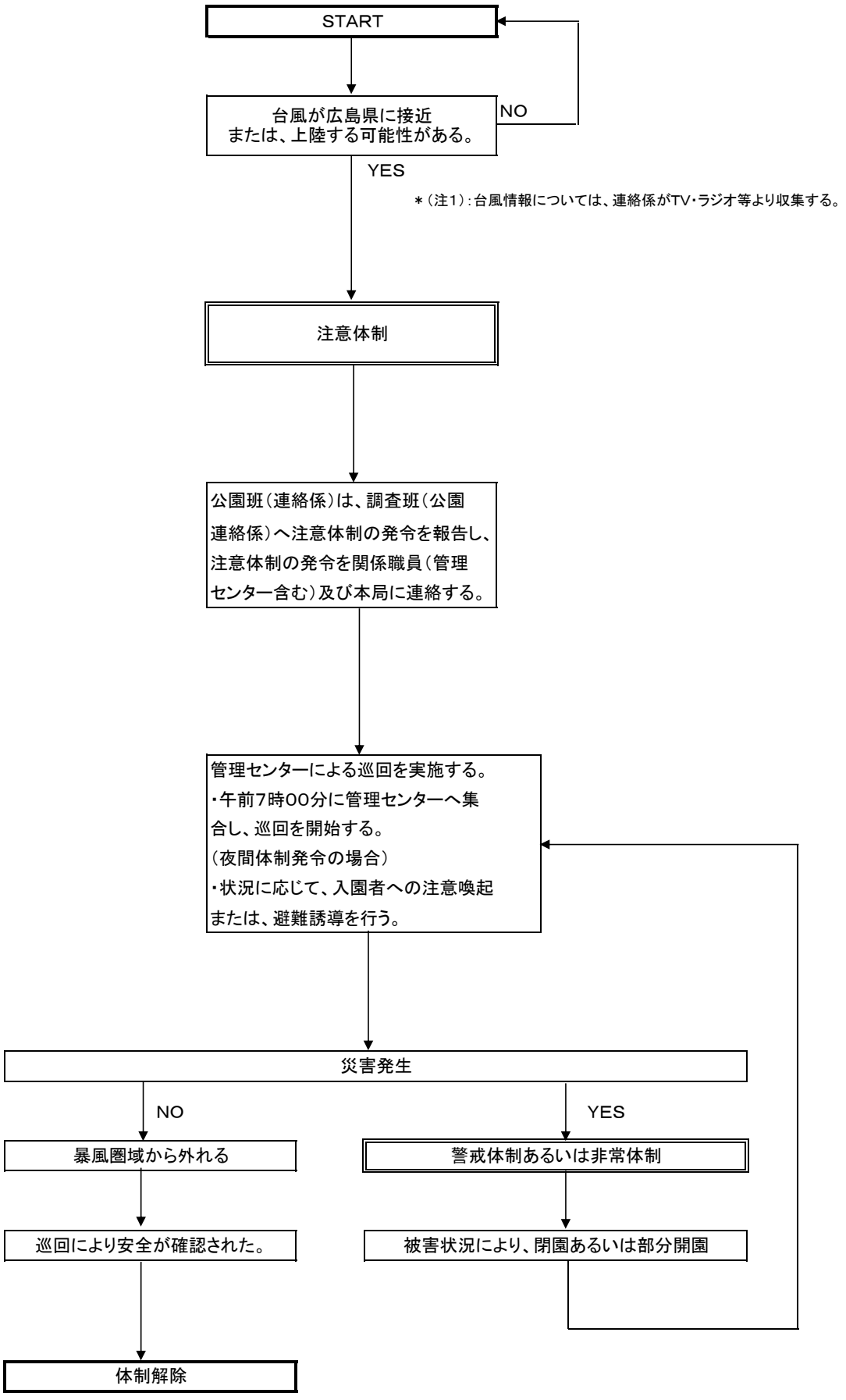
降雨による災害対策フロー（国営備北丘陵公園）



＊（注1）：雨量は、アメダス庄原観測所（庄原市東本町（広島気象台設置））の雨量

※大雨警報発令等、気象庁発表の気象情報については連絡係が情報収集を行う。

台風による災害対策フロー（国営備北丘陵公園）



国営備北丘陵公園体制発令基準の目安

【１】発令基準の目安

【注意体制２】
①大雨洪水警報が発令され、公園内において災害発生の恐れがある場合

注意体制２の**災害発生の恐れがある場合**の目安としては、以下を参考にしつつ、現地の状況等を踏まえ判断するものとする。

【注意体制２】①の目安

１）大雨洪水警報が発令され、連続雨量が２００mmを超えることが想定される場合

※アメダス庄原観測所（庄原市東本町（広島気象台設置））の雨量データを基本
※連続雨量２００mmについては、三次管内の道路の事前通行規制の基準を準用
道路の法面よりも公園の緩やかな地形からすると安全性は高いと思われるが、１つの目安とする。（３時間以内で時間雨量が２mm以下の場合リセット）

国営備北丘陵公園の異常気象等による閉・開園判断目安

【１】閉園の判断について

公園の閉園の判断については、公園利用者の安全並びに財産の確保のため閉園が必要とされる場合、公園管理者の決定に基づき公園の全部又は一部の区域を閉園するものとする。

具体的には、以下を目安として判断するものとする。

（１）開園時間内及び開園時間外の場合

①風水害

・開園時間中に台風経路図［気象庁］の暴風警戒域に含まれることが予報され、かつ開園時間中に台風の暴風域に入る確率［気象庁」が５０%以上となった場合

・庄原市に大雨洪水警報が発令され、連続雨量が２００mmを超過した場合（連続雨量２００㎜は、三次管内の道路の事前通行規制の基準を準用。道路の法面よりも公園の緩やかな地形からすると安全性は高いと思われるが、一つの目安とする。（連続雨量は、時間雨量２㎜以下が３時間でリセット））

・園路への土砂流出や施設の損壊等により、開園に支障となる災害が発生した場合。

（開園に支障が出る災害の事例）

・自動車園路への土砂流出や法面崩落等

・建物への法面崩落等による損壊等

・庄原市が三日市町、上原町、七塚町、戸郷町のいずれかに避難情報（警戒レベル４（避難指示）以上）を発表した場合

②地　震

・当該地域（庄原市中本町、同総領町、三次市三良坂町のいずれか）で震度４以上の地震が発生し、園路への土砂流出や施設の損壊等開園に支障となる災害が発生した場合

・当該地域で震度４以上の地震が発生し、点検により地震によるクラック等の被災が園内各所で確認され、広範囲に災害発生の恐れがある場合

③大　雪

・庄原市に「大雪警報」が発令され、公園内の積雪が３０ｃｍを超えるとき、又は今後も降雪が継続し積雪３０ｃｍを超える可能性が高い場合

④その他災害

【火災】

・非常体制の場合（開園時、園内で大規模な火災が発生した場合）

【事故】

・公園内で大規模な交通事故等が発生し、開園に支障となる場合
・公園内で危険物に関する事故又は重大な環境汚染等の可能性がある事故等が発生した場合

【テロ・事件】
・公園内でテロリスト等による爆破、危険物持込等の予告があった場合
・公園内で重大な殺傷事件や施設破壊事件が発生し、救護や捜査活動が継続して行われる場合

⑤その他公園利用者の安全確保のため、三次河川国道事務所（事務所長）、または中国地方整備局（局長）が必要と認める場合

（２）夜間で備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原に宿泊者がいる場合

①風水害
原則（１）と同様であるが、上記事象により備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原宿泊者の安全が脅かされる恐れがある場合

②地　震
原則（１）と同様であるが、上記事象により備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原宿泊者の安全が脅かされる恐れがある場合

③その他災害
【火災】
・非常体制の場合（開園時、園内で大規模な火災が発生した場合）
但し、この場合の開園とは、備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原での宿泊者がいる場合を含む）

【事故】
・公園内で大規模な交通事故等が発生し、開園に支障となる場合

【テロ】
・公園内でテロリスト等による爆破予告が発生した場合

【危険物】
・公園内で、危険物に関する事故又は重大な環境汚染等の可能性がある事故等が発生した場合

【２】閉園の指示系統

○ 閉園の流れについては、別紙系統図を基本とし、災害・事故等により三次河川国道事務所（事務所長）の判断により閉園する場合は、三次河川国道事務所（事務所長）が中国地方整備局（建政部長及び整備局長）に報告した上で閉園とする。

○ 但し、社会情勢等の政府方針等により、臨時閉園とする場合は建政部（建政部長）が整備局（局長）に報告する。

○ 但し、公園利用者の安全及び財産の確保が困難となる場合で臨機の措置が必要となる場合は、公園管理センター長の判断により閉園することができるものとする。
この場合、速やかに報告するものとする。

【３】閉園の具体的措置方法

（１）開園時間内の場合

①閉園と判断した場合、速やかに中入口、北入口、熊野口の各ゲート入口部をバリケード又はチェーンで閉鎖するとともに、閉園の理由を入口部に掲示するものとする。（出口はそのままとする）

②園内放送において閉園する旨をアナウンスするとともに、合わせて巡視員の巡視により、公園利用者に個別に声をかけ、周知するものとする。

③駐車場の車の有無や巡視員による巡視により、公園利用者全員が園外へ出たことが確認できた後、出口部をバリケード又はチェーン等で閉鎖する。

④上記①～③にあわせて閉園の記者発表を行う。

⑤記者発表後、関係機関（庄原市、庄原 DMO、備北交通等）に閉園を周知する。

※入園料の払い戻し

原則、払い戻しを実施するものとするが、退園者が多数（数百人単位以上）となり、払い戻しに時間を要することで、利用者の安全及び財産の確保が脅かされるような場合は、払い戻しは行なわないものとする。

（２）開園時間外（通常休園日を含む）の場合

①本来の開園時刻までに閉園の理由を入口部に掲示するものとする。

②上記①にあわせて閉園の記者発表を行う。

③記者発表後、関係機関（庄原市、庄原 DMO、備北交通等）に閉園を周知する。

（３）夜間で備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原に宿泊者がいる場合

①職員は、宿泊者に対し閉園する旨を告知し、退去を促す。

②その際、なるべく安全に宿泊できる施設等の斡旋も合わせて行うが、他の宿泊施設への移動が困難な場合、園内で安全と判断される施設（オートビレッジ管理棟等）へ誘導し保護する。

③翌朝、天候の状況等をもって退去させる。

※夜間の備北オートビレッジ、および湖畔ステイズ庄原のゲートは閉鎖済み。

【４】部分閉園について

○ 公園の開園に支障となるような災害等が発生した場合、災害箇所が限定的であっても他のエリアも被災する可能性が否定できないことから、原則全面閉園とする。

（但し、夜間で備北オートビレッジ、または湖畔ステイズ庄原に宿泊者がいる場合は、既に部分開園となっているため、部分閉園となる。）

【５】開園の判断について

公園利用者の安全並びに財産の確保に支障が無いと判断された場合、公園管理者の決定に基づき公園の全部又は一部を開園するものとする。

具体的には、以下を目安として判断するものとする。

○公園内の点検結果により、今後災害発生の恐れがある異常が確認されていない。 ○被災した箇所がある場合はその復旧が完了し、被災の拡大の恐れがない。 ○気象条件が回復し、今後災害発生の恐れが予想されない。

※被災した箇所がある場合、その箇所の安全確保を行い、かつ利用者動線の状況等を踏まえ、部分開園とする。（エリアの一部閉鎖、園路の部分的閉鎖、施設の一部閉鎖等被災状況を踏まえ判断する）

人が埋まっている可能性がある場合の対応

備北丘陵公園の場合、長大法面は存在しないため土砂崩落による人の生き埋めは想定しがたいが、地震による建物の損壊による可能性が存在する。

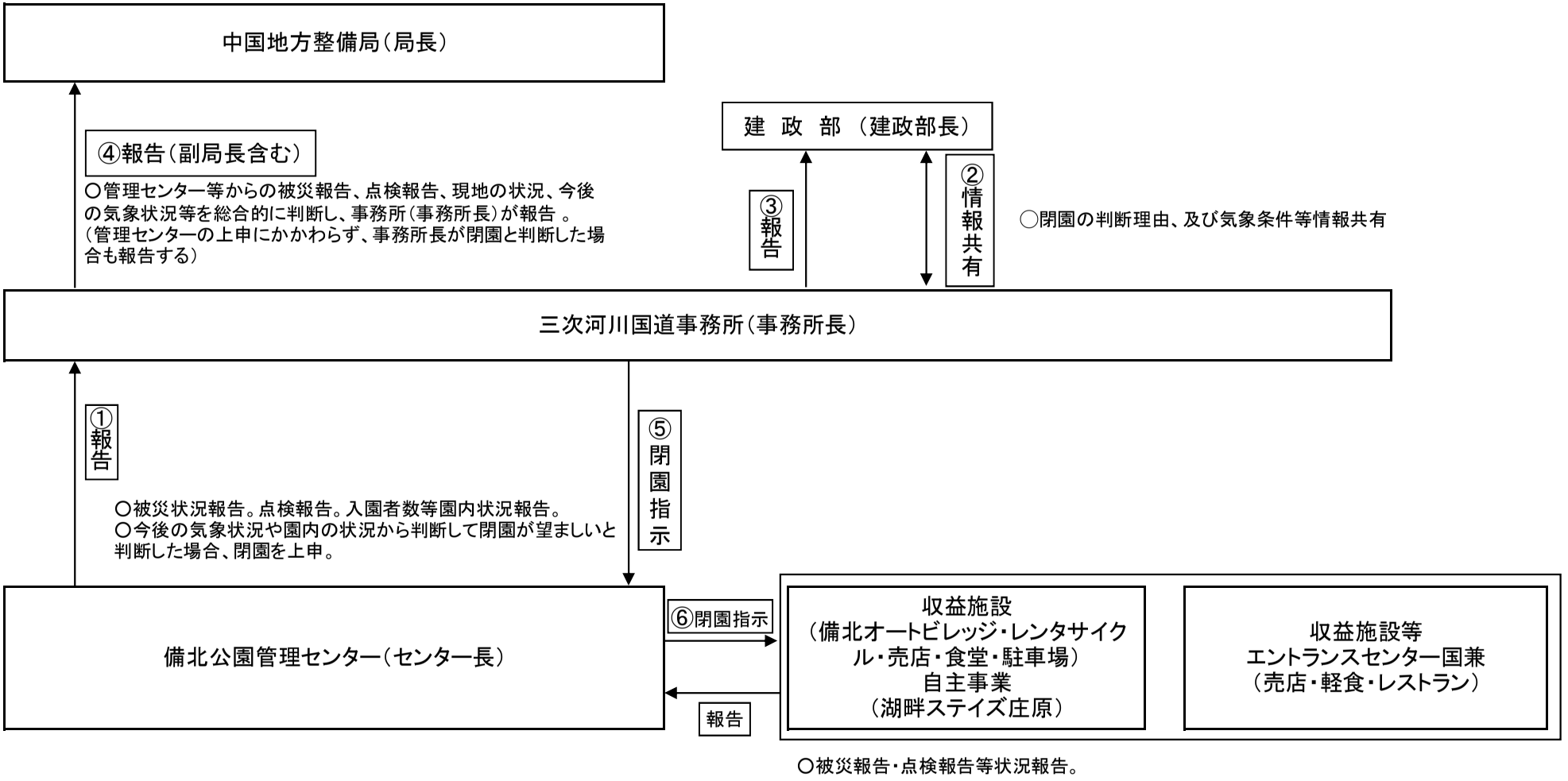
この場合、以下の対応により行動する。

① 緊急連絡体制表により、警察署、消防署に連絡
② 災害協定業者への対応要請（夜間作業で照明車が必要な場合出動要請）

別　図

国営備北丘陵公園　閉園の判断についての指示系統図

【災害・事故等による閉園の場合】

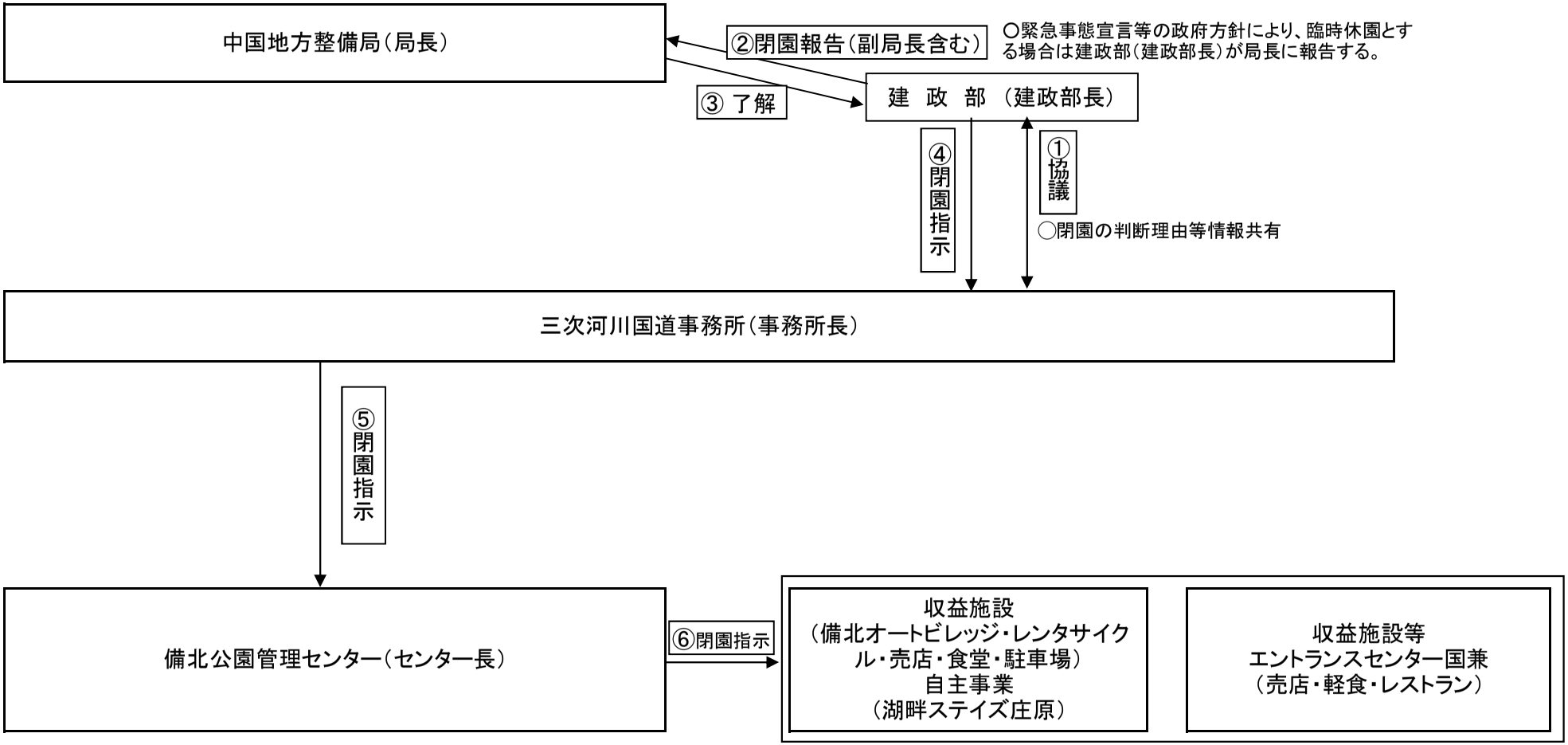


別添－67

別　図

国営備北丘陵公園　閉園の判断についての指示系統図

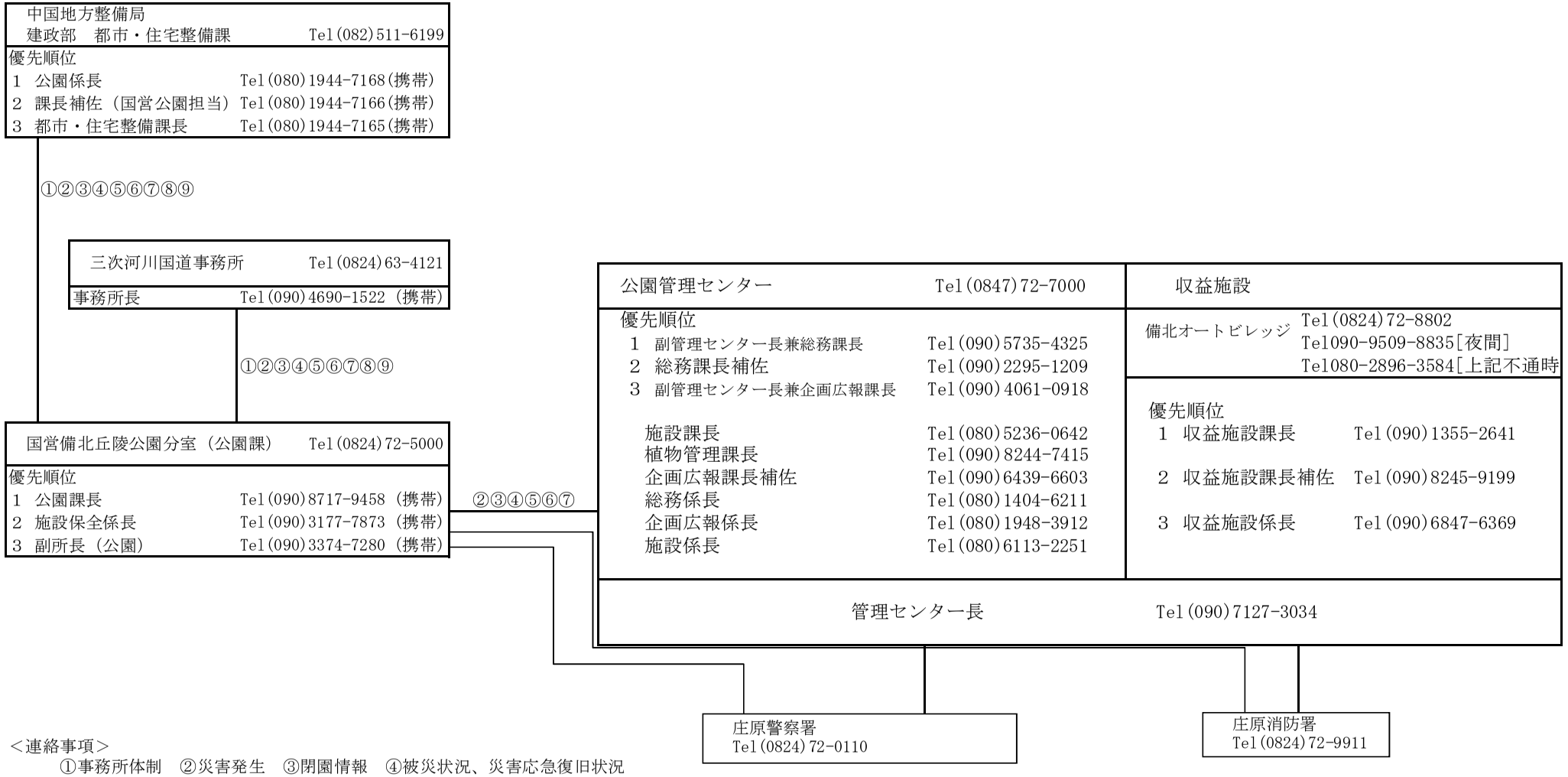
【社会情勢等を踏まえ政府方針等に基づく閉園の場合　（本局の判断が必要な場合）】



風水害及び地震時の連絡体制（国営備北丘陵公園）

１.本部が未設置又は準備体制の場合

（１）本局・事務所が閉庁時間（土日、祝祭日、平日の夜間）の場合



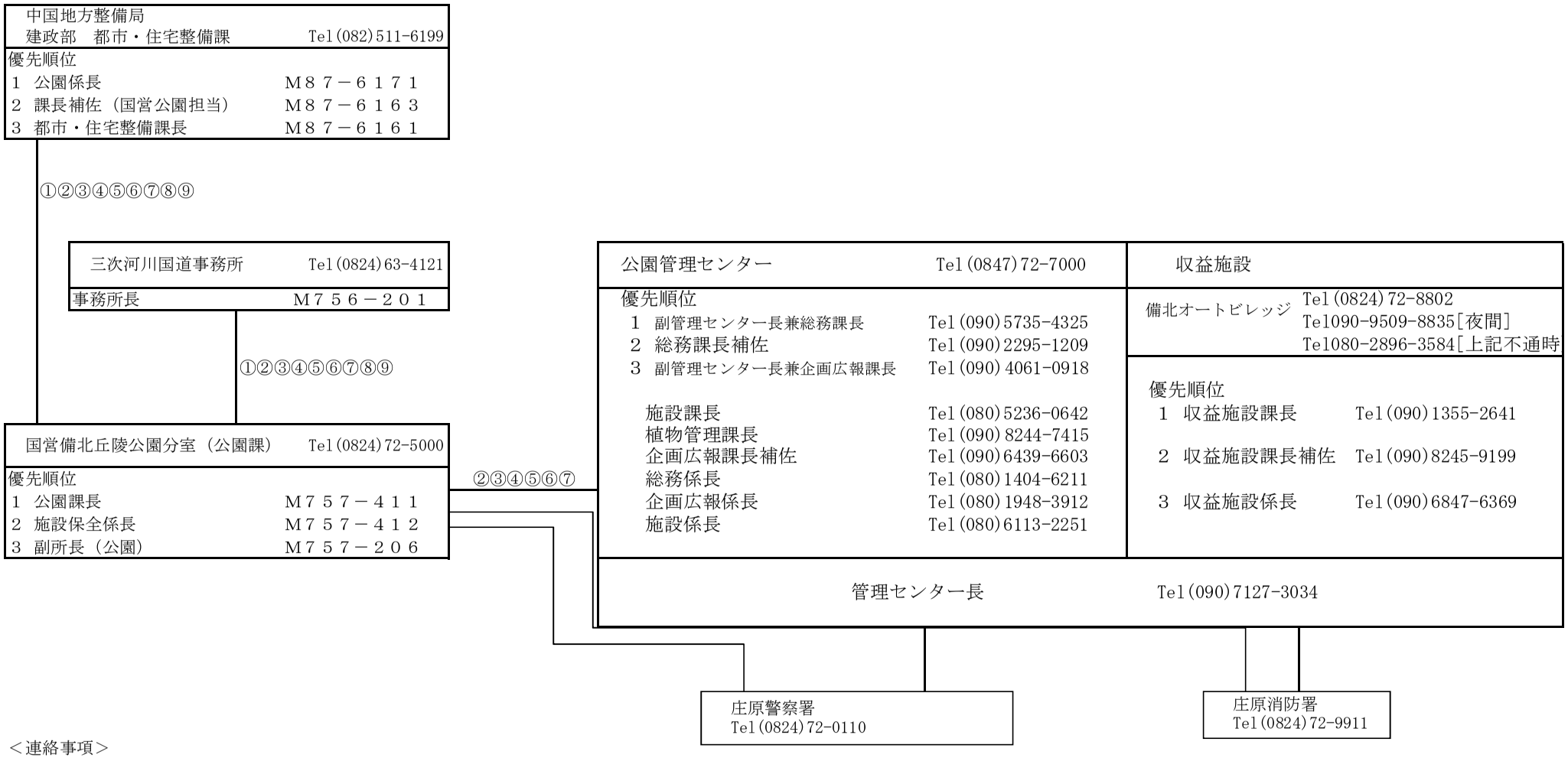
＜連絡事項＞

①事務所体制　②災害発生　③閉園情報　④被災状況、災害応急復旧状況
⑤入園者の避難誘導及び安否について　⑥職員等の安全確認に関すること
⑦公園施設の点検及び災害に関すること　⑧官庁施設の点検及び災害に関すること
⑨通信施設の点検及び災害に関すること

風水害及び地震時の連絡体制（国営備北丘陵公園）

１.本部が未設置又は準備体制の場合

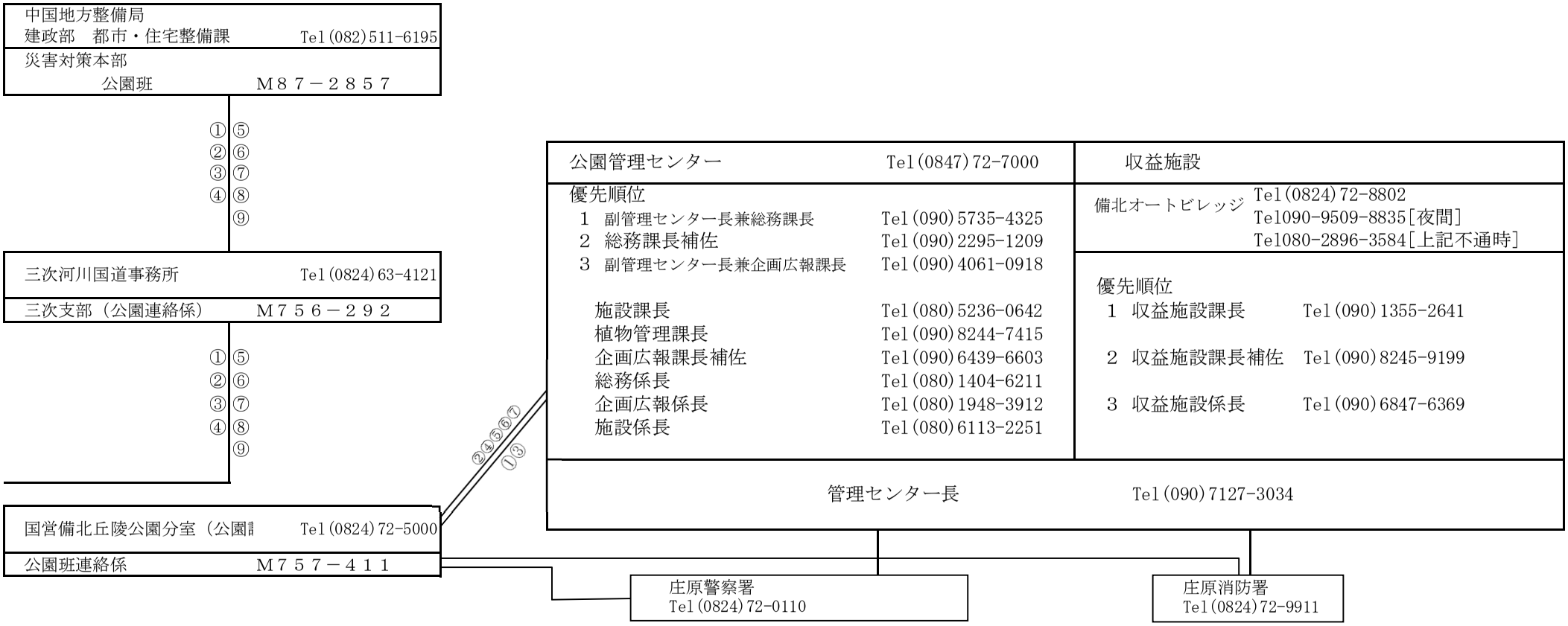
（２）本局・事務所が勤務時間内の場合



＜連絡事項＞

①事務所体制　②災害発生　③閉園情報　④被災状況、災害応急復旧状況
⑤入園者の避難誘導及び安否について　⑥職員等の安全確認に関すること
⑦公園施設の点検及び災害に関すること　⑧官庁施設の点検及び災害に関すること
⑨通信施設の点検及び災害に関すること

風水害及び地震時の連絡体制（国営備北丘陵
２．本部が設置され実施体制に入っている場合

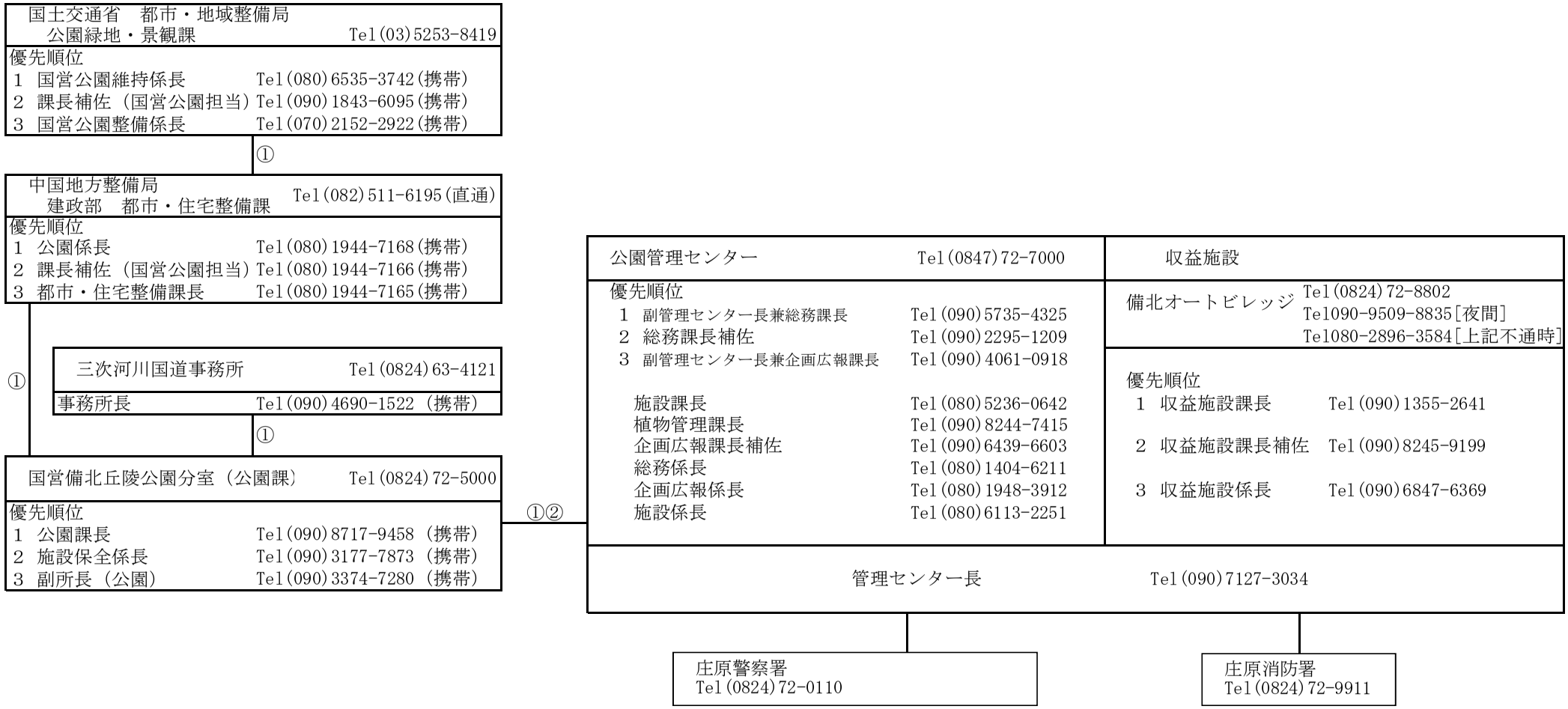


＜連絡事項＞

①事務所体制　②災害発生　③閉園情報　④被災状況、災害応急復旧状況
⑤入園者の避難誘導及び安否について　⑥職員等の安全確認に関すること
⑦公園施設の点検及び災害に関すること　⑧官庁施設の点検及び災害に関すること
⑨通信施設の点検及び災害に関すること

事故発生時の連絡体制（国営備北丘陵公園）

（１）本局・事務所が閉庁時間（土日、祝祭日、平日の夜間）の場合



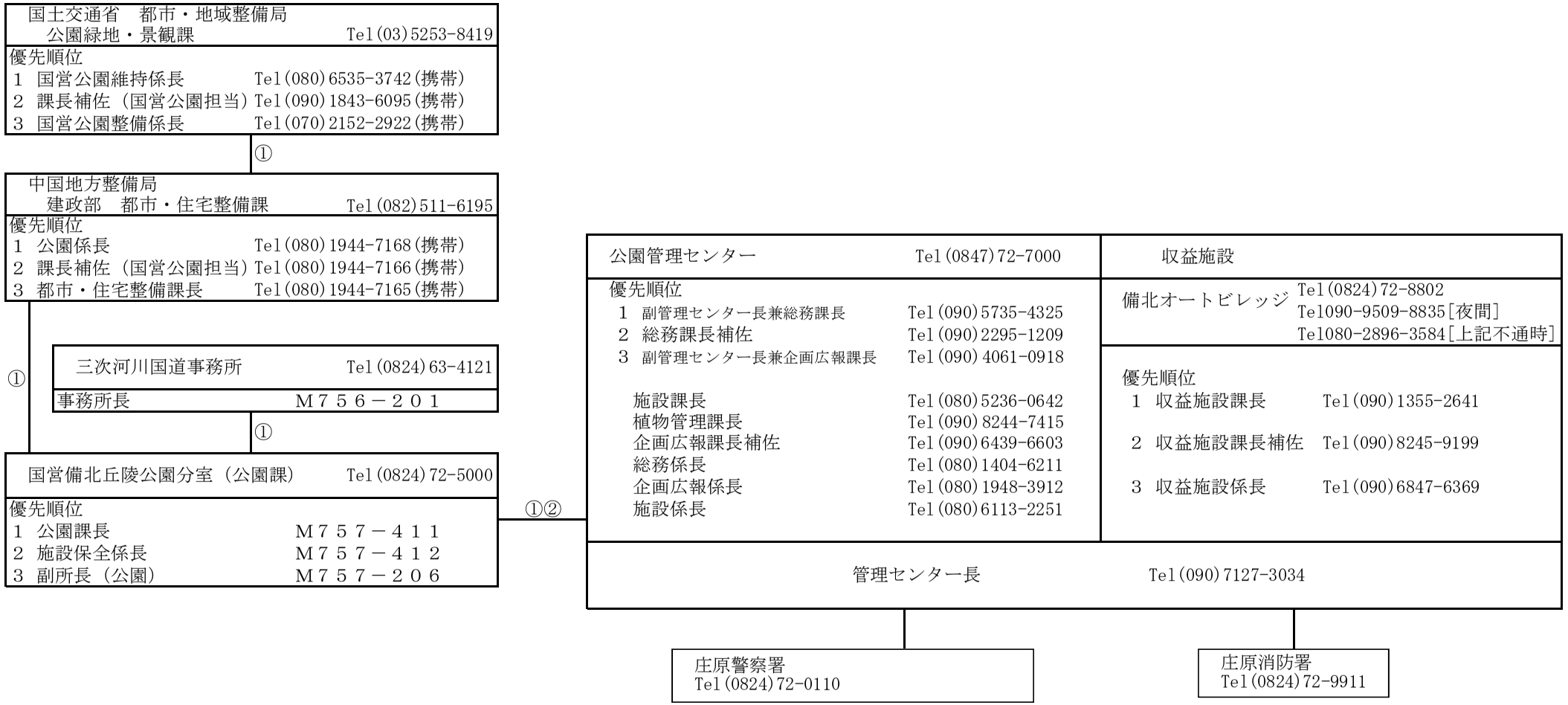
＜連絡事項＞

①緊急時連絡事項
- ・火災　・施設の大規模な損傷
- ・対外的に対処する必要があるとおもわれるもの（刑事事件、マスコミ関連等）
- ・管理瑕疵と思われる事故

②翌日（後日）に報告する事項
- ・①以外の負傷事故が起こった場合
- ・盗難事故　・暴力行為　・不法侵入

事故発生時の連絡体制（国営備北丘陵公園）

（２）本局・事務所が勤務時間内の場合

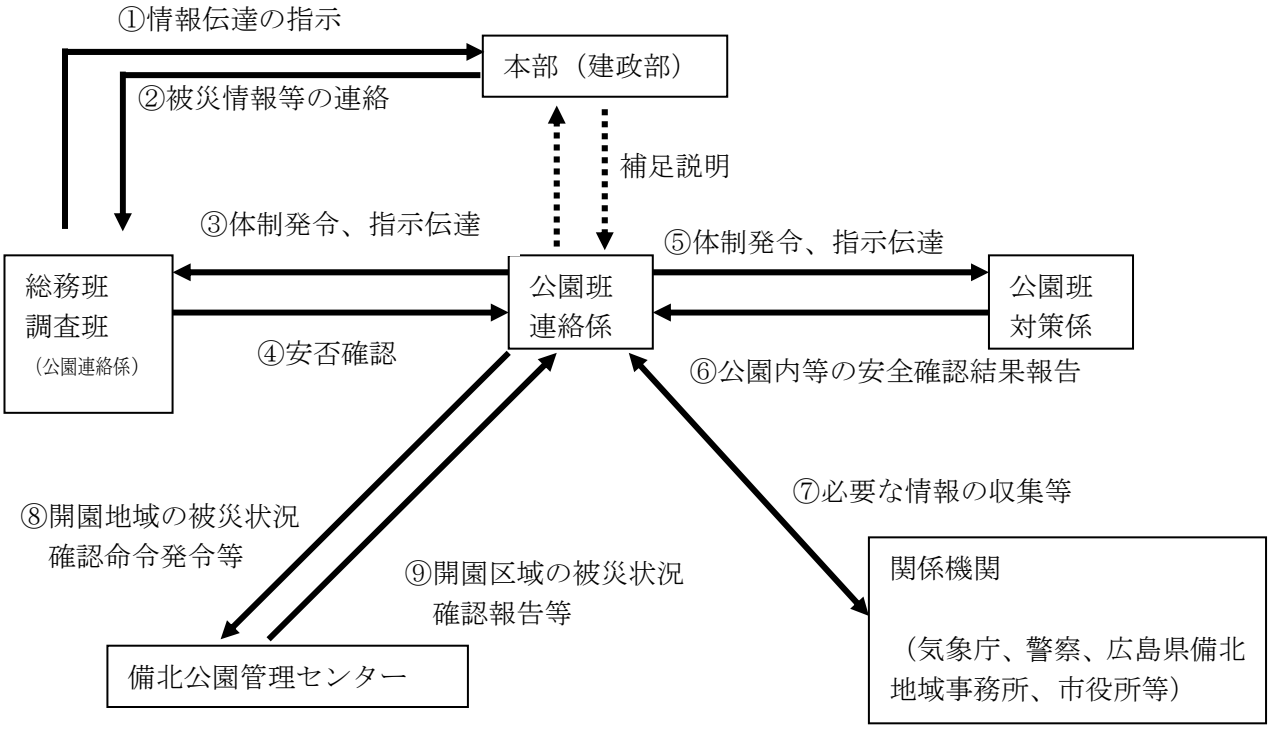


＜連絡事項＞

①緊急時連絡事項
- 火災
- 管理瑕疵と思われる事故
- 施設の大規模な損傷
- 対外的に対処する必要があるとおもわれるもの（刑事事件、マスコミ関連等）

②翌日（後日）に報告する事項
- ①以外の負傷事故が起こった場合
- 盗難事故
- 暴力行為
- 不法侵入

■　**情報伝達フロー（国営備北丘陵公園）**



① 本部（建政部）　→　調査班（公園連絡係）、公園班（連絡係）

- 事務所の体制発令、被災状況等報告書指示
- 公園内施設点検発令
- その他災害対策本部連絡事項の連絡

② 調査班（公園連絡係）、公園班（連絡係）　→　本部（建政部）

- 体制発令の報告
- 被災状況報告
- 施設点検結果報告
- （災害発生の場合）災害箇所応急復旧措置の検討内容報告
- 公園利用者の安否情報報告
- 体制解除の報告

③ 公園班連絡係　→　総務班

- 体制発令
- 本部からの指示伝達
- 体制解除

④ 総務班　←→　公園班連絡係

- 安否確認

⑤ 公園班連絡係　→　公園班対策係

- 体制発令
- 本部からの指示伝達
- 庁舎内外の安全確認・点検結果報告依頼
- 公園予定地被災状況等確認結果報告依頼
- （災害発生の場合）災害箇所応急復旧措置の検討内容報告依頼
- 体制解除

⑥ 公園班対策係　→　公園班連絡係

- 庁舎内外の安全確認・点検結果報告
- 公園予定地被災状況等確認結果報告
- 災害箇所応急復旧措置の検討内容報告

⑦ 公園班連絡係　←→　関係機関

（ア）気象情報の収集（気象庁）

（イ）周辺道路等の被災状況、規制状況、迂回路等の情報収集（広島県備北地域事務所、市役所）

（ウ） 周辺河川等の被災状況等の情報収集（広島県備北地域事務所、市役所）

⑧ 公園班連絡係　→　管理センター

（ア）事務所の体制発令連絡

（イ）開園区域の被災状況確認命令発令

（ウ） 開園区域の公園施設点検命令発令

（エ）（開園時間内の場合）利用者の安否確認指示

（オ）（開園時間内で、被災の可能性が高い、あるいは災害発生の場合）公園の開園指示

（カ）（開園時間外の場合）オートキャンプ場利用者の安否確認指示

（キ）（開園時間外で、被災の可能性が高い、あるいは災害発生の場合）翌日の公園の開園指示

⑨ 管理センター　→　公園班連絡係

（ア）管理センターの体制連絡

（イ）開園区域の被災状況報告

（ウ）開園区域の公園施設点検結果報告

（エ）（開園時間内の場合）利用者の安否確認結果報告

（オ）（開園時間外の場合）オートキャンプ場利用者の安否確認結果報告

通信関係（国営備北丘陵公園）

無線呼出し名一覧表

種　別	呼出し名称	摘　　要
事務所	建設備北	
車　載	建設備北１	エクストレイル
携　帯	建設備北５１	
携　帯	建設備北５２	
携　帯	建設備北５３	備北管理センター
携　帯	建設備北５４	備北オートビレッジ

地震に関する事項（国営備北丘陵公園）

１．地震時の初動体制

地震時の初動体制については、中国地方整備局制定「地震時初動マニュアル」によるものとする。

１）勤務時間内

勤務時間内においては、発令基準に基づいてすみやかに支部体制に入る。

２）勤務時間外

勤務時間外の地震発生に際しては、テレビ・ラジオ等で発表される気象庁の示す震度により、下表のとおり参集し、支部体制に入る。

ケース	気象庁発表の震度	参　集　者	備　　考
1	3	翌日時間内等に対応	
2	４以上	公園課内参集可能者全員	

２．避難等

地震時における職員等の避難は、別紙「避難等要領」に基づき行動する。

３．諸施設の点検

地震時の庁舎等の諸施設の点検は、中国地方整備局の定める「地震時における諸施設等点検要領（案)」に基づき実施する。

別紙

避　難　等　要　領

（目的）

第１条　本要領は、地震発生時における迅速かつ安全な避難及び避難後の速やかな安全確認を目的とする。

（安全確保）

第２条　地震が発生した場合、職員及び業務委託従事者（以下「職員等」という。）は机の下に身を隠すなどの身の安全確保を図る。

（火災防御）

第３条　職員等及び火気責任者は直ちに身辺、湯沸場等の火気の始末を行い、火災発生の防止に努める。

（避難）

第４条　職員等は、地震発生状況をみて避難を開始する。

２、避難の際は、誘導責任者の指示に従い避難するものとする。

３、誘導責任者は、次に掲げる者とする。

公園課　施設保全係長

（避難場所）

第５条　避難場所は、公園課駐車場とする。

（安全確認）

第６条　避難後は、所属長は直ちに職員等の安全確認を行い、避難状況（別紙様式）を安全確認責任者に報告する。なお、所属長不在の場合は建制順位による。

２、指定された場所に避難できなかった職員等は、何らかの方法で所在を速やかに所属長に報告するように努めなければならない。

３、業務時間外においては、職員は避難後何らかの方法を講じて、近くの職員間で連絡を取り合い、所在を所属長へ報告するように努めなければならない。なお、その場合には家族の安否も併せて報告するものとする。

４、安全確認責任者は各課の避難状況を集約し、災害対策本部へ報告するものとする。

（安全確認責任者）

第７条　安全確認責任者は、事務所長とする。

なお、安全確認責任者不在の場合は建制順位による。

災害対策に関する事項（国営備北丘陵公園）

（目的）

対策係は風水害、地震時等における開園区域の巡視を随時行い被災箇所の調査、対策を行う。

（体制）

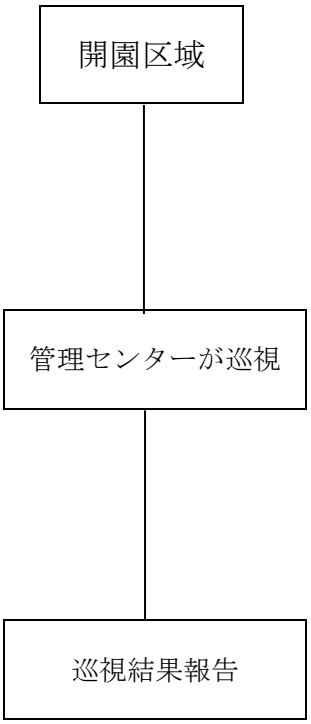
体制については別紙－Ａによるが、状況に応じ臨機に対応するものとする。

（報告）

巡視結果は適宜、公園課（公園班長）へ報告する。

■　風水害時における巡視

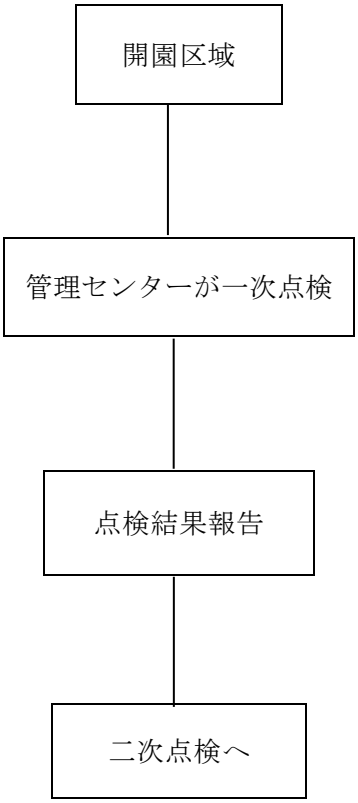
対策係



①巡視範囲
　別紙－Ａにより巡視する。
②巡視内容
　管理センターは、別紙Ａ－１，Ａ－２、Ａ－３及び別紙－Ｂにより点検を実施する。
③報告
　管理センターは、適宜、公園課（公園班長）へ報告する。

■　地震時における巡視

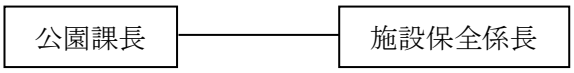
対策係



①巡視範囲
　別紙－Ａにより巡視する。
②巡視内容
　管理センターは、別紙Ａ－１，Ａ－２、Ａ－３及び別紙Ｄ、別紙Ｅ－１、Ｅ－２により点検を実施する。
③報告
　管理センターは、適宜、公園課（公園班長）へ報告する。

別紙－Ａ

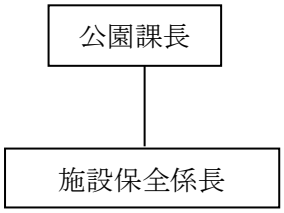
対策班　召集連絡体制



＊連絡がつかない場合は下位へ行うこと

＊地震時（震度４以上）は連絡がとれない場合が想定されるので中国地方整備局制定「地震時初動マニュアル」による。

対策班　巡視連絡体制



＊各班の班長は適宜連絡を入れること。（時間、場所、状況等）

＜公園施設＞
別紙Ｂ

風水害点検項目表

項目	点検項目	内容
路面	路面、構造物付近	クラック、陥没、段差の状況
路肩	路肩	クラック、陥没、段差、ガードレール等の状況
法面	切土部、盛土部	クラック、崩壊、落石等の状況
橋梁	（イ） 床板、橋面舗装、高欄 （ロ） 伸縮継手、支承部 （ハ） 下部工、護岸	亀裂、破損 破損、沓座のずれ、アンカー等の状況 下部工の傾斜、沈下等の状況
擁壁工、護岸	擁壁、護岸	亀裂、はらみ出し、滑動、沈下等の状況
横断施設	BOX、地下道	階段と本体との付根等の状況、沈下、ずれ、傾斜等の状況
建物	建物本体、外構等	別紙Ｃ参照
その他	遊具	破損等の状況
	照明、標識、外周柵　」	倒壊、落下、沈下等の状況
	マンホール	沈下、蓋の落込み、変形等の状況
	樹木	倒木等の状況
	通信施設	回線状態（通話確認）の状況
	調整池、ため池	漏水、クラック、陥没、段差の状況
	占用物件	通行に支障の状況
	その他	

別紙Ｃ

国営備北丘陵公園分室　支部状況報告用紙（営繕）

支部長	副支部長			班長				担当者	整理済

題目	支部状況報告第　　号		
施設名		構造・規模	
所在地		方法	FAX　・　ﾏｲｸﾛ
発信	平成　年　月　日　時　分	受信	平成　年　月　日　時　分

人的被害の有無		○無	○有（死者　人、負傷者　人）		
建築等の沈下		○無	○有（建物　cm、地盤　cm）		
建物全体の傾斜		○無	○傾斜小	○傾斜大	
建内への浸水		○無	○有（床上　cm、地下室・ﾋﾟｯﾄの床上　cm）		
部位等		**被害状況**			
外構	門、塀	○ひび割れ	○開閉が不自由	○破損、転倒	
	構内舗装	○亀裂小	○亀裂大	○陥没	○冠水
	排水桝	○排水不良	○沈下（約　cm）		
	電柱、外灯、樹木	○ランプの破損 ○傾斜小	○不点灯 ○傾斜大	○破損、転倒 ○転倒	
構造体	柱	○ひび割れ	○表面剥離	○鉄筋が露出	○鉄筋が屈曲
	梁	○ひび割れ	○表面剥離	○鉄筋が露出	○鉄筋が屈曲
	外壁	○ひび割れ	○表面剥離	○鉄筋が露出	
	内壁	○ひび割れ	○表面剥離	○鉄筋が露出	
	庇	○ひび割れ	○表面剥離	○鉄筋が露出	
屋根	屋根	○亀裂小	○亀裂大	○破損	
建具等	天井	○垂下り　○破損	○落下		
	窓	○ガラスの破損	○開閉が不自由	○破損	
	扉	○ガラスの破損	○開閉が不自由	○破損	
設備	照明器具	○ランプの破損	○不点灯	○器具の破損、落下	
	電気室内機器	○警報が鳴る	○配線等の破損	○機器の破損、転倒	
	機械室内機器	○警報が鳴る	○配線等の破損	○機器の破損、転倒	
	屋上機器	○警報が鳴る	○配線等の破損	○機器の破損、転倒	
	エレベーター	○一時停止（20分以内）	○動作不良、停止	○機器の破損	
使用状況等	停電の状況	○一時停止（20分以内）	○長時間停電	○通電不可能	
	冷暖房の状況	○一時停止（20分以内）	○長時間停止	○冷暖房不可能	○漏水
	給水の状況	○一時停止（20分以内）	○長時間断水	○給水不可能	○漏水
	排水の状況	○ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ（20分以内）	○長時間ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ	○排水不可能	
	ガスの状況	○一時停止（20分以内）	○長時間供給停止	○供給不可能	○もれ

その他：（屋根や窓廻りからの室内への漏水や、家具の転倒などがありましたら記入願います）

※この票で建物の点検を行い、被害がない場合は様式総－８のみを営繕班へ送付。

＜公園施設＞

別紙Ｄ

地震時一次点検項目表

項目	点検項目	内容
路面	路面、構造物付近	クラック、陥没、段差の状況
路肩	路肩	クラック、陥没、段差、ガードレール等の状況
法面	切土部、盛土部	クラック、崩壊、落石等の状況
橋梁	（イ）床板、橋面舗装、高欄	亀裂、破損
	（ロ）伸縮継手、支承部	破損、沓座のずれ、アンカー等の状況
	（ハ）下部工、護岸	下部工の傾斜、沈下等の状況
擁壁工、護岸	擁壁、護岸	亀裂、はらみ出し、滑動、沈下等の状況
横断施設	BOX、地下道	階段と本体との付根等の状況、沈下、ずれ、傾斜等の状況
建物	本体、外構等	別紙－Ｃ参照
その他	遊具	破損等の状況
	照明、標識、外周柵	倒壊、落下、沈下等の状況
	マンホール	沈下、蓋の落込み、変形等の状況
	樹木	倒木等の状況
	通信施設	回線状態（通話確認）の状況
	調整池、ため池	漏水、クラック、陥没、段差の状況
	占用物件	通行に支障の状況
	その他	

＜公園施設＞

別紙Ｅ－１

地震時二次点検項目表

項目	点検項目	内容
路面	路面、構造物付近の路面、性状	クラックの状況、変形、陥没状況、局部的な盛上り、目地縁部の破損の状況段差等
路肩	路肩	クラックの状況、変形、陥没状況、段差等
法面	切土部、盛土部	クラック、崩壊等異常の有無、法面における落石の状況、浮石等の状況、法面の保護工、排水工、落石防止工等、法面に設けられた施設の状況
橋梁	（イ）床版、橋面舗装	床版コンクリートの亀裂、橋面舗装の盛上り状況
	（ロ）地覆、高欄	亀裂、高欄の状況、破損変形の有無
	（ハ）伸縮継手	溶接箇所の破損の有無、変形亀裂の有無
	（ニ）支承部	支承の状況、アンカーの状態、変形の有無、支承下コンクリートの亀裂の有無
	（ホ）主構部	主構の状況、曲りの有無、めじれの有無、切損、亀裂、コンクリート桁のクラック等の有無
	（ヘ）下部工	下部工の状況、沈下傾斜の有無
	（ト）その他	護岸の状況 添加物（占用物件等）の状況

＜公園施設＞

別紙Ｅ－２

地震時二次点検項目表

項目	点検項目	内容
擁壁工､護岸	（イ）擁壁	クラック、目地切れ、はらみ出し、滑動等異常の有無
	（ロ）護岸	背面土砂のクラック、空隙の有無、沈下移動の有無
横断施設	BOX、地下道	クラック、沈下等構造物の異常の有無
建物	本体、外構等	官庁施設応急危険度判定表による
その他	遊具	変形、破損等の有無
	照明、標識等、外周柵	ポール、支柱の湾曲、灯具板取り付け部の状況及び破損の有無
	マンホール	マンホールの異常の有無
	樹木	倒木、破損等の有無
	通信施設	回線異常の有無
	調整池、ため池	亀裂、沈下、すべり崩壊、ゲート、構造物等の異常の有無
	占用物件	占用者による点検結果の確認
	（占用者に対する指導）	緊急時の機動体制の確認
	その他	

体制時初期点検ルート（国営備北丘陵公園）

別紙Ａ

第１班

第２班

第３班



提供施設一覧表（建築物）

エリア名	公園施設名	構造	規格
中の広場センターエリア	トイレ棟（花の広場）	RC造	1F_111.98m2
	展望台	S造	2F367.1m2
	ログハウス	木造	2F_115.87m2
	トイレ棟（第2駐車場）	RC造	1F_96.25m2
	ビジターセンター	RC造	2F_1321.00m2
	中入口サイクリングセンター	S造	1F_192.00m2
	中入口料金所	S造	1F_8.10m2
	トイレ棟（第1駐車場）	RC造	1F_96.25m2
	調整池浄化施設	S造	1F_67.45m2
	シルバーカー置き場	S造	1F_68.93m2
	中入口食堂「中の茶屋」	木造	2F_227.42m2
	上水施設	S造	1F_65.91m2
	汚水処理施設	RC造	1F_105.44m2
	大型駐車場休憩所	木造	1F_52m2
ひばの里	神楽殿・参集殿	木造	1F_272.44m2
	工房2（木工房）_作業場	木造	1F_124.53m2
	工房2（木工房）_小屋	木造	1F_48.56m2
	電気室	RC造	1F_33.00m2
	工房1（やきもの工房）	木造	2F_182.45m2
	工房3（たたら工房）_炭焼き小屋1	木造	1F_33.27m2
	工房3（たたら工房）_炭焼き小屋2	木造	1F_22.81m2
	工房3（たたら工房）_鉄工房1	木造	1F_153.99m2
	農家1（下の農家）	木造	1F_166.52m2
	農家2（上の農家）	木造	1F_142.88m2
	農家1（下の農家）_蔵	木造	2F_43.72m2
	水車小屋	木造	1F_24.84m2
	農家2（上の農家）_納屋	木造	1F_38.02m2
	さとやま屋敷_土蔵	木造	2F_46.58m2
	さとやま屋敷_長屋門	木造	2F_131.95m2
	さとやま屋敷_母屋	木造	2F_533.41m2
	さとやま屋敷_米蔵	木造	1F_46.57m2
	さとやま屋敷_納屋1	木造	2F_93.14m2
	さとやま屋敷　納屋2	木造	1F_34.93m2
	さとやま屋敷_お堂	木造	1F_15.52m2
	さとやま展示館	RC造	2F_258.25m2
	倉庫	LS造	1F_197.16m2
	ゴミ集積所	S造	1F_100.00m2
	工房2（木工房）_ｼｬﾜｰ棟	木造	1F_19.31m2
	農家2（上の農家）_漬物倉庫	木造	1F_11.41m2
	工房3（たたら工房）_鉄工房2	木造	1F_74.15m2
	倉庫	LS造	1F_197.16m2
星の里	共同利用施設A-1	木造	1F_131.0m2
	共同利用施設A-4	木造	1F_131.70m2
	共同利用施設A-2	木造	1F_131.70m2
	共同利用施設A-3	木造	1F_131.70m2
	コテージA(1)	木造	2F_81.23m2
	コテージA(2)	木造	2F_81.23m2

エリア名	公園施設名	構造	規格
星の里	備北オートビレッジ管理センター	木造	2F_834.02m2
	コテージD(4)	木造	2F_49.12m2
	コテージB	木造	2F_51.58m2
	コテージC(1)	木造	1F_38.29m2
	コテージC(2)	木造	1F_38.29m2
	コテージC(3)	木造	1F_38.29m2
	コテージ身障者用A	木造	2F_64.08m2
	コテージD(1)	木造	2F_64.08m2
	コテージ身障者用B	木造	2F_49.12m2
	シャワー棟	木造	1F_60.67m2
	コテージD(2)	木造	2F_49.12m2
	コテージD(3)	木造	2F_49.12m2
	コテージD(5)	木造	2F_49.12m2
	コテージD(6)	木造	2F_49.12m2
	コテージD(7)	木造	2F_49.12m2
	コテージD(8)	木造	2F_49.12m2
	プロパン庫	CB造	1F_8.23m2
	木もれびの里トイレ	木造	1F_33.78m2
	コテージC(4)	木造	2F_49.12m2
	コテージC(5)	木造	2F_49.12m2
	備北オートビレッジトイレ	木造	1F_26.30m2
	共同利用施設B	木造	1F_100.00m2
	コテージE	木造	2F_73.95m2
つどいの里	芝生広場休憩所レストラン「湖畔レストハウス」	S造	2F_674.46m2
	大芝生広場便所2	PC造	1F_13.29m2
	プロパン庫	S造	1F_63.05m2
	大芝生広場便所1	PC造	1F_8.86m2
	林間休憩所	S造	1F_157.06m2
	林間休憩所便所	RC造	1F_121.77m2
	林間アスレチック便所	RC造	1F_15.75m2
	クラブハウス_事務所棟	S造	1F_372.00m2
	きゅうの森休憩所	S造	1F_243.00m2
	つどいの里便所1	RC造	1F_110.37m2
	つどいの里便所2	RC造	1F_110.37m2
	つどいの里便所3	RC造	1F_110.37m2
	さくら展望台	木造	1F_72.50m2
	クラブハウス_多目的棟	S造	1F_123.50m2
	堆肥化施設	S造	1F_221.90m2
北入口センターエリア	総合管理事務所	RC造	3F_2916.97m2
	バス車庫	S造	1F_48.95m2
	北入口サイクリングセンター	RC造	1F_517.00m2
	上水施設	S造	1F_56.00m2
	エントランスセンター国兼	RC造	2F(B1F)_3551.74m2
	休憩室	RC造	1F_18.00m2
	北入口料金所	S造	1F_12.00m2
みのりの里	トイレ（みのりの里）	RC造	1F_10.00m2
いこいの森	トイレ（いこいの森）	RC造	1F_9.19m2

※面積は、延べ床面積を示す。

機械器具等（提供物品）

令和3年12月31日現在

No.	品　　名	単位	数量	借用年月日	保管場所	備　考
1	小型貨物自動車	台	1	平成7年3月28日	第5駐車場	
2	発電機	台	1	平成7年3月31日	B駐車場倉庫	
3	消火ホース	本	3	平成7年3月31日	ビジターセンター車庫	
4	自転車	台	2	平成8年3月28日	管理センター駐輪場、思いやり号車庫	
5	イス	脚	2	平成10年2月17日	湖畔レストハウス授乳室	
6	応接セット	組	1	平成10年2月17日	キャンプ場ロビー	
7	応接セット	組	1	平成10年3月27日	湖畔レストハウス授乳室	
8	テーブル	台	1	平成10年3月27日	湖畔レストハウス授乳室	
9	脇机	台	1	平成10年3月27日	湖畔レストハウス授乳室	
10	消防ポンプ	台	1	平成10年10月23日	B駐車場倉庫	
11	卓球台	台	3	平成11年3月25日	クラブハウスＢ棟	
12	会議用テーブル	台	15	平成11年3月30日	キャンプ場研修室	
13	会議用テーブル	台	1	平成11年3月30日	キャンプ場研修室	
14	キャビネット	台	1	平成11年3月30日	キャンプ場研修室	
15	花台	台	1	平成11年3月30日	キャンプ場研修室	
16	ホワイトボード	個	3	平成11年3月30日	キャンプ場研修室	
17	カヌー	艘	2	平成11年4月16日	湖畔レストハウス横カヌー乗場	
18	テレフォンスタンド	台	1	平成11年4月23日	キャンプ場研修室	
19	ディスクゴルフ	個	5	平成11年6月3日	みのりの里臨時駐車場	
20	水屋	台	1	平成11年6月22日	キャンプ場給湯室	
21	テント	個	1	平成11年6月23日	キャンプ場物品倉庫	
22	テント	個	1	平成11年6月23日	キャンプ場物品倉庫	
23	リヤカー	台	3	平成11年6月24日	キャンプ場管理棟横芝生地	
24	中量棚	台	1	平成12年3月10日	キャンプ場物品倉庫	
25	宮太鼓	台	1	平成12年4月13日	ひばの里参集殿	
26	テント	個	14	平成12年5月18日×10	キャンプ場物品倉庫	
27	スピーカー	個	1	平成12年6月28日	キャンプ場研修室倉庫	
28	スピーカー	個	1	平成12年6月28日	キャンプ場研修室倉庫	
29	ＭＤレコーダー	台	1	平成12年6月28日	キャンプ場研修室倉庫	
30	受信機	台	1	平成12年6月28日	キャンプ場研修室倉庫	
31	ピンスポットライト	個	2	平成12年8月7日	キャンプ場管理棟2階	
32	中量棚	台	1	平成12年9月21日	キャンプ場物品倉庫	
33	まきわり機	台	1	平成13年3月7日	キャンプ場倉庫	
34	イス	脚	2	平成13年3月7日	中入口案内所授乳室	
35	パーティション	個	2	平成13年3月7日	ビジターセンター2階	
36	ちり箱	個	1	平成13年3月7日	湖畔レストハウス授乳室	
37	雑教養娯楽用具	台	1	平成13年3月15日	ビジターセンター2階	
38	雑教養娯楽用具	組	1	平成13年3月15日	湖畔レストハウス１階	
39	インキュベーター	台	1	平成18年2月3日	管理センター作業室	
40	リヤカー	台	6	平成18年3月17日	思いやり号倉庫	
41	小型貨物自動車	台	1	平成18年3月20日	管理センター車庫	
42	発電機	台	1	平成19年4月1日	Ｂ駐車場倉庫	
43	プロジェクター	台	1	平成20年3月28日	管理センター会議室	
44	DVD/VHSプレーヤー	台	1	平成20年3月28日	さとやま展示館	
45	ワイヤレスマイク	台	2	平成20年3月28日	管理センター資機材庫	
46	CD/MDコンビネーションデッキ	台	1	平成20年3月28日	管理センター資機材庫	
47	テレビ台	台	1	平成20年3月28日	さとやま展示館展示館	
48	スピーカー	個	2	平成20年3月28日	管理センター資機材庫	
49	モニター	台	1	平成20年3月28日	さとやま展示館	
50	発電機	台	1	平成20年3月31日	管理センター車庫	
51	投光器	台	1	平成20年3月31日	B駐車場倉庫	
52	シュレッダー	台	1	平成20年3月31日	管理センター事務室	
53	イス	個	1	平成20年3月31日	エントランスセンター授乳室	
54	イス	個	2	平成20年3月31日	エントランスセンター授乳室	
55	雑表示用具	個	5	平成20年3月31日	エントランスセンター、思いやり号倉庫	
56	雑表示用具	個	6	平成20年3月31日	エントランスセンター、さとやま展示館	
57	カタログスタンド	個	5	平成20年3月31日	エントランスセンター1階	

令和3年12月31日現在

No.	品　　名	単位	数量	借用年月日	保管場所	備　考
58	幼児用遊具	ｾｯﾄ	1	平成20年3月31日	みのりの里臨時駐車場コンテナ内	
59	机	個	1	平成20年3月31日	エントランスセンター授乳室	
60	ベッド	個	1	平成20年3月31日	エントランスセンター救護室	
61	ベビーベッド	個	2	平成20年3月31日	エントランスセンター授乳室、いこいの森休憩棟	
62	おむつ替台	台	2	平成20年3月31日	エントランスセンター授乳室	
63	ホワイトボード	個	5	平成20年3月31日	ｴﾝﾄﾗﾝｽｾﾝﾀｰ1階倉庫、ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ2階、湖畔ﾚｽﾄﾊｳｽ2階、ｸﾗﾌﾞ ﾊｳｽB棟	
64	会議用テーブル	個	40	平成20年3月31日	ｴﾝﾄﾗﾝｽｾﾝﾀｰ1階倉庫、ｸﾗﾌﾞ ﾊｳｽB棟、さとやま展示館、ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ2階	
65	演台	個	1	平成20年3月31日	エントランスセンター２階倉庫	
66	棚	個	5	平成20年3月31日	エントランスセンター2階倉庫	
67	棚	個	5	平成20年3月31日	エントランスセンター2階倉庫	
68	電動セニアカー	台	4	平成20年3月31日	思いやり号車庫	
69	車椅子	台	15	平成20年3月31日	中入口案内所、エントランスセンター	
70	薬品庫	台	1	平成20年3月31日	エントランスセンター救護室	
71	ピクニックテーブル	台	10	平成20年7月29日	エントランスセンター建物周囲外	
72	ピクニックテーブル	台	31	平成21年3月5日	園内	
73	プランター	個	16	平成21年3月5日	園内	
74	プランター	個	3	平成21年3月5日	園内	
75	電動セニアカー	台	4	平成21年3月13日	思いやり号車庫	
76	ワンタッチイベントテント	個	1	平成21年4月1日	Ｂ駐車場場倉庫	
77	ワンタッチイベントテント	個	1	平成21年4月1日	Ｂ駐車場場倉庫	
78	３７型液晶テレビ	台	1	平成23年2月4日	キャンプ場管理棟ロビー	
79	小型貨物自動車	台	1	平成23年3月3日	管理センター車庫	
80	消防設備	台	3	平成23年3月8日	キャンプ場、中入口、北入口付近	
81	会議用テーブル	台	1	平成23年6月30日	いこいの森休憩棟	
82	パーティション	台	1	平成24年4月1日	いこいの森管理棟	
83	保管庫	台	1	平成24年4月1日	いこいの森管理棟	
84	原動機付自転車	台	3	平成28年4月17日	園内各所	
85	携帯型簡易無線局	台	28	平成23年6月2日	管理センター事務室外	
86	無線基地局	台	1	平成23年6月2日	管理センター事務室	
87	不整地運搬車	台	1	平成26年9月10日	リサイクルセンター	
88	原動機付自転車	台	2	平成27年6月19日	ビジターセンター車庫外	
89	電動カート	台	2	平成28年2月16日	思いやり号車庫	
90	小型貨物自動車	台	1	平成28年11月22日	管理センター車庫	
91	原動機付自転車	台	1	平成29年11月21日	管理センター車庫	
92	ＡＥＤ	台	1	平成29年11月21日	中入口案内所	
93	ＡＥＤ	台	1	平成30年9月27日	クラブハウス、いこいの森	
94	ＡＥＤ	台	1	令和1年7月3日	管理センター、北案内所	

機械器具等（運営維持管理業務委託料で取得した備品）

令和3年12月31日現在

No.	品　名	規　格	借用年月日	保管場所	備　考
1	両袖机	プレジデント	平成7年1月10日	管理センター事務室	
2	シュレッダー	ライオン2270SW	平成7年2月28日	キャンプ場事務室	
3	耐火金庫	ウチダNE-105	平成7年2月28日	管理センター事務室	
4	応接長椅子	ウチダRS-161 387-1612	平成7年3月29日	ビジターセンター2階	
5	パトロールレコーダー	PR-600S	平成7年4月7日	中入口巡視室	
6	耐火金庫	NE-460 ENE	平成7年4月10日	管理センター集計室	
7	薬品戸棚	TS44	平成7年4月11日	中入口救護室	
8	フィールドスコープ	ニコンED2	平成7年4月18日	管理センター書庫	
9	AVテーブル	PM W-1100	平成7年4月20日	管理センター会議室	
10	キッチンケース	OK-36HN	平成7年4月20日	管理センター給湯室	
11	サイドボード	PG-156ST	平成7年4月20日	管理センターセンター長室	
12	プレジデント用書庫	PG-172BT	平成7年4月20日	管理センターセンター長室	
13	鯉幟セット	スタートゴールド7m6点	平成7年4月28日	さとやま屋敷納屋2階	
14	平型図面庫	412-31A05N	平成7年4月28日	ビジターセンター2階書庫	
15	糸ノコ盤	SJ500	平成7年6月14日	ひばの里木工房	
16	システムカウンター	SH-M18A	平成7年7月8日	ビジターセンター2階	
17	糸ノコ盤	SJ500	平成7年8月3日	ひばの里木工房	
18	移動アングル棚一式	ウチダ226-9991	平成7年9月13日	ビジターセンター2階書庫	
19	移動アングル棚一式	ウチダ226-9991	平成7年9月21日	ビジターセンター2階書庫	
20	アンプ	ヤマハA250	平成7年9月19日	ひばの里参集殿	
21	ミキサー	ヤマハMX-200-12	平成7年9月19日	ひばの里参集殿	
22	レシーバー	パナソニックWX-4040	平成7年9月19日	ひばの里参集殿	
23	スピーカー	ローランドRDS-170	平成7年9月19日	ひばの里参集殿	
24	スピーカー	ローランドRDS-170	平成7年9月19日	ひばの里参集殿	
25	応接イス	ウチダ387-1612ブラウン	平成7年9月19日	ビジターセンター2階	
26	移動アングル棚一式	ウチダ226-9991	平成7年9月21日	ビジターセンター2階書庫	
27	ガレージジャッキ	3t用	平成7年12月22日	B駐車場倉庫	
28	高圧洗浄機	RE640W	平成8年3月9日	B駐車場倉庫	
29	パンフレットケース	内田357-8041	平成8年4月27日	管理センター2階ロビー	
30	エアーコンプレッサー	AC4521	平成8年4月27日	中入口サイクリングセンター	
31	デジタル雨量計	B-8020	平成8年7月2日	ビジターセンター2階	
32	雨量計感部	B-011-00	平成8年7月2日	ビジターセンター屋根	
33	除雪機	ホンダHS-760JS	平成9年11月14日	エントランスセンター国兼裏	
34	デリカウォール	VGR-10H	平成9年11月20日	管理センター事務室	
35	バキュームクリーナー	CVC120	平成10年2月24日	湖畔レストハウス1階	
36	ボート	シックスSW-16CFP	平成10年3月31日	北入口サイクリングセンター前	
37	船外機	シーブロ10HP	平成10年3月31日	国兼池	
38	パワーアンプ	P-3200	平成10年3月31日	ひばの里参集殿	
39	グラフィックイコライザー	ヤマハQ2031B	平成10年3月31日	ひばの里参集殿	
40	コンプレッサーリミッター	ヤマハGC2020C	平成10年3月31日	ひばの里参集殿	
41	フィールドスコープ	ニコンED2	平成11年2月24日	管理センター事務室	
42	発電機	デンヨー	平成11年5月18日	キャンプ場倉庫	
43	ファイルキャビネット	SF-12M	平成11年5月27日	北入口案内所	
44	両袖机	コクヨSD-BSE	平成11年6月22日	管理センター事務室	
45	ブルーヒーター	GH-B170F	平成11年11月19日	キャンプ場ロビー、キャンプ場研修室倉庫	
46	デリカウォール	VGB-09PS	平成12年3月30日	ビジターセンター2階	
47	ユニットラック	LR-1200KN	平成13年3月15日	管理センター事務室	
48	シュレッダー	S-270SP	平成13年3月15日	管理センター事務室	
49	マスコットキャラクター着ぐるみ	きゅう・はな	平成13年3月30日	管理センター資機材庫	
50	エンジンチェンソー	E-393型	平成13年11月16日	B駐車場倉庫	
51	システムロッカー	ウチダ3×6型	平成14年1月25日	キャンプ場倉庫	
52	ゼロアブロア	EB4300	平成15年3月18日	B駐車場倉庫	
53	パトロールレコーダー	PR600S	平成15年3月20日	北入口案内所	
54	レジスター	TCM MA-1455	平成15年3月20日	中入口料金所（3ブース）	
55	会議テーブル	オカムラ8189JE-M651	平成15年4月8日	クラブハウス事務室	
56	デリカウォール	ライオンVGB-21H	平成15年4月8日	クラブハウス事務室	
57	ベット	オカムラL860SCP-B711	平成15年4月8日	クラブハウス事務室	
58	回診車	ライオンSB-2GH-M 645-50	平成15年4月8日	クラブハウス事務室	
59	パネルスクリーン	ライオンME153 588-79	平成15年4月11日	クラブハウス事務室	
60	手動式超小型水底掃除機	スイトールミニSP-64	平成17年6月5日	B駐車場倉庫	
61	レジスター	FR-55	平成17年12月6日	中入口案内所	
62	会議テーブル	オカムラ4L31BA-MB05	平成20年2月14日	管理センターセンター長室	
63	レジスター	TCM FR-55	平成20年4月25日	北入口料金所（3ブース）管理センター集計室	
64	ワークテーブル	ｻｶｴ　TWF-189T1	平成24年4月5日	いこいの森管理棟横	
65	LED投光器	エコチェンジ RGRY36ncs*3W	平成24年10月24日	B駐車場倉庫	
66	レジスター	東芝テックMA1550	平成25年4月12日	中入口料金所(1ブース)	
67	薪割機	ｼﾝｸﾞｳ薪割機　PS42NKL	平成25年7月3日	ひばの里　たたら工房	
68	デザインカッター	LION　STIKA SV-15	平成26年5月30日	管理センター集計室	
69	紙折機	LION　LF-821N	平成26年9月9日	管理センター電算室	
70	ラミネーター	日本GBC　GLM470R4	平成27年5月20日	管理センター電算室	
71	映像編集装置	アップル　MacBook Pro with Retina Display MF839J/A	平成27年7月7日	管理センター事務所	
72	電機自動カンナ	マキタ　2012ＮＢ　替刃式	平成28年6月30日	B駐車場倉庫	
73	背負式エンジンブロアー	共立　ＰＢ-780	平成29年3月31日	ひばの里　さとやま屋敷納屋	
74	スノーブラウ	軽トラック用　手動アングルタイプ	平成29年3月31日	B駐車場倉庫	
75	原動機付自転車	ホンダ　タクト　ベーシック(624)	平成29年3月31日	管理センター車庫	
76	レジスター	東芝テック　MA770	平成29年5月30日	中入口料金所(2ブース)、北入口料金所(2ﾌﾞｰｽ)	
77	レジスター	東芝テック　MA770	平成30年4月5日	北入口料金所(1ﾌﾞｰｽ)	
78	テレビ	シャープ　LC-50U45	平成30年4月4日	管理センター事務室	
79	硬貨選別計算機	UMS100	令和1年12月25日	管理センター集計室	
80	硬貨選別計算機	UMS100	令和2年1月28日	管理センター集計室	
81	硬貨選別計算機	UMS100	令和2年3月26日	管理センター集計室	
82	スマートフォン	I poone11 pro	令和2年5月2日	管理センター事務所	
83	紙幣計数機	J-717J	令和2年7月22日	管理センター集計室	
84	ポリエチレン製トイレ	ＧＸ-ＷＣＰ	令和2年8月17日	南臨時駐車場	
85	映像編集装置	アップル　MacBook Pro スペースグレー	令和2年10月9日	管理センター事務所	

令和3年12月31日現在

No.	品　　名	規　　格	借用年月日	保管場所	備　考
86	非接触型自動検知システム	（株）東亜産業　Ｔｈｅｒｍｏ　Ｍａｎａｇｅｒ	令和2年10月24日	管理センター資機材庫	
87	ドローン	Ｐａｒｒｏｔ　ＡＮＡＦＩ　ＴＨＥＲＭＡＩ	令和2年12月1日	B駐車場倉庫	
88	ガスパティオヒーター	SPH1619	令和3年3月4日	管理センター資機材庫	
89	かまどベンチ	ＫＦ-ＯＷＥＢ　かまど3連	令和3年3月20日	エントランスセンター国兼付近	
90	硬貨選別計算機	UMS100	令和3年3月30日	管理センター集計室	
91	ワイヤレスアンプ	TOA WA-2800	令和3年5月20日	管理センター資機材庫	
92	充電式草刈機	MUR368UDG2	令和3年8月25日	ビジターセンター倉庫	
93	非接触手のひら検温器	JSK-NON-T5	令和3年11月13日	管理センター書庫	

国営備北丘陵公園運営維持管理業務実施に要する提供施設等の取扱いについて

業務委託契約書第 15 条に基づく提供施設等については、下記により取り扱うものとする。

記

1. 取り扱い

（1） 運営維持管理業務受託者（以下「乙」という。）は、提供施設等を善良なる管理者の注意を持って使用しなければならない。

（2） 乙は、提供施設等を業務委託契約書第１条の受託業務以外に使用してはならない。

（3） 乙は、提供施設等の維持管理は提供施設等を適正に維持管理しなければならない。
なお、借受日、品名、使用場所、写真等を記載した台帳等を作成し適正な管理を行うこと。

（4） 乙は、提供施設等の修繕、模様替え等の行為（維持のための修繕等で軽微なもの（１件あたり１０万円未満の修繕等）を除く。）をしようとするときは、委託者（以下「甲」という。）の承認を受けなければならない。

（5） 乙の責に帰すべき理由により提供施設等を滅失し又は棄損したときは、乙の負担において補てんし又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合は、この限りでない。

2. 提供物品の取り扱い

（1） 乙は、物品の貸付を受けたときは、借受書（別紙様式第１）を甲に提出しなければならない。

（2） 乙は、業務委託契約が完了した場合、又は解除になった場合は、返納書（別紙様式第２）により、直ちに甲に返納しなければならない。

（3）乙は、物品が故障したときは、故障報告書（別紙様式第３）により、直ちに甲に報告しなければならない。

3. 報告及び検査

（1） 乙は、毎月、提供された機械器具のうち、小型貨物自動車及び原動機付自転車について提供施設等使用実績報告書（別紙様式第４） を翌月末日迄に甲に提出しなければならない。

（2） 乙は、提供施設等を返納する場合、甲の行う検査に合格しなければならない。

4. 提供施設の処分

（1） 提供施設が、その使用年数、能力等から勘案して引き続き使用することが困難な場合、乙の責に帰さない事由等により、老朽化、損傷等により利用価値が無くなったと認められる場合は、廃棄することができる。
廃棄する場合は、その都度書面により甲に協議しなければならない。
廃棄に要する費用は、乙の負担とする。

（別紙様式第１）

借　　受　　書

借　　受　　物　　品				
品　　目	規　　格	単　位	数　量	備　　考
借　　受　　期　　間	年　　月　　日～　　年　　月　　日（　　日間）			
返　　納　　場　　所				

上記物品を正に借り受けました。

　なお、国土交通省所管に属する物品の無償貸付及び譲与に関する省令第４条に定める貸付条件を遵守します。

年　　月　　日

物品管理官等

殿

借受人　住所

氏名　　印

注意事項

１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

（別紙様式第２）

返　　納　　書

年　　月　　日

物品管理官等

殿

氏名　　印

下記物品を返納しました。

借　　受　　物　　品				
品　　目	規　　格	単　位	数　量	備　　考
借　受　期　間	年　　月　　日～　　年　　月　　日（　　日間）			
返　納　場　所				

受　　領　　書

年　　月　　日

上記物品を受領しました。

殿

物品管理官等

印

注意事項

１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

２．正副２部作成し、物品管理官等に提出するものとする。

（別紙様式第３）

故　障　報　告　書

報告年月日　　年　　月　　日

監督職員

殿

氏名　　印

下記物品について、下記のとおり報告します。

記

借受物品	：	（品名） （規格）
故障年月日	：	
故障箇所及び状態	：	
故障理由・原因等	：	
修理の可不可	：	修理できる　・　修理できない　・　確認中

注意事項

１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４縦とする。

（別紙様式第4）

提　供　施　設　等　使　用　実　績　報　告　書

年　　月分　（自　　日）
　　（至　　日）

借　受　人　　印
作成者氏名　　印

提供物件名	提供物件番　号	主　な作業内容	主な作業の作　業　量（走行キロ数）	稼働状況		維持修理費	主な修理箇所及び取替部品名	燃料使用実績単位:ℓ	摘　要
				運転日数	運転時間				

（備考）1.　用紙の大きさは日本工業規格A列4横とする。

2.　主な作業の内容の欄は、提供物件を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。

3.　主な作業の作業量の欄は、主な作業内容の欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。

4.　運転時間の欄は、運転時間の管理できない機械又は管理の必要のない機械については、記入を省略することができる。

国営備北丘陵公園運営維持管理業務委託料で取得した備品の取扱いについて

国営備北丘陵公園運営維持管理業務委託料で取得した備品については、下記により取り扱うものとする。

記

1．取扱い

（1）運営維持管理業務受託者（以下「乙」という。）は、備品を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

（2）前号の備品は、取得価格、取得年月日、品名、管理場所、写真等を記載した台帳等を作成し管理しなければならない。

（3）乙は、業務委託契約が完了した場合又は解除になった場合は、備品を業務委託契約書第7条に基づく検査の結果、合格通知があった後、備品引渡書（様式第1）により、委託者（以下「甲」という。）に引き渡さなければならない。ただし、翌年度において、当該委託契約が引き続き締結され当該業務に継続して使用する備品で備品継続使用承認申請書（様式第2）により甲の承諾を得た場合はこの限りでない。

（4）乙は、乙の責に帰すべき事由により備品を滅失又は棄損したときは、乙の負担において補てんし、又は修理しなければならない。ただし、乙の故意又は重大な過失によらない場合はこの限りではない。

2．処分

（1）備品が、次の各号の一に該当すると認められる場合は、不用の決定をすることができる。

① 備品の使用年数、能力等から勘案して当該備品を引き続き使用することが困難であると認められる場合。

② 備品が乙の責に帰さない事由により、老朽化、損傷等により利用価値がなくなったと認められる場合。

③ 備品の修理用部品の補給が困難で、整備に多大の支障をきたすと認められる場合。

（2）処分の方法

乙は、前号に該当する備品を売り払う場合は、その内容を証する書類を添えて甲に書面により協議し承諾を得た後、甲の発行する納入告知書により国庫に納入するものとする。

また、売り払うことが不利（備品の売払価格が、当該備品の売り払いのために要する費用に満たないと認められる場合）又は、売り払うことができないものは、廃棄することができる。また、廃棄する場合は、その都度その旨を書面により甲に協議しければならない。

廃棄に要する費用は、乙の負担とする。

（様式第1）

年　　月　　日

殿

住 所

氏 名　　印

備 品 引 渡 書

〇〇年　度国営備北丘陵公園の運営維持管理業務委託にかかる別紙を引渡します。

（備考）1．用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

（様式第2）

年　　月　　日

殿

住 所

氏 名　　印

備 品 継 続 使 用 承 認 申 請 書

年度　国営備北丘陵公園の運営維持管理業務委託にかかる別紙について、年　月　日　まで継続して使用したく申請いたします。

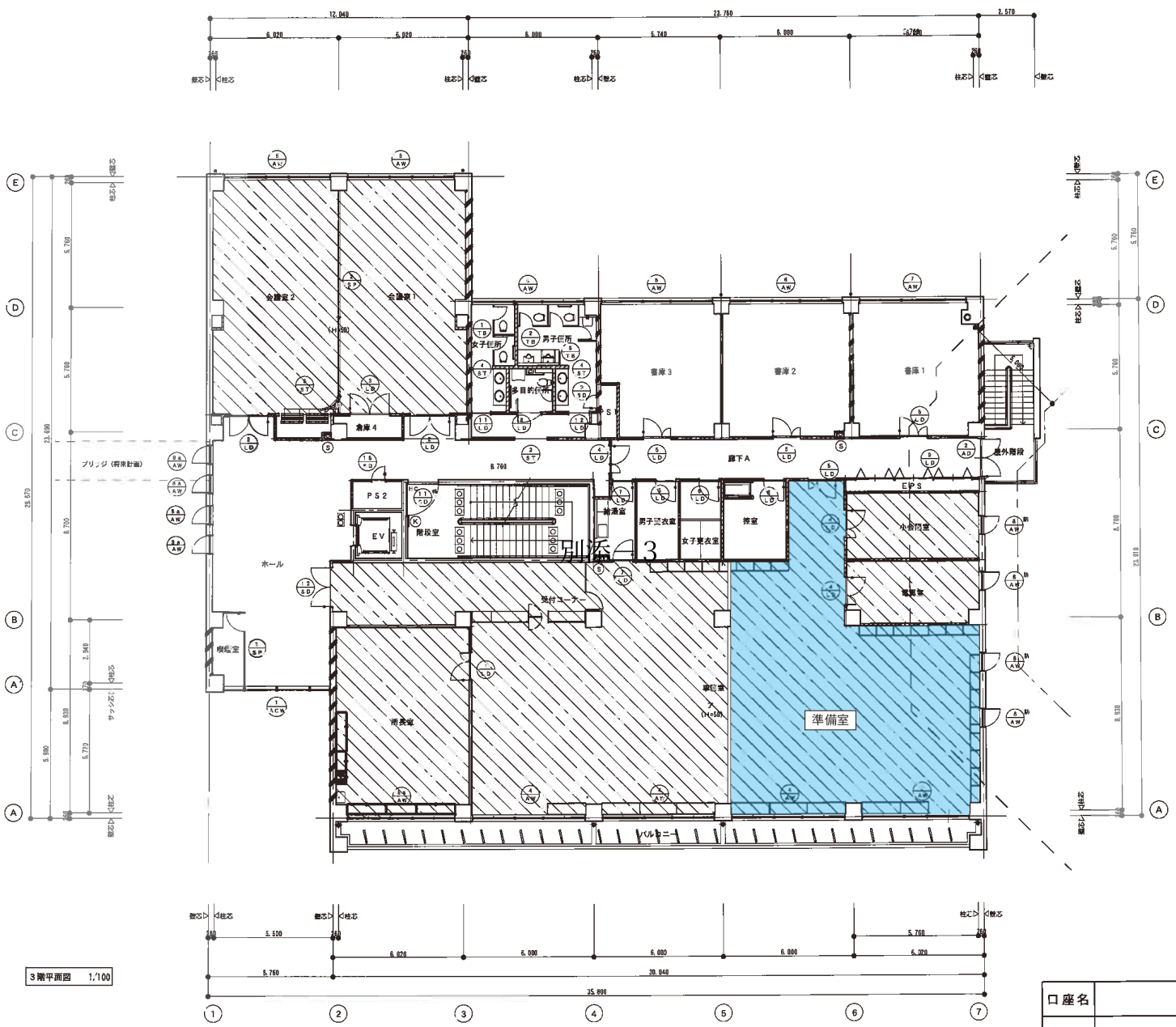
（備考）1．用紙の大きさは、日本工業規格A列4縦とする。

別　紙

備　　品　　一　　覧　　表

取得年月日	品　　名	規　　格	数　量	単　価	価　格	経 費 区 分	摘　要

（備考）1.　用紙の大きさは、日本工業規格A列4横とする。



3階平面図　1/100

3F

凡例

準備室提供予定区域

口座名				索引番号	88	図面番号	7
所在	広島県庄原市上原町地内			図面の名称	3階平面図	縮尺	1/200
建物番号	9-3	建物名称	(仮称)総合管理事務所	調製年月日		平成19年3月14日	
建・階面積	984.99㎡	延面積	2,916.97㎡	調製者	官職又は資格	国土交通技官	
構造	鉄筋コンクリート造3階				氏名	大国 安次	

鉄筋コンクリート
ヒンジクローザー
縦どい　SGP　(SGP)
各種案内板
庁舎案内板
館名サイン
階段階数表示サイン
ルーフドレイン
中継ドレイン
誘引ドレイン
消火栓ボックス（消火栓10号一別途）
基準ＦＬからの高さ
フリーアクセスフロアー

国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領

平成２７年４月１日改正

１．主旨

国営備北丘陵公園の入園について、一般入園者（正当に購入された入園券を所持して入園する者）と業務等入園者を区別するため、国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領（以下、取扱要領という）を定めることとする。

２．入園の原則

（１）一般入園者及び車両

正当に購入された入園券を所持する者、及び車両は入園できる。

なお、車両については指定の場所に駐車することとする。

（参照：都市公園法第１８条、同施行令第２０条第２項、同施行規則第１１条･･･

国の設置に係る都市公園を利用する者から、国土交通省令で定めるところにより、入園料その他の使用料を徴収することができる）

３．入園の例外規定

以下の（１）～（４）に該当する場合は、２によらず入園を認めるものとする。

（１）緊急入園者及び車両

警察、消防、医療等の緊急を要する業務執行に従事する者、及び車両については入園を認める。

（開園時間内外、及び休園日を問わず、上記目的のため入園できる）

（２）業務入園者及び車両　＜公園職員入園＞

① 国土交通省中国地方整備局に勤務し、国営備北丘陵公園に係る業務執行に従事する者、及び車両については入園を認める。

② 国土交通省中国地方整備局が､当該公園の運営維持管理を委託した事業者（備北公園管理センター（以下｢管理センター｣という）に従事する者、及び車両については入園を認める。

③ 国土交通省中国地方整備局が、都市公園法第５条の設置管理許可を与えた事業者に従事する者、及び車両については入園を認める。

（開園時間内外、及び休園日を問わず、上記目的のため入園できる）

②③の職員について許可を得ようとする場合、国土交通省三次河川国道事務所長宛に入園許可を申請し、許可を得ること。（様式－１）

なお、申請に当たっては顔写真を添付すること。

（入園証：様式 1-1〔紫〕、車両入園証：様式 1-1〔白〕の許可証）

（３）工事等許可入園者及び車両　＜公園工事業務入園＞

国土交通省中国地方整備局及び管理センターの発注、委託により実施される公園開園区域での請負工事、保守業務等に継続して従事する者、及び車両については入園を許可する。

（公園開園区域において開園時間内に上記目的で入園する場合には、監督職員等と現場代理人等との事前協議・指示等に従うこととし、一般入園者に対して特段の配慮を図ること）

申請書の様式は　様式－２により国発注工事等は事務所へ、管理センター発注工事等は管理センターへ申請を行うこと。

（入園証：様式 2-2〔黄〕、車両入園証：様式 2-2〔黄〕）

ただし、資材の搬入等短期間のものについては、（４）業務等許可入園者及び車両〈臨時入園〉に準ずるものとする。

期間は、原則として当日限りの貸し出しのみとする。

（４）業務等許可入園者及び車両　＜臨時入園＞

上記以外に、取材、行催事の準備、ボランティア、材料の納入、資材の搬入、行政機関の視察等通常の公園利用と異なる業務等の必要があって入園するものについては、入園日時、入園者数、入園目的等その他必要な事項を記入し、国土交通省三次河川国道事務所長宛に申請し許可を得るものとする。

申請様式は様式－３とする。

（入園証：様式 3-3〔青〕、車両入園証：様式 3-3〔白〕を携帯）

但し、取材対応、材料や資材の搬入、行催事の準備等、管理センターの運営維持管理に係る業務及び都市公園第５条に係る設置管理施設等の運営維持管理に係る業務での臨時入園については各組織で許可するものとし、入園目的が明確な場合は貸出簿での記入・受付にかえることができる。

貸出簿の様式は様式－４とする。

なお、国土交通省三次河川国道事務所長が許可した入園申請書はその結果を合わせ管理センターに通知する。

（５）入園料

３－（１）～（４）については入園料を免除する。

４．その他注意事項

（１）入園に当たっては、一般入園者の障害とならないよう努めること。

（２）車両の運行に当たっては園内車両入園規則に従うこと。

（３）資材の搬入等については、なるべく開園時間以外での搬入とし、開園時間内に入園する場合は、一般入園者の障害とならないよう努めること。

（４）繁忙期にやむを得ず大型重機等を搬入する場合、管理センター等とよく調整すること。

様式1

年　月　日

国土交通省　中国地方整備局
三次河川国道事務所
所長　　殿

所　属
所属長　氏名

公園職員入園許可証について

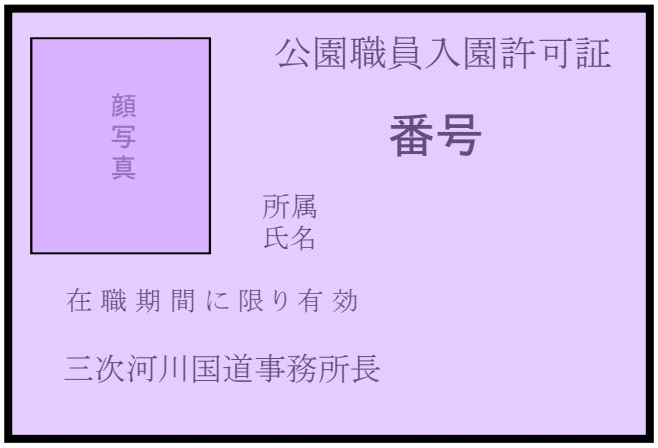
標記について、新規に国営備北丘陵公園内で業務に従事する者の入園許可証を下記の通り申請いたします。

記

許可番号
氏　　名
所　　属
申請理由

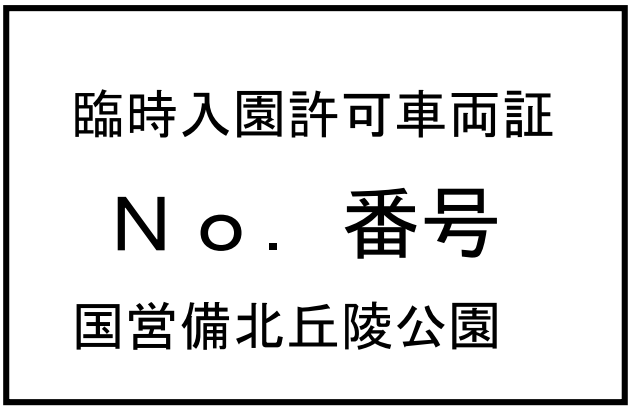
以　上

様式1-1〔紫〕



台紙：紫

様式1-1〔白〕



台紙：白

様式2

年　月　日

国土交通省
中国地方整備局
三次河川国道事務所長　殿

（請負業者）
住所
氏名

公園工事業務入園許可証の交付について（申請）

標記について、　年　月　日に　三次河川国道事務所 / 備北公園管理センター　と締結した　工事 / 業務　で、国営備北丘陵公園内に入園したいので、

下記の者に入園許可証を交付していただきたく申請します。

尚、交付していただいた入園許可証については、当社にて責任をもって管理を行い、

工事又は業務の完了後は速やかに返却いたします。

記

発注機関	
請負業者名	
工事・業務名	
工期	

入園者氏名	年齢	会社名	車両番号(車両の場合に記載)	*許可番号

*太枠は記入しないこと

*入園許可証は写真付きのため、現場代理人、主任(監理)技術者の方の顔写真を添付すること(3×2．4㎝　各2枚)

*入園者氏名は、当初予定者について記入すること。尚日々の入園者、車両については、現場代理人が随時名簿等で把握しておくこと。

※備北管理センター等の発注の場合は、発注者経由で申請してください。

様式2-2〔黄〕

公園工事業務入園許可証

番号

三次河川国道事務所長

顔写真

件　名
工　期
業者名

氏　名

台紙：黄色

様式2-2〔黄〕

公園工事業務許可車両証

番号

国営備北丘陵公園

件名
業者名　　工期:

台紙：黄色

様式3

業 務 等 入 園 申 請 書

年　月　日

国土交通省中国地方整備局

三次河川国道事務所長　殿

申　請　者

住 所

所 属

職 名

氏 名　　印

（連絡先：TEL　　）

（　　FAX　　）

入 園 希 望 日	年　月　日（　） 時　分 ～　時　分	備　考
入園者氏名等	所 属　職 名　氏 名 計	
入 園 目 的		
参 考 事 項	車両の有無	

業 務 等 入 園 許 可 書

年　月　日

備北公園管理センター所長　殿

三次河川国道事務所長

標記の申請について、入園を許可したので通知する。

様式3-3〔青〕

公園臨時入園許可証

番号

当日限り有効

三次河川国道事務所長

台紙：水色

様式3-3〔白〕

臨時入園許可車両証

Ｎｏ．番号

国営備北丘陵公園

台紙：白

様式4

臨時入園許可証貸出簿

貸出日付	許可書番号	会 社 名 等	氏　　名	返却日	備 考

国営備北丘陵公園 園内車両入園規則

平成２７年４月１日改正

（目的）

第１条　国営備北丘陵公園（以下「公園内」という。）における車両（二輪車、原付自転車を含む。）入園を制限等することにより、一般入園者の安全を確保し快適な公園利用を図るとともに公園内の施設や動植物等自然環境の保全に寄与することを目的とする。

（通行許可）

第２条　一般入園以外で、入園に際し公園内を車両で通行する場合には、事前に国土交通省三次河川国道事務所（以下「事務所」という。）又は運営維持管理を委託した事業者及び都市公園法第５条の設置管理許可を与えた事業者（以下「管理センター等」という。）の通行許可を受けるものとする。

２　通行許可は、国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領に定める許可申請手続きによる。

３　第１項に定める許可を受け園内を通行する者（以下「許可を受けた者」という。）は、国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領に定める入園証を入園時に携帯するとともに、通行を許可された入園車両に対して同じく発行される車両入園証をその車両に表示すること。

（遵守事項）

第３条　通行許可を受けた者は次の事項について遵守しなければならない。

一　業務における入退園の時間は、なるべく開園時間以外で行ない、一般入園者の妨げとならないよう努めること。

二　公園内へ車両入園する場合は、目的地に近い出入口を利用し、公園内での車両移動距離を極力少なくするよう配慮する。また、門扉の開閉及び施錠が必要な場合は、必ず実施すること。

三　入園する車両には、車両入園証をフロントガラス部に掲示して入園すること。

四　公園内での走行にあたっては、時速２０㎞以下の走行速度を遵守すること。なお、走行中は一般入園者に十分注意し公園内の混雑状況等によっては徐行運転又は一時停止を心掛けること。

五　園内は、歩行者優先でありクラクションは原則として使用してはならない。また、歩行者が近くにいるところを通行する場合には、間隔等十分注意を払うとともに、一般入園者に道を譲ってもらった場合等は必ずお詫びと感謝の気持ちを込めて窓を開けて挨拶を行い一般入園者に不快感を与えないよう配慮すること。

六　開園区域内の園路は、原則として駐車を禁ずる。ただし、許可を受けて駐車する場合は、車輪に車止めを噛ませ車両の前後にセーフティーコーンを設置し、斜路にお

いてはハンドルを山側にきるものとする。また、駐停車の際には一般入園者の妨げにならぬよう十分配慮するとともに野草等の動植物に細心の注意を配らなければならない。

七　園内において第三者に被害を与えた場合、または公園施設や動植物に損害を与えた場合、事務所に通行許可を受けた者については事務所担当職員、管理センター等に通行許可を受けた者については管理センター等担当職員に速やかに報告するとともに応急処置等必要な措置を行うこと。また、管理センター等担当職員が当該報告を受けた場合、速やかに事務所担当職員に報告すること。

八　園内における目的が達成した場合は、速やかに園外に退出しなければならない。

九　許可期限が到来した場合においては、速やかに車両入園許可証を事務所に返還しなければならない。

一〇事務所又は管理センター等から指示又は指導が行われた場合はそれを遵守しなければならない。

（許可の取り消し）

第４条 事務所又は管理センター等は、通行許可を受けた者が次に該当する場合には許可を取り消すことができる。

一　車両入園証を携行していない場合

二　通行速度を遵守しない場合

三　事務所又は管理センター等の担当職員から二度以上注意を受けた場合

四　園内で重大な事故を起こした場合

五　許可された道路以外の道路を通行した場合

六　その他重大な違反等があった場合

（通行の制限）

第５条　事務所又は管理センター等は、特定イベント開催日や日曜、祝祭日等において園内が混雑することが予想される場合には、許可された車両であっても通行を一時制限することができる。

（損害賠償請求等）

第６条　許可を受けた者が、公園利用者等第三者が負傷する事故を起こした場合又は公園施設を損傷させた場合等において、損害賠償請求等が発生した場合は全て損害賠償の責を負うこと。

（その他）

第７条　この規則に定めのない事項については、国営備北丘陵公園業務等入園取扱要領によるものとする。

行催事について

１．国費の支出対象となる行催事について

１） 国営備北丘陵公園運営維持管理業務各仕様書及び運営維持管理基本方針に即していること

２） 公園・緑地に関する意識の高揚や知識の普及に関するもの

３） 歴史や自然に関する学術的なもの

４） その他公園のイメージアップや利用促進に資するもので国営公園の行催事としてふさわしいもの

２．国費を充当できる支出項目について

国費を充当できる支出項目は、当公園の行催事としてふさわしいものであるとともに、公共性が高く、利用者全体に関わるもので、社会通念上理解の得られる範囲内での必要十分な経費に限られる。

なお、具体には以下のとおりとする。

１） 会場設営費

２） 会場運営費（飲食については不可）

３） 資機材費（参加者が持ち帰らない工作物等材料費は可）

４） 講師謝礼金

５） パンフレット類等広報物作成費

３．国費を充当できない支出項目について

国費の支出対象となる行催事であっても、以下の項目には国費を充当できない。

１） 参加者に配布する参加賞

２） 参加者が持ち帰る工作物等の材料費

ただし、いずれの場合にも国費以外の自主財源、または参加者からの参加費を充当することを妨げない。

４．主催イベント

１）大型主催イベント

国営備北丘陵公園の行催事のうち、以下の４つを「大型主催イベント」という。

あらかじめ年間行事計画書に記載した上で、打合せ簿および予算書（支出項目内訳）、詳細な実施計画書を作成し、調査職員等の承諾を得た上で実施するものとする。

項目	概要	開催期間
春まつり	みのりの里にあるスイセン畑を主体に、早春の公園風景を楽しんで頂けるように開催する大型イベント チューリップ、ビオラ、パンジー等春の花修景と新緑の公園風景を主体に、公園利用者に広く楽しんで頂くよう開催するイベント 花修景と合わせ、多様な利用プログラムを提供する。	３月下旬～5月中頃
夏まつり	学校の夏休みに合わせ、子供たちが自然の植物や昆虫等に触れあい、自然の	７月下旬～８月下旬頃

	中で遊ぶことが満喫できるよう開催する大型イベント	
秋まつり	コスモスを主体とする秋の花修景を主体に、公園利用者に広く楽しんで頂けるよう開催する大型イベント 花修景と合わせ多様な利用プログラムを提供する。	９月中旬～１０月中旬頃
ウインター イルミネーション	園内をイルミネーションで装飾し、冬の風物詩として広く楽しんで頂けるよう開催する大型イベント	１１月上旬～１月上旬頃

２）　主催イベント

国営備北丘陵公園主催の行催事のうち、大型主催イベント以外のものを「主催イベント」をいう。なお、材料代等実費を公園利用者から徴収すること等ができるものも含み、その場合は予算書（支出項目内訳）により、調査職員等の承諾を得た上で実施するものとする。

３）地域連携イベント

国営備北丘陵公園の行催事のうち、地元自治体、青年会議所、体育協会、観光協会等と連携して共同で開催するイベント（次表)。

項目	概要	開催期間
マラソン大会	本公園を会場に、庄原市、庄原市体育協会､庄原市陸上競技連盟等と共同で開催しているマラソン大会。２ｋｍ、５ｋｍ、１０ｋｍ、２０ｋｍの距離設定と細やかな年齢区分により子供から大人で多くの方に参加して頂いている。	４月頃
古代たたら鉄づくり	中国地方で産出される良質な砂鉄と木炭を用い、日本古来の製鉄である｢たたら｣鉄づくりを再現し､中国地方の特徴であるさとやま環境で育まれた豊かな歴史や伝統・文化を保存・継承するイベント。 玉鋼づくりの国選定保存技術者など、多数の方との連携と協力を図り開園以来継続実施しているイベント。	５月上旬頃

５．自主イベント

公園の利便性や魅力をより一層高めるため、中国地方整備局長の許可（都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号）第 5 条、第 6 条又は 12 条に基づく許可）を受けた上で、事業者の提案により土地使用料等を納めて独立採算におり行う事業を自主事業といい、自主事業として実施する行催事を「自主イベント」という。

自主イベント実施に当たっては、都市公園法施行令（昭和 31 年政令 290 号）第 20 条に基づき、占有した土地または建物の使用料を納めることが必要となる。ただし、公共性の高い行催事を公園管理者との共催により行う場合、使用料が不要となる場合がある。

具体的な内容については、提案の内容を踏まえて、年間行事計画書に記載するものとする。

６．行催事の継続性

事業者は、上記に記載する行催事のうち、大型主催イベント及び地域連携イベントについては、原則として継続して実施していくものとする。

但し、地域連携イベントのうち、共同で開催する関係機関との事情等によりやむを得ず継続が困難となった場合、調査職員等と協議すること。

なお、大型主催イベントについては、その主旨や目的等を踏まえ、それに替わる新たなイベントの開催を妨げるものではない。

2022年度　国営備北丘陵公園
備北花ピクニック
～Bihoku 2022 Hana Picnic～
実施計画書

グリーンウインズ共同体
備北公園管理センター

2022年3月10日（木）

1. 実施方針

国営備北丘陵公園は、春にふさわしいレクリエーションの提供による公園利用促進を目的として、2022 年 3 月 19 日（土）～2022 年 5 月 15 日（日）の期間で「備北花ピクニック」を開催する。

年間を通じて利用できる様々なフィールドをご案内すると共に、スイセン、サクラ、チューリップ、ビオラ、ネモフィラ等 3 月から 5 月にかけて咲く春の花を紹介する。

また、フラワー（FLOWER）、アクティビティ（ACTIVITY）、ネイチャー（NATURE）、カルチャー（CULTURE）という形で遊びをデザインすることで、本来の公園の魅力である「国兼池を中心とした湖畔景観や、丘陵景観等の自然」、「中国地方の歴史や文化とのふれあい」を満喫してもらい、年代を問わず子供から大人まで多くのお客様に非日常的な空間を楽しんでいただくと共に、地域との連携を更に充実させ、地域全域の魅力を広域に情報発信する。

2. 概要

花修景は、スイセン（スイセンガーデン）、サクラ（つどいの里・ひばの里・スイセンガーデン）、チューリップ（花の広場）、ビオラ（花の広場）、ネモフィラ（ピクニック広場）等 3 月から 5 月にかけて咲く春の花を紹介します。

イベントは、フラワー（FLOWER）、アクティビティ（ACTIVITY）、ネイチャー（NATURE）、カルチャー（CULTURE）という形で遊びをデザインし、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開する。

開催期間　2022 年 3 月 19 日（土）～2022 年 5 月 15 日（日）【計 54 日間】
※期間中の以下日程は休園日
3 月 22 日（火）・28 日（月）、4 月 4 日（月）、5 月 9 日（月）

開園時間　9：30～17：00
※入園は閉園の 1 時間前までとする

入園料無料日
※駐車料有料（普通・軽 300 円／大型 1,050 円／二輪 100 円）

入園料　一般　大人 450 円／こども（中学生以下）無料
／シルバー（65 歳以上）210 円　※年齢の確認できるものを持参
団体　大人 290 円／こども（中学生以下）無料
／シルバー（65 歳以上）210 円　※年齢の確認できるものを持参

駐車料　一般・団体　普通・軽 320 円／大型 1,050 円／二輪 100 円
年間パスポート　普通・軽 無料／大型 1,050 円／二輪 無料

［年間パスポート］
大人 4,500 円／シルバー（65 歳以上） 2,100 円　※年齢の確認できるものを持参

3. 主催

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所、グリーンウインズ共同体 備北公園管理センター

4. 期間中の入園者数目標

入園者目標　令和 4 年　120,000（116,700）人予定
※実績　令和 3 年度 87,623 人、令和 2 年度 2,488 人　平成 31 年度 94,133 人

【期間中の入園者数実績】

	年度	期間中入園者数	順位	開催日数	入園者数/日	備考
1	平成 7 年度（1995）	98,577 人		24 日間	4,107 人	
2	平成 8 年度（1996）	111,004 人	2 位	51 日間	2,176 人	
3	平成 9 年度（1997）	66,820 人		24 日間	2,784 人	
4	平成 10 年度（1998）	67,194 人		51 日間	1,317 人	
5	平成 11 年度（1999）	59,861 人		40 日間	1,496 人	
6	平成 12 年度（2000）	74,572 人		30 日間	2,485 人	
7	平成 13 年度（2001）	85,354 人		30 日間	2,845 人	
8	平成 14 年度（2002）	85,607 人		24 日間	3,566 人	
9	平成 15 年度（2003）	82,788 人		24 日間	3,449 人	
10	平成 16 年度（2004）	97,081 人		26 日間	3,733 人	
11	平成 17 年度（2005）	98,047 人		27 日間	3,631 人	
12	平成 18 年度（2006）	94,782 人		30 日間	3,159 人	
13	平成 19 年度（2007）	96,882 人		30 日間	3,229 人	
14	平成 20 年度（2008）	103,779 人		32 日間	3,243 人	
15	平成 21 年度（2009）	105,752 人	3 位	33 日間	3,204 人	
16	平成 22 年度（2010）	99,722 人		32 日間	3,116 人	
17	平成 23 年度（2011）	104,667 人		37 日間	2,676 人	
18	平成 24 年度（2012）	91,258 人		37 日間	2,466 人	
19	平成 25 年度（2013）	104,860 人	5 位	37 日間	2,834 人	
20	平成 26 年度（2014）	96,039 人		37 日間	2,595 人	
21	平成 27 年度（2015）	105,504 人	4 位	37 日間	2,837 人	
22	平成 28 年度（2016）	100,888 人		37 日間	2,727 人	
23	平成 29 年度（2017）	98,817 人		37 日間	2,670 人	
24	平成 30 年度（2018）	116,354 人	1 位	30 日間	3,878 人	
25	平成 31 年度（2019）	94,133 人		30 日間	3,138 人	
26	令和 2 年度（2020）	2,488 人		7 日間	355 人	
27	令和 3 年度（2021）	87,623 人		54 日間	1,357 人	
28	令和 4 年度（2022）	120,000 人		54 日間	2,222 人	

※令和 2 年度は COVID-19 感染拡大防止対策により、開催期間延期（3/20～→4/11～）
及び臨時休園（4/18～5/13）を実施

5. 花畑(花修景)

(1) 花畑（花修景）の特徴

1)「スイセンガーデン」

スイセンガーデン（約 1.9ha）は、約 700 品種（園芸品種）約 205 万本のスイセン。

スイセンガーデン公開・拡充の経緯

年度	概要	品種数	本数	植栽面積
平成 17 年(2005)	スイセンの植栽計画開始	−	−	−
平成 18 年(2006)	スイセンの植栽開始(スイセンガーデン整備着手)	−	−	−
平成 20 年(2008)	同上	17 品種	7 万本	1,000 ㎡
平成 21 年(2009)	スイセンガーデン正式オープン	27 品種	20 万本	1,700 ㎡
平成 22 年(2010)	西日本最大級の規模に拡大	130 品種	30 万本	3,000 ㎡
平成 23 年(2011)	西日本一規模のスイセンガーデンとなる	230 品種	36 万本	5,000 ㎡
平成 24 年(2012)	前年より、70 品種・14 万本拡大	300 品種	50 万本	6,000 ㎡
平成 25 年(2013)	前年より、100 品種・10 万本拡大	400 品種	60 万本	8,000 ㎡
平成 26 年(2014)	前年より、100 品種・15 万本拡大	500 品種	75 万本	10,000 ㎡
平成 27 年(2015)	日本一規模のスイセンガーデンとなる､オリジナル品種（備北の丘、庄原の春）登場	600 品種	110 万本	11,000 ㎡
平成 28 年(2016)	前年より、100 品種・10 万本拡大	700 品種	120 万本	13,000 ㎡
平成 29 年(2017)	前年より、20 万本拡大	700 品種	140 万本	14,000 ㎡
平成 30 年(2018)	前年より、10 万本拡大	700 品種	150 万本	15,000 ㎡
平成 31 年(2019)	前年より、20 万本拡大	700 品種	170 万本	16,000 ㎡
令和 2 年（2020）	前年より、25 万本拡大	700 品種	195 万本	17,000 ㎡
令和 3 年（2021）	前年より、5 万本拡大	700 品種	200 万本	18,000 ㎡
令和 4 年（2022）	前年より、5 万本拡大	700 品種	205 万本	19,000 ㎡

2)「花の広場」

花の広場（約 1.5ha）は､「変化と未来への躍進」をテーマとして、一つ一つがいつしか集まりとなり未来へ進んでいく様を表現する。「備北緑風庭」を改修し展望台から 360 度鑑賞できる修景とする。花の広場入口カルバート上のサイクリングロードからも一望できる修景にもなっている。約 330 万本の花々（チューリップ、ビオラ、ハナビシソウ、イベリス等）が咲き誇り、色鮮やかな春を感じさせるなど、花畑を散策して景色を楽しんでもらうことができる。

3)「大芝生広場北斜面」

大芝生広場北斜面（約 500 ㎡）は、約 5 万本のクリサンセマム、約 3 万本のカレンデュラで小道を表現する。

4)「ピクニック広場」

ピクニック広場（約 5,000 ㎡）は、緩やかな傾斜を活かし、約 120 万本のネモフィラで青い絨毯が丘を越えて果てしなく続く光景を表現する。

（2）主な花畑（花修景）

花一覧	数量	開花時期	備考
スイセン 700 品種	2,050,000 本	3 月中旬～4 月上旬	スイセンガーデン
サクラ	1,000 本	4 月上旬	スポーツ広場、ひばの里、スイセンガーデン
チューリップ	200,000 本	4 月上旬～4 月下旬	花の広場
ビオラ	2,026,000 本	4 月上旬～5 月下旬	花の広場
イベリス	428,000 本	4 月下旬～5 月下旬	花の広場
ハナビシソウ	684,000 本	5 月中旬～5 月下旬	花の広場
クリサンセマム	53,000 本	4 月上旬～6 月中旬	大芝生広場北斜面
カレンデュラ	27,000 本	4 月上旬～6 月中旬	大芝生広場北斜面
ネモフィラ	1,173,000 本	4 月中旬～5 月中旬	ピクニック広場

6. FLOWER

（1）スイセン観察会

開催日　3 月 19 日（土）～4 月 10 日（日）土日祝日のみ
※雨天中止
時　間　13：30～（約 30 分）
※受付は 13：15～
場　所　スイセンガーデン（第 6 駐車場）
内　容　スイセンの品種の見分け方や育て方など、公園スタッフがスイセンにまつわる様々な話をしながら、スイセンガーデンをガイドする。
参加費　無料

（2）スイセン講習会

開催日　3 月 18 日（金）
時　間　10：00～12：00 講義
13：00～15：00 スイセンガーデンで講習
場　所　座学：備北公園管理センター　2 階会議室
現地講習：スイセンガーデン（第 6 駐車場）
内　容　日本水仙協会員（倉敷市在住）　三宅幹雄 先生講師の下、公園スタッフに対するスイセンの品種の見分け方や育て方などの講習会を行う
参加費　無料

（3）スイセン切り花体験

開催日　4 月 2 日（土）・3 日（日）
時　間　13：00～15：00
場　所　スイセンガーデン
内　容　みのりの里　スイセンガーデンの一部エリアで、スイセンを切り花にしてお持ち帰りいただく。
参加費　無料
定　員　200 名／日（1 人 10 本まで）

（4）チューリップの一輪ブーケづくり体験

開催日　4 月 23 日（土）・29 日（金・祝）
※雨天・荒天時中止、開花状況によっては中止とする場合あり
時　間　10：00～15：00

場　所　花の広場　特設テント
内　容　花の広場のチューリップを 1 本切り取っていただき、簡単なラッピングをしていただく。
参加費　有料　※金額調整中
定　員　50 作品/日

（5）FLOWER コンサート
開催日　4 月 24 日（日）　出演：庄原格致高等学校　吹奏楽部
時　間　①13：00　②14：00（約 30 分）
場　所　花の広場　はなの展望台付近
内　容　広島県立庄原格致高等学校 吹奏楽部の皆さんによる演奏。
参加費　観覧無料

7. ACTIVITY

（1）「第 3 回 BIHOKU パークマラソン in 国営備北丘陵公園」
主　催　BIHOKU パークマラソン実行委員会
開催日　5 月 29 日（日）
時　間　8：00～15：30
場　所　里山の駅 庄原ふらり
内　容　園内のランニングコースを走るマラソンイベント。全国でも屈指の自然、里山の風景の中を走ることができ、ランニング初心者にオススメコース。
①5.0km（親子ペア）　3,000 円（保険料・入園料・駐車場代含む）　※50 組
②ハーフの部（一般）　6,000 円（保険料・入園料・駐車場代含む）　※250 名
③フルの部（一般）　7,000 円（保険料・入園料・駐車場代含む）　※250 名

（2）「カナディアンカヌー」
開催日　4 月 9 日（土）～5 月 8 日（日）土日祝のみ
時　間　①10：30②11：30③13：30④14：30⑤15：30（約 60 分）
※入園料無料日は 9：30 の回を追加。
場　所　国兼池
※受付は湖畔レストハウス横
内　容　カナディアンカヌーの体験イベント。
参加費　2,000 円／艇（2～3 人乗り）
定　員　5 艇／回
※GW、入園料無料日は、増艇して対応依頼予定。※8～15 艇／回

（3）「わいわいランド」
開催日　開園時毎日
時　間　開園時間（夜間開園時は除く）
場　所　里山の駅 庄原 ふらり（北入口 エントランスセンター国兼 1F、2F）
内　容　〇1F 情報広場内
500 冊以上の絵本が楽しめる絵本図書館とブロック遊具やままごとなど幼児向け遊具で遊べる。
〇2F 多目的ホール内
パンダのエア遊具、バランスボール、「電車すべり台」のダンボール遊具で遊べる。
※エア遊具、ダンボール遊具の対象年齢：3 歳～12 歳
参加費　無料

(4)「第 25 回国営備北丘陵公園グラウンド・ゴルフ大会」　※事前予約
開催日　4 月 6 日（水）
時　間　8：30～15：30
場　所　つどいの里　グラウンド・ゴルフコース
内　容　グラウンド・ゴルフの大会
参加費　1,000 円／人（損害保険料含む）
定　員　384 名

8. NATURE

(1)「森のクラフト体験」
開催日　いこいの森開園時毎日
時　間　開園時間（入場は閉園の 1 時間前まで）
場　所　いこいの森　休憩所
内　容　いこいの森で集めた木の実や小枝でつくるセルフクラフトコーナー。
参加費　無料

(2)「自然散策」～いこいの森でさんぽしよう！～
開催日　いこいの森開園時毎日
時　間　開園時間（入場は閉園の 1 時間前まで）
場　所　いこいの森　自然散策路
内　容　散策路を歩きながら森に住む小鳥などの生き物や植物などの自然を観察してもらう。
※双眼鏡の無料貸し出しあり
参加費　無料

9. CULTURE

(1)「古代たたら鉄づくり体験」　※事前予約
指　導　国選定保存技術保持者　日刀保たたら村下　木原 明 氏
開催日　5 月 14 日（土）・15 日（日）1 泊 2 日
場　所　ひばの里　古代たたら工房
内　容　日本古来の歴史と伝統が受け継がれた本物の手仕事「たたら製鉄」、古えから続く「ものづくり」の技術と心構えが凝縮されています。そのため、次の世代にこの歴史と技術と「ものづくり」の精神を伝えるべく、奥出雲町日刀保たたら村下 木原明 氏の指導の下、真砂砂鉄の採れる中国山地の北側で主に稼働した方法（鎚（ケラ）押し法）で、古代たたら製鉄の下灰作業から操業、鋼のもとになる塊を取り出す鎚出しまでの作業工程を 2 日間に渡り体験するプログラムを開催する。
参加費　3,000 円（4 食付）　※観覧無料
定　員　20 名（1 泊 2 日）

(2)「中国山地のたたら製鉄資料展」
開催日　4 月 1 日（金）～5 月 15 日（日）
時　間　9：30～17：00
場　所　ひばの里　さとやま展示館 2F
内　容　かつて中国地方で行われていた製鉄技法「たたら製鉄」。実際に使用していた道具や写真パネルの展示。
参加費　観覧無料

(3)「美術刀剣展」
開催日　5 月 3 日（火・祝）・4 日（水・祝）
時　間　9：30～17：00
場　所　ひばの里　さとやま屋敷　内蔵
内　容　荘厳な輝きを放つ、刀匠 久保井重太郎 氏（刀匠名 輝政）をはじめ、広島県下刀匠の美術刀剣の数々を展示。
参加費　観覧無料

(4)「居合演武」
開催日　5 月 15 日（日）
時　間　①11：00②14：00（約 60 分）
場　所　ひばの里　神楽殿
内　容　緊張感あふれる居合の演武公演。
［出演］
広島柳生新影流柳新会、無雙神伝流居合、夢想神伝流居合
参加費　観覧無料

(5)「小刀づくり」　※事前予約
開催日　3 月 13 日（日）、4 月 10 日（日）
時　間　10：00～15：00
場　所　ひばの里　古代たたら工房
内　容　日本古来の歴史と伝統が受け継がれた本物の手仕事、刀匠 久保井重太郎 氏（刀匠名 輝政）の指導の下、鋼（はがね）を鍛えるところから小刀に仕上げるまで、本格的な鍛冶工程の体験、オリジナルの小刀づくり。
※対象は中学生以上
※中学生は保護者と 2 人で 1 作品を制作
※高校生は保護者の同伴が必要（高校生は制作を 1 人で行ってもらう事はできるが制作した小刀の保管・使用等について、安全のため保護者の方に確認してもらう必要がある）
参加費　6,000 円／名
定　員　6 名／日

(6)「ペーパーナイフづくり」
開催日　4 月 24 日（日）・29 日（金・祝）
時　間　9：30～15：00（最終受付 14：00）
場　所　ひばの里　古代たたら工房
内　容　刀匠 久保井重太郎 氏（刀匠名 輝政）の指導の下、オリジナルペーパーナイフづくり。
※対象は小学 3 年生以上（中学生以下は保護者と 2 人で 1 作品を制作）
参加費　1,500 円/名
定　員　15 名/日

(7)「桜蒸しパンづくり」
開催日　3 月 19 日（土）～21 日（月・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　桜の花の塩漬けを餡に練りこんだ蒸しパンづくり体験です。
参加費　500 円／組
定　員　10 組

(8)「手打ちそばづくり」
開催日　3 月 26 日（土）・27（日）、4 月 23 日（土）・24 日（日）、5 月 7 日（土）・8 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：00）
※平日は 3 営業日前までに事前予約にて受付可能（少人数、2 組／日）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　地元庄原市一木（ひとつぎ）町のそば粉を使用したそば打ち体験。つくったそばはその場でゆでて、召し上がっていただく。
※持帰り不可
参加費　5 人前 1,800 円・7 人前 2,500 円
定　員　5 組／日

(9)「郷土料理づくり」
1）桜押し寿司
開催日　4 月 2 日（土）・3 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　園内で収穫した山菜を使い、春を感じる彩り豊かな押し寿司をつくる体験。
参加費　500 円／組（6 個入り）
定　員　10 組

2）山菜おこわ
開催日　4 月 9 日（土）・10 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　ひばの里で収穫したもち米を使い、春の山菜入りのおこわをつくる体験。
参加費　500 円／組
定　員　10 組

(10)「たけのこ堀り体験」
開催日　4 月 16 日（土）・17 日（日）
時　間　①11：00　②13：30（約 60 分）
場　所　ひばの里　上の農家・竹林
内　容　ひばの里の竹林でたけのこ掘りを体験し、上の農家でたけのこ料理を食べることができる。
参加費　500 円／組
定　員　各 10 組

(11)「春の山菜料理づくり」
開催日　4 月 29 日（金・祝）・30 日（土）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　園内で収穫したふきを使った料理づくり体験。
参加費　500 円／組
定　員　10 組

(12)「お菓子づくり」
1）柏餅
開催日　5 月 1 日（日）・3 日（火・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家

内　容　ひばの里の田んぼで収穫したもち米を原料につくる柏餅づくり体験です。
参加費　500 円／組（5 個）
定　員　10 組

2）ちまき
開催日　5 月 4 日（水・祝）・5 日（木・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　ひばの里の田んぼで収穫したもち米を原料に、園内で収穫した笹の葉で包んで蒸すちまきづくり体験。
参加費　250 円／組（5 本）
定　員　10 組

（13）「こんにゃくづくり」
開催日　5 月 14 日（土）・15 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　上の農家
内　容　地元庄原産のこんにゃくいもを原料に、粉をこねて、手で丸めてゆで上げてこんにゃくをつくる体験。
参加費　部分 200 円／組
定　員　部分 15 組／日

（14）「わら細工体験」
開催日　開園時毎日
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　下の農家
内　容　小さなお子様でも作れる簡単なわらの「ミニほうき」や「テルテル人形」を作る体験。
参加費　無料
定　員　30 名／日（定員に達した場合でも自由に観覧は可能）

（15）「草木染め教室」
開催日　4 月 2 日（土）・3 日（日）、5 月 1 日（日）・3 日（火・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　地元染色家の指導の下、春の草木などの植物を使った染物づくり。
参加費　500 円～／作品
定　員　20 名／日

（16）「苔玉づくり教室」
開催日　4 月 9 日（土）・10 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　春の花を使った苔玉づくり。
参加費　600 円～／作品
定　員　30 名／日

（17）「多肉植物寄せ植え教室」
開催日　4 月 16 日（土）・17 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房

内　容　多肉植物をつかった寄せ植え教室。
参加費　800 円～／作品
定　員　30 名／日

（18）「備庄焼陶芸教室」
開催日　4 月 23 日（土）・24 日（日）、5 月 4 日（水・祝）・5 日（木・祝）
時　間　9：30～16：00（最終受付 15：00）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　粘土を手回しろくろを使い、カップや皿などの形に仕上げる。作品は後日焼き上げて郵送にてお届けする。
参加費　2,000 円／作品（送料は別途必要）
定　員　20 名／日

（19）「ミニ機織り」
開催日　4 月 29 日（金・祝）・30 日（土）
時　間　9：30～16：30（約 30 分～）（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　卓上サイズの機織りと草木染めした糸を使いコースターを織り上げる。
参加費　500 円／作品
定　員　30 名／日

（20）「母の日フラワーアレンジ」
開催日　5 月 7 日（土）・8 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　母の日のお花のプレゼントづくり。
参加費　1,500 円／作品
定　員　30 名／日

（21）「苔テラリウムづくり体験」
開催日　5 月 14 日（土）・15 日（日）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　やきもの工房
内　容　瓶の中に苔を使った風景づくり。
参加費　800 円～／作品
定　員　30 名／日

（22）「やまのおみやげや　木工教室」
開催日　3 月 19 日（土）～5 月 22 日（日）土日祝のみ
※5 月 14 日・15 日は除く
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　木の工房
内　容　パズルやペンダントなど親子で木の小物づくりを楽しんでもらう。
参加費　300 円～／作品
定　員　30 名／日

（23）「呈茶席」
開催日　4 月 3 日（日）・10 日（日）・24 日（日）・29 日（金・祝）、
5 月 3 日（火・祝）～5 月 5 日（木・祝）・8 日（日）・15 日（日）
時　間　10：30～15：30（最終受付 15：00）
場　所　ひばの里　さとやま屋敷　離れ

内　容　抹茶とお茶うけのお菓子で、屋敷の中でお寛ぎいただく。
参加費　300 円（お菓子付き）
定　員　80 名／日

(24)「お茶席」
開催日　4 月 17 日（日）
時間：10：00～16：00（最終受付 15：00）
場　所　ひばの里　さとやま屋敷　離れ
内　容　本格的なお茶席を体験して頂きます。
参加費　300 円（お菓子付き）
定　員　50 名／日

(25)「機織り体験」
開催日　5 月 4 日（水・祝）・5 日（木・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　さとやま屋敷
内　容　木製の機織り機を使い、布を織りあげる体験。
参加費　1,000 円／名
定　員　15 名／日

(26)「綿繰り体験」
開催日　5 月 4 日（水・祝）・5 日（木・祝）
時　間　9：30～16：30（最終受付 15：30）
場　所　ひばの里　さとやま屋敷
内　容　収穫した綿を“綿くり車”にかけ、綿花から種子を取り除く体験。
参加費　無料
定　員　30 名／日

(27)「五月人形の展示」
開催日　4 月 5 日（火）～6 月 5 日（日）
時　間　9：30～17：00
場　所　ひばの里　さとやま屋敷（仏間・床の間・離れ）
内　容　「端午の節句」は、「尚武（しょうぶ）」の節句として、武家の間で盛んに祝われるようになった。この節句は、家の後継ぎとして生れた男の子が、無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となった。また、五月人形の展示は、鎧兜が“身体を守る”ものという意味が重視され、交通事故や病気から大切な子どもを守ってくれるようにという願いも込めて飾る。
参加費　観覧無料

(28)「季節のおもてなし」
開催日　開園期間中毎日
時　間　開園時間
場　所　ひばの里　さとやま屋敷
内　容　畑でとれた野菜を使ったお漬物等、はぶそう茶のおもてなし。
参加費　無料

(29)「昔なつかし遊び」
開催日　開園時毎日
時　間　開園時間
場　所　ひばの里　さとやま屋敷
内　容　昔懐かしい遊具を使った遊びを自由に体験してもらう。

参加費　無料

（30）「箏の演奏会」
開催日　3 月 27 日（日）
時　間　①11：00　②14：00（約 30 分）
場　所　ひばの里　さとやま屋敷離れ
内　容　県立庄原格致高等学校　邦楽部の皆さんによる、箏の演奏。
参加費　観覧無料

（31）「紙芝居」
開催日　4 月 10 日（日）・17 日（日）
時　間　①11：00　②13：00（約 30 分）
場　所　ひばの里さとやま屋敷中庭
内　容　備北地方の紙芝居
参加費　観覧無料

日程	演目	出演団体
4 月 10 日（日）	古事記 神話の山 比婆山物語	ツイハラの会
4 月 17 日（日）	調整中	ひらさとひよこ

（32）「南京玉すだれ」
開催日　4 月 24 日（日）
時　間　10：00～15：30（時間内適宜）
場　所　ひばの里 さとやま屋敷中庭
内　容　ひばの里で、なつかしい街角の大道芸を再現。
参加費　観覧無料

（33）「鯉のぼり上げ」
開催日　4 月 5 日（火）～6 月 5 日（日）
※雨天中止
時　間　9：30～17：00
場　所　ひばの里　田んぼ
内　容　節句にちなんで、田んぼと下の農家に鯉のぼりを上げる。江戸時代に町人階層から生まれた節句飾り。鯉は、清流はもちろん、池や沼でも生息することができる、非常に生命力の強い魚。その鯉が急流をさかのぼり、竜門という滝を登ると竜になって天に登るという中国の伝説。
参加費　観覧無料

（34）「田植え体験」
開催日　5 月 28 日（土）・29 日（日）
時　間　10：00～15：00
場　所　ひばの里　田んぼ
内　容　昔ながらの手植えによる田植え体験を通して、子ども達にさとやま文化に触れてもらう。
※田植え体験は田んぼの一部分を使用して行う
参加費　無料
定　員　100 名／日

10.　庄原市との連携した取り組み

（1）「庄原里山マルシェ ふらり 4 周年感謝祭」
主　催　備北丘陵公園北エリア等活性化協議会
開催日　3 月 20 日（日）
時　間　10：00～15：00
場　所　北入口　エントランスセンター国兼周辺（里山の駅 庄原 ふらり）
内　容
【お問い合わせ】庄原市商工観光課　TEL0824-73-1179
参加費　観覧無料・飲食有料

（2）「SWEETS＆HANA マルシェ」
主　催　備北丘陵公園北エリア等活性化協議会
開催日　4 月 17 日（日）
時　間　10：00～15：00
場　所　北入口　エントランスセンター国兼周辺（里山の駅 庄原 ふらり）
内　容　カワイイを詰め込んだ春満開のマルシェ！
【お問い合わせ】庄原市商工観光課　TEL0824-73-1179
参加費　観覧無料・飲食有料

（3）「肉とキャンプマルシェ」
主　催　備北丘陵公園北エリア等活性化協議会
開催日　5 月 22 日（日）
時　間　10：00～15：00
場　所　北入口　エントランスセンター国兼周辺（里山の駅 庄原 ふらり）
内　容　庄原の肉と自然を楽しむマルシェ！
【お問い合わせ】庄原市商工観光課　TEL0824-73-1179
参加費　観覧無料・飲食有料

（4）「比和牛供養田植」　※NEW
主　催
開催日　5 月 22 日（日）
時　間　10：00～13：00
場　所　ひばの里　田んぼ
内　容　「比和牛供養田植」の一部を演示します。

11. 他施設との連携

（1）「山陰・山陽花めぐり街道　ドライブスタンプラリー」
2022 年 4 月 1 日（金）～2022 年 12 月 31 日（土）期間中毎日
山陰の 6 施設、山陽 9 施設の指定エリアに QR コードを設置し、めぐった施設の数に応じて特典が付く、花の施設をめぐるスタンプラリーを開催する。
※山陰 6 施設
松江フォーゲルパーク・由志園・しまね花の郷・とっとり花回廊・燕趙園・湖山池ナチュラルガーデン
※山陽 9 施設
国営備北丘陵公園・世羅高原農場・世羅高原花の森・花夢の里・世羅ゆり園・世羅甲山ふれあいの里・香山ラベンダーの丘・ラ･スカイファーム・千光寺公園

12. 他団体との連携

（1）「第２回中国「道の駅」グルメフェア」
主　催　中国「道の駅」連絡会
開催日　4 月 23 日（土）・24 日（日）
時　間　10：00～16：00
場　所　大芝生広場
内　容　広島県・島根県・鳥取県・岡山県・山口県の道の駅の名物や特産品を販売、また情報発信を行う。
参加費　観覧無料・飲食及び特産品等有料

13. 自主事業

（1）「駐車券配布企画」
期間中開催
庄原まちなか観光会議と連携し、庄原の各加盟店で一定額以上ご利用の方に、国営備北丘陵公園でご利用いただける無料駐車券を進呈。
※ご利用金額は、各店舗においてそれぞれ設定

（2）「電動キックボードで行く　スイセンガーデンガイドツアー」　※事前予約
開催日　3 月 19 日（土）～21 日（月・祝）・26 日（土）・27 日（日）
※雨天中止
時　間　①10：30～　②14：00～　（約２時間／回）
場　所　受付・講習：中入口　サイクリングセンター
開催場所：園内サイクリングロード
内　容　中入口　サイクリングセンターで、電動キックボード取扱講習（約 15 分）を受講後、園内サイクリングロードを電動キックボードで走行しスイセンガーデン近くくの駐輪場まで移動し､ガーデン内を日本水仙協会会員の公園スタッフの案内で散策する。スイセンガーデン散策後は、電動キックボードでサイクリングロードを自由に走行して楽しんでいただく。
《応募要件》
・スイセンと電動キックボードに興味のある方
・16 歳以上の方（レンタル電動キックボードの使用条件）
・スマートフォンをお持ちで LINE を使用している方
（電動キックボードの使用アプリ取り込みのため）
・体重 90ｋｇ以下の方（電動キックボードの耐荷重のため）
【お問い合わせ】㈱グリーンウインズさとやま　TEL0824－72－72211
参加費　1,500 円／名（レンタル電動キックボード料金含む）
定　員　5 名／回

14. 園内会場間アクセス

（1）「ロードトレイン」

運行日　開園時毎日

場　所　園内（乗車場／中の広場、降車場／各 8 ヵ所）

内　容　花・湖畔景観・丘陵景観等を眺めながら園内を周遊出来る手段としてロードトレインの運行を行う。

※運行時間：①10：00②11：00③13：00④14：00⑤15：00⑥16：00

※運行路の混雑時又は積雪や路面の状況により運休する場合あり

※入園者の状況に応じてスイセンガーデンの周回ルートを運行

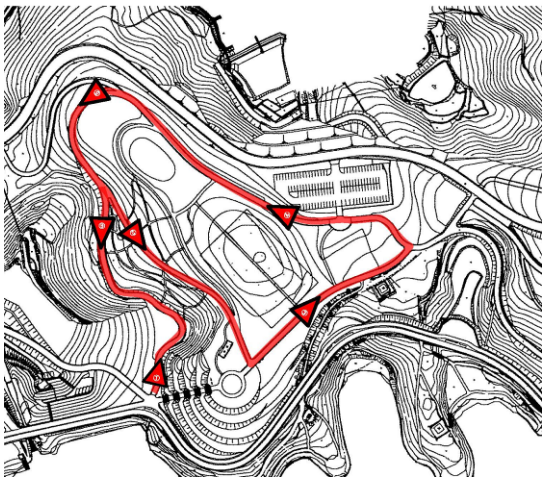
（運行予定期間　3 月 19 日（土）～4 月 10 日（日））

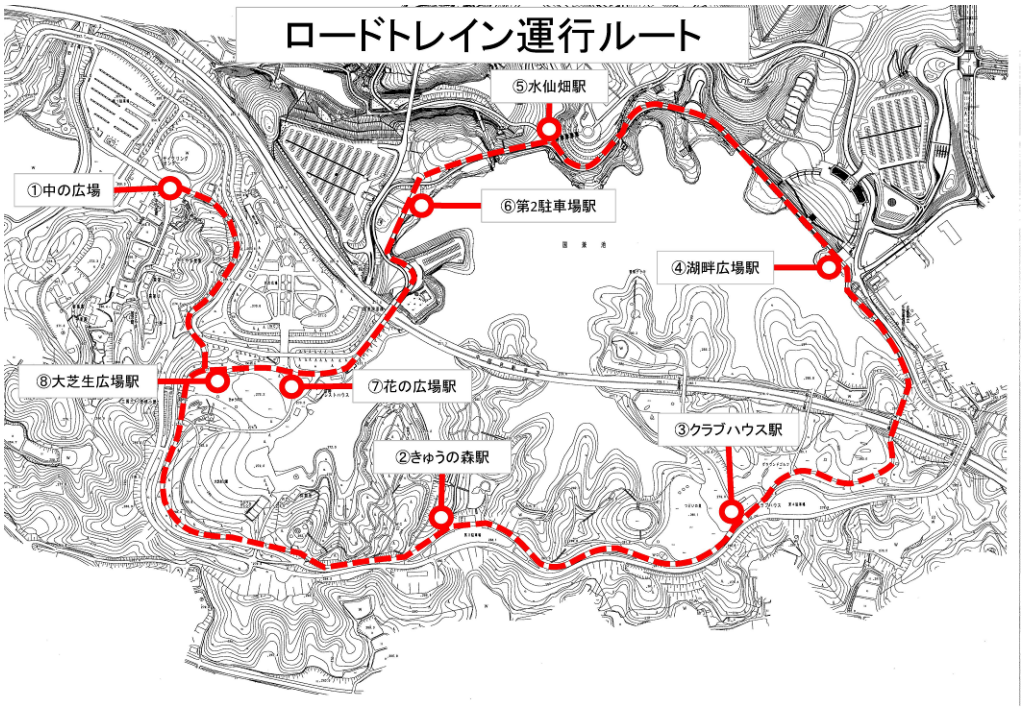
※スイセンの開花状況に応じて運行期間を変更

参加費　320 円／回（3 歳未満は無料）

定　員　11 組／回

ロードトレインスイセンガーデン運行ルート





(2)「無料シャトルバス」
運行日　4 月 30 日（土）、5 月 1 日（日）、5 月 3 日（火祝）～5 月 5 日（木・祝）
場　所　園内
内　容　園内を循環する無料シャトルバスを運行する。
参加費　無料
定　員　35 名／回

(3)「思いやり号」
運行日　3 月～11 月開園時毎日
場　所　中入口　中の広場～大芝生広場　湖畔レストハウス間
内　容　中の広場～湖畔レストハウス～ひばの里にかけてシルバーカーの運行を行う。
※シルバー、歩行困難な方を優先
※荒天その他管理上の観点から適当でないと判断できる場合運休
参加費　無料
定　員　7 名／回

15. 広報

「備北花ピクニック 2022」の周知を目的として本行事を告知するポスター・チラシ作成配布のほか、WEB の活用、有料広告掲載等と組み合わせて広報を展開する。中国やまなみ街道開通による島根県、岡山県方面からの来園者増を図ると共に、本公園の主要来園者である広島県からの来園者増も図るよう広域的かつ戦略的に広報を展開する。

（1）報道関係記者発表
開催記者発表により新聞報道各社の取材報道を促進する。

1）記者発表スケジュール
3 月 17 日（木）予定
［記者発表先］
広島合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、三次記者クラブ

2）現地説明会　スイセン及び花の広場の開花状況により案内
※記者クラブ
三次記者クラブ

（2）ポスター掲示・チラシ設置／配布
中国やまなみ街道沿線並びにそれに絡む主要幹線道路を踏まえ､本公園の主要来園者である広島県をはじめ、岡山県・島根県・鳥取県・山口県の中国地方全域へポスター・リーフレット設置及び配布を行う。（中国地方の道の駅、観光施設、広島県情報コーナー等）
また、広島県（一部地域を除く）及び岡山県（一部地域のみ）の小学校児童、保育所園児へリーフレット配布を行う。

1）印刷枚数予定
A4 チラシ　　75,000 部
B2 ポスター　350 部

（3）WEB

公園 HP（PC・携帯サイト、YouTube）・SNS（facebook・twitter）などを活用して、イベント案内を中心にタイムリーな情報を掲出する。

1）SNS（Facebook・Instagram）広告

広告期間　3・4 月
広告内容　サイト誘因広告
広告範囲　広島県・岡山県
※金額、期間、エリア、年齢・性別、趣味・関心、誘引先から設定可能

2）Yahoo!ディスプレイネットワーク広告

広告期間　3・4 月
広告内容　サイト誘因広告
広告範囲　広島県・岡山県・山口県・島根県・鳥取県
※金額、期間、エリア、年齢・性別、趣味・関心、誘引先から設定可能

3）YouTube 広告

広告期間　3・4 月
広告内容　情報接触（リーチ）広告
広告範囲　広島県・岡山県
※金額、期間、エリア、年齢・性別、趣味・関心、誘引先から設定可能

4）LINE 広告

広告期間　3・4 月
広告内容　サイト誘因広告
広告範囲　広島県
※金額、期間、エリア、年齢・性別、趣味・関心、誘引先から設定可能

5）ウェブマガジン広告（広島のタウン情報ウェブマガジン　ペコマガ）

広告期間　3・4 月
広告内容　体験取材記事広告
広告範囲　広島、20 代前半女性、アクティブな方をターゲットとする

6）ウェブマガジン広告（ひろしま子育て情報　pikabu）

広告期間　3・4・5 月
広告内容　体験取材記事広告
広告範囲　広島、20～30 代女性、子育て世代をターゲットとする

（4）バスラッピング

高速乗合バスなどを活用して、ラッピングすることで公園の周知を図る。

1）ラッピング

備北交通株式会社　高速乗合バス×1 台
※高速乗合バスのリア部分のみラッピング

2）運行ルート

～3 月 31 日　広島⇔千代田・三次・庄原・東城線
4 月 1 日～　国営備北丘陵公園 直通便

（5）公園外施設の活用（PR キャンペーン）

公園外施設と連携し、ポスター掲出やチラシ設置を行うことで公園の周知を図る。

1）PR キャンペーン地域

広島県（広島市・庄原市）

2）PR キャンペーン実施数

PR キャンペーン数：　全 3 回

No	日付	場所	時間	チラシ配布数
1	3 月 5 日（土）	マツダスタジアム PR	11:00～16:00	100
2	3 月 13 日（日）	マツダスタジアム PR	11:00～16:00	100
3	4 月 10 日（日）	しょうばらさくらフェスティバル	10:00～16:00	1,000
	合　計			1,200

都市公園占用等申請書

都市公園法　第６条　　都市公園占用許可申請書

都市公園法　第 12 条　　許可申請書

都 市 公 園 占 用 許 可 申 請 書

令和　　年　　月　　日

国営備北丘陵公園管理者
中国地方整備局長　殿

〒
住所
氏名
印
TEL

都市公園法第 6 条により下記の通り許可を申請します。

記

都　市　公　園　名	国営備北丘陵公園
占　用　場　所	
占　用　期　間	
占　用　目　的	
占用物件の名称 規模・構造及び数量	
工事実施方法及び 工事着手及び 完了の期間	
占用物件の管理方法	
都市公園の復旧方法	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	

令和　年　月　日

国営備北丘陵公園管理者
中国地方整備局長　殿

○○○○
備北公園管理センター
管理センター長　○○○○　　㊞

都市公園法第6条の規定に基づいて、別紙の申請がありましたので提出いたします。

名　称

備北公園管理センター所見

審査した結果、管理に支障はないと思われます。

受理年月日　　平成　　年　　月　　日

申　請　者

許 可 申 請 書

様式３

国営備北丘陵公園管理者
中国地方整備局長　　殿

〒
申請者　住所

氏名　　㊞

連絡先　TEL　　(　　)

FAX　　(　　)

都市公園法第 12 条の第１項の許可を受けたいので、下記により申請いたします。

記

行 為 の 種 別	
日 時 又 は 期 間	
場　　所	
目　　的	
内　　容	
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	

備　考

１．申請者が法人である場合は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載する。

２．「その他参考となるべき事項」の欄には、次の事項の他、許可申請にあたって、特記すべき事項を記入する。

(1) 工作物の設置を行うときは、その工作物の種類、設置場所、設置期間、その他必要事

(2) 変更の許可申請の場合には、すでに受けた許可の年・月・日

３．提出部数　１部

４．工作物を設置する場合は、その規格を明記すること。

令和　年　月　日

国営備北丘陵公園管理者
中国地方整備局長　殿

〒

申請者　住所

氏名

連絡先 TEL　　（　　）

FAX　　（　　）

都市公園法第 12 条第 1 項に基づいて、別紙の申請がありましたので提出いたします。

名　称

備北公園管理センター所見

別紙チェックリストにより検討した結果、実施して良いと思われます。

受理年月日　　平成　　年　　月　　日

申　請　者

国営備北丘陵公園　持込イベントチェックリスト（案）

No.　420

No.	項　　目	摘　　要			適 or 否
1	件名				○適 ○否
2	申請者	団体名			○適 ○否
		申請者名			
3	許可基準	国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領			○適 ○否
4	開催日				○適 ○否
5	雨天				○適 ○否
6	開催時間		集合時間		○適 ○否
7	開催場所		集合場所		○適 ○否
8	入園口		利用駐車場		○適 ○否
9	入園方法		入園料支払方法		○適 ○否
10	仮入園券	大人　　枚　小人　　枚			○適 ○否
11	参加規模	人	参加料　¥		○適 ○否
12	名義使用申請		使用名義		○適 ○否
13	占用許可申請				○適 ○否
14	園内禁止行為	都市公園法、国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領			○適 ○否
15	物品の販売、配布	機構、管理センター等による利用促進を目的とした公益的事業のみ許可			○適 ○否
16	会場設営	実施日			○適 ○否
		時間　　場所			
		実施者　　内容			
		貸与物品			
		車両入園　　台数　　台 入園口			
		許可条件			
17	園内施設の使用	□無 □電気 □水道 □植栽 □その他（　　）			○適 ○否
18	スタッフ入園	入園人数　　人 集合時間			○適 ○否
		入園口　　スタッフ車両台数　　台			
		許可条件			
19	安全管理				○適 ○否
20	ゴミの処分				○適 ○否
21	広報				○適 ○否
		広報内容			
22	同日他利用との調整	開催行事名称			○適 ○否
		開催時間			
		開催場所			
23	感染防止対策				○適 ○否
24	その他特記事項 （園内交通等調整を要する事項や弁当の搬入等の留意項を入力する）				○適 ○否
	事前打合せ	印			

公園利用重点調整区域図



1:13,853

0　125 250　　500　m

凡例

- 入口・ゲート付近
- 自動車園路

ボランティア活動規約・活動内容

ボランティア活動について

- 本公園におけるボランティア活動は以下の通り
- 一般公募型「公園が公募し活動を開始した団体」
- 特定団体連携型「公園が既存団体と連携し活動を開始した団体」

区分	名称	活動概要	登録者数	活動日	主体
一般公募型	ひばの里友の会	備北地域の明治～昭和初期の昔懐かしい景観や暮らしぶりを再現した「ひばの里」エリア、季節に応じた飾りや食づくりなどの「ものづくり」を行い、活動を通じて地域に伝わる文化や歴史の保存と継承を目指す。	－	季節毎 （年 4 回程度）	一般公募
	グリーン レンジャー	公園の豊かな自然を背景に、個人の知識向上を図り公園内の動植物の保護、そして公園を訪れるお客様に様々な自然に触れる催しや活動を通じて、自然の大切さや素晴らしさを伝え、また自然や環境にかかわる活動をする人を育てる事を目的とする。 公園内の動植物の保護やイベント時にはお客様への動植物のご案内するガイドも行う。	8名	毎月 1 回程度 （年 10 回程度）	庄原・三次地域の植物に関心のある方が中心。
	森の楽校	いこいの森での森の手入れと活動を通した森の担い手の育成	15名	毎月1回程度	NPO 法人森のバイオマス研究会が主体になり、庄原・三次地域住民、県立広島大学の先生や学生が指導者。一般参加者は公募。
特定団体連携型	しょうばら花会議	庄原市内の花愛好家による市内の緑化活動の一環として、公園内の花修景作業を行う。	40名	毎月1回程度	

国営備北丘陵公園「ひばの里友の会」ボランティア規約

第1章 総則

（目的）
第1条 本ボランティアは、国営備北丘陵公園（以下「公園」という）ひばの里エリアにおいて、「ものづくり」などの活動を行い、地域に伝わる文化や歴史の保存と継承を目的としたボランティア団体である。

（名称）
第2条 本ボランティアを国営備北丘陵公園「ひばの里友の会」（以下、「本会」と言う）と称する。

（構成及び資格）
第3条 本会は会員（以下「ボランティア」という。）をもって構成する。

1 ボランティアは、グリーンウインズ共同体備北公園管理センター（以下、「管理センター」という。）が認定し、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所（以下「公園課」という。）が承認した者とする。

第2章 登録・退会

（登録申請）
第4条 本会に登録しようとする者は、登録申請書（様式第一号）により管理センターに申請する。

1 管理センターは、申請内容が適当と認めるときは、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を発行し申請者に通知する。
2 公園内外で本会のボランティアを行うときは許可証を携行・表示しなければならない。

（登録期間）
第5条 本会の登録期間は、毎年3月31日をもって終了する。ただし、再登録は妨げない。

1 再登録は、本規約第6条の活動中止届け（様式第二号）の提出がない限り継続登録とする。

（活動の中止・退会）
第6条 本会登録者は、活動を中止し退会しようとするときは、活動中止届け（様式第二号）を管理センターに提出し、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を返却する。

（登録の取り消し）
第7条 管理センターは本会員が次の各号のいずれかに該当したときは、当人に退会勧告を行いその登録を取り消すものとする。

1 本規約第1条の目的に反する行為を行うなど、ボランティアとして不適格と認められる事実が発生したとき。
2 来園者の安全・快適な公園利用を妨げる行為を行った場合。
3 都市公園法などの法令に違反している行為を行った場合。
4 本会及び国営備北丘陵公園の名誉を傷つけ、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合。
5 その他、本規約のいずれかに違反した場合。

第3章 活動内容

（本会員に必要な研修）
第8条 本会活動に当たっては、活動内容に応じた服装・安全具の装着のほか、活動日の健康状態・天候などふまえ、自身の健康管理に十分留意すると共に、公園利用者・本会会員の安全にも十分留

意して活動していただくために次の各号の研修を行う物とする。

1 本公園についての知識と基本情報。
2 本会活動時における安全管理。
3 来園者に対する対応のあり方。
4 別途管理センターが指定する研修。

（活動内容）
第9条 本会は第1条に掲げる目的で次の各号に掲げる内容について活動する。

1 ひばの里で使用する装飾物や、おもてなし食作りなどの「ものづくり支援」を行う。

第4章 その他

（個人情報の取扱）
第10条 各登録手続きによって提出された個人情報は認定にかかる管理センターでの協議と活動に関する連絡のため意外は使用しない。

（著作権の取扱）
第11条 本会活動において製作・撮影された作品・写真等の著作権は、管理センターに帰属する。

付則
この規約は、令和元年 9 月 27 日から施行する。

国営備北丘陵公園「グリーンレンジャー」
ボランティア規約

第1章　総則

（目的）

第1条　本ボランティアは、国営備北丘陵公園（以下「公園」という）の豊かな自然を背景に、個人の知識向上を図り公園内の動植物の保護、そして公園を訪れる人々に様々な自然に触れる催しや活動を通じて、自然の大切さや素晴しさを伝え、また自然や環境にかかわる活動をする人を育てる事を目的としたボランティア団体である。

（名称）

第2条　本ボランティアを「国営備北丘陵公園グリーンレンジャー」（以下、「本会」と言う）と称する。

（構成及び資格）

第3条　本会は監修を行っていただく専門家の先生と自然の動植物に対する理解と知識向上意欲を持っている方で構成され、定期的に開催されるボランティア活動・研修・講習に積極的に参加でき、グループの和を尊重できる方であれば知識・年齢・学歴は問わない。

第2章　登録・退会

（登録申請）

第4条　本会に登録しようとする者は、登録申請書（様式第一号）によりグリーンウインズ共同体備北公園管理センター（以下「管理センター」という。）に申請する。

2　管理センターは、申請内容が適当と認めるときは、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を発行し申請者に通知する。

3　公園内外で本会のボランティアを行うときは許可証を携行・表示しなければならない。

（登録期間）

第5条　本会の登録期間は、毎年3月31日をもって終了する。ただし、再登録は妨げない。

2　再登録は、本規約第6条の活動中止届け（様式第二号）の提出がない限り継続登録とする。

（活動の中止・退会）

第6条　本会登録者は、活動を中止し退会しようとするときは、活動中止届け（様式第二号）を管理センターに提出し、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を返却する。

（登録の取り消し）

第7条　管理センターは本会員が次の各号のいずれかに該当したときは、当人に退会勧告を行いその登録を取り消すものとする。

1　本規約第1条の目的に反する行為を行うなど、ボランティアとして不適格と認められる事実が発生したとき。

2　来園者の安全・快適な公園利用を妨げる行為を行った場合。

3　都市公園法などの法令に違反している行為を行った場合。

4　本会及び国営備北丘陵公園の名誉を傷つけ、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合。

5　その他、本規約のいずれかに違反した場合。

第3章　活動内容

（本会員に必要な研修）

第8条　本会活動に当たっては、活動内容に応じた服装・安全具の装着のほか、活動日の健康状態・天候などふまえ、自身の健康管理に十分留意すると共に、公園利用者・本会会員の安全にも十分留意して活動していただくために次の各号の研修を行う物とする。

1　本公園についての知識と基本情報。

2　本会活動時における安全管理。

3　来園者に対する対応のあり方。

4　別途管理センターが指定する研修。

（活動内容）

第9条　本会は第1条に掲げる目的で次の各号に掲げる内容について活動する。

1　自然の動植物に対する知識の習得。

2　本公園に自生する希少植物の保護育成と、地元団体と連携した環境保全事業への取組み。

3　山野草・野鳥・昆虫などの自然観察会など公園が主催するイベントの運営サポート及びガイド。

4　野鳥が飛来・生息しやすい環境作り、希少昆虫の保護育成等。

5　第1条に掲げた目的に沿った活動。

第4章　その他

（個人情報の取扱）

第10条　　各登録手続きによって提出された個人情報は認定にかかる管理センターでの協議と活動に関する連絡のため意外は使用しない。

（著作権の取扱）

第11条　　本会活動において製作・撮影された作品・写真等の著作権は、管理センターに帰属する。

付則

この規約は、平成25年8月23日から施行する。

国営備北丘陵公園「森の楽校」
ボランティア規約

第1章　総則

（目的）

第1条　　本ボランティアは、国営備北丘陵公園（以下「公園」という）の豊かな自然を背景に、手つかずの自然がある「いこいの森」の手入れをしながら、自然にふれて人と森の係わり方を考え、次の世代に里山を残し伝え、また森の手入れ道具の使い方を身につけ、森に感謝しながら整備を行う事を目的としたボランティア団体である。

（名称）

第2条　　本ボランティアを国営備北丘陵公園「森の楽校」（以下、「本会」と言う）と称する。

（構成及び資格）

第3条　　本会は会員（以下「ボランティア」という。）をもって構成する。

2　　ボランティアは、グリーンウインズ共同体備北公園管理センター（以下、「管理センター」という。）が認定し、国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所（以下「公園課」という。）が承認した者とする。

第2章　登録・退会

（登録申請）

第4条　　本会に登録しようとする者は、登録申請書（様式第一号）により管理センターに申請する。

2　　管理センターは、申請内容が適当と認めるときは、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を発行し申請者に通知する。

3　　公園内外で本会のボランティアを行うときは許可証を携行・表示しなければならない。

（登録期間）

第5条　　本会の登録期間は、毎年3月31日をもって終了する。ただし、再登録は妨げない。

2　　再登録は、本規約第6条の活動中止届け（様式第二号）の提出がない限り継続登録とする。

（活動の中止・退会）

第6条　　本会登録者は、活動を中止し退会しようとするときは、活動中止届け（様式第二号）を管理センターに提出し、ボランティア入園許可証・車輌入園許可書を返却する。

（登録の取り消し）

第7条　　管理センターは本会員が次の各号のいずれかに該当したときは、当人に退会勧告を行いその登録を取り消すものとする。

1　　本規約第1条の目的に反する行為を行うなど、ボランティアとして不適格と認められる事実が発生したとき。

2　　来園者の安全・快適な公園利用を妨げる行為を行った場合。

3　都市公園法などの法令に違反している行為を行った場合。
4　本会及び国営備北丘陵公園の名誉を傷つけ、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合。
5　その他、本規約のいずれかに違反した場合。

第 3 章　活動内容

（本会員に必要な研修）
第 8 条　本会活動に当たっては、活動内容に応じた服装・安全具の装着のほか、活動日の健康状態・天候などふまえ、自身の健康管理に十分留意すると共に、公園利用者・本会会員の安全にも十分留意して活動していただくために次の各号の研修を行う物とする。
1　本公園についての知識と基本情報。
2　本会活動時における安全管理。
3　来園者に対する対応のあり方。
4　別途管理センターが指定する研修。

（活動内容）
第 9 条　本会は第 1 条に掲げる目的で次の各号に掲げる内容について活動する。
1　自然の動植物に対する知識の習得。
2　本公園に自生する希少植物の保護育成と、地元団体と連携した環境保全事業への取組み。
3　森林管理の実施及び指導。
4　本公園主催のイベントの実施準備、運営補助。
5　第 1 条に掲げた目的に沿った活動。

第 4 章　ボランティア保険

（ボランティア保険）
第 10 条　本会員は全員「ボランティア活動保険」に加入し、加入にかかる保険料の費用等は管理センターが負担する。
2　本会員は自らの責任で活動を行う事とするが、ボランティア活動中に生じた事故やケガについては、ボランティア保険の適用範囲内で対応する。

第 5 章　その他

（個人情報の取扱）
第 11 条　各登録手続きによって提出された個人情報は認定にかかる管理センターでの協議と活動に関する連絡のため意外は使用しない。
（著作権の取扱）
第 12 条　本会活動において製作・撮影された作品・写真等の著作権は、管理センターに帰属する。
付則
この規約は、平成 25 年 4 月 27 日から施行する。

国営備北丘陵公園

グラフィックマニュアル

はじめに

国兼池を中心にした湖畔景観や丘陵景観など、緑豊かな自然を生かして設計された国営備北丘陵公園は、四季にわたる様々なレクリエーションが楽しめ、中国地方の歴史や文化とのふれ合いを通じて、文化の継承や新しい文化をはぐくむことを目的とした、地域との深いつながりを持った公園です。中でも、このような公園全体の理念をうけて整備された〈ひばの里〉ゾーンは、今やほとんど失われてしまった「ふるさと」を創出し、来園者自らが「遊び」に参加し、ふるさとの生活も再現されるという、新しいタイプの体験スペースです。

この VI（Visual Identity）マニュアルは、こうした公園のイメージを視覚的に確立すること、関連事業体や広く一般に対して円滑なコミュニケーションを計ることを目的に制作されました。ここには VI の核となる、シンボルマーク、ロゴタイプ、シンボルカラー、キャラクターと、その使い方が規定されています。さまざまな品目の制作時に、このマニュアルを有効に利用され、公園のイメージ向上に役立てて下さるようお願いいたします。

なお、本編に紹介されているシンボルマーク、ロゴタイプ、キャラクターを国公園事務所以外の組織が使用される際は、下記に許可をとっていただくことをお願いいたします。

国土交通省中国地方整備局
三次河川国道事務所　公園課（国営備北丘陵公園分室）
〒727―００２１　広島県庄原市三日市町４－１０
TEL 0824-72-5000　　FAX 0824-72-7532

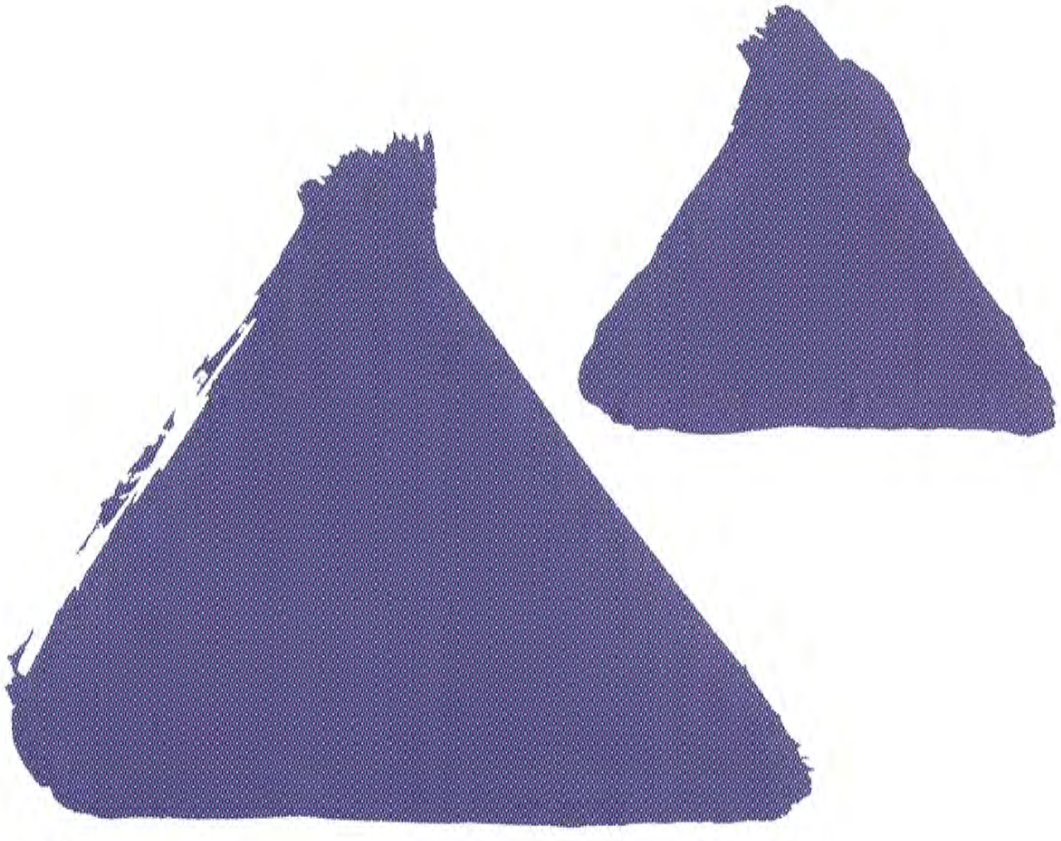
シンボルマーク

「ふるさと・遊び」を形に反映させた、国営備北丘陵公園の象徴です。

ふるさとをイメージさせる「茅葺き屋根」や「山」と、遊びをイメージさせる「三角おにぎり」をモチーフとし、日ごろ都会人が忘れかけている、のんびりやゆったりといった感覚をフリーハンドによる自然な風合いで表現しました。

シンボルマークは、国営備北丘陵公園ロゴタイプと組み合わせて、使用します。ただし、公園旗、公園章などの象徴性の高い品目には、マーク単独で使用することができます。

シンボルマークはシンボルカラーで再現します。ただし、場合によっては白ヌキや黒での再現が可能です。詳しくはVI要素表示規定を参照して下さい。



国営備北丘陵公園ロゴタイプ

公園の名称を正式に表記するオリジナル書体です。

ロゴタイプは、文字の角を丸め、国営備北丘陵公園にふさわしいやさしい印象をあたえるようデザインしました。さらに可読性を高め、恒久的使用に耐えるよう配慮しました。

国営備北丘陵公園ロゴタイプは、必ずシンボルマークと組み合わせて使用します。ロゴ単独で使用することはできません。英文ロゴタイプは、外国人向けの品目に使用して下さい。

ロゴは黒で再現します。ただし、場合によっては白ヌキが可能です。詳しくはVI要素表示規定を参照して下さい。

国営備北丘陵公園

Bihoku Hillside Park

シンボルカラー

「ふるさと・遊び」のイメージを反映したシンボルカラーを設定しています。

古来から日本では高貴な色とされてきた紫は、非日常の「ハレ」をイメージさせる色です。都会から帰る人を迎えるふるさとの歓待の気持ちと、ふるさとの持つ伝統的なイメージをこの色に求めました。

シンボルカラーは、主としてシンボルマークに使用します。また、デザイン要素としても使用できます。

色の指定は下記に準じておこなって下さい。
可能な場合には、特色（DIC 456）を使用してください。



印刷	特色	DIC 456（15版） （大日本インキ化学）
	四色分解	C60% + M70% + BL10%
塗装		S40-858 （94年 日本塗料工業会標準色）
タックシート		V-0252 （94年 住友スリーエム社 スコチカルシート コントロールタック・プラスフィルム）

可能な場合には、特色（DIC 456）を使用してください。

サブカラー

公園のカラーイメージを統一するうえで、品目のデザイン要素として使用することが望ましいカラーの例を下記に示します。
有彩色4系統と無彩色1系統をサブカラーとして設定しました。

有彩色	緑系	DIC 2352 Part2 2版	DIC 391 15版	DIC 441 15版
	青系	DIC 426 15版	DIC 431 15版	DIC 427 15版
	赤系	DIC 2257 Part2 1版	DIC 2247 Part2 2版	DIC 2471 Part2 2版
	茶系	DIC 525 14版	DIC 523 14版	DIC C-144 1版 （中国の伝統色）
無彩色		BL100	BL50	BL0

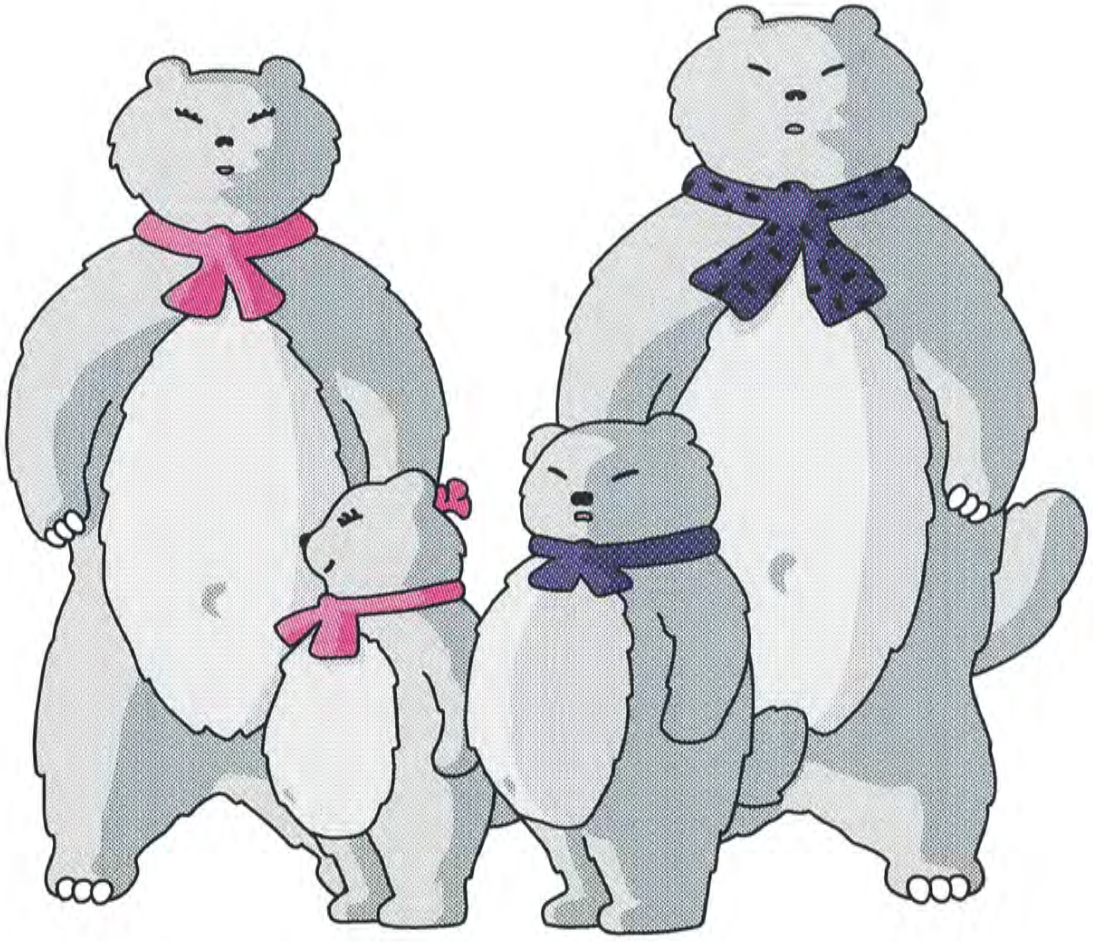
キャラクター

利用者に公園に対する親近感をもってもらい、「ふるさと・遊び」を補強する要素です。

昔話にもあるように、「タヌキ」は、最も人々に親しみをもって語られる生き物です。タヌキをモチーフにしたキャラクターは数多く存在しますが、のんびりとして、おおらかなところを強調して、国営備北丘陵公園独自のものにしました。

キャラクターは、来園者や広く一般に向けた品目に、使用することができます。
他のVI要素と、組み合わせて使用することはできません。
キャラクター自身のデザイン展開は自由です。

再現色は「キャラクターの表現」を参照して下さい。

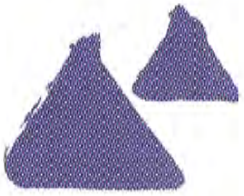


VI 要素の表示基本形

それぞれのVI要素のもつ役割や意味を考慮し、下記のように表示基本形として規定します。

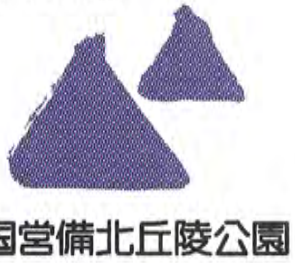
これら以外の形で使用することはできません。

●シンボルマーク



公園旗、公園章に使用します。

●シンボルマーク+ロゴ（タテ組）



基本的にあらゆる品目に使用します。

タテ組とヨコ組は、デザインや表示スペースに応じて使い分けてください。

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせのバランスは変えることができません。

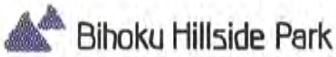
英文は、外国人向けのパンフレットなどに使用してください。

●シンボルマーク+ロゴ（ヨコ組）

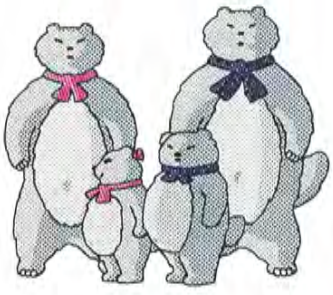


●シンボルマーク+ロゴタイプ（英文タテ組／英文ヨコ組）





●キャラクター



来園者や広く一般に向けた品目に、使用することができます。

他のVI要素と組み合わせて使用することはできません。

キャラクター自身のデザイン展開は自由です。

シンボルマーク+ロゴタイプのまちがえやすい表現

間違えやすい使用例を下記に示します。

ここに示されている規定は、シンボルマーク+ロゴタイプのタテ組／ヨコ組、和文ロゴ／英文ロゴとも共通です。



きめられたマークとロゴの大きさとバランスを変えることはできません。



きめられたマークとロゴを変形して使用することはできません。



きめられたロゴの代わりに他の書体を使用することはできません。



きめられたマークとロゴの組み合わせ方以外は使用できません。



きめられたマークとロゴの組み合わせ方以外は使用できません。



きめられたマークとロゴの近くにキャラクターや他の要素を組み合わせ、一体化して使用することはできません。



きめられたマークとロゴの間隔を変えることはできません。



マークの代わりにキャラクターや他の要素と組み合わせて使用することはできません。



マークやロゴはどのような場合でもふちどることはできません。



背景色が濃くマークやロゴが目立たない場合は白ヌキにします。



背景色が黒の場合でも、マークにシンボルカラーを使うことはできません。



マークとロゴは白ヌキにします。



きめられたマークとロゴの色を変えることは出来ません。

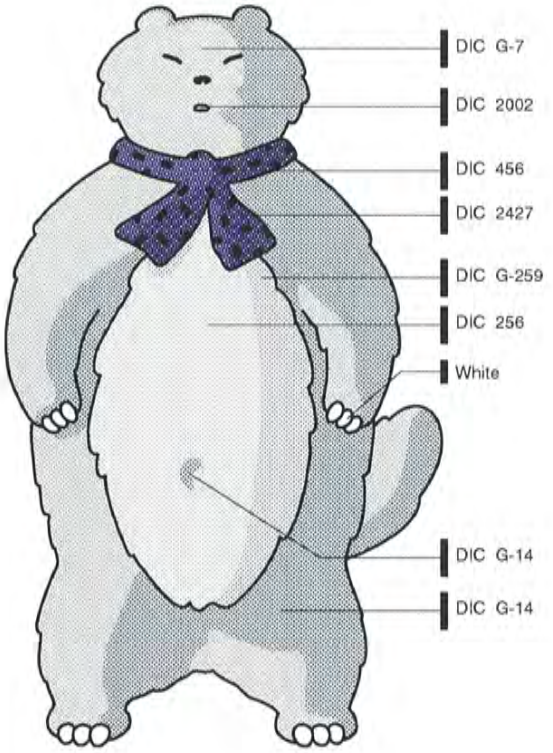


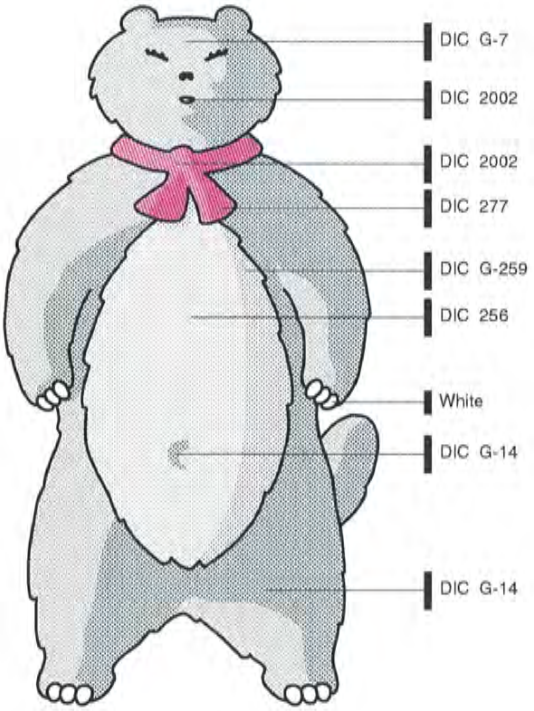
きめられたマークとロゴの色を使用して下さい。

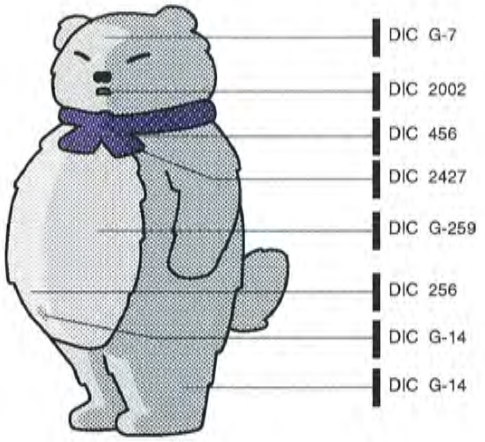
キャラクターの表現1（カラー・特色）

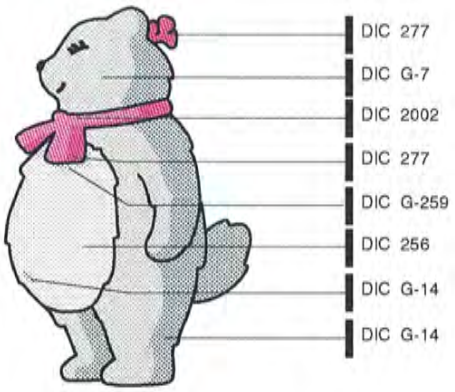
特色でカラー表現を行う場合、キャラクターの色指定は下記に準じておこなって下さい。

このほかに、四色分解、アミふせ・モノクロ、線画の表現が可能です。





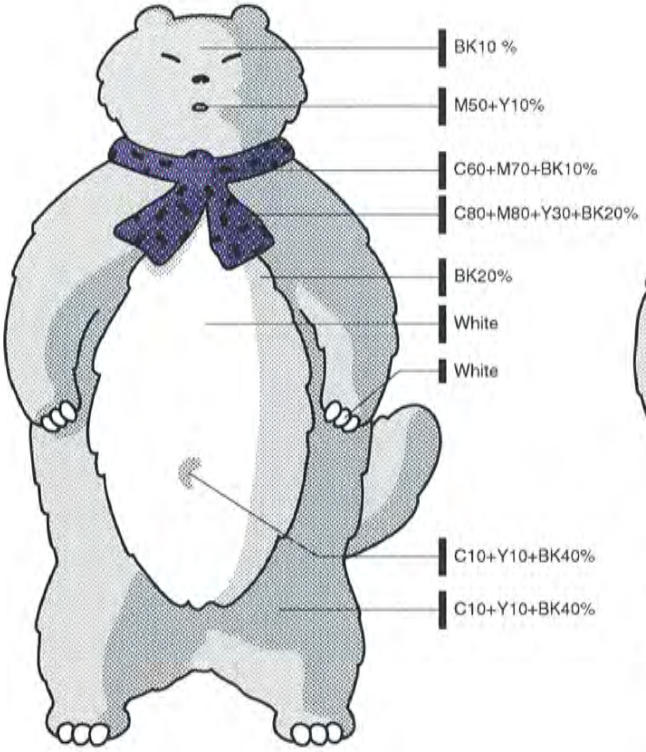


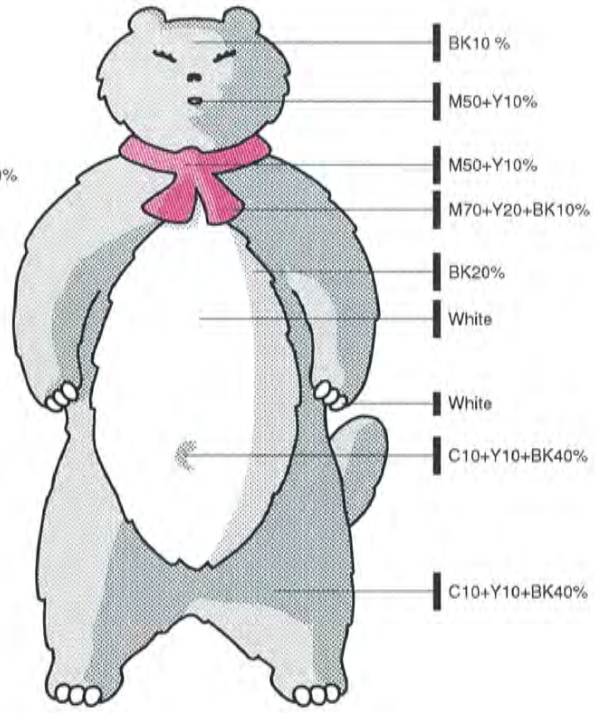


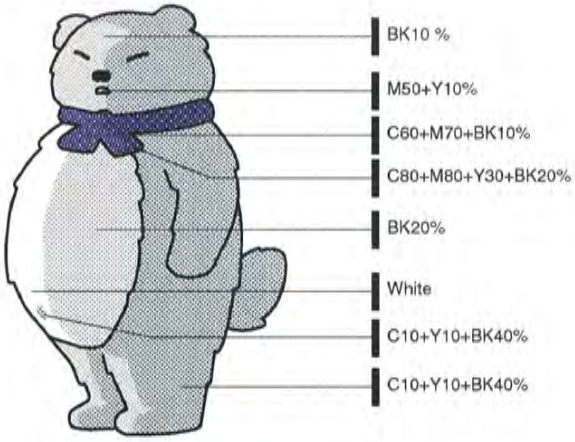
キャラクターの表現2（四色分解）

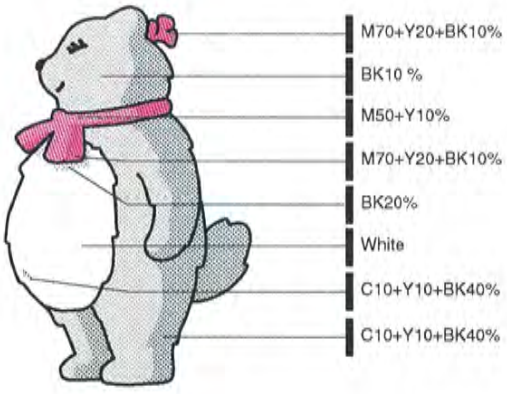
四色分解でカラー表現を行う場合、キャラクターの色指定は下記に準じておこなって下さい。

このほかに特色・カラー、アミふせ・モノクロ、線画の表現が可能です。





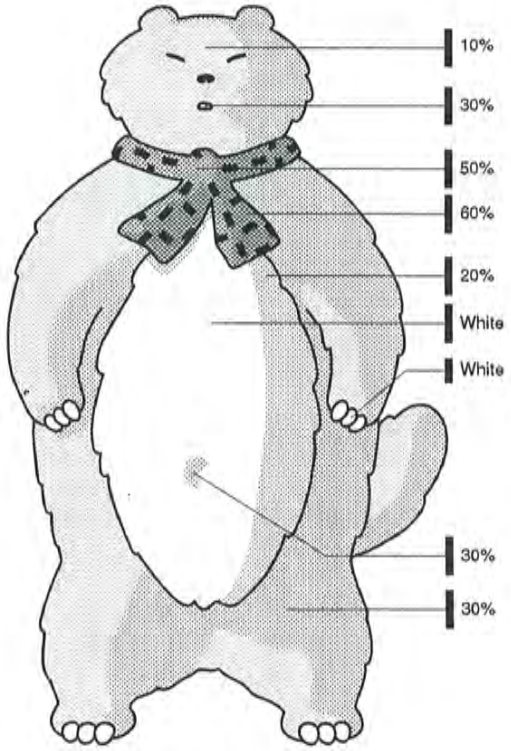


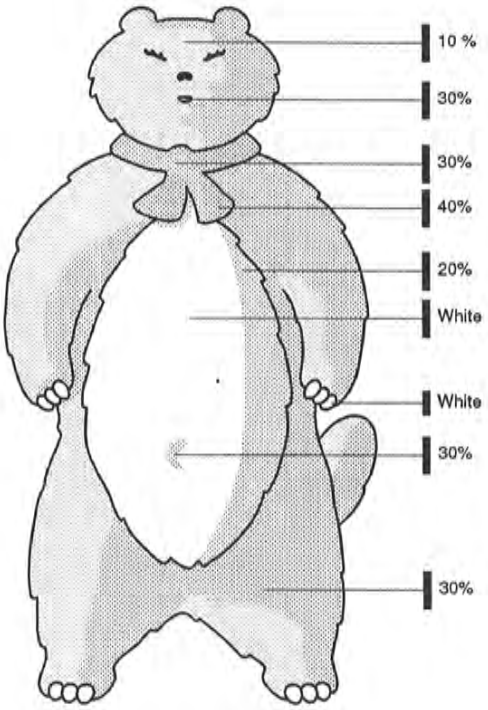


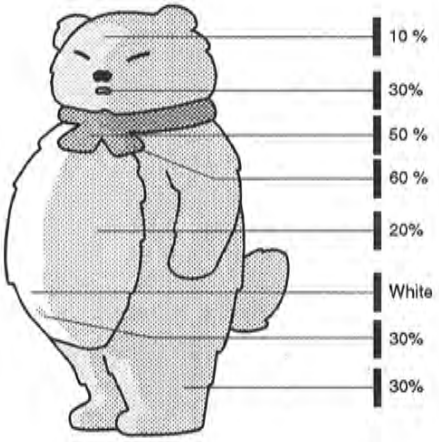
キャラクターの表現2（モノクロ・アミふせ）

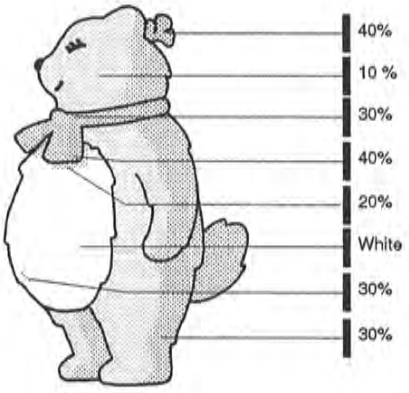
モノクロ・アミふせの場合、キャラクターのアミふせ指定は下記に準じておこなって下さい。

このほかに特色・カラー、四色分解、、線画の表現が可能です。









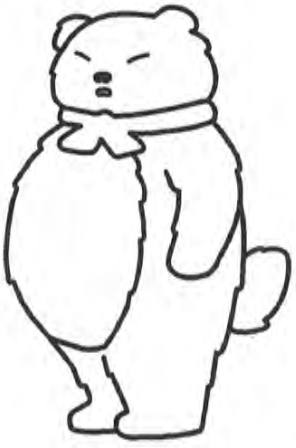
キャラクターの表現3（線画）

線画の場合、下記のものを使用して下さい。

このほかに特色・カラー、四色分解、モノクロ・アミふせ、の表現が可能です。









キャラクターのデザイン展開

キャラクターのデザイン展開は自由です。

下記に、事例として四季の展開を示します。その他、必要に応じ自由に展開して下さい。

春



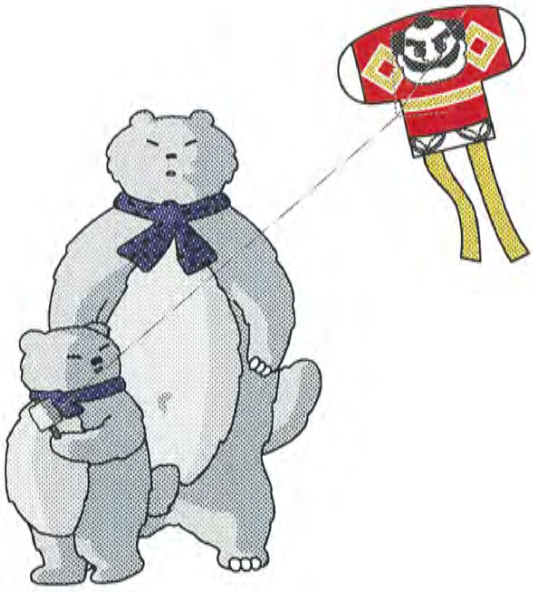
夏



秋



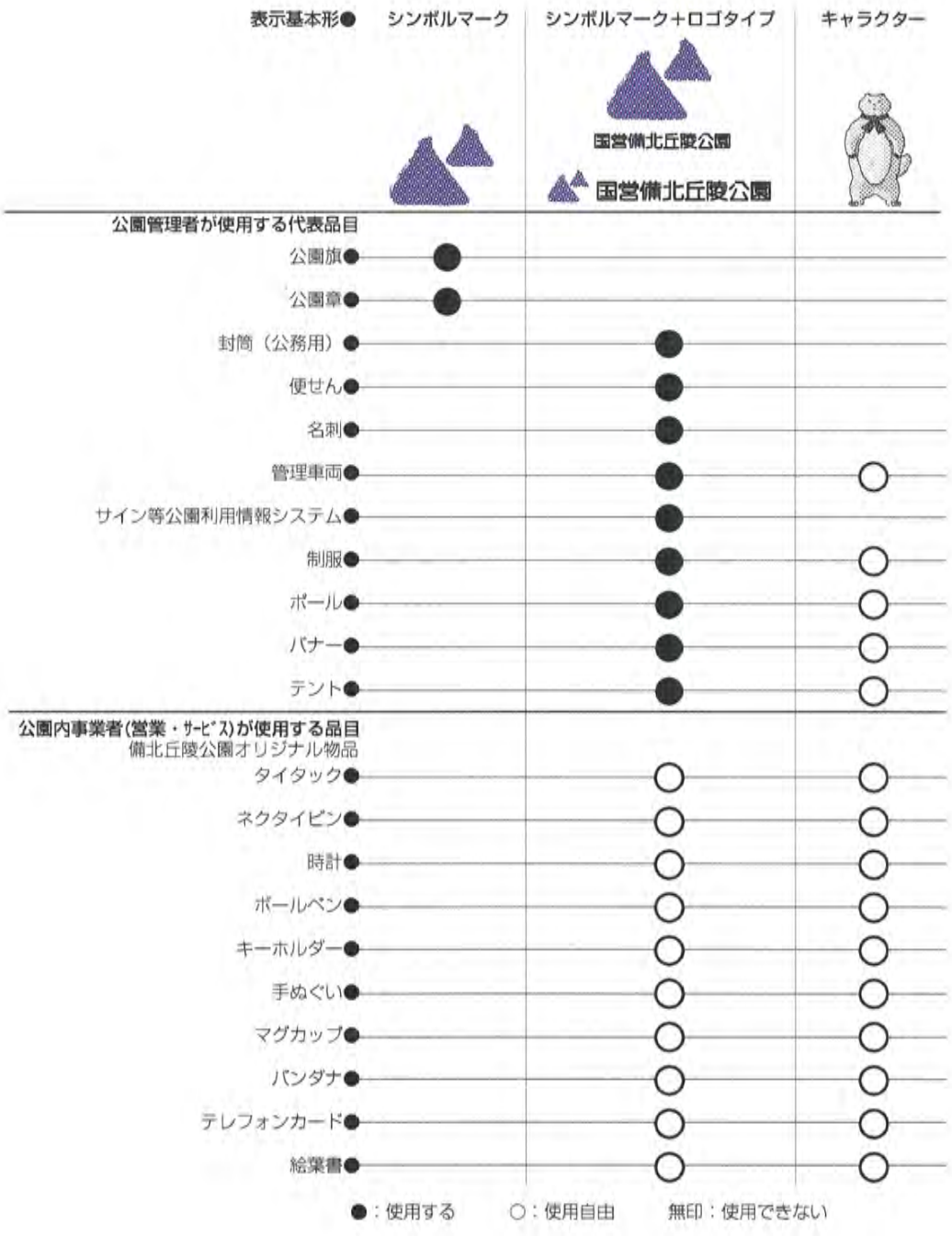
冬



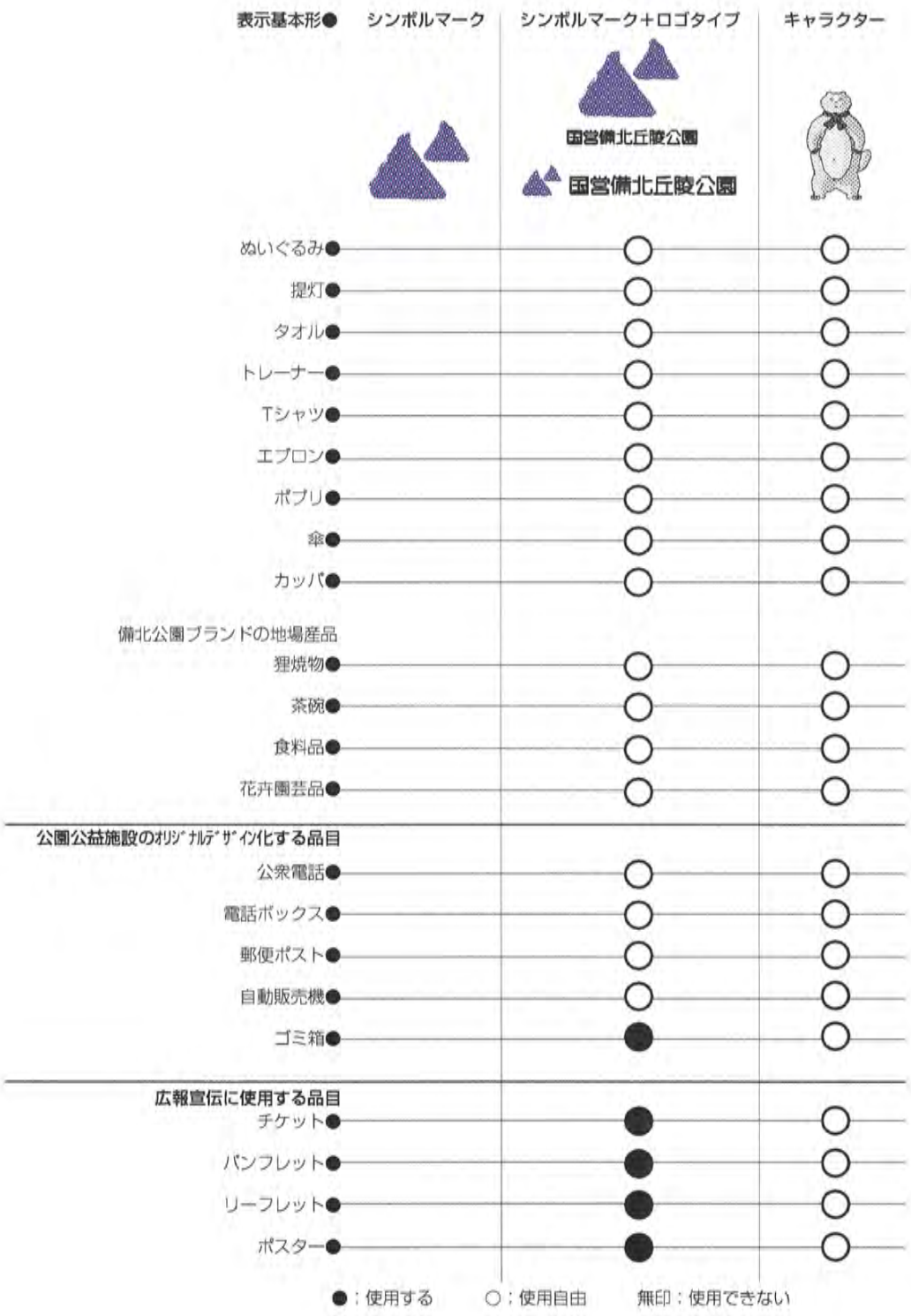
表示基本形・品目への展開

どの表示基本形を、どの品目に使用するのかを下記に示します。

品目は、それぞれの特性ごとに4つに分類しました。



表示基本形・品目への展開



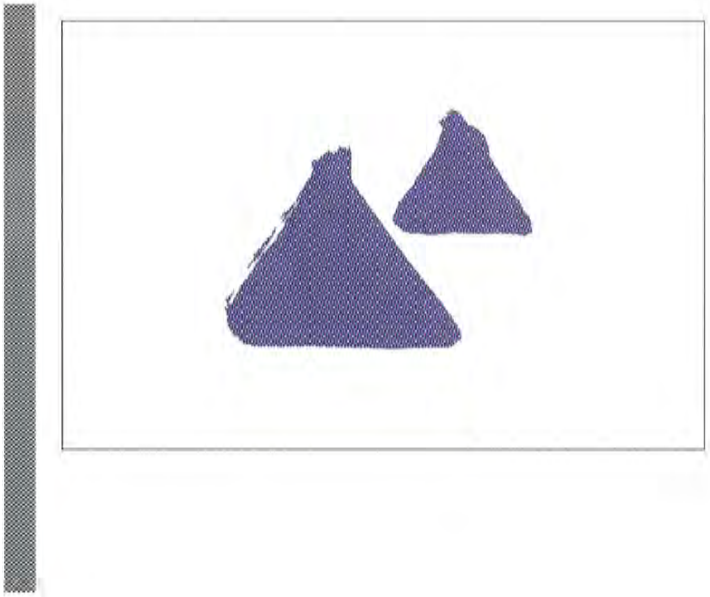
品目デザイン事例1

ここでは様々な品目のデザイン事例を示します。

●公園章



●公園旗

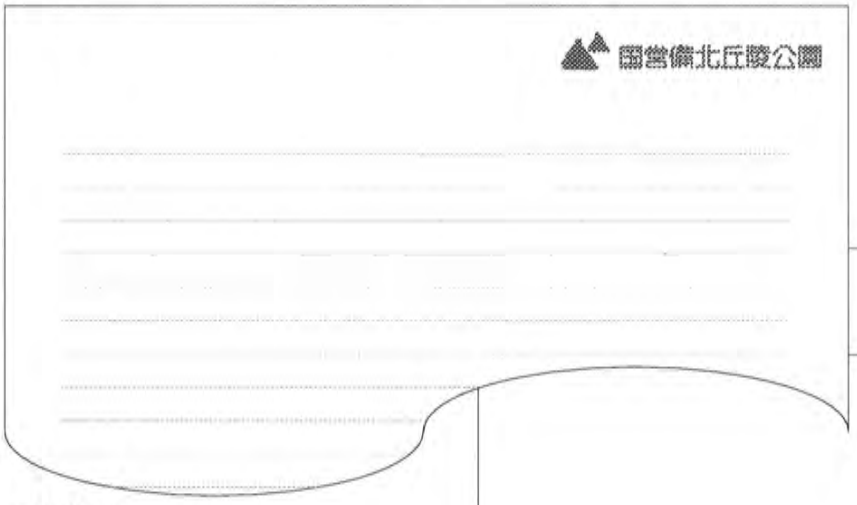


●名刺



品目デザイン事例2

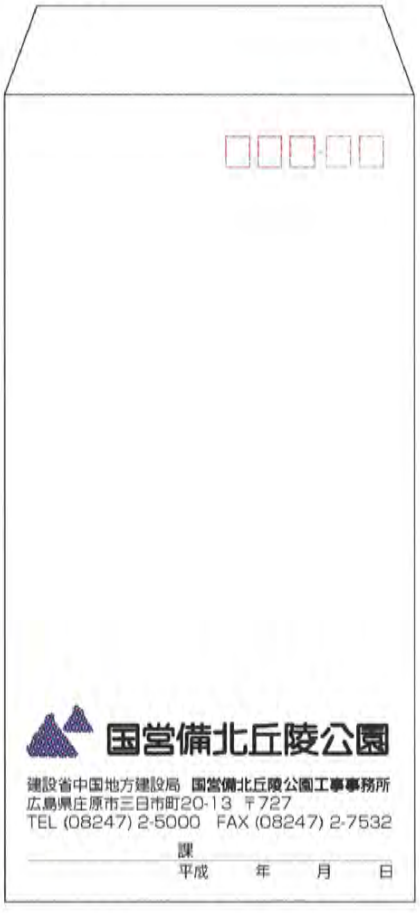
●便箋



●封筒大

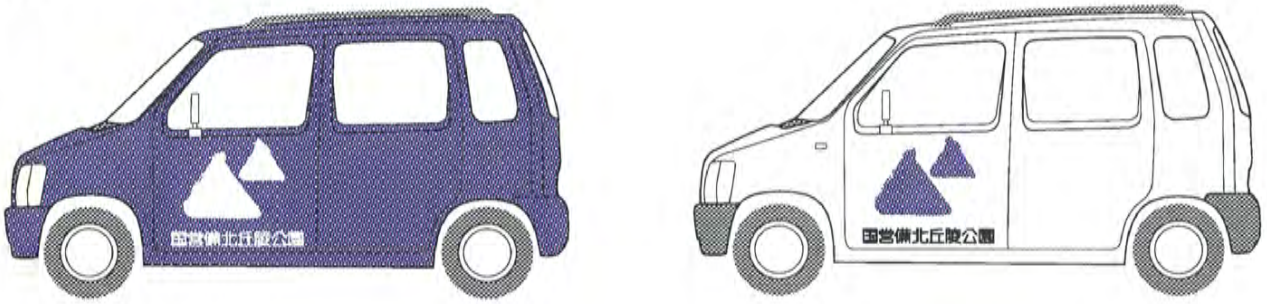


●封筒小



品目デザイン事例3

●車両

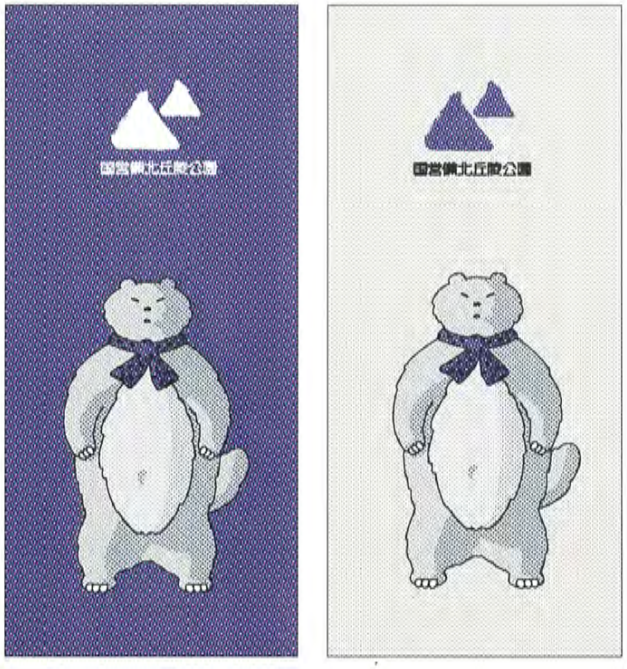


●ユニフォーム



品目デザイン事例4

●バナー



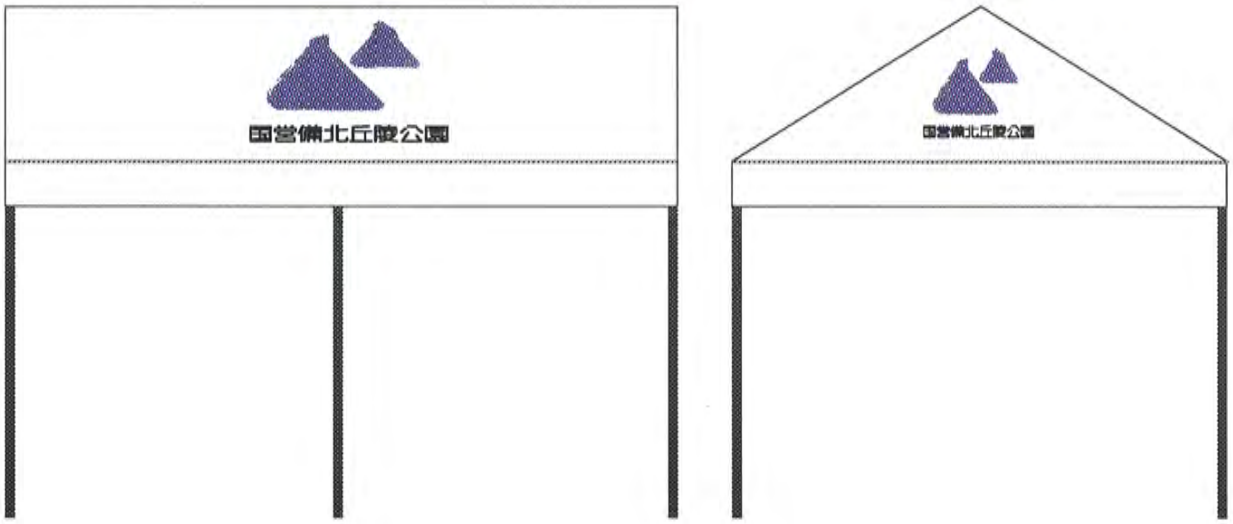
●ごみ箱



●サイン



●仮設テント



品目デザイン事例5

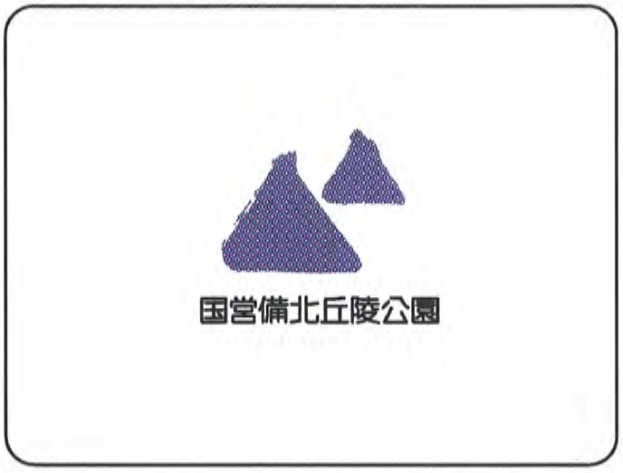
●園内印刷物（チケット）



●園内印刷物（パンフレット）

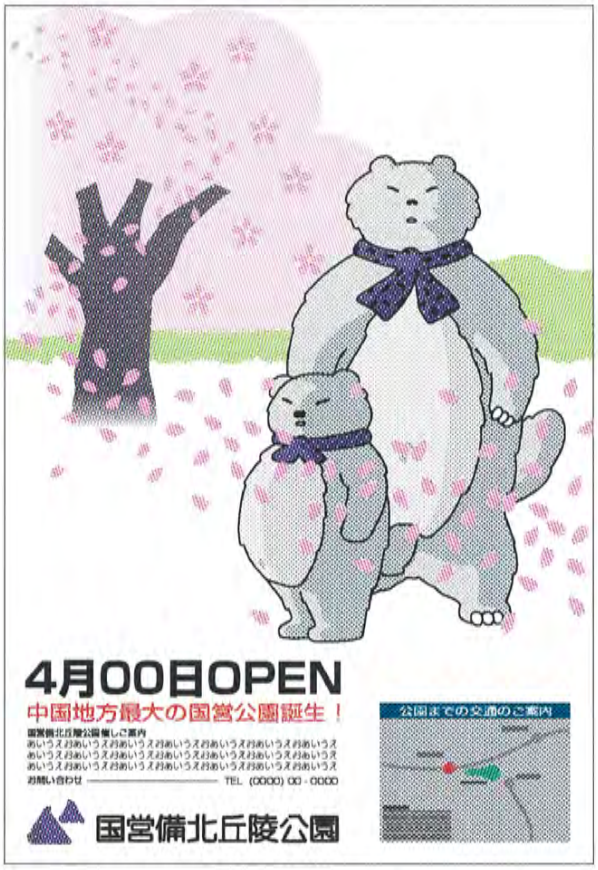


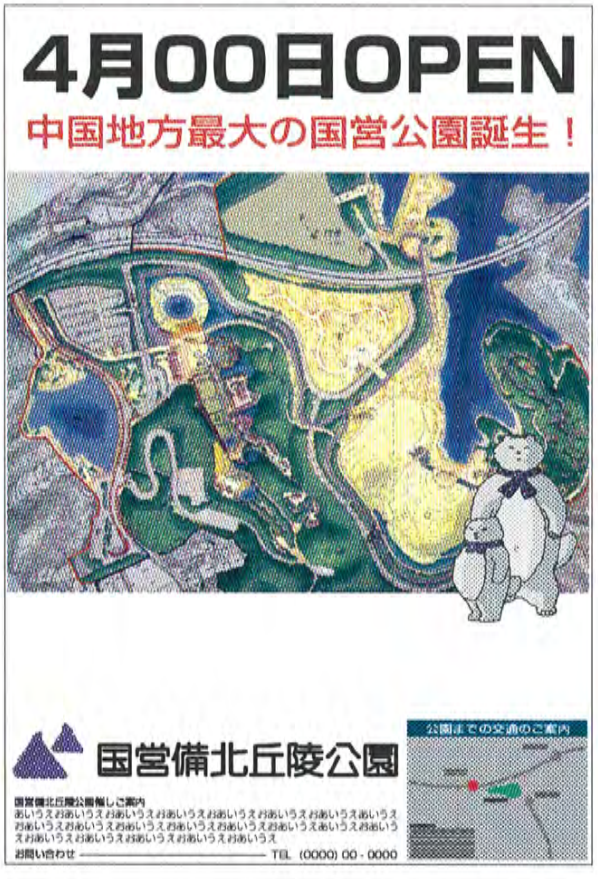
●媒体広告物（TVCF）



品目デザイン事例6

●媒体広告物（ポスター）



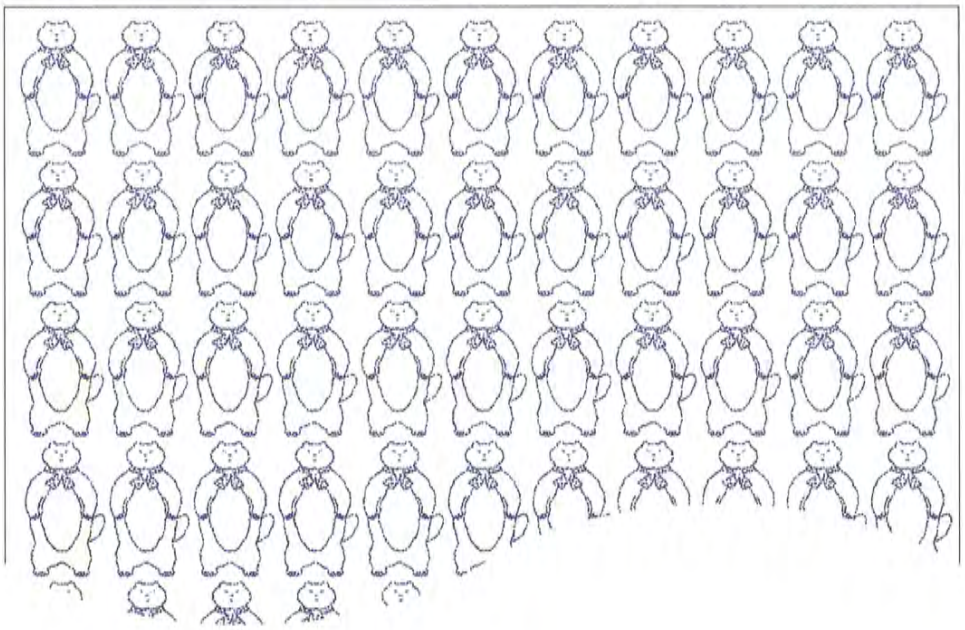


品目デザイン事例7

●手提げ袋

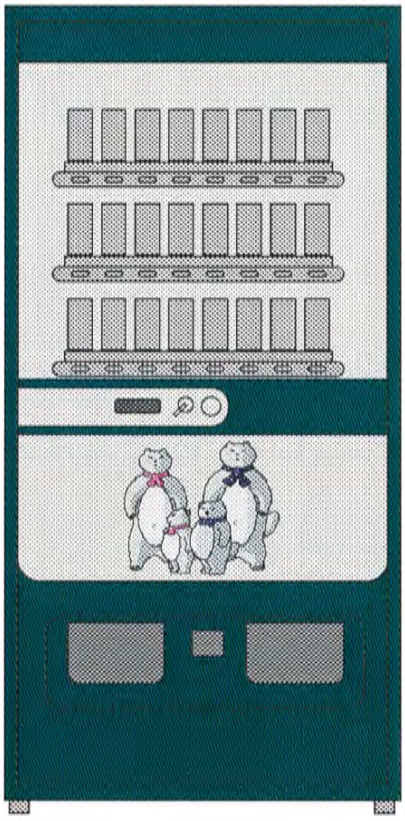


●包装紙



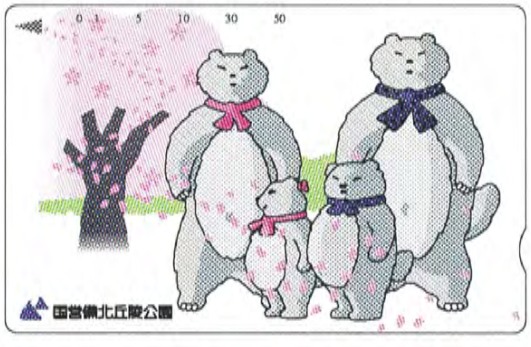
品目デザイン事例8

●自動販売機

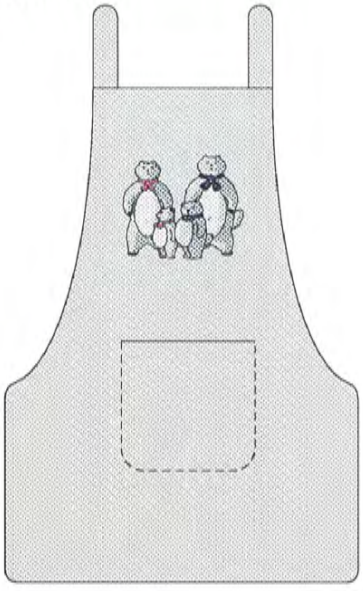




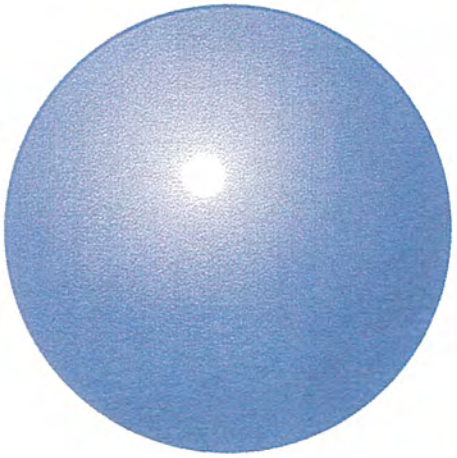
●テレフォンカード

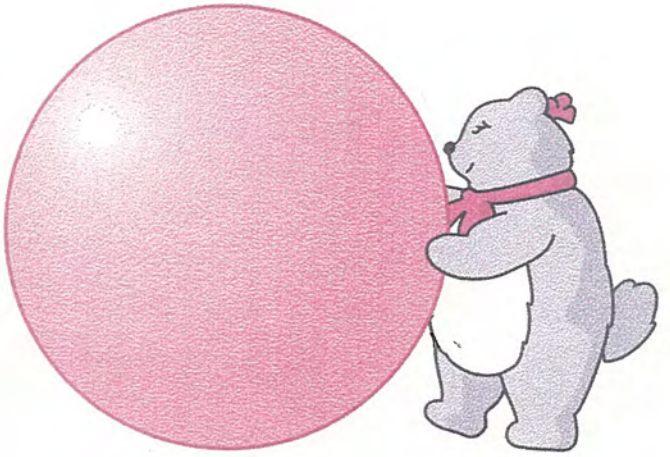


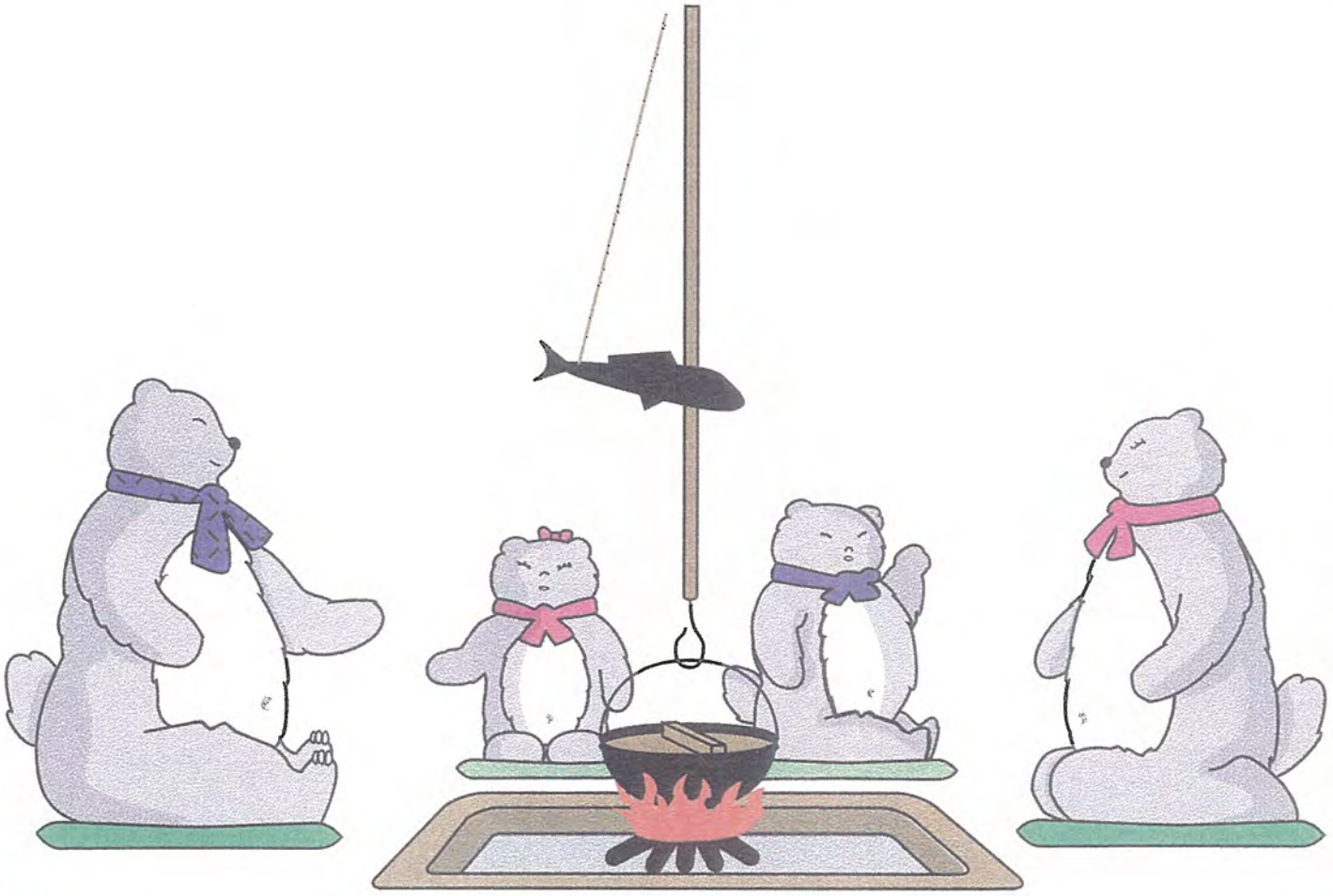
●エプロン

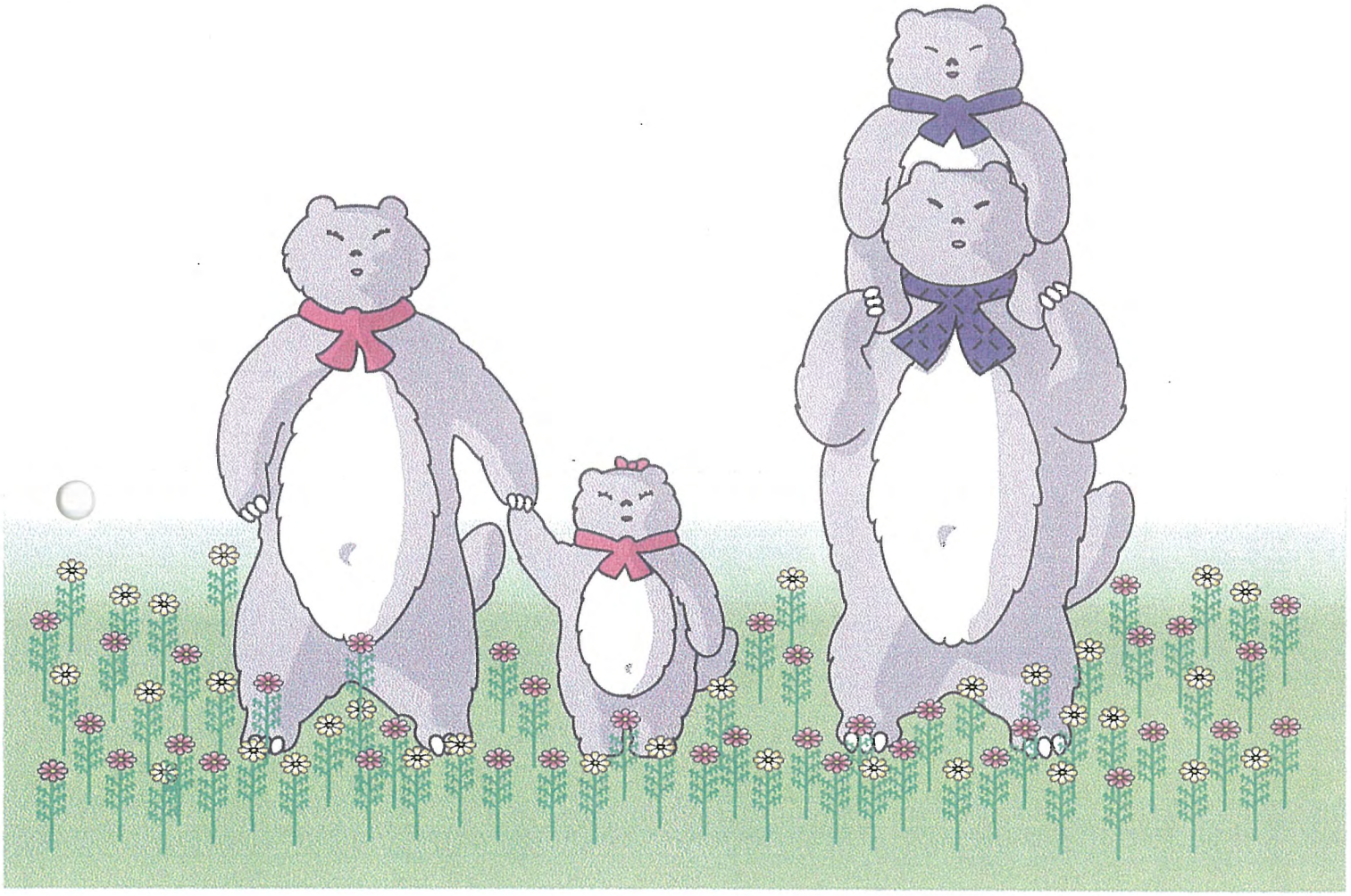










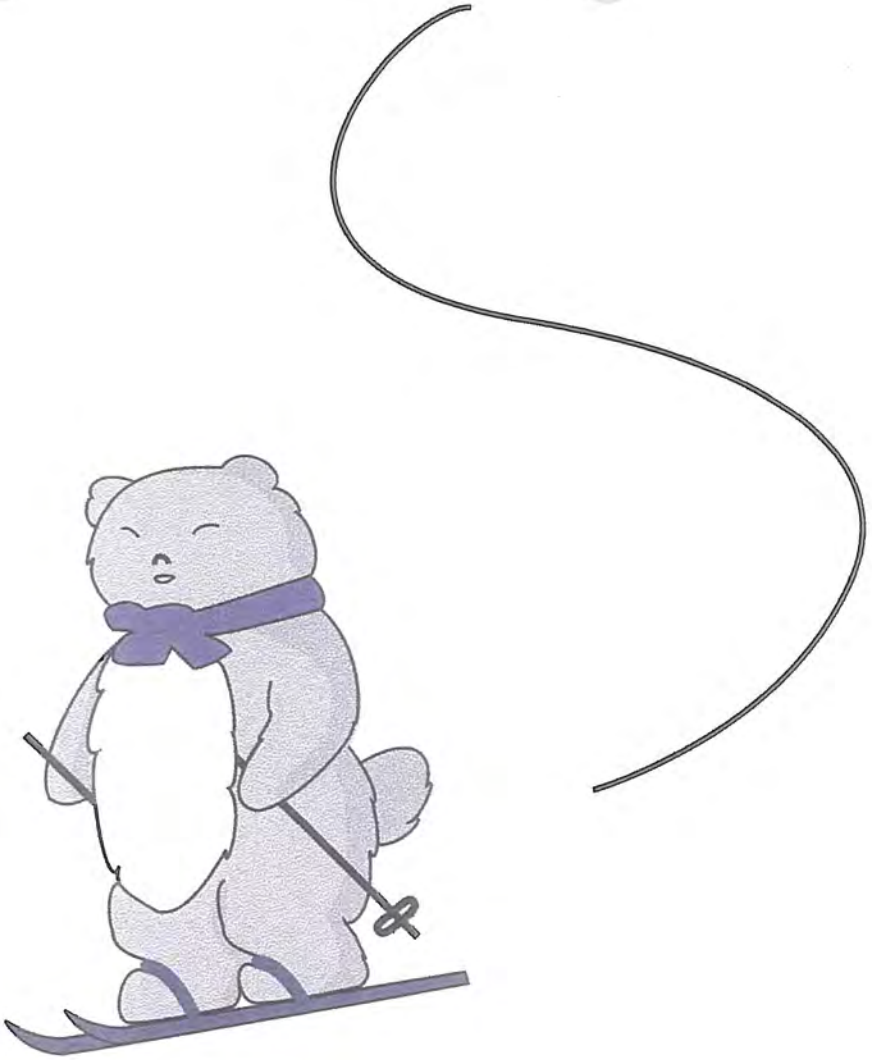


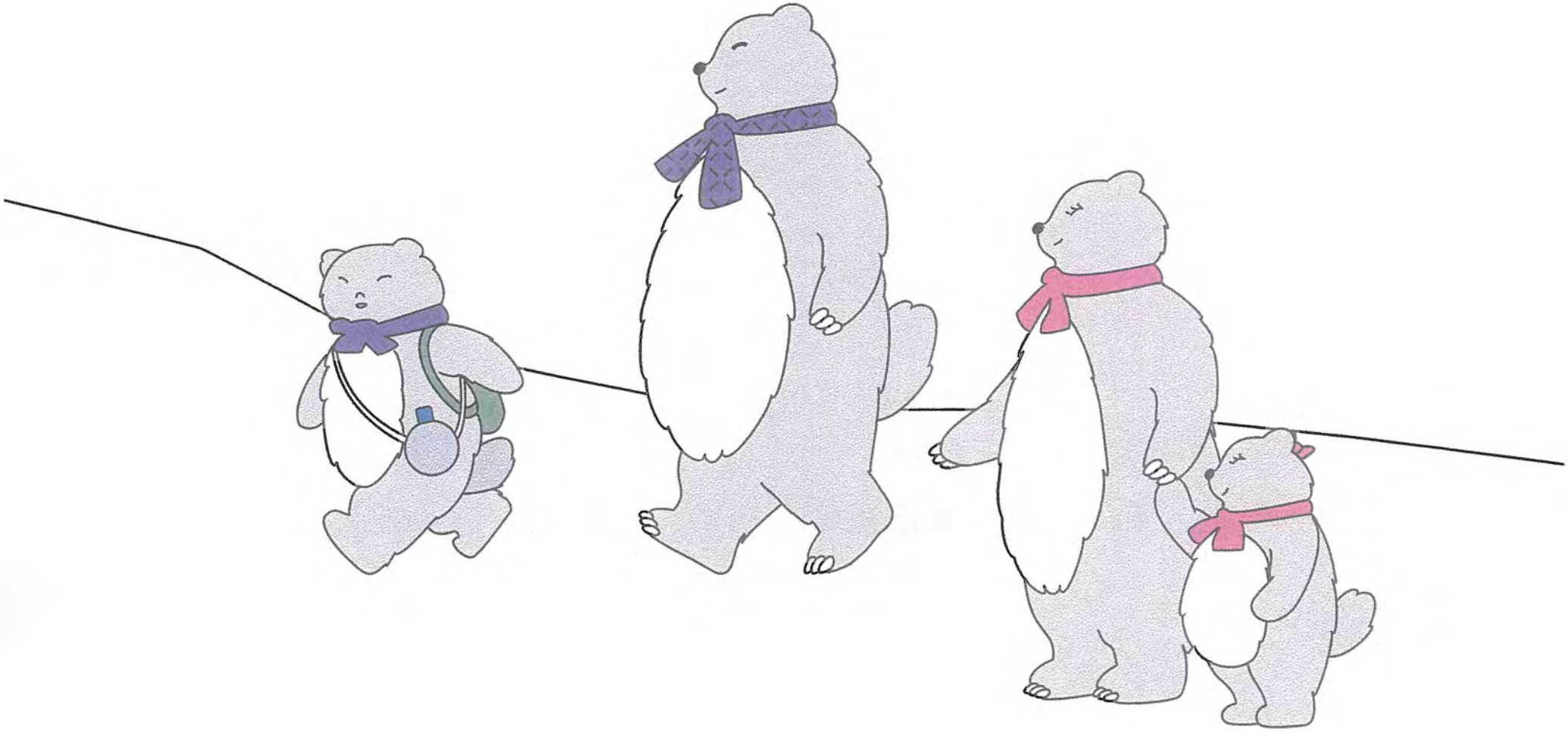
3
4



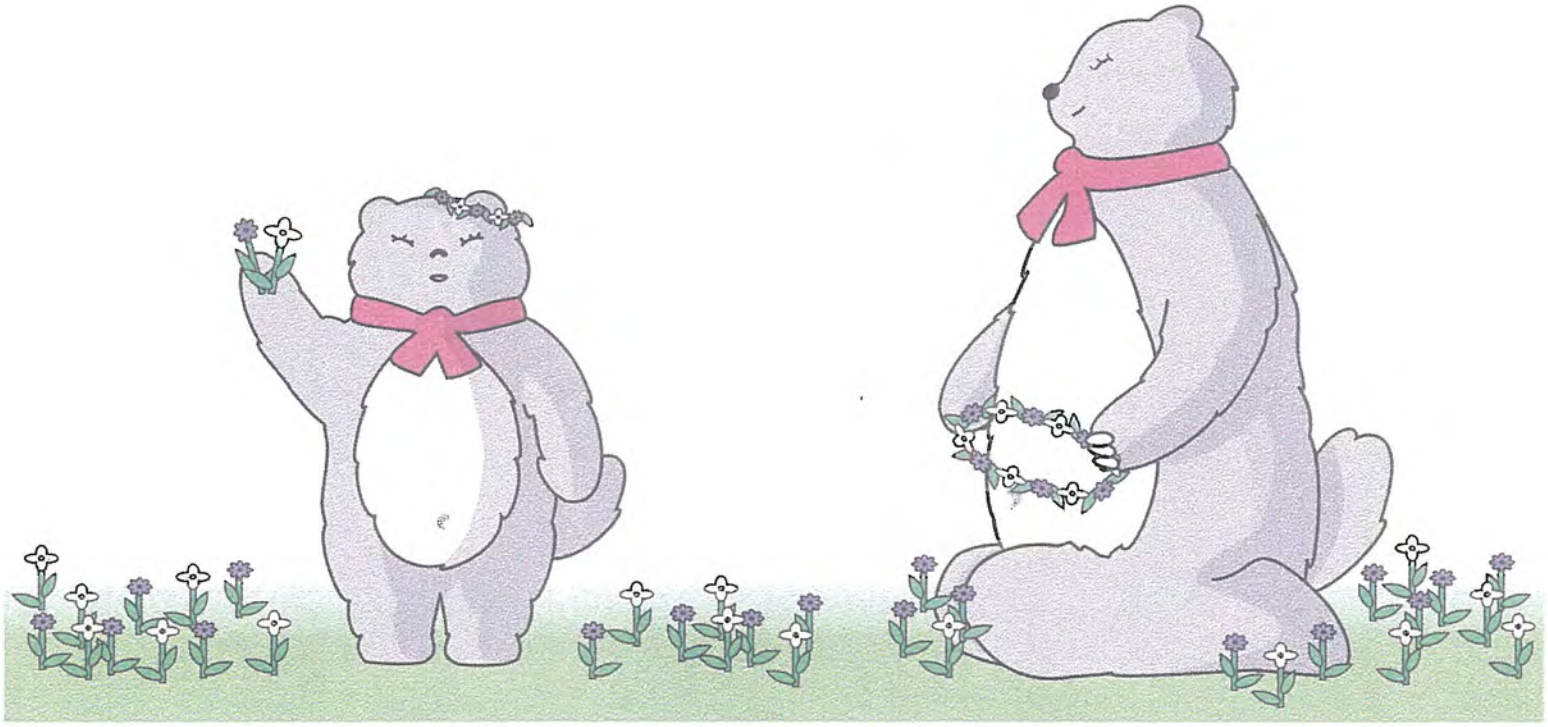






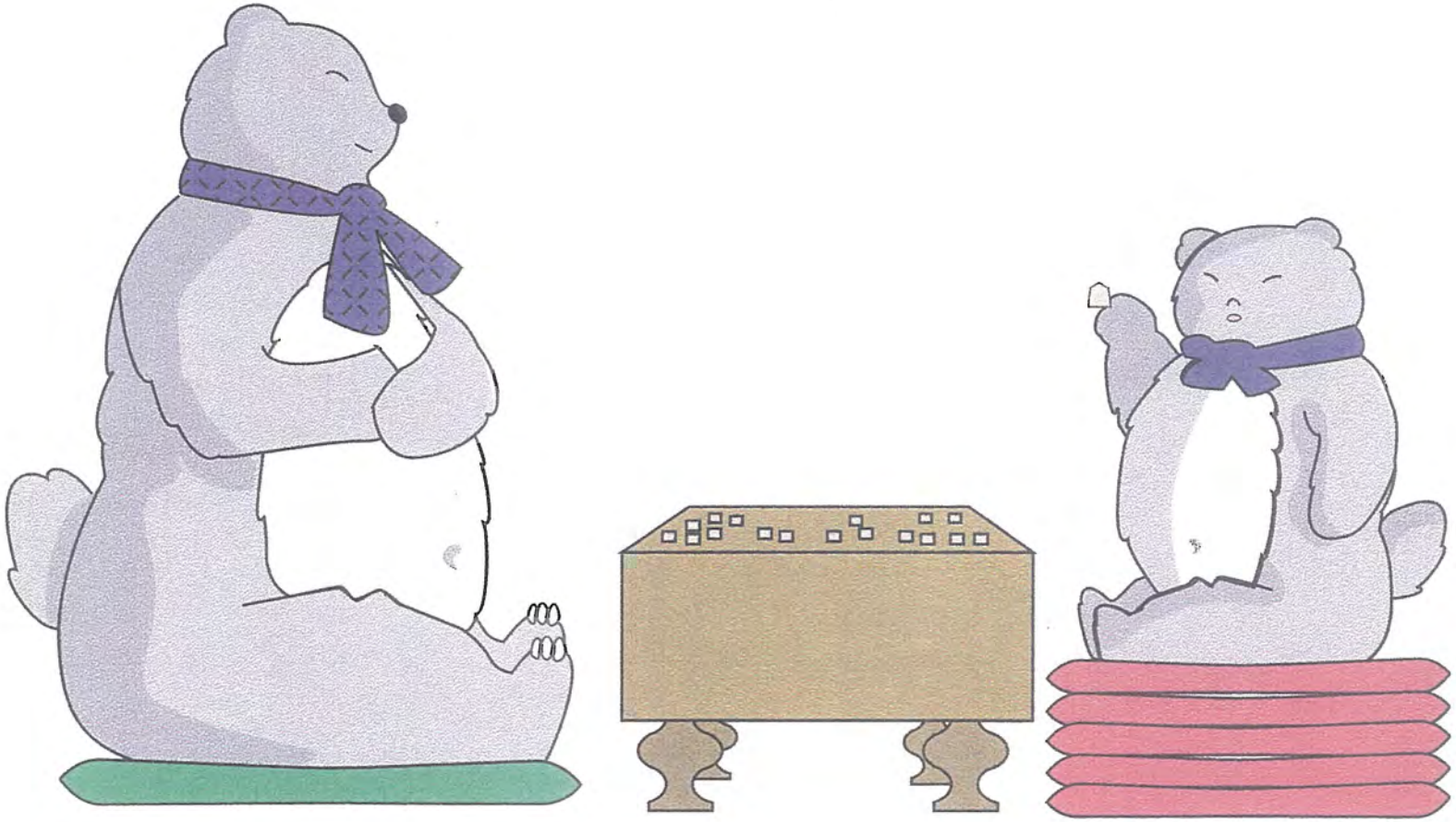


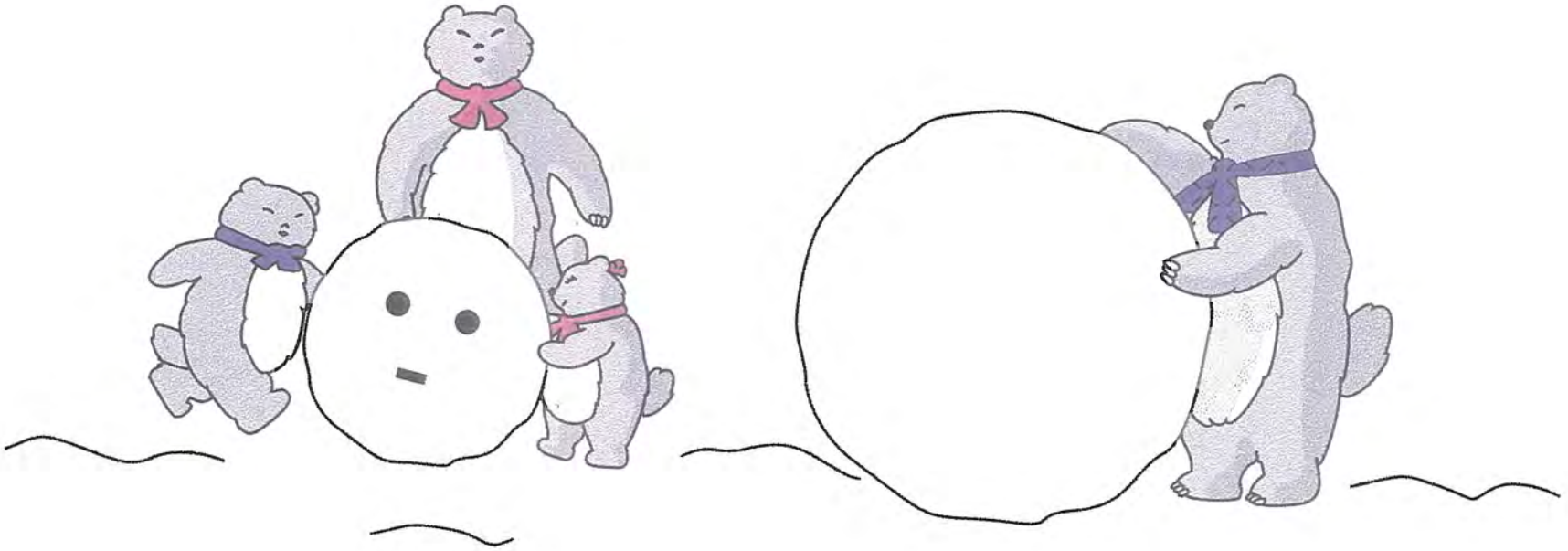




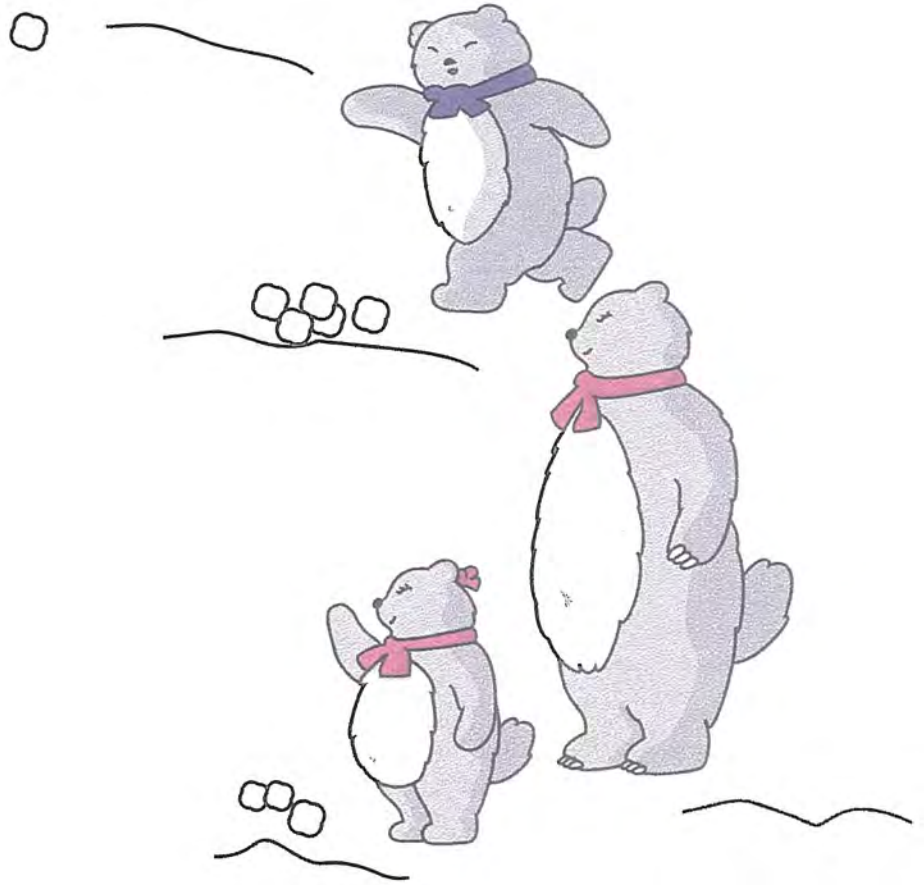


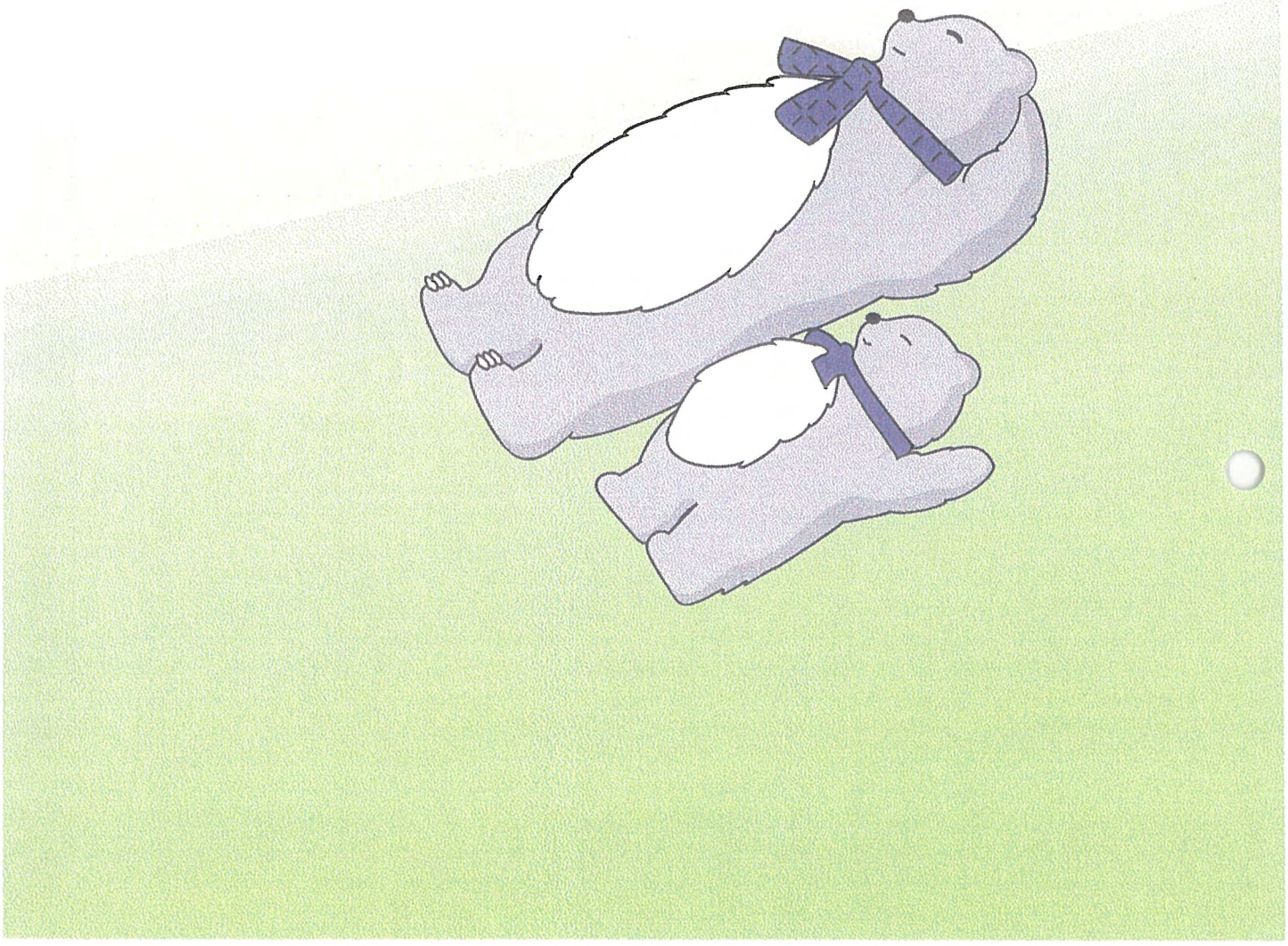


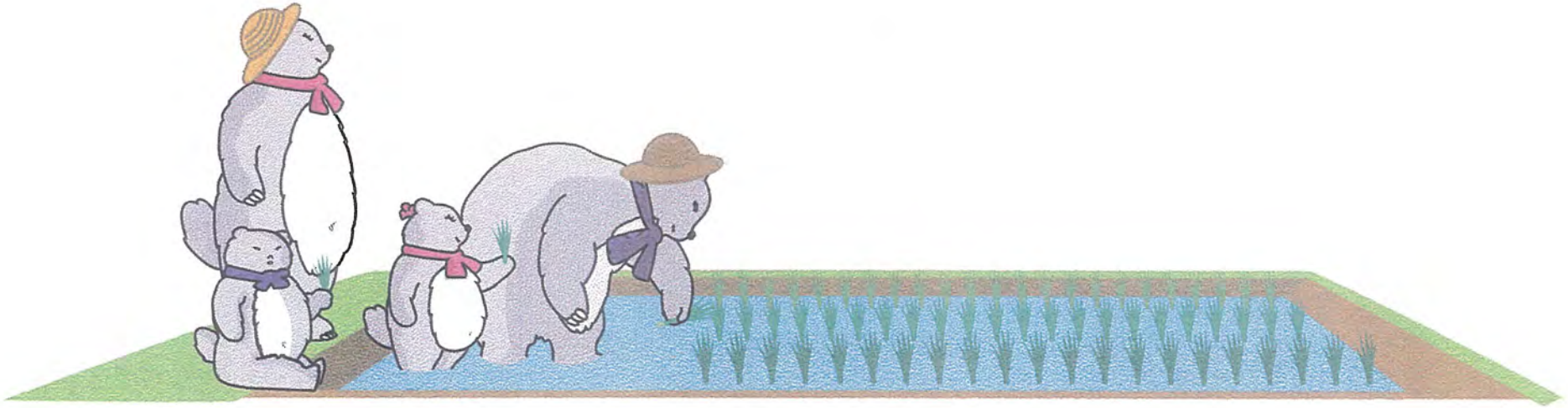


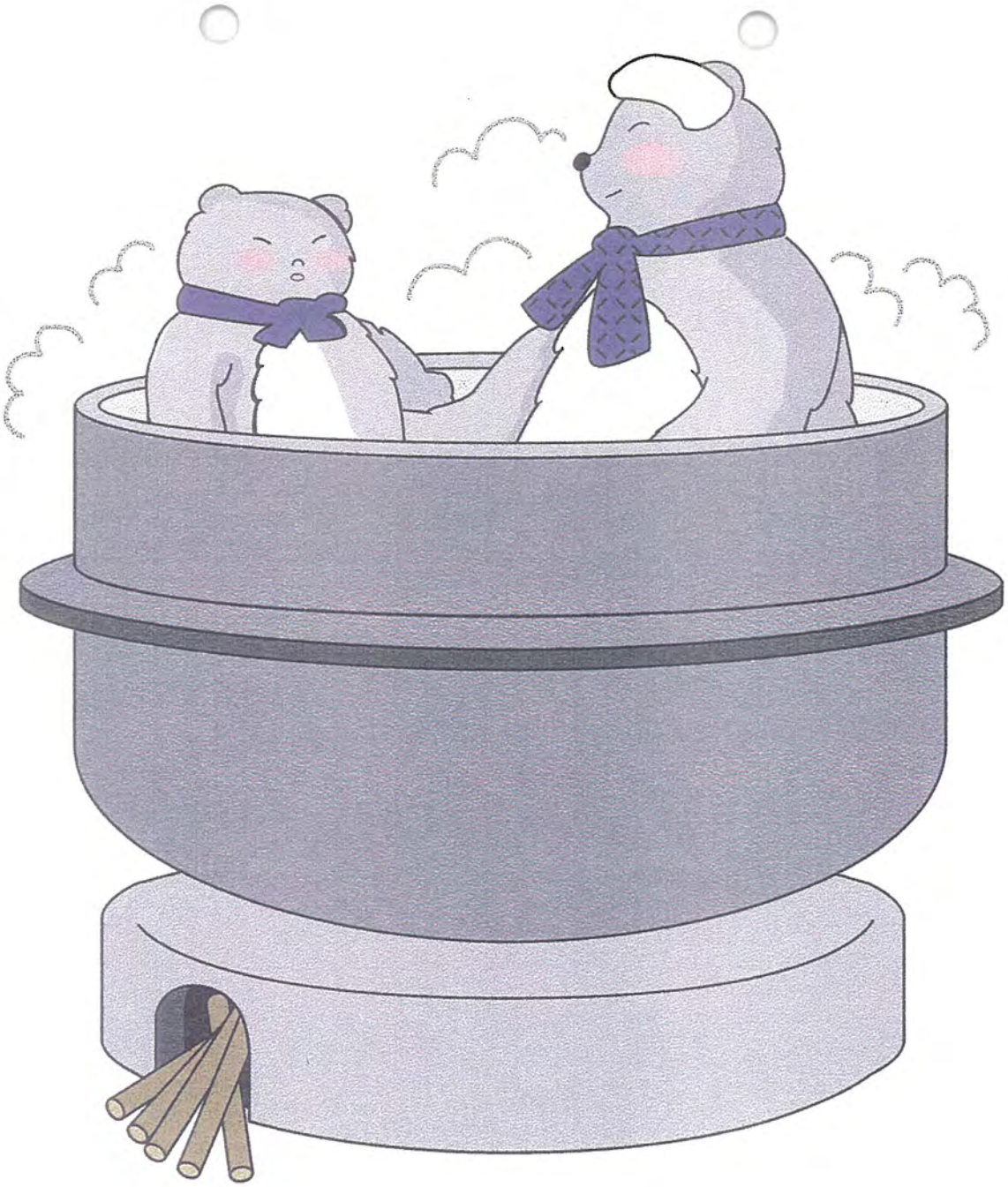


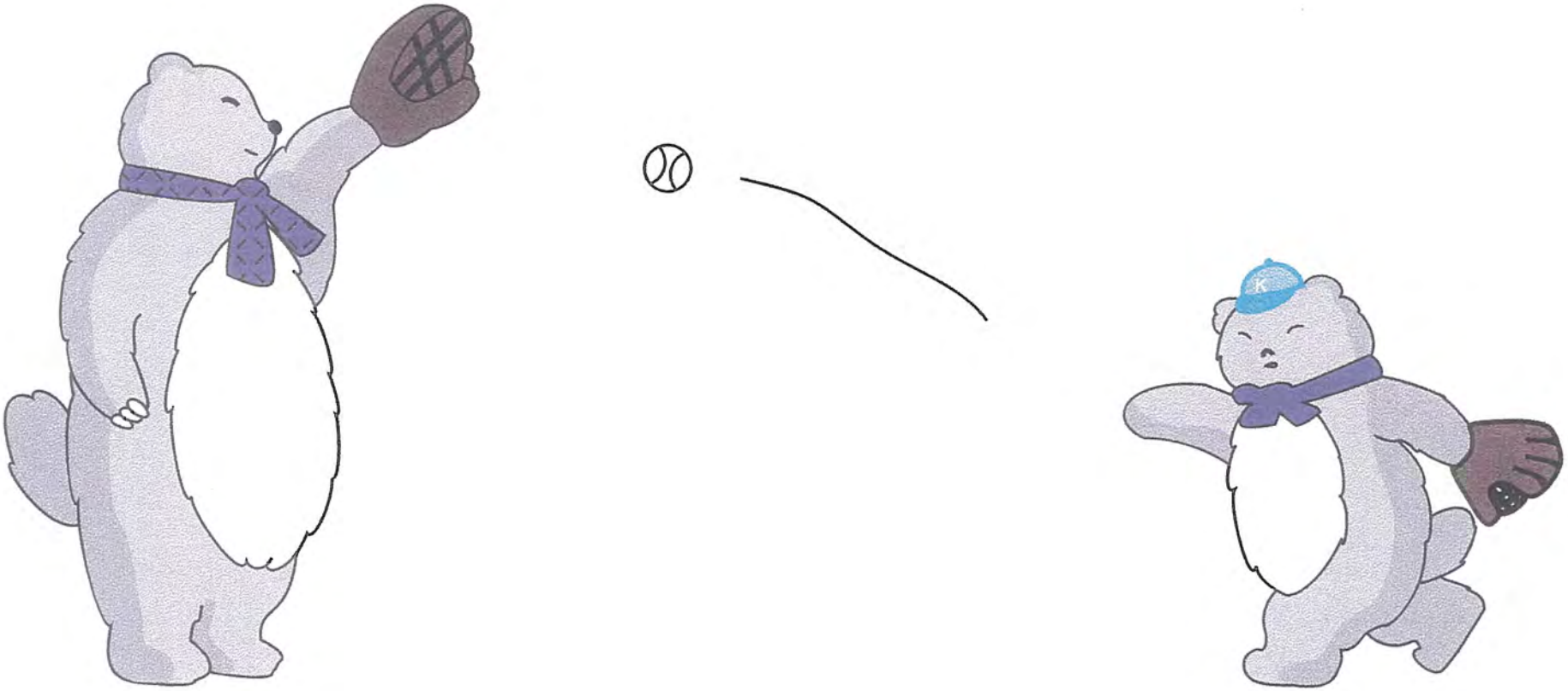












国営備北丘陵公園利用指導･利用サービスマニュアル（案）

目次

１ 資料編　：　国営備北丘陵公園の概要.....1
１－１　位置および面積.....1
１－２　沿革.....1
１－３　施設概要.....1
２　本編　：　利用指導・利用サービスマニュアル.....4
２－１　接客・接遇.....4
２－１－１　国営公園での接客態度.....4
２－１－２　基本接客マニュアル.....5
２－１－３　身だしなみ、制服.....8
２－１－４　接客基本用語.....8
２－２　管理・運営.....9
２－２－１　入園料金徴収.....9
２－２―２　貸出業務.....10
２－２―３　公園内禁止行為及び持込み禁止物品.....11
２－２―４　迷子対応.....14
２－２―５　拾得物・遺失物対応.....15
２－２―６　園内放送.....16
２－２―７　団体利用の手続き.....18
２－２―８　苦情、要望等対応.....19
２－２―１０　重度な事故発生時の初期対応.....22
２－２―１１　１日の業務の流れ.....23
２－２―１２　想定問答.....28

別紙１　国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領
別紙２　ペット同伴入園の皆様へ（お願い）

はじめに

このマニュアルは、国営備北丘陵公園運営維持管理業務受託者（以下、「備北公園管理センター」という。）に所属する職員が公園利用者の利用指導・利用サービスを適切に行い、公園利用者が本公園で安全で快適に過ごして頂けるようと作成したものである。

１ 資料編 ： 国営備北丘陵公園の概要

１－１ 位置および面積

国営備北丘陵公園（以下「備北公園」という。）は、中国地方全域からご利用頂けるよう、中国地方のほぼ中心に位置する広島県庄原市（広島市から約 90kmの位置）にあり、森と湖（国兼池）に囲まれた緑豊かな自然の中で「ふるさと・遊び」をテーマとした公園です。

全体計画面積は約 340ha（東西約 3.5km、南北約 1km）
H24年4月のいこいの森 109.3ha の開園により 338.8ha
敷地は標高 180m～200mの高低差のある丘陵地

１－２ 沿革

備北公園は、自然と人間のふれあいの場として県境を越えた広域的な見地から設置された全国で 11 番目、中国地方では初めての国営公園です。国民の余暇の増大、レクリエーション活動の多様化等から中国地方にも国営公園設置の要望が高まり、昭和57年4月 1 日に事業化され、平成3年10月22日の起工式を経て、平成7年4月14日に中入口・ひばの里等の 80 ha が開園しました。その後、平成11年6月26日に星の里（キャンプ場）46.5 ha、平成14年7月1日に第二駐車場 3.2 ha、平成15年4月12日につどいの里（グラウンド・ゴルフコース等）49.1 ha、平成20年4月26日にみのりの里（北入口エリア等）43.3ha、平成22年4月1日にみのりの里 7.4ha、平成24年4月21日にいこいの森 109.3ha が開園しています。

１－３ 施設概要

（1）基本理念

①緑豊かな自然へのいざない
②中国地方の歴史や文化とのふれあい
③多様なレクリエーションへのしたしみ
④周辺環境とのつながり

（2）基本方針

①国兼池を中心とした湖畔景観や、丘陵景観等の自然を生かした公園
②中国地方の古い文化の継承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
③四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
④中国地方の全域から利用できる公園
⑤地域とのふれあいのできる公園

（3）ゾーニング（8 エリア）

①中入口センターエリア

ビジターセンター、中の茶屋、花の広場、サイクリングセンター、駐車場、飲食施設等

②ひばの里

さとやま屋敷、農家群、神楽殿、工房群、再現田畑等

③つどいの里

大芝生広場、きゅうの丘、きゅうの森、林間アスレチックコース、グラウンドゴルフコース等

④水辺の里国兼池（一部未供用）

湖畔散策路等

⑤星の里

オートキャンプ場（備北オートビレッジ）等

⑥北入口センターエリア

（※1エントランスセンター、湖畔広場、飲食施設、駐車場等）、サイクリングセンター、ゲート等

⑦みのりの里

スイセンガーデン、（臨時駐車場）みのりの里臨時駐車場等

⑧いこいの森

第7駐車場、いこいの森トイレ、（臨時駐車場）南臨時駐車場、散策路、又池、日の本池等

※1は社会実験の対象施設を示す。

（4）利用案内

①公開日時

エリア	開園期間	開園時間
供用区域	3月1日～6月30日	9:30～17:00
	7月1日～8月31日	9:30～18:00
	9月1日～10月31日	9:30～17:00
	11月1日～11月22日及び12月26日～2月末日	9:30～16:30
	11月23日～12月25日	14:00～21:00

※ 休園日は毎週月曜日(但し月曜日が休日の場合は直後の平日)、12月31日及び1月1日。但し、4月9日～5月5日、7月21日～8月31日及び9月16日～10月16日の月曜日並びにその翌日が休日に当たる月曜日は公開日とする。

※ 繁忙期、イベント開催時等においては、事業者が中国地方整備局長に協議し、承諾を得た上で開園時間の変更を行うことができる。

※ 開園期間においても、定期点検等の実施により休園が必要な場合は、事業者が中国地方整備局長に協議し、承諾を得た上で休園とすることができる。

②入園料金

区分	大人（15 歳以上 65 歳未満の者）（注）	シルバー（65 歳以上の者）
個人（1回）	450 円	210 円
団体（1回）	290 円	210 円
年間パスポート（1年間）	4,500 円	2,100 円
2 日間通し券	500 円	250 円
2 日間通し券　団体	350 円	250 円

※中学生又はこれに相当する者は除く。

※入園料は変更する場合がある。変更する場合は通知する。

※身障者・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を提示された方とその付添の方1名は無料。

※団体は、小学生以上の有料入園者 20 名以上（上記手帳及び年間パスポートを提示した方及びシルバー（65歳以上）も人数に含む）を対象とします。

※年間パスポートは、購入日から1年間有効。

※年間パスポートを園内で購入した場合の当日の入園料は返金。

※年間パスポート発行場所：中入口案内所、つどいの里クラブハウス（閉園1時間前まで）

③ペットの同伴

ペットの入園は可能　（リードをつなぐ、糞等の後始末等ペットの管理を条件として）

但し、飲食コーナー等の一部エリアは不可（2－2－3公園内持込禁止物品（2）ペットの取扱について　参照）

④交通案内

〇お車の場合

中入口：「中国自動車道」庄原ICより約 4km、三次東ICより約 11km

北入口：「中国自動車道」庄原 IC より約 1.5km、三次東 IC より約 12km

〇JR の場合

「JR 芸備線」七塚駅より徒歩約 20 分

〇バスの場合

「備北交通バス」庄原バスセンターより三次・吉田行き、三次バスバスセンターより庄原・西城行き、「熊野口」バス停下車徒歩約 20 分

２ 本編 ： 利用指導・利用サービスマニュアル

２－１ 接客・接遇

２－１－１ 国営公園での接客態度

（1）現 状

お客様は、常に「国」が運営している公園の職員という目でみています。ファミリーレストラン・ファーストフード店をはじめガソリンスタンド等、お金を払って利用するいわゆるサービス業の接客マナーが良くなり、お客様はこれらの接客マナーに慣れているので同等もしくはそれ以上の接客マナーが必要になってきています。

（2）苦情の原因

お客様は、この国営公園に遊びに、楽しさ・安らぎなどを求めて来園します。

お客様は、自分のやりたいことができれば、満足感があり、苦情など言わないでしょう。しかし、ここでは国営公園としてのルールがあり、お客様に守ってもらわないといけないこともありますのでこれを説明しなければなりません。

お客様は、自分で考えていたこと、思っていたことができないとわかったとき、満足感が得られないため、あるいは目的を失うため何らかの文句・苦情を言いたくなるでしょう。

お客様は、その時の断られ方、説明しているときの動作、顔の表情を見て判断し、最後には「接客態度が悪い」という結論を出してきます。

（3）苦情を言われないためのお断り方のテクニック

「だめ」・「だめです」・「できません」・「やれません」・「知りません」等 これらの言葉を言った時点でお客様は、感情的になり敵対心を抱くようになります。と同時に「なぜ、だめなんだ」・「なぜ、できないんだ」と必ず言ってきます。

たとえば、車イスを他の場所に返却できない事を説明する場合

「申し訳ございません」と軽くゆっくりと頭をさげて最初に謝ってしまいます。

それから

「公園内には車イスをお貸しする場所は〇〇ヶ所ありますが、それぞれの場所ごとに保有台数を決めております。このバランスが崩れますと他のお客様にもご迷惑がかかりますので、ご遠慮願っているのですが」と説明し、お客様の次の言葉を待つ。

混雑している場合には、早く告ぎのお客様の対応をしなくてはと気持ちがあせりがちになりますが、「ぶあいそう」にならず、「つっけんど」にならずに、必ず納得していただいてから次のお客様の接客をしてください。

２－１－２　基本接客マニュアル

（1）接客する各ポジション共通の基本的なこと

①挨拶

②適切な言葉遣い

③身だしなみを整える

④環境美化、パンフレットなどの用意

（2）基本的接客態度

①常にあたたかく、やわらかい笑顔で

②機転をはたらかせ、敏速に処理

③相手を尊重し、すべてに平等に対応する

④質問には正確な応答を

⑤健康維持は自らの手で

（3）クレーム・トラブル時

①発生原因

a）見たいものが見られるか （花、イベント、展示物など）

b）行きたいところへ行けるか （園内動線、スロープ、階段など）

c）休みたい時に休めるか （休憩施設、自動販売機、売店、食事場所、ベンチなど）

d）危険な状況はないか （危険箇所、遊具など）

e）接客がゆきとどいているか

②対応

a）まず何をおいてもお客様の立場に立って、言葉遣いには充分気をつけましょう

b）感謝の気持ちで。（最初の対応が大切）

c）お客様の言い分をよく聞く。（何を怒っているか）

d）話の途中での弁解、議論は禁物。

e）お客様の主張が間違っているときでも説明は急がない。

f）苦情によっては、場所、人、時間を変える。

g）おだやかな話し方、やさしい表情で

h）解決したら、注意、指摘に対してお礼を述べる

i）できるだけ記録を残す

（4）クレームを防ぐ話し方のテクニック

前置き 「あいにくですが」「おそれいりますが」

命令形を依頼形に「〇〇は、やらないでください。」⇒「〇〇は、△△でお願いします。」

否定形は避けて、肯定形に「〇〇は、持って入れないの」

⇒「はい、こちらでお預かりいたします。」

（5）駐車場係員対応例

〇お客様が見えた時

・「おはようございます」、「こんにちは」

※「いらっしゃいませ」では、お客様からの返事はありません。会話を交わすため「おはようございます」、「こんにちは」で対応するのがベターです。

〇料金をいただく時

「●●円です」

⇒「はい、●●円お預かりいたします」

⇒「●●円のお返しです、お確かめください」

〇見送りの時

・「いってらっしゃいませ」、「ありがとうございました」

（6）料金所、案内所、クラブハウス係員対応例

〇お客様が見えた時

・「おはようございます」、「こんにちは」

※「いらっしゃいませ」では、お客様からの返事はありません。会話を交わすため「おはようございます」、「こんにちは」で対応するのがベターです。

〇料金をいただく時

「●●円です」

⇒「はい、●●円お預かりいたします」

⇒「●●円のお返しです、お確かめください」

〇見送りの時

・「いってらっしゃいませ」、「ありがとうございました」

〇各質問について

・すぐにお答えする。そのためイベント、花の場所、状況、園内の状況、園内の配置等細かく知っておく必要がある。

・わからない部分は、仲間のスタッフや職員に相談し、クリアーにしておく。

・地図などで丁寧に説明する。

〇複数のお客様が一度にいらした場合

・お待ちいただく方にはその旨を告げ、あわてずに順番に対応していく。

・他の係員に対応してもらう。係員同士の連携が必要。

〇見送りの時

・「ありがとうございました」、「またお越し下さい」、「またのご来園をおまちしております」

（7）サイクリングセンター係員対応例

〇お客様が見えた時

・「おはようございます」、「こんにちは」

〇注意事項の説明

・「こちらのレシートは、お戻りの際、必要になりますので無くさずにお持ち下さい」

・「サイクリングコースには歩行者が横断する場所がありますので、歩行者の方に十分ご注意ください」

・「自転車は、この場所にお返しいただきますのでご了承ください」

〇見送りの時

・「いってらっしゃいませ」、「お気をつけて」

〇戻って来られた時

・「お疲れ様でした、お忘れ物のないようご注意ください」、「ありがとうございました」

（8）シルバーカー係員対応例

〇お客様が見えた時「おはようございます」「こんにちは」

行き先をご案内「湖畔レストハウス行きです」「中の広場行きです」

〇園内のことを質問された時

・わかる範囲でお答えする

・わからない時は「申し訳ございません、只今確認しますのでお待ち下さい」「くわしくは案内所でご案内しております」

・乗車中の注意事項を説明する。「走行中はお立ちにならないでください」「飲食・喫煙はご遠慮下さい。」

〇園内のご案内、特に走行範囲について

・「花の広場は湖畔レストハウス手前にございます。」「ひばの里へは中の広場より右手、坂を上がったところにございます。」

〇見送りの時

・ 「ありがとうございました」、「またお越し下さい」

（9）巡視員対応例

〇お客様が見えた時　「おはようございます」、「こんにちは」

〇園内のことを質問された時

・わかる範囲でお答えする

・わからない時は「申し訳ございません、只今確認しますのでお待ち下さい」「くわしくは案内所でご案内しております」

〇見送りの時

・ 「ありがとうございました」、「またお越し下さい」

２－１－３　身だしなみ、制服

職場は仕事をするところです。仕事に取り組む姿勢をただす意味からも、身だしなみのよさは大切です。特に公園はお客様と身近に接する職場ですので、服装の善し悪しは直接公園全体の印象につながります。よい印象を持っていただくためには、服装に十分気を使い、自分好みのファッションは休日や就業時間外に楽しんでください。

ジャケット、ジャンパー、ポロシャツのボタン・チャックは必ずしめ、あけっぱなしはしないでください。お客様には様々な年代の方がいらっしゃいますので流行に流されること等、だらしない印象や不快感を与えるような服装は慎みましょう。

お客様と接するときには、必ず名札及び公園のマークの入っている制服を着用し、お客様から見てすぐに公園関係者とわかるようにしてください。

次の点に注意してください。

①髪

月に１度は散髪。こざっぱりとした、清潔で自然なヘアースタイルを心がけましょう。長すぎないか、フケはないか、寝癖はついてないか、くさい匂いがしないか、整髪料の匂いがきつすぎないか気をつけましょう。

②顔

洗顔したか、無精ヒゲが生えていないか、ヒゲの剃り残しはないか、目やにはついていないか、耳掃除はしてあるか、歯磨きをしたか、充血した目をしていないか、鼻毛は伸びていないか気をつけましょう。

化粧は、フレッシュで自然な化粧とし、つけすぎに気をつけましょう。どうしてもマニュキアをつけたい場合は、無色またはできるだけ肌の色に近いものを選択しましょう。

メガネは派手でないものとし、サングラスはお客様に不快感を与える場合がありますので、接客時の使用は慎みましょう。

③装飾品

ネックレス・ブレスレッド・イヤリング等装飾品は慎みましょう。なお、指輪は、両指に１つまでとし、小さめで上品なものにしましょう。

④靴

踵は踏んだままにしない。汚れに気をつけましょう。

⑤靴下

汚れていないか、ずり落ちていないか、破けていないか、穴はあいていないか、接客に相応しくない色・デザインでないか気をつけましょう。

２－１－４　接客基本用語

①いらっしゃいませ　　②はい、かしこまりました　③少々おまちくださいませ
④お待たせいたしました　⑤ありがとうございました　⑥申し訳ございません
⑦おそれいります　　⑧失礼いたします　　⑨またのお越しをお待ちしております

２－２　管理・運営

２－２—１　入園料金徴収

（１）種類

①自 動 券 売 機　：　中案内所（ 2 台）

②手　　売　　券　：　団体や状況（自動券売機混雑時等）に応じ、窓口にて手売販売

③入園券の種類　：　一般券　（シルバー　大人）

団体券（シルバー　大人）　※領収書　１団体に１枚を代表者へ発行

（２）販売方法

①個人の場合（自動券売機・手売販売）

・自動券売機を原則とするが、お客様が窓口に来られたときや自動券売機が混雑してきたら、手売販売を行う。

・団体（２０名以上）に満たない団体の場合には手売券にて販売する。

②団体の場合（手売販売のみ）

・窓口で代表者の方に団体申込用紙を記入していただく。（別紙）

・申請人数と実人数の確認カウントをする。

・確認の結果、誤差があれば代表者に報告し、確認してもらう。

・確認がとれれば料金を徴収し、領収書を発行する。

③払い戻し

・間違って購入した場合は、券を返却してもらい同額をお客様に払い戻す。

④その他

・無料については、数取器でカウントし、報告書に記入する。

（３）再入園

・原則として、退園後の再入園はできません。

（４）無料入園

無料対象者となるのは、以下の利用者です。

・中学生以下

・障害者手帳、療育手帳又は精神障害者手帳の交付を受けている方。

・団体利用下見（事務所で下見の受付をされた方）

・業務入園

国土交通省職員、管理センター職員・臨時職員及びアルバイト、
テナントスタッフ、納品業者、工事業者等

・国土交通省三次河川国道事務所が受付を行った視察等（事前に許可を受けたもの）

２－２―２　貸出業務

（１）ベビーカー・車椅子・電動スクーター、カート

ア）貸出方法

貸出簿に必要事項を記入していただき、閉園時間までに、原則同じ所に返却してもらうよう伝える。

イ）注意事項

ベビーカー：　乳幼児を乗せる道具であるため、その他の利用目的（例：荷物運搬、ペットを乗せる等）以外の使用はご遠慮いただくこと。

車椅子　：　身体障害者、高齢者及び傷病者が使用する道具であるため、その他の利用目的（例：荷物運搬、ペットを乗せる等）以外の使用はご遠慮いただくこと。

電動スクーター：身体障害者、高齢者及び傷病者が使用する道具であるため、その他の利用目的（例：荷物運搬、ペットを乗せる等）以外の使用はご遠慮いただくこと。また、貸出の際には必ず、使用方法を説明し、試乗したのちに貸し出すこと。

カート　：　バーベキュー用具等の荷物運搬用であるため、その他の利用目的（例：幼児、ペットを乗せる等）以外の使用はご遠慮いただくこと。

（２）グラウンド・ゴルフ

ア）貸出場所

・つどいの里クラブハウス

イ）貸出方法

・貸出簿に必要事項を記入していただき貸出する。その際、利用場所（グラウンド・ゴルフコース）を限定していることを必ず伝えること。

（３）ビックボール

ア）貸出場所

大芝生広場（約20個）

イ）案内方法

・自由使用としているが、危険な行為等をしている又は予測される場合には、その都度注意すること。また、使用後は必ず元の保管場所に返却することを伝えること。

・利用場所（大芝生広場）を限定していることを伝えること。

・強風、雷雨時等により使用を中止している場合があることを伝えること。

（４）ちびっ子ゲレンデ

ア）ソリの貸出

大芝生広場（約20台）

イ）案内方法

２－２―３　公園内禁止行為及び持込み禁止物品

（1）禁止行為及び持込み禁止物品

当公園では、都市公園法に基づく通達並びに国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領により禁止行為及び持込み禁止物品が定められています。

（詳細は別紙1　国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領　参照）

禁止行為を行っている利用者を見かけた場合は、当公園では禁止行為となっていることを説明し中止させる必要があります。

また、以下の物品並びに別紙1で定める物品を持ち込む場合には、ゲート係員により預かることとしています。

補助付自転車を持ち込みのお客様は、歩行者園路のみ利用可能です。但し、付き添いを必要とし、スタッフが危険と判断した場合はご利用を差し控えていただきます。

なお、混雑状況等により下記物品以外にも利用を制限する場合があります。

（預かる際には）

・「誠に申し訳ございません。当公園ではお客様の〇〇〇は持ち込み禁止物品になっておりますので、こちらのゲートで預からせていただきます。」と伝え

・預かり物品に番号札を付け

・半券を「こちらが〇〇〇の預り証になっております。お帰りの際、引き換えとなります。」と恐縮した気持ちで渡します。

持ち込み禁止物品一覧

持ち込み禁止物品	適　　用
銃・刀剣類	モデルガン・木刀・竹刀等を含む
火気類、多量の工業用アルコール類	花火・火薬・ガス類（ライターは除く）
野球用具（木製バット、金属バット、硬球及び軟球）	ビニール製バットを除く
ゴルフ用具	パークゴルフは除く
ローラースケート・スケートボード類	ローラーシューズ、ローラーブレード、キックボードを含む
動力付き模型（モーター・エンジン付模型）	飛行可能な模型・エンジン、モーター駆動のラジコン等
ブーメラン・弓矢・パチンコ	凧、スポーツカイト等も含む
球技用ネット	
テント・ビーチパラソル	
補鳥網・補虫道具・植物採集道具	
カラオケ等の音響道具	
ホッピング	
変形自転車、一輪車	
ソリ　・釣り具	
ボート・カヌー	

大型テント	家庭用自立型テント《多客時のバーベキューコーナーでの設置はご遠慮ください》は除く
その他	他のお客様の迷惑となるもの

（2）ペットの取扱について

ペットは、以下の条件を守れるという前提のもとに入園を許可します。

（詳細は　別紙2　ペット同伴入園者へのお願い事項　参照）

・リード（ひも・鎖・ロープ等）でつなげること

・ペットのふんの始末ができること

・他のお客様とのトラブルに自分たちで対処できること

入園の際に、別紙2を示し、下記のことを伝えること。

・他のお客様からペット同伴のマナーについて、苦情を頂いております。マナー向上にご協力ください。

・お客様の中には、ペットの嫌いな方もおります。必ずリードに繋いで、周囲の安全にご配慮下さい。

・レストラン・売店等の施設は同伴できないため、施設によっては同伴できない場所もあることを、御了承下さい。

（3）都市公園法及び関係法令

①都市公園法　第１１条　（国の設置に係る都市公園における行為の禁止等）

国の設置に係る都市公園においては、何人もみだりに次に掲げる行為をしてはならない。

一　都市公園を損傷し、又は汚損すること

二　竹木を伐採し、又は植物を採取すること

三　土石、竹木等の物件を堆積すること

四　前三号に掲げるもののほか、公衆の都市公園の利用に著しい支障を及ぼすおそれのある行為で、政令で定めるもの

政令＝本法施行令　第１８条

法第１１条第四号の政令で定める行為は、次に掲げるものとする

一　土石の採取その他の土地の形質の変更をすること

二　動物を捕獲し、又は殺傷すること

三　公園管理者が指定した場所以外の場所でたき火をすること

四　公園管理者が指定した立入禁止区域に立ち入ること

五　公園管理者が指定した場所以外の場所に車輌を乗り入れること

六　はり紙、はり札その他の広告物を表示すること

②都市公園法　第１２条

国の設置に係る都市公園において次の各号に掲げる行為をしようとするときは国土交通省令で定めるところにより公園管理者の許可を受けなければならない。

一　物品を販売し、又は頒布すること

二　競技会、集会、展示会その他これらに類する催しのために都市公園の全部又は一部を独占して利用すること

三　前二号に掲げるもののほか、都市公園の管理上支障を及ぼすおそれのある行為で、政令で定めるもの

政令＝本法施行令　第１９条

法第１０条の三第四号の政令で定める行為は、次に掲げるものとする

一　募金、署名運動その他これらに類する行為をすること

二　ロケーションをすること

２－２―４　迷子対応

迷子の対応は、子供と同じ目線の高さを保ち、にこやかに対応します。決して自分の感情を出したり、いらだったりしないよう心がけましょう。

①迷子発生　（自分で来る又は第三者、スタッフに連れてきてもらう）
（迷子を発見した場合は、周囲に保護者がいないか確認を行う）

↓

②保　護

・近く案内所に連れてきて保護する。

・第三者に連れてきてもらった場合には、ていねいに「ありがとうございました。」と挨拶すること.

↓

③－１　本人が話せる場合

・名前、住所（〇〇市〇〇町）、年齢、誰と来たかを聞いてメモする。

③－２　本人が話せない場合

・性別、服装（色・形・帽子など）、大体の年齢、その他特徴のあること(持ち物等)を確認してメモする。

↓

④園内放送の依頼

・③－１　又は③－②を確実に報告し、管理センターに放送依頼をする。（つどいの里クラブハウス周辺の場合は、クラブハウスで放送を行う。）

・１０分経過しても保護者が現れない場合には、再度園内放送の依頼をする。

↓

⑤引渡し

・保護者が来たら確認し、引渡しを行う。

↓

⑥報告

・迷子件数を日誌に記録する。

２－２―５　拾得物・遺失物対応

①公園従事者が「落し物」を発見した場合

・公園従事者は、所有権を放棄し、管理センターへ届出ること。

②お客様が「落し物」を発見した場合

・「所有権を放棄するか」、「しないか」を、お客様に確認すること。

※特に、財布・時計などの貴重品については必ず確認すること。

A. 所有権を放棄する場合

現物は、お客様から預かり夕方管理センターへ届けること。

B. 所有権を放棄しない場合

拾得者本人に、「拾得物預書」を書いていただく。

現物と「拾得物預書」を預かり、夕方管理センターへ届けること。

③お客様から忘れ物・落し物をしたという連絡があった場合

A. お客様が直接きた場合

遺失日、遺失物を確認

→当日であれば、各施設（管理センター、案内所、クラブハウス等）に有無を確認。

あった場合　：保管場所へ案内する。

なかった場合：その旨をお伝えし、翌日以降に見つかった場合にはこちらから連絡を差し上げることを伝える。その際、「遺失物届書」に必要事項を記入していただく。

B. 電話でお問い合わせの場合

電話を受けた者が、「遺失物届書」に必要事項を確認、記入し、警備係へ渡す。

④確認作業

遺失物届書に基づき遺失物の確認作業を行う。

A. 遺失物の所有者が確認できた場合

・遺失物が本人であるかどうか確認の後、所有者に連絡をとり、受領方法について確認する。

1）来園して受領する場合

来園日時の確認　→　来園　→　「受領書」の受け取り

2）郵送を希望の場合

・郵送の場合には、着払いにする。（電話連絡の際、必ず「着払い」であることを申し伝える。）

・遺失物を郵送するときには、受領書を必ず同封する。

・チェックリストにより処理状況を把握し、宅配便の伝票の控え、受領書の返納の確認を行う。

B. 遺失物の所有者が確認できない場合

・所轄の警察署に届け出る。

２－２―６ 園内放送

定時の案内放送以外の臨時園内放送の対象は、「迷子」「車輌の移動」「災害や病気等の緊急時」「注意事項」を原則とします。

（1）迷子に関する園内放送文例

区　分	放送文例
預かっていて名前等がわかっている場合	「ご来園のお客様に迷子のお知らせをいたします。 ただいま、〇〇〇において、〇〇〇からお越しになった、〇〇〇君（ちゃん）、〇歳をお預かりしております。保護者の方は、至急〇〇〇までお越し下さい。」　（くりかえし）
預かっていて名前等がわからない場合	「ご来園のお客様に迷子のお知らせをいたします。 ただいま、〇〇〇において、〇〇〇を着た（〇〇をかぶった）、〇歳ぐらいの男の子（女の子）　をお預かりしております。保護者の方は、至急〇〇〇までお越し下さい。」　（くりかえし）
探している場合	「ご来園のお客様に迷子のお知らせをいたします。 〇〇色の〇〇を着た（〇〇をかぶった）、〇歳の〇〇〇君（ちゃん）を只今探しております。お気づきの方は、お近くの係員までご連絡ください。」（くりかえし）
迷子が多く園内放送が多い場合	「ご来園のお客様にお知らせいたします。 ただいま、迷子が大変多くなっています。保護者の方は、小さいお子様から目をはなさぬよう十分お気をつけください。」（くりかえし）

（2）お客様から呼び出し等の放送依頼があった場合

お客様からの依頼による園内放送は、緊急時の場合及び迷子放送以外はお断りしている旨を丁寧に伝えること。

区　分	放送文例
緊急時等の場合	「お客様のお呼び出しをいたします。 〇〇からお越しの〇〇様、お伝えしたいことがありますので、至急〇〇（お近くのスタッフ）までお越し（ご連絡）ください。」 （くりかえし）
呼び出し放送	団体呼び出し（こどもの谷のみ） 「〇〇市（町・区）〇〇小学校（〇〇幼稚園）のみなさん、集合時間になりましたので、〇〇広場にお集まりください。」

（3）その他

車に関する場合	「お客様にお車のお呼び出しを申し上げます。 〇〇駐車場にお止めの「広島〇〇-〇-〇〇〇〇」、〇〇色の〇〇〇〇（車種名）のお客様、ライトがついたまま（交通の妨げ）となっておりますので、至急お車までお戻りください。」（至急お車を移動ください。）（くりかえし）
催し物（イベント）	「ご来園のお客さまへ催し物のご案内をいたします。 本日（ただいま）〇〇時より、〇〇〇におきまして〇〇〇〇を開催いたします。ご観覧ください。（又は皆様のご参加をお待ちしております。）」
注意事項等	・雷雲注意の場合 「お客様にお知らせいたします。 只今、広島県備北地域に雷雨注意報が発令されております。今後、公園に接近する恐れがありますので、ご注意ください。」 「また雷が発生した場合はお近くの建物内に避難されますようお願いいたします。」
	・雷雨注意法解除の場合 「お客様にお知らせいたします。 只今、雷雨注意報が解除されましたが、大気の状態が不安定ですので、今後の放送に十分ご注意いただきますようお願いいたします。」
	・天候注意報の場合 「お客様にお知らせいたします。 只今（大雨・洪水・雷雨）注意報が発令されました。 今後の天候の変化には充分ご注意いただきますようお願いいたします。」

２－２―７　団体利用の手続き

（1）団体利用について

学校行事や職場、団体等のレクリエーションなど、20 名以上の団体で公園をご利用いただく場合は、事前に「団体来園申込書」へのご記入・提出をお願いすること。
また、下見や利用に関するご相談は、管理センターにて対応することを伝えること。

（2）許可申請が必要な事例

団体利用において、主催者が参加者を一般募集するなど大会形式で利用する場合、臨時の施設を設置する場合、100 名以上でマラソン大会等を行う場合などは、事前に許可申請が必要となることを伝え、手続きの方法を伝えること。

〈許可申請が必要な事例〉

- ・物品を販売、又は頒布する場合
- ・競技会、集会、展示会などの催しのために、公園の一部を独占して使用する場合
- ・100 名以上でマラソン大会（学校団体は除く）やオリエンテーリング大会等を行う場合
- ・通常の公園利用には不必要とされる物品を園内に持込み、設置する場合（机・椅子・音響・ステージ・テント等）
- ・公園内に標識や横断幕等を設置する場合
- ・アンケート調査、または植生調査等の調査を行う場合
- ・ロケーションをする場合（取材等は除く）
- ・大会等で器材の運搬や救護のための車輌を園内に乗り入れる場合（原則として乗用車不可）
- ・その他、公園管理者が、許可申請が必要であると判断した行為をする場合

（3）利用調整

団体での広場使用や体験プログラムの利用等は、一般の入園者等利用者と使用場所を別にしたり、講師を複数準備するなど、団体と一般の入園者等利用者の双方がスムーズに公園利用を行えるように配慮すること。

また、雨天時等には、団体利用の適切な誘導や集合、休憩場所の確保、利用内容やスケジュールの変更への助言等支援を行うこと。

２－２―８　苦情、要望等対応

（1）苦情対応について

お客様からの苦情は、お客様がその公園に抱いている期待や願望です。

苦情を避けるのではなく、逆に尊重して、誠実に対応することにより、公園への信頼が高まり、公園の再利用が期待できます。

（2）苦情の種類

①モノ・サービスに関する苦情

製品の品質やサービスそのものに対するもの

②接客に関する苦情

対応が悪い、不親切など、感情に関するもの

③情報に関する苦情

情報の内容、職員の知識に関するもの

④金銭に関する苦情

情報や接客とも関連するもの

⑤システムに関する苦情

受け取り、連絡などのシステムに関するもの

私たちはつい、苦情を言ってくるお客様を「わがまま」「自分勝手」と考えがちです。しかし何も言わない人が我慢していて、はっきり言う人が正直だという考え方もできます。

（3）苦情になりやすい状況（説明の仕方の大切さ）

①お客様に選択権が無い

「（喫煙者の方に）ここでは吸えません」⇒　相手は有無を言わさず我慢させられる。

⇒⇒⇒「ここでは吸えませんが園内には喫煙所がございますのでそちらをご利用頂けますか」【相手に選択権を与える状況をつくる。】

②お客様の期待を無視する

「切手を下さい」というお客様に対して・・・

「切手はありません」 ⇒　相手に期待を無視する。

⇒⇒⇒あいにく切手は置いておりませんが、近くに郵便局がありますのでそちらでお求めください。【相手の期待に応えようとしている】

（4）苦情対応のポイント

〈3K の原則〉

苦情を未然に防ごうと努力していても、苦情に発展してしまった場合には、誠実に対応しましょう。苦情対応時には相手が「聴いてくれている」と感じるような反応を示すことが重要です。

3K の原則・・・1．共感する、2．傾聴する、3。確認する

1．共感する……同情ではなく、相手と同じところに立つということ。
2．傾聴する……相手の話を評価・判断したりしないで白紙の状態で話を聴くことが大切。※
3．確認する……お客様の言い分のポイントを整理する。※

※特に2、3は電話応対で重要

〈三変の原則〉

誠意ある対応を検討する前に、まず腹を立てているお客様に冷静になってもらうことも大切です。相手が冷静になるのを助ける効果的な方法として一般的に言われているのが、この「三変の原則」です。

三変の原則・・・1．人を変える、2．時を変える、3．場所を変える

1．人を変える……お客様の言い分を十分に聴いてから対応する人を（上司・責任者に変える
2．時を変える……特に電話での対応は、時を変える方が効果的。
3．場所を変える……応接室・別室等へ案内し、気持ちを落ち着けてもらう。

（5）苦情対応時の注意事項

・議論しない

「お客様の言われるようなことはないと思います」という言い方は避けるべきです。自分が嘘をついていると思われている…と感じたら怒りはさらに難しい段階に入ってしまいます。

・その場を早く収めようとしない

面倒くさがっている、早く終わらせたいと思っているとお客様が感じたら、新たな怒りを呼んでしまい、かえって早期解決が困難になってしまいます。

・よくあること、と逃げない

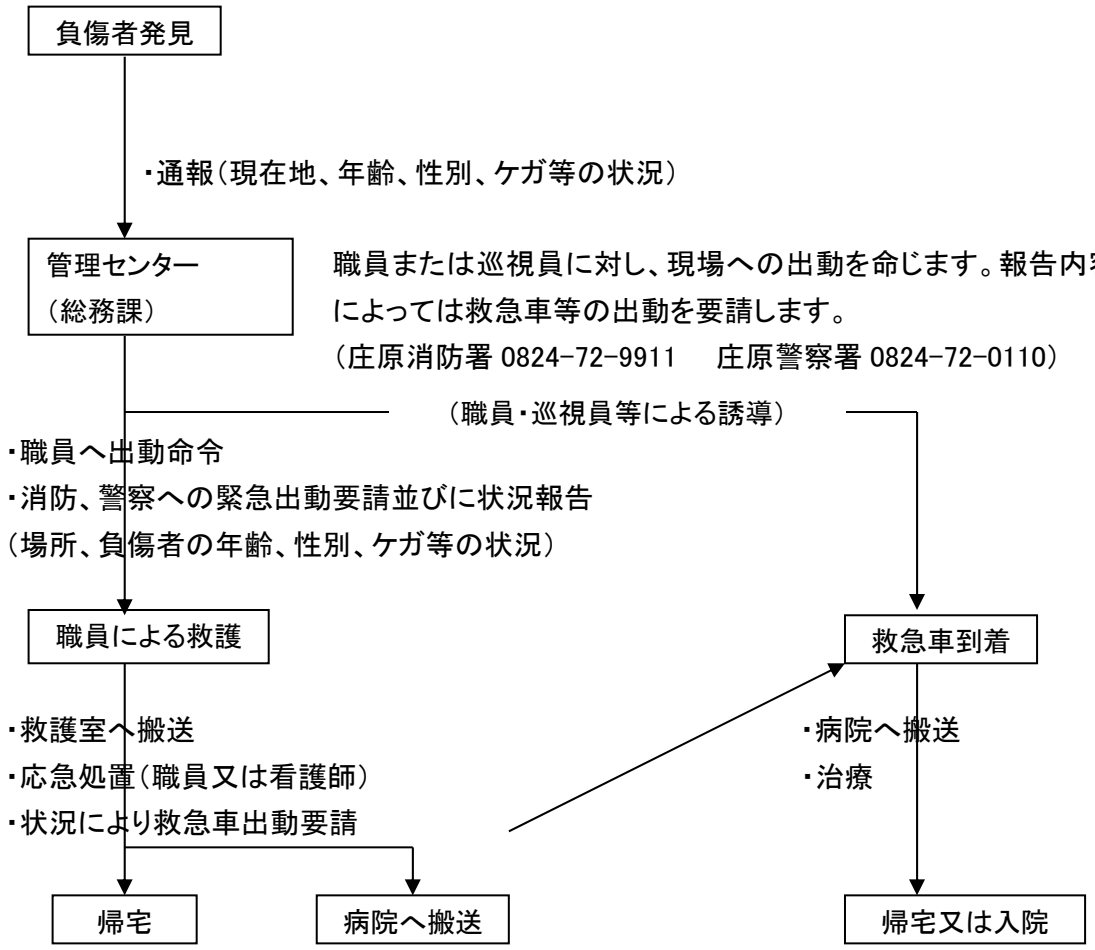
お客様の怒りが公園スタッフにとってあまりめずらしいことではない場合、つい、「それはよくあることで」と言ってしまいがちです。

・話の途中でさえぎらない

お客様の言い分が間違っていると感じても、途中で遮ってはいけません。全て聴いてからでも遅くありません。お客様は全て言ってしまいたいものなのです。

２－２―９　救急対応

(1)フロー



(2)救急の場合に確認すること

①氏　名
②年　齢
③性　別
④負傷の程度
・(　　)から出血している
・(　　)を打撲している
・(　　)が(　　)している　等
⑤負傷した場所
⑥負傷した時間と原因
時　分頃(　　)をしていて負傷した。
⑦住　所
⑧連絡先
⑨公園にきた交通手段は、・自動車　・観光バス　・路線バス　・その他(　　)
⑩誰ときたか

２－２―１０ 重度な事故発生時の初期対応

※重度な事故とは、「骨折の疑い」「意識薄弱・不明」「発作」など、救急車の要請等が必要と判断される場合

１　事故発生　・第１受報者（第１発見者）は、以下の事項を確認すること
・確認事項は別紙の事故情報記録に記入すること

＜確認事項＞

①いつ　：「13:50 に」など発生時刻

②どこで　：「きゅうの丘　大型複合遊具」など発生場所

③だれが　：「７歳の男の子が」など

④何をしている時に：「遊具で遊んでいる時に」

⑤どこを・どうした：「右足首を転んでひねった、骨折の疑いあり、出血はなし」
などケガの部位とケガの状況

→ 出血している場合は、血液型（±は分かる場合）を確認すること

⑥意識はあるか

→ 呼びかけて判断すること

⑦自分で動くことができるかどうか

→ これにより、担架が必要かどうか判断できる

⑧救急車を要請するか、または自家用車等で病院に向かうか

→ 原則、保護者または付き添い（引率者等）に判断してもらうこと

→ 公園側に管理瑕疵（事故等の原因）の可能性がある場合は、公園側で判断すること

⑨負傷者の氏名（保護者がいる場合はその氏名）

⑩連絡先：住所、電話番号

⑪来園方法：自家用車、路線バス、団体貸切バス等

２　センターへの第１報

・無線等により、上記の確認事項①～⑧を第１報としてセンターへ報告すること

→ この報告内容が、救急車要請時の通報内容となる

・できる限り負傷者の保護・救助を試みることとするが、それが困難だと判断したらためらわず状況報告し、指示を仰ぐこと

・複数人配置の場合は、応急処置、報告を分担して行うこと

・看護師がいる場合は、応急処置を要請すること

３　センターからの指示　⇒　各配置場所への指示

４　巡視の対応　⇒　搬送、誘導の実施

５　搬送後の状況確認　⇒　医療機関による検査結果を確認

２－２―11　１日の業務の流れ

（1）案内所

期　　間			業務内容
3～6 月、9･10 月	7･8 月	11～2 月	
			○出勤、配置場所の確認、身だしなみの確認 ・出勤簿に押印
8:30	8:30	8:30	○朝礼（全体連絡事項、挨拶練習）
8:35～	8:35～	8:35～	○釣銭・手売券、配置場所の鍵等準備 ○配置場所へ移動 ○到着後、開園までの準備 ・異常事態（停電・断水・積雪・建物等の倒壊など）の有無を確認 ・券売機のセット（電源・釣銭・用紙） ・手売券のセット（残枚数・釣銭） ○貸出物品（ベビーカー等）の点検・貸出準備 ○配置場所の内外の清掃 ・床の掃き掃除 ・ガラス、カウンター、券売機とその周辺の雑巾がけ ○改札、窓口、ゲートの準備（ゲート開閉、パンフレット準備等） ○簡易打合せ（昨日の引継、当日の団体、下見の有無等）
9:30	9:30	9:30	○開　園 ・発券業務 ・改札業務、案内業務、物品貸出業務、迷子対応、遺失物対応、救急対応、下見案内等
12:00	12:00	12:00	○昼　食 ※入園者の動向により、必ずしもこの時間に休憩が取れないので、１日の勤務時間内で、交替して昼食・休憩をとるようにする。
16:00	17:00	15:30	○閉園1時間前 ・閉園に向けての準備 ・自動券売機の発売中止 ※発売中止後、入園したいお客様がいる場合には、閉園時間を告げ、それでも入園を希望する場合には手売券にて対応。 ・貸出物品（乳母車、車イス等）の片付け ・入園料金等報告書の作成 ・業務日誌の作成 ・簡易点検（停電・断水・建物のき損・破損等）、清掃等
16:00～	17:00～	15:30～	○集計作業・管理センターへ 報告書・入園券を回収。 ※管理センター集計室にて確認を行う。
16:50	17:50	16:20	○閉園準備 ・残入園者や未返却貸出物品等の情報収集
17:00	18:00	16:30	○閉園 ・戸締り後、管理センターへ移動。 （業務日誌、遺失物等持参）
17:30	18:30	17:00	○終礼・業務終了 ・超過勤務がある場合には、終了後、その時間を超過勤務等命令簿に記録。

(2)ブース・料金所

期間			業務内容
3～6 月、9・10 月	7・8 月	11～2 月	
			○出勤、配置場所の確認、身だしなみの確認 ・出勤簿に押印
8:30	8:30	8:30	○朝礼（全体連絡事項、手話・挨拶練習）
8:35	8:35	8:35	○簡易打合せ（昨日の引継、当日の団体、下見の有無等） ○配置場所へ移動 ○到着後、開園までの準備 ・異常事態（停電・断水・積雪・建物等の倒壊など）の有無を確認 ・レジのセット（電源・釣銭・用紙） ○配置場所の内外の清掃 ・ガラス、床等の掃き掃除 ・料金所周辺の清掃
9:30	9:30	9:30	○開　園 ・料金徴収業務、案内業務等
12:00	12:00	12:00	○昼　食 ※入園者の動向により、必ずしもこの時間に休憩が取れないので、１日の勤務時間内で、交替して昼食・休憩をとるようにする。
16:00	17:00	15:30	○閉園１時間前 ・閉園に向けての準備 ・入園中止（発券中止） ※発売中止後、入園したいお客様がいる場合には、閉園時間を告げ、それでも入園を希望する場合には警備員の誘導により案内所にて対応。
16:00～	17:00～	15:30～	○集計作業 ・すべての現金・報告書・入園券を回収。 ・入園料金等報告書の作成 ※管理センター集計室にて確認を行う。
16:50	17:50	16:20	○閉園準備 ・簡易点検（停電・断水・建物のき損・破損等）、清掃等 ・業務日誌の作成
17:00	18:00	16:30	○閉園 ・管理センターへ移動。 （業務日誌、遺失物等持参）
17:30	18:30	17:00	○終礼・業務終了 ・超過勤務がある場合には、終了後、その時間を超過勤務等命令簿に記録。

(3)つどいの里クラブハウス

期間			業務内容
3～6 月、9･10 月	7･8 月	11～2 月	
			○出勤、配置場所の確認、身だしなみの確認 ・出勤簿に押印
8:30	8:30	8:30	○朝礼（全体連絡事項、手話・挨拶練習）
8:35	8:35	8:35	○簡易打合せ（昨日の引継、当日の団体、下見の有無、イベント等） ○配置場所へ移動 ○到着後、開園までの準備 ・異常事態（停電・断水・積雪・建物等の倒壊など）の有無を確認 ○貸出物品の点検・貸出準備 ○配置場所の内外の清掃 ・床の掃き掃除 ・ガラス、カウンターとその周辺の雑巾がけ
9:30	9:30	9:30	○開　園 ・案内業務、貸出物品貸出業務、迷子対応、遺失物対応、救急対応、下見案内、年間パスポート販売等
12:00	12:00	12:00	○昼　食 ※入園者の動向により、必ずしもこの時間に休憩が取れないので、１日の勤務時間内で、交替して昼食・休憩をとるようにする。
16:50	17:50	16:20	○閉園準備 ・閉園に向けての準備 ・貸出物品（グラウンド・ゴルフ用具等）の返却確認等
17:00	18:00	16:30	○閉園 ・貸出物品（グラウンド・ゴルフ用具等）の片付け ・簡易点検（停電・断水・建物のき損・破損等） ・清掃等 ・戸締り後、管理センターへ移動。 （遺失物等持参）
17:10	18:10	16:40	○集計作業 ・すべての現金回収 ・業務日誌の作成
17:30	18:30	17:00	○終礼・業務終了 ・超過勤務がある場合には、終了後、その時間を超過勤務等命令簿に記録。

（4）サイクリングセンター

期間			業務内容
3～6 月、9･10 月	7･8 月	11～2 月	
			○出勤、配置場所の確認、身だしなみの確認 ・出勤簿に押印
8:30	8:30	8:30	○朝礼（全体連絡事項、手話・挨拶練習）
8:35	8:35	8:35	○簡易打合せ（昨日の引継、当日の団体、イベント等） ○釣銭・配置場所の鍵の受取 ○配置場所へ移動 ○到着後、開園までの準備 ・異常事態（停電・断水・積雪・建物等の倒壊など）の有無を確認 ○貸自転車の点検・貸出準備 ○配置場所の内外の清掃 ・床の掃き掃除 ・ガラス、カウンターとその周辺の雑巾がけ
9:30	9:30	9:30	○開　園 ・自転車貸出業務、案内業務、迷子対応、遺失物対応、救急対応等
12:00	12:00	12:00	○昼　食 ※入園者の動向により、必ずしもこの時間に休憩が取れないので、１日の勤務時間内で、交替して昼食・休憩をとるようにする。
16:00	17:00	15:30	○閉園１時間前 ・閉園に向けての準備 ・貸自転車の貸出終了案内 ・簡易点検（停電・断水・建物のき損・破損等） ・清掃等
16:30	17:30	16:00	○閉園準備 ・貸自転車の返却確認、片付け ・業務日誌の作成
17:00	18:00	16:30	○閉園 ・サイクリングセンター戸締り後、管理センターへ移動。（業務日誌、遺失物等持参） ・すべての現金を回収。 ※管理センター集計室にて確認を行う。
17:30	18:30	17:00	○終礼・業務終了 ・超過勤務がある場合には、終了後、その時間を超過勤務等命令簿に記録。

(5)シルバーカー

期間			業務内容
3～6 月、9･10 月	7･8 月	11～2 月	
			○出勤、配置場所の確認、身だしなみの確認 ・出勤簿に押印
8:30	8:30	8:30	○朝礼（全体連絡事項、手話・挨拶練習）
8:35	8:35	8:35	○簡易打合せ（昨日の引継、当日の団体、イベント等） ○鍵の受取 ○シルバーカー車庫へ移動 ○到着後、開園までの準備 ・異常事態（作動不良、パンクなど）の有無を確認
9:30	9:30	9:30	○開　園 ・シルバーカー運行業務、案内業務、迷子対応、救急対応等
12:00	12:00	12:00	○昼　食 ※入園者の動向により、必ずしもこの時間に休憩が取れないので、１日の勤務時間内で、交替して昼食・休憩をとるようにする。
16:00	17:00	15:30	○閉園1時間前
16:30	17:30	16:00	○閉園準備
17:00	18:00	16:30	○閉園 ・シルバーカーを車庫に入庫後、管理センターへ移動。
17:30	18:30	17:00	○終礼・業務終了 ・超過勤務がある場合には、終了後、その時間を超過勤務等命令簿に記録。

２－２―１２ 想定問答

①案内所及び料金所

質問・苦情等	模範解答または対応
国営なのに何故、入園料がいるの。	国営公園は特定の場所に設置されていることから利用者の方が限定される状況にあるため、受益者負担としており、これは都市公園法により定められております。
なぜ、〇〇は持込禁止なの。	お客様ご自身または他の利用者に危険を及ぼすおそれのあるものとして禁止しております。
なぜ、植物を採ってはいけないないの。	多くの皆様に観賞していただくため、禁止としております。

②駐車場関係

質問・苦情等	模範解答または対応
どこに、止めればいいの。	「ただいま、満車ですので係員の指示に従ってお進みください。」
忘れ物をして取りに来たのですが。	「只今、担当者（警備係）に連絡いたしますので少々お待ちください。」 警備員の誘導により車をロータリー等に駐車していただき、案内所等で受渡し手続きをしていただく。
なぜ国営なのに駐車料金を取るの。	「申し訳ございません。この料金で駐車場の運営をしておりますのでご了承ください。」
午後から入っても午前から入っても同じ料金なのはなぜ。	「申し訳ございません。この駐車場は１日単位の料金設定となっておりますのでご了承ください。」
車内にキーを閉じ込めてしまったのですが。	「只今、担当者（警備係）に連絡いたしますので車の前でお待ちください。」 公園スタッフによる開錠作業は行えませんので、専門業者（ＪＡＦ等）へお客様（当時者）から連絡していただく対応となります。
一旦駐車場外に出て、再度、駐車場に停めたいんだけど。	「本日発券いたしました駐車券（レシート）を料金所で呈示いただければ本日の再入場ができるようになっております。」
料金を払わずに通過してしまった時、あるいは料金不足なのに通過してしまったら。	すぐに追いかけて料金を徴収します。 料金所に１人しかいないとき、または追いつかないときは、巡視員等に連絡を取り、料金所で支払いをしてもらう。 故意か過失かいずれの場合でも相手はお客様であることを忘れずに対応してください。

閉園時間間際に来られた時は	「あと、〇〇分で閉園時間となりますが、よろしいでしょうか。」と念を押してください。 また、閉園時間の約 2 時間前位から「あと、〇〇分で閉園時間となります。」と付け加えてください。
口や耳が不自由な障害者の方が障害者手帳を見せたら	メモ用紙に用件を書いてもらい、メモ用紙による筆談でお客様と対応してください。
〇〇テレビのものですが、〇〇の取材をしたいのですが	「いつもお世話になっております。ただいま企画の担当者に連絡いたしますので少々お待ち下さい。」 企画担当の指示に従って下さい。
駐車場に止めてある他のお客さんの車にぶつけてしまったんですが	「只今、担当者（警備係）に連絡いたしますので車の前でお待ちください。」 場所を確認し、相手がいない場合には車種、ナンバーを控え、呼び出しの放送をしてもらう。また、駐車場内でのお客様同士の車輌事故は原則、当事者同士で解決していただくので、最寄りの警察署への連絡についてもお客様にしていただく。

③団体等に関すること

質問・苦情等	模範解答または対応
花の広場の前の車道から乗降したい	「申し訳ございません。車道での乗降は事故の原因となり危険ですので、ご遠慮いただいております。」
体の不自由な者がいるので車で園内に入りたい	「申し訳ございません。お車を歩道に乗り入れることはご遠慮いただいております。入口案内所で車椅子、電動スクーターを無料貸出しております。また、シルバーカーの運行もございますので、これらをご利用していただいております。」
大型バスを第３駐車場（４駐車場）に停めたい	「申し訳ございません。第３駐車場は構造上の問題で大型車両の駐車は、ご遠慮いただいております。お客様の乗降以外の時間につきましては、大型駐車場にお停めいただきますようお願いいたします。」 混雑日には、乗降についても大型駐車場を案内する。

④貸自転車に関すること

質問・苦情等	模範解答または対応
自転車が貸し出し後にパンクや故障した場合	「申し訳ございません。」 代替の自転車がある場合 「こちらの自転車をお使いください。」 代替の自転車がない場合 「申し訳ございませんが只今、代替の自転車がございませんので。」と回答し返却の自転車を待つか、乗ることをやめるか確認してください。

自転車でサイクリングコース以外になぜ入れないのか	「申し訳ございません。お客様が安全に公園を利用して頂くため、園内は歩道・自転車道・車道に区分されております。サイクリングコースの各所には駐輪場を設けておりますので、目的の広場等へお越しの際は、最寄の駐輪場をご利用ください。」

⑤その他

質問・苦情等	模範解答または対応
「〇〇にスズメバチの巣があるよ」と知らせがあった場合	「ありがとうございます。至急担当者に除去するよう連絡いたします。」と返答し、警備係に連絡してください。
〇〇に人が倒れているけど	「はい、承知しました。」と返事をした後、詳しい情報（倒れている場所等）を聞き、第 1 報を管理センター（総務課長）へ報告してください。
救急車を呼んでください	状況を聞き、速やかに総務課へ連絡をいれてください。
イベントのクレームがあったら	「申し訳ございません。担当者に連絡し改善するよう申し伝えます。」

別紙１

平成２７年４月１日

国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領

（目　的）

第１条　この要領は、国営備北丘陵公園（以下「公園」という。）における行為の禁止等に関する運用の指針を定め、もって安全で快適な公園利用に資することを目的とする。

（適　用）

第２条　公園内における行為の禁止等については、都市公園法（以下「法」という。）及びその他関連法令に定めるもののほか、この要領によるものとする。

（定　義）

第３条　この要領において、「公園内」とは、法の定めるところにより国営備北丘陵公園として公告された次の各号に掲げる区域をいう。

一　法第２条の２の公告がなされた区域

二　法第３３条第２項により定められた都市公園を設置すべき区域のうち、国土交通省が土地の権限を取得している区域

２　この要領において、「職員等」とは、次の各号に掲げるものをいう。

一　中国地方整備局三次河川国道事務所の担当職員

二　法第５条の許可を受けた事業者の担当職員

三　中国地方整備局から公園の運営維持管理に関する業務を受託した事業者（以下「管理センター等」という。）に属する職員

四　管理センター等との契約により、管理センター等の指揮監督を受けて公園の利用上の指導等の業務を行う者

３　この要領において、「公園利用者」とは、勤務中の職員を除く公園内に入る全ての者をいう。

４　この要領において、「事務所長」とは、三次河川国道事務所長をいう。

５　この要領において、「別に定める」とは、事務所長の責任において別に定める細目をいう。

（禁止する行為）

第４条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第１１条に掲げる行為に準ずる行為、かつ正当な権限や理由に基づかない行為とみなし、その行為を禁止する。

一　別に定める場所以外で動植物を採取する行為

二　別に定める場所以外でガスコンロ、石油コンロ、バーベキューコンロ並びに花火等の火気を使用する行為

三　自転車の利用に関し、公園の安全かつ快適な利用に支障を及ぼす行為で別に定めるもの

四　他の利用者の快適性を損なう音響の発生を行う行為

五　他の利用者の安全又は公園施設の正常な利用に支障を及ぼす行為

六　公園の利用に際し、許可なく次の各号に掲げる物件を持ち込み又は使用する行為

イ　銃、刀剣、弓矢、パチンコその他これらに類するもの

ロ　爆発性、引火性の高い花火、火薬、大量のガス、油脂類

ハ　野球バット（ビニール製のものは除く）、野球用の硬球及び軟球

ニ　ゴルフ用具類（グラウンドゴルフコースの利用に係る場合を除く）

ホ　動力付き模型

七　別に定める場所以外で一輪車、ローラースケート、スケートボードその他これらに類するものを使用する行為

２　前項第一号から第七号の規定にかかわらず、職員等が公園の安全かつ快適な利用に支障を及ぼし、又は公園施設を毀損するおそれがあると認めたもの

（法第１１条の規定に関する適用除外）

第５条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、正当な権限や理由に基づく行為とみなし、法第１１条の規定を適用しない。

一　職員等又は職員等との契約者が管理（利用促進等にかかる行為も含む）のために行うもの

二　中国地方整備局または三次河川国道事務所が主催もしくは共催する行催事等

三　行催事等で、事務所長の許可を受けた行為

（場所の指定）

第６条　都市公園法施行令（以下「令」という。）第１８条第３号から第５号までにより指定する場所は、別に定めるものとする。

（許可を要する行為）

第７条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものは、法第１２条に準ずる行為とみなし、事務所長の許可を受けるものとする。

一　アンケート調査又は動植物等の調査

二　開催日等を事前に告知することにより参加者を公募して行う行催事等

三　営利を目的として、又は会費等を徴収して写真等の撮影を行うもの
四　公園内に標識又は横断幕を掲示して行うもの
五　その他事務所長が公共性の理由から必要と認めたもの

（法第１２条の規定に関する適用除外）
第８条　公園内における行為のうち、次の各号に掲げるものについては、公園管理者による管理行為の一環又は公園管理者の許可を受けた行為とみなし、法第１２条の規定を適用しない。
一　職員等又は職員等との契約者が管理（利用促進等にかかる行為も含む）のために行うもの
二　中国地方整備局または三次河川国道事務所が主催もしくは共催する行催事等
三　行催事等で、事務所長の許可を受けた行為
四　別に定める施設における行為

（利用指導）
第９条　職員等は、その責務に応じ、法令等及びこの要領に定める禁止行為又は許可条件に違反する行為を発見したときは、必要の都度入園の制限又は適切な利用指導を行うものとする。

（許可基準）
第１０条　法第１２条第１項の規定による許可の申請に関しては、原則として次の各号に掲げるものに該当するものは許可しないものとする。
一　営利を目的とした物品の販売又は頒布
二　公共性に欠け、又は排他的な集会、展示会及び興業
三　営利のみを目的とした集会、展示会及び興業
四　公共性に欠ける募金又は署名運動
五　公園利用又は公園管理に係わりのない調査
六　休園日又は開園時間外の利用
七　次の各号に該当し著しく公園利用の快適性を損なうもの
イ　公園施設の損傷又は汚損
ロ　公園の風致又は美観の侵害
ハ　他の利用者に危害を加え又は不便を生じさせること
八　事故の発生又は公園施設の損害に対し、申請者の責任能力が欠如していると考えられる場合
九　前各号に定められるもののほか、事務所長が公園の利用上又は管理（利用促進等にかかる行為も含む）上から不都合と認めるもの

２　前項第一号及び第六号の規定にかかわらず、職員等が、公園利用の促進又は利用者の利便を図る目的で実施する場合は許可の対象とするものとする。

（許可条件）

第１１条　公園内の行為について許可をする場合は、必要に応じて条件を付すものとする。

附則　この要領は平成１１年１０月１日から適用する。

附則　この要領は平成２７年４月１日から適用する。

国営備北丘陵公園における行為の禁止等に関する取扱要領の細目

（動植物の採取）

第１条　要領第４条第一号に定める行為は、次の各号とする。

一　職員等による看板等で指定された場所における必要最小限の動植物採取

二　職員等による看板等で指定された場所における必要最小限の魚釣り

２　前各号の規定における行為であっても、職員等が必要最小限の範囲を超えると判断するものについては、その行為を禁止する。

（火気を使用する行為）

第２条　要領第４条第二号に定める場所は、次の各号とする。

一　オートキャンプ場管理運営要領により指定された場所

二　職員等による看板等で指定された場所

（自転車の利用）

第３条　要領第４条第三号に定める場所は、次の各号とする。

一　自転車園路以外に自転車を乗り入れること

二　駐輪場以外に自転車を駐輪すること

三　スピードの出し過ぎ、無理な追い越し等、他の利用者の安全に支障が及ぶこと

四　オートキャンプ場管理運営要領により定められた行為

（一輪車等の使用）

第４条　要領第４条第七号に定める場所は、次の各号とする。

一　オートキャンプ場管理運営要領により指定された場所

二　職員等による看板等で指定された場所

（場所の指定）

第５条　要領第６条に定める場所は、次の各号とする。

一　令第１８条第３号により指定する場所は、次の各号に掲げる場所とする。

イ　オートキャンプ場管理運営要領により指定された場所

ロ　職員等による看板等で指定された場所

二　令第１８条第４号により指定する立入禁止区域は、次の各号に掲げる区域とする。

イ　オートキャンプ場管理運営要領により指定された場所

ロ　職員等による看板等で「立入禁止」等の標識で示された区域

三　令第１８条第５号により指定する場所は、次の各号に掲げる区域とする。

イ　駐車場及びその進入路並びに自転車園路の区域

ロ　オートキャンプ場管理運営要領により指定された場所

ハ　職員等による看板等で指定された場所

（適用除外の施設）

第６条　要領第８条に定める施設における行為は、次の各号とする。

一　神楽殿及び参集殿での神楽、太鼓、踊り等の伝統芸能の練習や発表会

二　工房での各種の工作教室や作品の展示会

三　センター等の長が事前に事務所長へ承諾を得た日時と場所における行為

２　前各号を行う場合は、施設利用申込書により事前にセンター等の長に申請し、承諾をうけた場合に限る。

附則　この細則は平成１１年１０月１日から適用する。

別紙２

ペット同伴入園の皆様へ（お願い）

※必ずお読みください。

ペットの同伴入園については、下記のお約束をもとに、同伴入園を許可しております。
必ず、下記のルールを守って、他の入園者の迷惑にならないようにお願いいたします。

記

（同伴入園の許可条件）

1. 園内では、必ずロープや紐（ひも）等でつなぎ、いつでも飼い主が制御（せいぎょ）できる状態にし、他の入園者に迷惑をかけないこと。

2. 排泄物（糞、尿等）の処理は、飼い主が責任を持って処理すること。

3. 他の入園者に吠えついたり、飛びかかるなどの迷惑をかけないこと。

4. 事故（怪我）等が発生した場合は、すべて飼い主の責任において処置していただきます。

5. 建物内（飲食棟・売店・屋敷・農家・工房等）へのペット同伴の入室はできません。また、自転車に乗せたり、サイクリングコースを一緒に走行することはできません。

6. 電動スクーター、シルバーカーにペットを乗せることはできません。

7. 園内では、係員や巡視（警備）員の指示に従ってください。

上記のルール違反があった場合には、直ちに、退園していただきます。
その場合は、入園料等はお返しいたしませんので、ご承知おきください。

国営備北丘陵公園

シルバーカー運行計画

１．シルバーカー

国が貸与するシルバーカー：２台、運転手を含め８人乗り





２．運行期間

原則として 12 月～2 月を除く開園期間中

３．運行ルート・運行時間等

① 運行ルート：中の広場～湖畔レストハウス（下図参照）

② 運行時間：開園時間

③ 停留所：中の広場・湖畔レストハウス

④ 運休日：公園の休園日及び車輌定期点検日、荒天その他管理上の観点から適当でないと判断できる場合

シルバーカー運行ルート



国営備北丘陵公園　巡視計画（案）

国営備北丘陵公園の通常巡視については以下を標準とするが､詳細については事業者が巡視計画書を作成し、業務計画書に合わせて調査職員等に提出し、承諾を得るものとする。

（１） 主要巡視コース

Ａコース（ひばの里 ～ 林間アスレチックコース）

本公園の中でも、経常的に利用者があり特に重点的に巡視を必要とするコース。

原則、１日２回（午前、午後１回）以上巡視を行う。

【巡回時主要施設】

① ビジターセンター　～　②（棚田～農家裏～中の茶屋）　～　③ さとやま屋敷　～
④ やきもの工房　～　⑤ 神楽殿　～　⑥ 木の工房　～　⑦ Ｂ駐車場　～
⑧ 古代たたら工房　～　⑨花の広場　～　⑩国兼跨道橋　～　⑪第 2 駐車場　～
⑫国兼池堤体　～　⑬湖畔レストハウス　～
⑭チビッコゲレンデ　～ ⑮林間休憩所　～　⑯（林間アスレチック内遊具）　～
⑰大芝生広場上　～　⑱中入口サイクリングセンター　～
① ビジターセンター
※（　　）内は徒歩巡視

（２） 通常巡視コース

Ｂコース（星の里 ～ いこいの森管理道）

Ｃコース（みのりの里 ～ つどいの里）

本公園の中で主要巡視コースについで公園利用者があり、巡視を必要とするコース。

原則、１日１回以上巡視を行う。

Ｂコース【巡回時主要施設】

①ビジターセンター　～　②第１駐車場　～　③ 熊野池下流部　～　④Ｂ駐車場　～
⑤熊野口ゲート　～　⑥上下水道施設　～　⑦いこいの森管理道　～
⑧牧場ゲート　～　⑨一般カーサイト付近　～　⑩友国上池　～
⑪備北オートビレッジ管理センター付近　～　⑫八幡調整池　～　⑬浅谷山トイレ　～
⑭熊野池デッキ　～　⑮林正橋　～　① ビジターセンター

Ｃコース【巡回時主要施設】

①エントランスセンター国兼　～　②第５駐車場　～　③遊びの原っぱ　～
④第６駐車場　～　⑤なし園前　～　⑥スイセンガーデン　～　⑦湖畔広場　～
⑧ササユリ保全区前　～　⑨国兼池東護岸　～　⑩ 北入口サイクリングセンター　～
⑪宮山橋　～　⑫ クラブハウス　～　⑬（グラウンドゴルフコース）　～
⑭観察デッキ　～　⑮（散策路）　～　① エントランスセンター国兼
※（　　）内は徒歩巡視

（３） 散策路徒歩巡視コース

Ｄコース（熊の池コテージ付近散策路コース）

Ｅコース（浅谷山～八幡調整池周辺散策路コース）

利用頻度も余り多くなく、徒歩を主体とする散策路の巡視コース。
原則、２日１回以上巡視を行う。
但し、３月～１１月末の期間とし、備北オートビレッジのクローズ期間の巡視は行わない。

Ｆコース（いこいの森内散策路コース）

徒歩を主体とする散策路の巡視コース。
原則､又池コースは利用前１回以上巡視を行う｡他コースは１日１回以上巡視を行う。
但し、３月～１０月末の期間とし、いこいの森のクローズ期間の巡視は行わない。

Ｄコース【巡回時主要施設】

① 熊の池デッキ　～　② 周回散策路

Ｅコース【巡回時主要施設】

③浅谷山トイレ　～　④八幡調整池周辺散策路

Ｆコース【巡回時主要施設】

Ｆ（又池コース）

①いこいの森広場　～　②カブトムシドーム前　～　③伝代池分岐　～
④又池方面散策路　～　①いこいの森広場

Ｆ（他コース）

① いこいの森広場　～　②カブトムシドーム前　～　⑤ 日の本池　～
⑥伝代池方面散策路　～　⑦伝代池　～　⑧おちょうさん池　～
⑨又池湖畔沿い　～　① いこいの森広場

（４） 開園前点検

公園の開園前に施錠の解錠及び点検を行う。施設点検でありルートは問わない。
施設は点検を実施。水道メーターは読み取りを行う。
開園前１回とする。

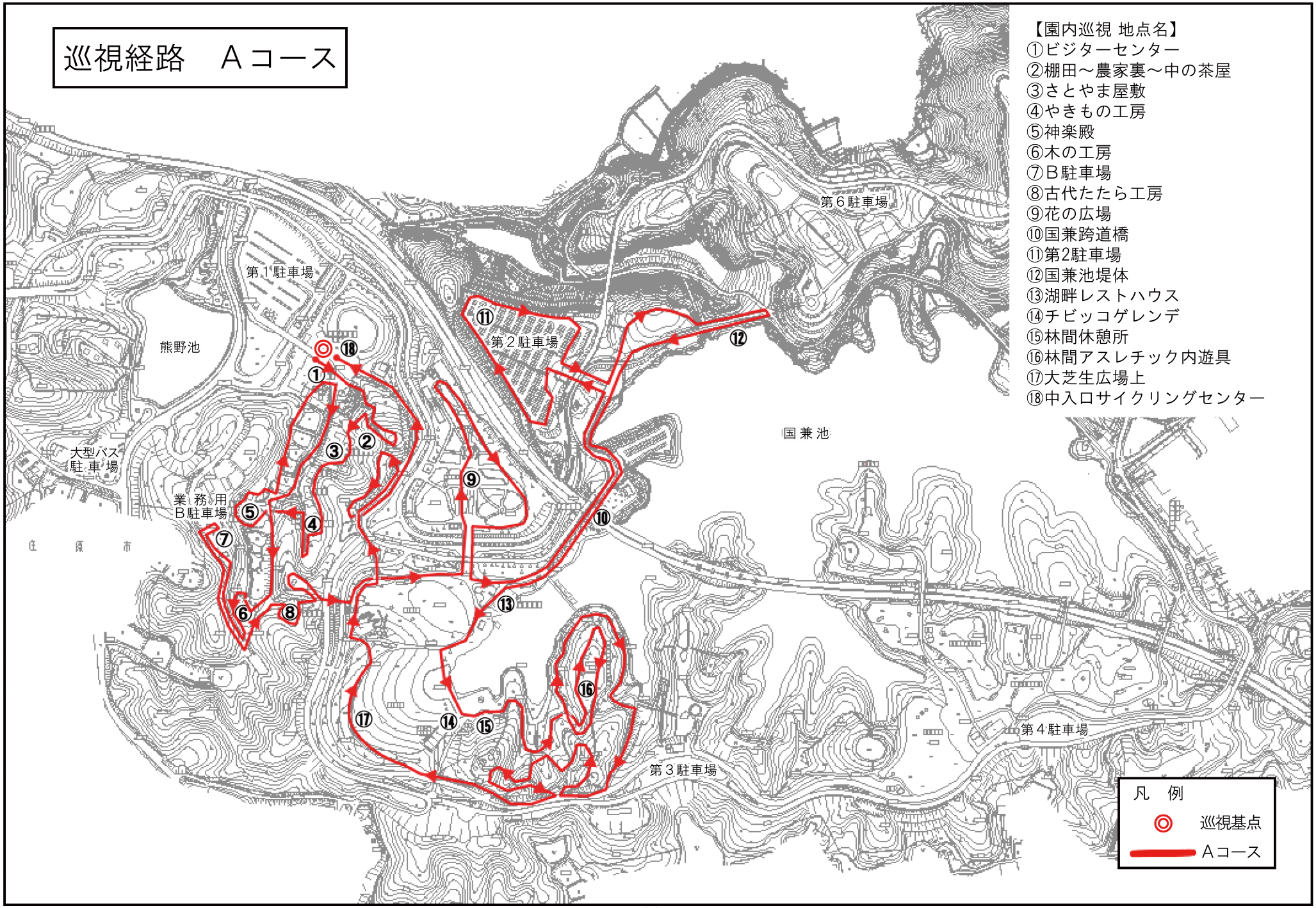
【巡回時主要施設】

① 北入口通用門　② 中入口ブース　③ 中入口（市道前）
④ ビジターセンター（警備解除・解錠・トイレ等）　⑤ ひばの里水車（電源 ON）
⑥ 中入口サイクリングセンター前倉庫　⑦ 第１駐車場トイレ
⑧ さとやま展示館（解錠・点検）　⑨ 神楽殿トイレ　⑩ Ｂ駐車場倉庫
⑪ 大芝生横円形トイレ（３箇所）　⑫ 花の広場トイレ　⑬ 林間休憩所・トイレ
⑭ 芝生広場休憩所レストラン「湖畔レストハウス」・トイレ　⑮ 第２駐車場トイレ
⑯ 大型駐車場トイレ　⑰ 水道メーター　⑱ 北入口　⑲ 北ブース（歩道部）
⑳ クラブハウス

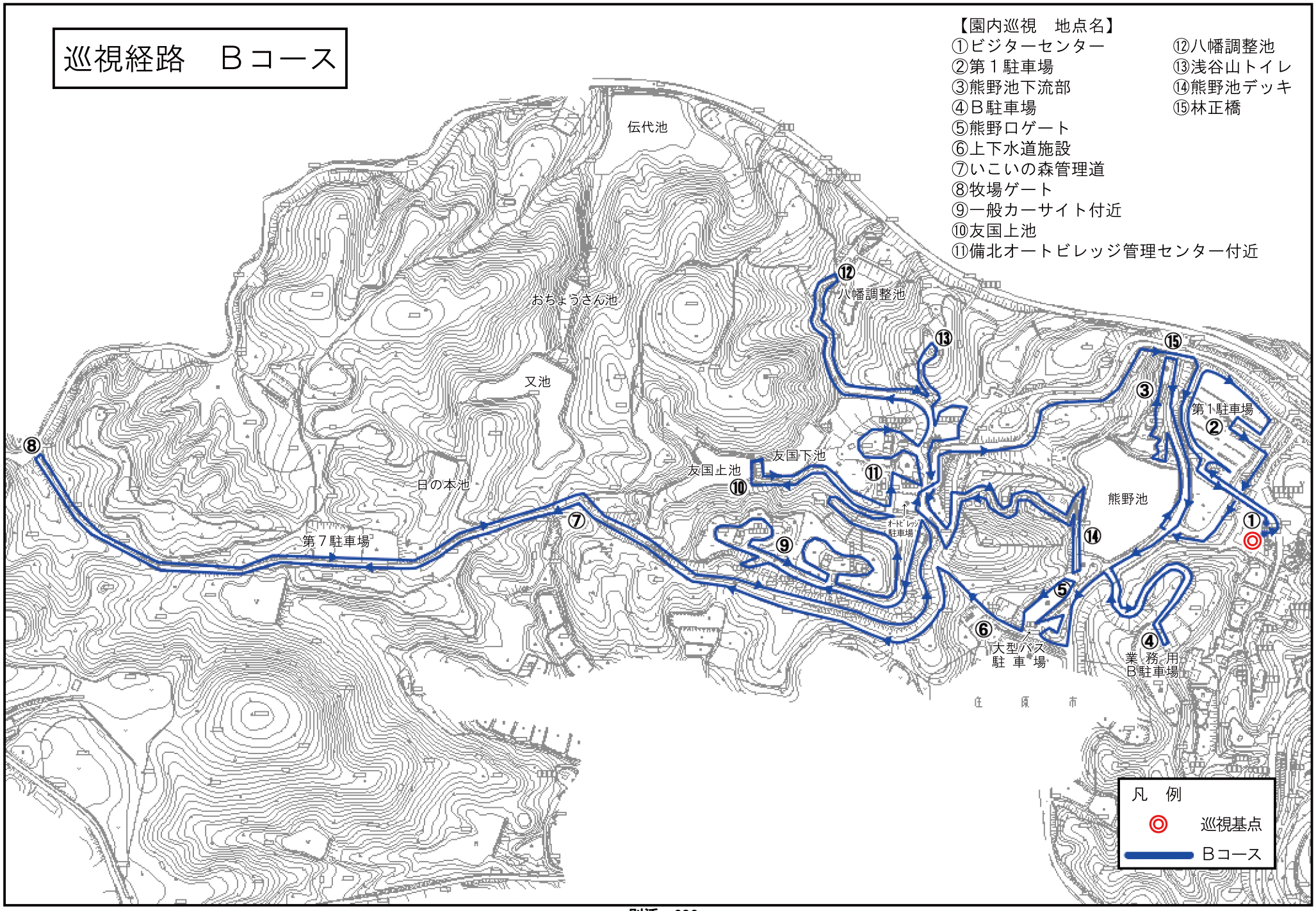
（５） 開園前サイクリングコース点検

公園の開園前に、全サイクリングコースの点検を行い、自転車の走行に支障が無いか確認を行う。
開園前１回とする。
点検ルート：サイクリングコース（自転車園路）

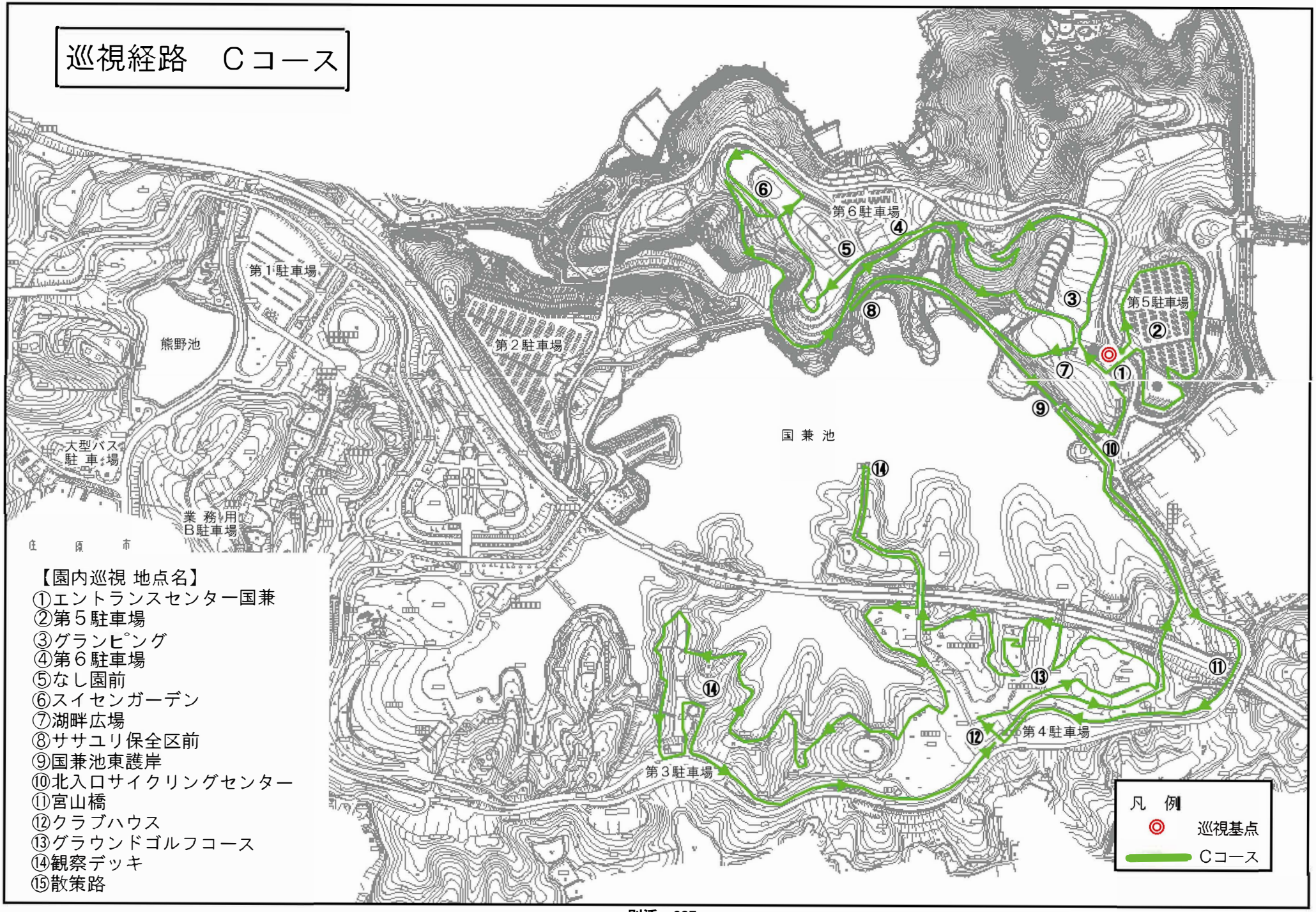
巡視経路　Ａコース


【園内巡視 地点名】
①ビジターセンター
②棚田～農家裏～中の茶屋
③さとやま屋敷
④やきもの工房
⑤神楽殿
⑥木の工房
⑦Ｂ駐車場
⑧古代たたら工房
⑨花の広場
⑩国兼跨道橋
⑪第2駐車場
⑫国兼池堤体
⑬湖畔レストハウス
⑭チビッコゲレンデ
⑮林間休憩所
⑯林間アスレチック内遊具
⑰大芝生広場上
⑱中入口サイクリングセンター
第１駐車場
第２駐車場
第３駐車場
第４駐車場
第６駐車場
熊野池
国兼池
大型バス駐車場
業務用Ｂ駐車場
凡　例
巡視基点
Ａコース

巡視経路　Ｂコース


【園内巡視　地点名】
①ビジターセンター
②第１駐車場
③熊野池下流部
④Ｂ駐車場
⑤熊野口ゲート
⑥上下水道施設
⑦いこいの森管理道
⑧牧場ゲート
⑨一般カーサイト付近
⑩友国上池
⑪備北オートビレッジ管理センター付近
⑫八幡調整池
⑬浅谷山トイレ
⑭熊野池デッキ
⑮林正橋
伝代池
おちょうさん池
又池
日の本池
友国下池
友国止池
八幡調整池
第１駐車場
熊野池
オートビレッジ駐車場
大型バス駐車場
業務用Ｂ駐車場
第７駐車場
庄原市
凡　例
巡視基点
Ｂコース

巡視経路　Ｃコース

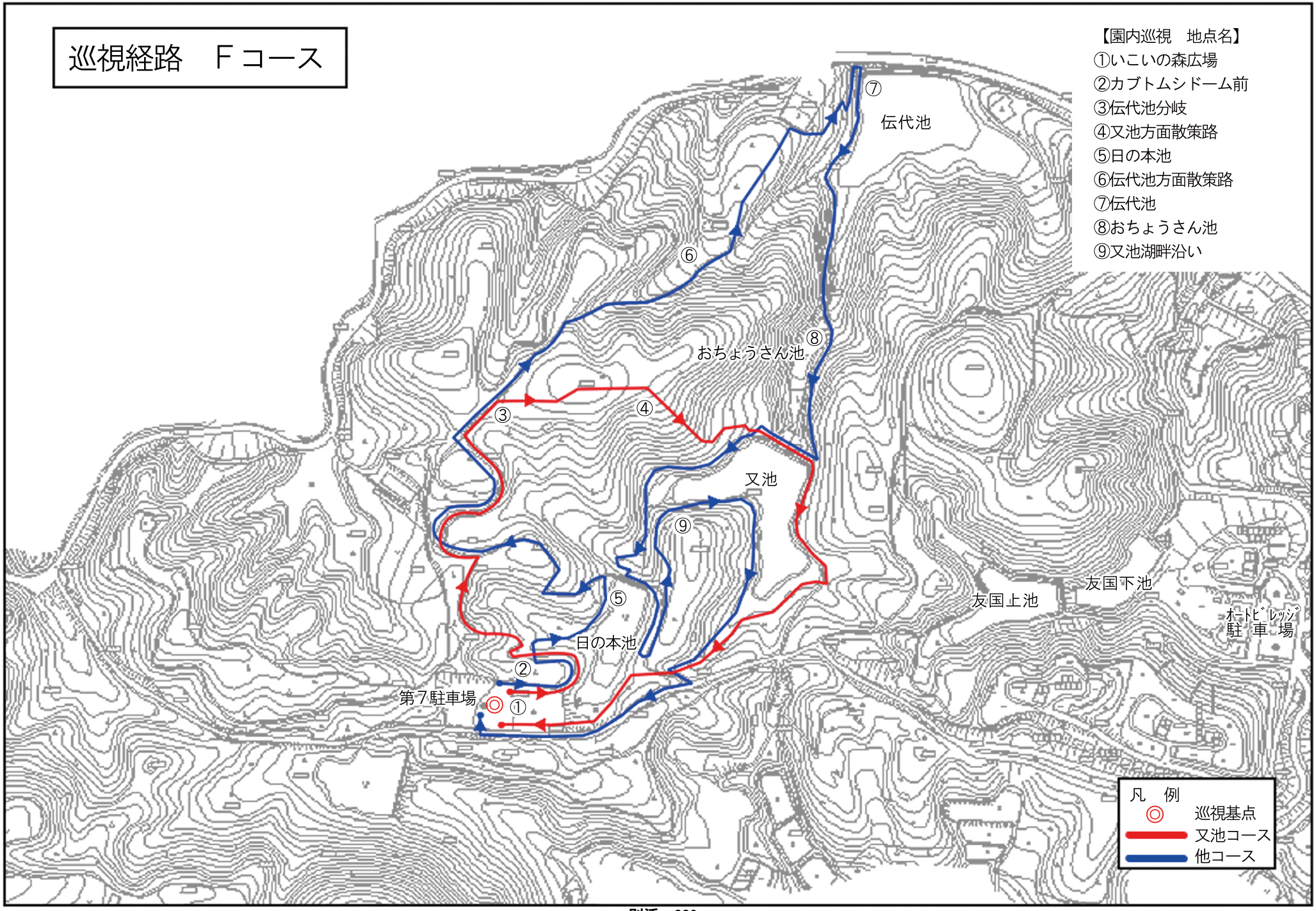


【園内巡視 地点名】
①エントランスセンター国兼
②第５駐車場
③グランピング
④第６駐車場
⑤なし園前
⑥スイセンガーデン
⑦湖畔広場
⑧ササユリ保全区前
⑨国兼池東護岸
⑩北入口サイクリングセンター
⑪宮山橋
⑫クラブハウス
⑬グラウンドゴルフコース
⑭観察デッキ
⑮散策路

巡視経路Ｄ･Ｅコース


【園内巡視 地点名】
Ｄコース
①熊野池デッキ
②周回散策路
Ｅコース
③浅谷山トイレ
④八幡調整池周辺散策路
伝代池
おちょうさん池
又池
日の本池
友国下池
友国上池
八幡調整池
オートビレッジ駐車場
熊野池
第１駐車場
第７駐車場
大型バス駐車場
業務用Ｂ駐車場
住宅市
巡視基点
Ｄコース
Ｅコース

巡視経路　Ｆコース


【園内巡視　地点名】
①いこいの森広場
②カブトムシドーム前
③伝代池分岐
④又池方面散策路
⑤日の本池
⑥伝代池方面散策路
⑦伝代池
⑧おちょうさん池
⑨又池湖畔沿い
伝代池
おちょうさん池
又池
日の本池
第７駐車場
友国下池
友国止池
オートビレッジ駐車場
凡　例
巡視基点
又池コース
他コース

エレベーター保守点検計画

施設名 (ｴﾚﾍﾞｰﾀｰの種類)	停止床 階数	積載 重量 (kg)	定員 (人)	点検回数（年間）		備考
				定期点検 (簡易)	定期点検 (詳細)	
湖畔レストハウス (油圧式)	2	600	9	12	1	東芝ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ(株)
エントランスセンター国兼　１号機 (機械室なし)	3	1,000	15	12	1	東芝ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ(株)
エントランスセンター国兼　２号機 (機械室なし)	3	1,000	15	12	1	東芝ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ(株)
管理事務所 (機械室なし)	3	900	13	12	1	日本ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ製造(株)
北入口サイクリングセンター (機械室なし)	2	1,000	15	12	1	日本ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ製造(株)

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
通信設備																	
備北丘陵公園分室	簡易型交換機	IPPF-S	2019年11月	富士通	1 台					1		16-2					
	線路		2019年11月	富士通	13 回線	○											
	電話器	FAX1台含む	2019年11月	富士通	13 台												
公園管理センター	警報監視盤		2008年3月	芝通	1 面	○			1	1		19-10					
	簡易型交換機	RM10SL2	2007年12月	扶桑電通	1 台	○				1		16-2					
	放送装置操作端末		2006年12月	日本無線	1 台	○				1		24-3				個別点検 No2除く	
ビジタセンター	簡易型交換機	RM10SL2	2007年12月	扶桑電通	1 台	○				1		16-2					
オートビレッジ管理センター	簡易型交換機	CS-100	2004年4月	富士通	1 台	○				1		16-2					
電気設備																	
備北丘陵公園分室	電源設備(自家用電気設備)		2007年3月	東芝	1 箇所	○	1	1			17-1						
	発動発電機	原動機	2007年3月	東芝	1 台				1	1		37-1					
	150kVA	発電機	2007年3月	東芝	1 台				1	1		37-2					
		直流電源盤	2007年3月	東芝	1 台					1		37-3					
		煙道、消音器	2007年3月	東芝	1 台					1		37-4					
		発電機盤	2007年3月	東芝	1 台					1		37-5					
第1変電所	電源設備(自家用電気設備)		2020年3月	東芝	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(断路器)		2020年3月	東芝	1 式					1							
	高圧設備(真空遮断器)		2020年3月	東芝	5 台					1				※			引込盤、フィーダ分岐盤(1)、フィーダ分岐盤(2)×2
	高圧設備(油入変圧器)		2020年3月	東芝	4 台					1							1000KVA,300KVA,20KVA,10KVA
	高圧設備(モールド変圧器)		2020年3月	東芝	5 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2020年3月	東芝	35 台					1							VT 6台 CT 18台 ZCT 11台
	高圧設備(避雷器)		2020年3月	東芝	1 台					1				※			引込柱R,S,T各相セットで1台
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2020年3月	東芝	5 面					1							引込盤、主変圧器盤、フィーダ分岐盤(1)、(2)、接地変圧器盤
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2020年3月	東芝	1 台					1		30-5					
	高圧設備(電力ヒューズ)		2020年3月	東芝	6 台					1							引込盤×2 接地変圧器盤 三相300KVA変圧器盤、 三相20KVA変圧器盤
	高圧設備(開閉器)	LBS	2020年3月	東芝	5 台					1							接地変圧器盤 三相300KVA変圧器盤、 三相20KVA変圧器盤、 単相10KVA変圧器盤×2
	高圧設備(母線)		2020年3月	東芝	1 式					1							
	高圧設備(引込柱)		2020年3月	東芝	1 本					1							
	高圧設備(区分開閉器(ガス・真空・気中を含む))		2020年3月	東芝	1 台					1							
	高圧設備(電線・支持物)		2020年3月	東芝	1 個					1							
	高圧設備(ケーブル)		2020年3月	東芝	4 系統					1							引込側、No.2,5,8送り
	動力・電灯盤		2020年3月	東芝	3 面					1		33-1					三相300KVA変圧器盤、 三相20KVA変圧器盤、 単相10KVA変圧器盤
	直流電源装置(真空遮断器投入用)(MSE形)		2020年3月	東芝	1 台					1		33-3					
	自家用電気設備環境点検		2020年3月	東芝	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))	地絡過電圧継電器	2020年3月	東芝	1 台					1		30-3				No.3,10のみ	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))	地絡継電器	2020年3月	東芝	8 台					1		30-3				No.4,10のみ	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))	地絡方向継電器	2020年3月	東芝	4 台					1		30-3				No.5,10のみ	

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
第1変電所	受変電設備(継電器共通事項(静止形))	不足電圧継電器	2020年3月	東芝	1 台					1		30-3				No.7,10のみ	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))	電圧継電器	2020年3月	東芝	1 台					1		30-3				No.8,10のみ	
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))	過電流継電器(静止形)	2020年3月	東芝	8 台					1		30-2				No.1,7のみ	誘導形の項目を流用
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2020年3月	東芝	1 箇所					1		30-4					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		1994年3月	東芝	1 箇所					1		30-4					
第2変電所	電源設備(自家用電気設備)		2022年2月	かわでん	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2022年2月	かわでん	3 台					1		30-5		※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2022年2月	かわでん	4 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2022年2月	かわでん	13 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2022年2月	かわでん	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2022年2月	かわでん	2 面					1							
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2022年2月	かわでん	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		2022年2月	かわでん	14 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2022年2月	かわでん	5 台					1							
	高圧設備(母線)		2022年2月	かわでん	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2022年2月	かわでん	2 系統					1							
	電力・電灯盤		2022年2月	かわでん	5 面					1		33-1					
	直流電源装置(真空遮断器投入用)(MSE形)		2022年2月	かわでん	1 台					1		33-3					
	自家用電気設備環境点検		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2022年2月	かわでん	8 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		2022年2月	かわでん	9 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-4					
第3変電所	電源設備(自家用電気設備)		2022年2月	かわでん	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2022年2月	かわでん	1 台					1		30-5		※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2022年2月	かわでん	2 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2022年2月	かわでん	4 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2022年2月	かわでん	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2022年2月	かわでん	2 面					1							
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2022年2月	かわでん	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		2022年2月	かわでん	8 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2022年2月	かわでん	3 台					1							
	高圧設備(母線)		2022年2月	かわでん	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2022年2月	かわでん	1 系統					1							
	電力・電灯盤		2022年2月	かわでん	2 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2022年2月	かわでん	2 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		2022年2月	かわでん	2 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-4					

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
第5変電所	電源設備(自家用電気設備)		2017年3月		1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2017年3月		3 台					1				※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2017年3月		3 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2017年3月		13 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2017年3月		3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2017年3月		2 面					1							
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2017年3月		1 台					1		30-5					
	高圧設備(電力ヒューズ)		2017年3月		11 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2017年3月		4 台					1							
	高圧設備(母線)		2017年3月		1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2017年3月		3 系統					1							
	電力・電灯盤		2017年3月		4 面					1		33-1					
	直流電源装置(真空遮断器投入用)(MSE形)		2017年3月		1 台					1		33-3					
	自家用電気設備環境点検		2017年3月		1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2017年3月		3 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		2017年3月		9 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2017年3月		1 箇所					1		30-4					
第6変電所	電源設備(自家用電気設備)		2022年2月	かわでん	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2022年2月	かわでん	2 台					1				※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2022年2月	かわでん	2 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2022年2月	かわでん	7 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2022年2月	かわでん	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2022年2月	かわでん	1 面					1							
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2022年2月	かわでん	1 台					1		30-5					
	高圧設備(電力ヒューズ)		2022年2月	かわでん	8 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2022年2月	かわでん	3 台					1							
	高圧設備(母線)		2022年2月	かわでん	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2022年2月	かわでん	2 系統					1							
	電力・電灯盤		2022年2月	かわでん	2 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2022年2月	かわでん	6 台					1		30-3					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2022年2月	かわでん	1 箇所					1		30-4					
第7変電所	電源設備(自家用電気設備)		2021年2月	高陽電機(株)	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2021年2月	高陽電機(株)	2 台					1				※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2021年2月	高陽電機(株)	4 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2021年2月	高陽電機(株)	7 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2021年2月	高陽電機(株)	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2021年2月	高陽電機(株)	2 面					1		30-5					

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
第7変電所	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		2021年2月	高陽電機(株)	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		2021年2月	高陽電機(株)	14 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2021年2月	高陽電機(株)	5 台					1							
	高圧設備(母線)		2021年2月	高陽電機(株)	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2021年2月	高陽電機(株)	2 系統					1							
	電力・電灯盤		2021年2月	高陽電機(株)	4 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		2021年2月	高陽電機(株)	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2021年2月	高陽電機(株)	9 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		2021年2月	高陽電機(株)	2 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2021年2月	高陽電機(株)	1 箇所					1		30-4					
第8変電所	電源設備(自家用電気設備)		1998年5月	富士電機	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		1998年5月	富士電機	2 台					1				※			
	高圧設備(油入変圧器)		1998年5月	富士電機	2 台					1							
	高圧設備(モールド変圧器)		1998年5月	富士電機	1 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		1998年5月	富士電機	7 台					1							
	高圧設備(避雷器)		1998年5月	富士電機	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		1998年5月	富士電機	1 面					1		30-5					
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		1998年5月	富士電機	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		1998年5月	富士電機	8 台					1							
	高圧設備(開閉器)		1998年5月	富士電機	3 台					1							
	高圧設備(母線)		1998年5月	富士電機	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		1998年5月	富士電機	2 系統					1							
	電力・電灯盤		1998年5月	富士電機	4 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		1998年5月	富士電機	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		1998年5月	富士電機	5 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		1998年5月	富士電機	4 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		1998年5月	富士電機	1 箇所					1		30-4					
第9変電所	電源設備(自家用電気設備)		1998年5月	富士電機	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		1998年5月	富士電機	1 台					1				※			
	高圧設備(油入変圧器)		1998年5月	富士電機	1 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		1998年5月	富士電機	4 台					1							
	高圧設備(避雷器)		1998年5月	富士電機	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		1998年5月	富士電機	1 面					1		30-5					
	高圧設備(電力用コンデンサ設備)		1998年5月	富士電機	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		1998年5月	富士電機	5 台					1							
	高圧設備(開閉器)		1998年5月	富士電機	2 台					1							
	高圧設備(母線)		1998年5月	富士電機	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		1998年5月	富士電機	1 系統					1							

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
第9変電所	電力・電灯盤		1998年5月	富士電機	2 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		1998年5月	富士電機	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		1998年5月	富士電機	1 台					1		30-3					
	受変電設備(継電器共通事項(誘導形))		1998年5月	富士電機	2 台					1		30-2					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		1998年5月	富士電機	1 箇所					1		30-4					
第10変電所	電源設備(自家用電気設備)		2002年2月	東芝	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2002年2月	東芝	2 台					1				※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2002年2月	東芝	3 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2002年2月	東芝	7 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2002年2月	東芝	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2002年2月	東芝	1 面					1		30-5					
	高圧設備(電力ヒューズ)		2002年2月	東芝	8 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2002年2月	東芝	3 台					1							
	高圧設備(母線)		2002年2月	東芝	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2002年2月	東芝	1 系統					1							
	電力・電灯盤		2002年2月	東芝	3 面					1		33-1					
	自家用電気設備環境点検		2002年2月	東芝	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2002年2月	東芝	7 台					1		30-3					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2002年2月	東芝	1 箇所					1		30-4					
第11変電所	電源設備(自家用電気設備)		2008年1月	タツミ電工	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(断路器)		2008年1月	タツミ電工	1 台					1							
	高圧設備(真空遮断器)		2008年1月	タツミ電工	1 台					1				※			
	高圧設備(油入変圧器)		2008年1月	タツミ電工	1 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2008年1月	タツミ電工	4 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2008年1月	タツミ電工	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2008年1月	タツミ電工	2 面					1		30-5					
	高圧設備(電力コンデンサ設備)		2008年1月	タツミ電工	2 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		2008年1月	タツミ電工	3 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2008年1月	タツミ電工	1 台					1							
	高圧設備(母線)		2008年1月	タツミ電工	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2008年1月	タツミ電工	1 系統					1							
	電力・電灯盤		2008年1月	タツミ電工	3 面					1		33-1					
	直流電源装置(真空遮断器投入用)(MSE形)		2007年1月	東芝	1 台					1		33-3					
	自家用電気設備環境点検		2008年1月	タツミ電工	1 箇所					1		30-1				No1.2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2008年1月	タツミ電工	7 台					1		30-3					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2008年1月	タツミ電工	1 箇所					1		30-4					
第11変電所	発動発電機 EUK-200LT	原動機	2019年1月	栄興技研	1 台				1	1		37-1					
	200kVA	発電機	2019年1月	栄興技研	1 台				1	1		37-2					

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
第11変電所	発動発電機 EUK-200LT	直流電源盤	2019年1月	栄興技研	1 台					1		37-3					
	200kVA	煙道、消音器	2019年1月	栄興技研	1 台					1		37-4					
		発電機盤	2019年1月	栄興技研	1 台					1		37-5					
第12変電所	電源設備(自家用電気設備)		2007年1月	東芝	1 箇所	○	1	1			17-1					No3発電機、No5除く	
	高圧設備(真空遮断器)		2007年1月	東芝	2 台					1				※			
	高圧設備(モールド変圧器)		2007年1月	東芝	2 台					1							
	高圧設備(計器用変成器)		2007年1月	東芝	7 台					1							
	高圧設備(避雷器)		2007年1月	東芝	3 台					1				※			
	高圧設備(閉鎖配電盤)		2007年1月	東芝	2 面					1							
	高圧設備(電力コンデンサ設備)		2007年1月	東芝	1 台					1							
	高圧設備(電力ヒューズ)		2007年1月	東芝	8 台					1							
	高圧設備(開閉器)		2007年1月	東芝	3 台					1							
	高圧設備(母線)		2007年1月	東芝	1 式					1							
	高圧設備(ケーブル)		2007年1月	東芝	2 系統					1							
	電力・電灯盤		2007年1月	東芝	3 面					1		33-1					
	直流電源装置(真空遮断器投入用)(MSE形)		2007年1月	東芝	1 台					1		33-3					
	自家用電気設備環境点検		2007年1月	東芝	1 箇所					1		30-1				No1,2除く	
	受変電設備(継電器共通事項(静止形))		2007年1月	東芝	9 台					1		30-3					
	受変電設備(図書類・予備品等の確認)		2007年1月	東芝	1 箇所					1		30-4					
芝生広場休憩施設	分電盤 LMT-1	屋内自立、電灯動力、制御回路あり	1997年11月	松下電工	1 面					1		34-4					別図-10 No. 1A
	分電盤 LM-1	屋内自立、電灯動力、制御回路あり	1997年11月	松下電工	1 面					1		34-4					別図-10 No. 1B
	分電盤 M-2	屋内壁掛け、動力	1997年11月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 1C
芝生広場売店	分電盤	屋内自立、電灯動力	1995年12月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 2
芝生広場便所	分電盤 L-B	屋内自立、電灯	1995年12月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 3
さとやま ポンプ室	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1996年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 4A
	分電盤 M-A	屋内壁掛け、動力	1996年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 4B
芝生広場イベント盤A	コンセント盤	屋外壁掛け、電灯	1995年1月	東芝	1 面					1		33-4					別図-10 No. 5
芝生広場イベント盤B	イベント用分電盤	屋外自立、電灯動力	1995年1月	東芝	1 面					1		33-4					別図-10 No. 6
上水道施設	ポンプ操作盤	自立型、電灯動力、制御回路あり	1994年9月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 7
熊野池	中継ポンプ制御盤P2a	屋外自立、動力、制御回路あり	1994年2月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 8A
	中継ポンプ制御盤P2b	屋外自立、動力、制御回路あり	1994年2月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 8B
ひばの里	中継ポンプ制御盤P3	屋外自立、動力、制御回路あり	1994年2月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 9
第2駐車場	中継ポンプ制御盤P4	屋外自立、動力、制御回路あり	1994年2月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 10A
	中継ポンプ制御盤P5	屋外自立、動力、制御回路あり	1994年2月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 10B
ひばの里	制御盤P-A	屋外自立、動力	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11A
	制御盤P-B	屋外自立、動力、制御回路あり	1995年2月	松下電工	1 面					1		34-4					別図-10 No. 11B
	制御盤P-C	屋外自立、動力	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11C
	制御盤P-D	屋外自立、動力、制御回路あり	1995年2月	松下電工	1 面					1		34-4					別図-10 No. 11D

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
ひばの里	L2-1照明制御盤	屋外自立、電灯動力	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11E
	電灯制御盤L-1	屋外壁掛け、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11F
	ｲﾍﾞﾝﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤L-2	屋外壁掛け、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11G
	ｲﾍﾞﾝﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤L-3	屋外自立、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11H
	電灯制御盤L-4	屋外壁掛け、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 11I
第1駐車場	L2-2照明制御盤	屋外自立、電灯動力	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 12A
	L2-21照明制御盤	屋外自立、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 12B
	L2-22照明制御盤	屋外自立、電灯	1995年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 12C
芝生広場	L6-1照明制御盤	屋外壁掛け、電灯	1995年1月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 13
ﾊﾞｽ駐車場	L1-1照明制御盤	屋外自立、電灯	1995年1月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 14
中の広場	L2-4照明制御盤	屋外自立、電灯	1995年1月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 15
汚水処理施設	汚水処理施設制御盤	自立型、電灯動力、制御回路あり	1994年2月	ｻﾝﾃｯｸ	1 面					1		34-4					別図-10 No. 16A
汚水処理施設	中水ﾎﾟﾝﾌﾟ盤	屋外自立型、電灯動力、制御回路あり	1994年2月	ｻﾝﾃｯｸ	1 面					1		34-4					別図-10 No. 16B
ﾊﾞｽ駐車場休憩所	分電盤 LM-A	屋内壁掛け、電灯	1996年10月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 17
第1駐車場公衆便所	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1994年10月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 18
ﾄﾗﾌｨｯｸｾﾝﾀｰ	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 19
料金所	分電盤	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 20
ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ	分電盤 LM-3B	屋内壁掛け、電灯動力	1995年5月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21A
	分電盤 LM-3C	屋内壁掛け、動力	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21B
	分電盤 LM-1A	屋内壁掛け、電灯動力	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21C
	分電盤 LM-1B	屋内自立、電灯動力	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21D
	分電盤 LM-1C	屋内壁掛け、電灯動力	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21E
	分電盤 L-2A	屋内壁掛け、電灯	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21F
	分電盤 L-2B	屋内壁掛け、電灯	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21G
	分電盤 LM-2C	屋内壁掛け、電灯動力	1994年11月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 21H
飲食棟	分電盤 LM-1A	屋内壁掛け、電灯動力	1995年1月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 22A
	分電盤 LM-2	屋内壁掛け、電灯	1995年1月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 22B
さとやま屋敷	分電盤 1L-1	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 23
里山長屋門	分電盤 1LM-1	屋内自立、電灯動力	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 24A
	分電盤 1L-2	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 24B
農家1	分電盤 L-A	屋内自立、電灯動力	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 25
農家2	分電盤 LM-A	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 26
展示館	分電盤	屋内自立、電灯	1996年9月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 27
お堂	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 28
神楽殿	分電盤 LM-A	屋内壁掛け、電灯動力	1995年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 29A
	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1995年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 29B
竹工房	分電盤 LM-A	屋内壁掛け、電灯動力	1995年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 30A
	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1995年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 30B

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
土工房	分電盤 LM-A	屋内壁掛け、電灯動力	1994年12月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 31
鉄工房	分電盤 LM-A	屋内自立、電灯動力	1994年12月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 32
ｲﾍﾞﾝﾄ倉庫	分電盤	屋内壁掛け、電灯	1994年12月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 33A
	開閉器盤	屋内壁掛け	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 33B
	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2000年11月	河村電気産業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 33C
ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ	分電盤 L-0	屋内壁掛け、電灯	1995年2月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 34
第2駐車場公衆便所	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1995年1月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 35
花の広場公衆便所	分電盤 L-A	屋内壁掛け、電灯	1996年2月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 36
	ｲﾍﾞﾝﾄ分電盤	屋外自立型、電灯	2001年9月	ﾃﾝﾊﾟｰﾙ工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 37B
管理センター	LM-1	屋内壁掛け、電灯、動力	1997年12月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 38A
	LM-2	屋内自立、電灯、動力	1997年12月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 38B
	MP-1	屋内壁掛け、動力	1997年12月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 38C
ジャブジャブ池	池水浄化設備制御盤	屋内自立、動力、制御回路あり	1999年2月	名古屋講化工業	1 面					1		34-4					別図-10 No. 39
共同利用施設1	分電盤 LP-1	屋内自立、電灯	1998年5月	富士電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 40A
	分電盤 L-1	屋内壁掛け、電灯	1997年5月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 40B
共同利用施設2	分電盤 LP-2	屋内自立、電灯	1998年5月	富士電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 41A
	分電盤 L-1	屋内壁掛け、電灯	1997年5月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 41B
共同利用施設3	分電盤 LP-3	屋内自立、電灯	1998年5月	富士電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 42A
	分電盤 L-1	屋内壁掛け、電灯	1997年5月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 42B
共同利用施設4	分電盤 LP-4	屋内自立、電灯	1998年5月	富士電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 43A
	分電盤 L-1	屋内壁掛け、電灯	1997年5月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 43B
Aサイト	ｻｲﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤 L-A1	屋外自立, 電灯	1999年4月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 44A
	ｻｲﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤 L-A2	屋外自立, 電灯	1999年4月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 44B
Bサイト	ｻｲﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤 L-B	屋外自立, 電灯	1999年4月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 45
Cサイト	ｻｲﾄ用ｺﾝｾﾝﾄ盤 L-C	屋外自立, 電灯	1999年4月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 46
Dサイト	汚水ポンプ盤	屋外自立, 動力, 制御回路あり	1998年11月	鶴見製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 47A
	LMC-18 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1998年5月	富士電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 47B
	LMC-19 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1998年10月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 47C
	LMC-20 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	2000年4月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 47D
Eサイト	LMC-2 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48A
	LMC-3 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48B
	LMC-14 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48C
	LMC-15 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48D
	LMC-16 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48E
	LMC-17 幹線分岐盤	屋外自立, 電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48F
	ｼｬﾜｰ棟分電盤	屋外壁掛け、電灯	1999年4月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 48G
Fサイト	汚水ポンプ盤	屋外自立, 動力, 制御回路あり	1999年5月	幸栄電機	1 面					1		34-4					別図-10 No. 49
自動車道	L-1-1 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 50A

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
自動車道	L-1-2 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 50B
	L-2-1 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 50C
	L-3-3 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 50D
	L-G1 ゲート制御盤	屋外自立, 動力, 制御回路あり	1999年3月	大和ｴﾝｼﾞﾆﾔﾘﾝｸﾞ	1 面					1		34-4					別図-10 No. 50E
	L-G2 ゲート制御盤	屋外自立, 動力, 制御回路あり	1999年3月	大和ｴﾝｼﾞﾆﾔﾘﾝｸﾞ	1 面					1		34-4					別図-10 No. 50F
	L-2 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 50G
細園路	L-3-1 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 51A
	L-3-2 照明制御盤	屋外自立, 電灯	1999年4月	香東電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 51B
こもれびの里	トイレ棟分電盤	屋内壁掛け、電灯	1999年6月	ﾃﾝﾊﾟｰﾙ工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 52
キャビン棟	分電盤 B-1	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53A
	分電盤 B-2	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53B
	分電盤 B-3	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53C
	分電盤 B-4	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53D
	分電盤 B-6	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53E
	分電盤 B-7	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53F
	分電盤 B-8	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53G
	分電盤 B-9	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53H
キャビン棟	分電盤 B-10	屋内壁掛け、電灯	1998年7月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53I
	分電盤 B-11	屋内壁掛け、電灯	1998年9月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53J
	分電盤 B-12	屋内壁掛け、電灯	1998年7月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53K
	分電盤 B-13	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53L
	分電盤 B-14	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53M
	分電盤 B-15	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53N
	分電盤 B-16	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53O
	分電盤 B-17	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53P
	分電盤 B-18	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53Q
	分電盤 B-19	屋内壁掛け、電灯	2000年4月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53R
	分電盤 B-20	屋内壁掛け、電灯	2000年4月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 53S
つどいの里	分電盤 L10-1	屋外自立、電灯	2002年2月	東芝	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54A
	分電盤 L10-2	屋外自立、電灯	2002年2月	東芝	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54B
	利用拠点A棟分電盤 LM-1	屋内壁掛け、電灯	2001年9月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54C
	利用拠点B棟分電盤 LM-2	屋内壁掛け、電灯動力	2001年9月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54D
	休憩所分電盤 L-K	屋内壁掛け、電灯	2001年9月	光和電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54E
	イベント分電盤1	屋外自立、電灯	2002年8月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54F
	イベント分電盤2	屋外自立、電灯	2002年8月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54G
	便所1分電盤 L-B1	屋内壁掛け、電灯動力	2002年9月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54H
	便所2分電盤 L-B2	屋内壁掛け、電灯動力	2002年9月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54I
	便所3分電盤 L-B3	屋内壁掛け、電灯動力	2002年9月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54J

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
つどいの里	やぐら分電盤	屋外壁掛け、電灯動力	2003年3月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 54K
	汚水ポンプ制御盤	屋外自立、動力、制御回路あり	2002年8月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 54L
キャンプ場天文台	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2000年4月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 55
管理センター	イベント盤	屋外自立、電灯	1999年6月	太陽電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 56A
	ろ過装置制御盤 MP-2	屋内壁掛け、動力、制御回路あり	2001年7月	日成電機製作所	1 面					1		34-4					別図-10 No. 56B
出島ログハウス	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2005年3月	興電社	1 面					1		33-4					別図-10 No. 57
第2駐車場	分電盤 L7-1	屋外自立、電灯	2002年2月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 58
林間アスレチック便所	分電盤	屋外壁掛け、電灯	2000年8月	テンパール工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 59
バーベキューコーナートイレ	分電盤	屋外壁掛け、電灯	1998年3月	太陽電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 60
大芝生広場トイレ	分電盤	屋外壁掛け、電灯	2003年9月	日新電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 61
地下道	照明盤	屋外自立、電灯	2001年3月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 62
竹工房トイレシャワー棟	分電盤	屋内壁掛け、電灯	1999年2月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 63
新イベント倉庫	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2000年11月	河村電気産業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 64
リサイクル施設	分電盤 LM-1	屋外壁掛け、電灯	2002年12月	テンパール工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 65
電動カート棟	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2006年3月	河村電気産業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 66
浄化設備棟	照明盤	屋内壁掛け、電灯	1999年9月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 67
	制御盤	屋内壁掛け、動力、制御回路あり	1999年8月	光和電気	1 面					1		34-4					別図-10 No. 67
第6変電所	排水ポンプ制御盤	屋内壁掛け、動力、制御回路あり	1996年1月	デラル極東	1 面					1		34-4					別図-10 No. 68
ビオトープ	分電盤	屋外自立、動力	2004年2月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 69
第3変電所前イベント盤	分電盤	屋外自立、電灯動力	2004年3月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 70
うきぐも	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2004年3月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 71
たたら小屋	分電盤	屋内壁掛け、電灯	1999年3月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 72
炭焼小屋	分電盤	屋内壁掛け、電灯	1999年3月	日東工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 73
竹工房	分電盤	屋内壁掛け、動力	2000年8月	内外電気	1 面					1		33-4					別図-10 No. 74
共同利用施設5	分電盤	屋内壁掛け、電灯	2000年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 75
Dサイト	トイレ分電盤	屋外壁掛け、電灯	2000年11月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 76
管理センター	サウナ操作盤	屋内壁掛け、動力、制御回路あり	1998年11月	中山産業	1 面					1		34-4					別図-10 No. 77
第3変電所	分電盤 L-A	屋外壁掛け、電灯	1995年2月	松下電工	1 面					1		33-4					別図-10 No. 78
飲食棟裏	分電盤 M-3	屋外自立、動力	1995年2月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 79
事務所	分電盤 1L-1	屋内自立、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80A
	分電盤 1M-1	屋内壁掛け、動力	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80B
	分電盤 1M-2	屋内壁掛け、動力	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80C
	分電盤 1M-3	屋内壁掛け、動力	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80D
	分電盤 2L-1	屋内自立、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80E
	分電盤 2L-2	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80F
	分電盤 2L-3	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80G
	分電盤 2L-4	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80H
	分電盤 OA-2A	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80I

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
事務所	分電盤 OA-2B	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80J
	分電盤 3L-1	屋内自立、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80K
	分電盤 3L-2	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80L
	分電盤 OA-3A	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80M
	分電盤 OA-3B	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80N
	分電盤 OA-3C	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80O
	分電盤 RM-1	屋外壁掛け、動力	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 80P
第11変電所内	照明変圧器盤(1)	屋内自立、電灯	2008年3月	タツミ電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 81
第7変電所横	照明変圧器盤(2)	屋外自立、電灯	2008年3月	タツミ電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 82
範囲1用	分電盤(照明分電盤1)	屋外自立、電灯	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 83
エントランスセンター	西照明分電盤2	屋外自立、電灯	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 84
第6駐車場北東	照明分電盤3	屋外自立、電灯	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 85
梨園南東国兼池横	照明分電盤4	屋外自立、電灯	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 86
第6駐車場入口北 照明分電盤5		屋外自立、電灯	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 87
第5駐車場休憩所分電盤(GBL-1)		屋内自立、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 88
給水ポンプ室	ポンプ室分電盤	屋内壁掛け、電灯	2007年2月	大栄電業(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 89A
	給水ポンプ盤	屋内自立、動力	2007年1月	デラル極東	1 面					1		33-4					別図-10 No. 89B
北入口ゲート	ゲート分電盤(GCL-1)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 90
エントランスセンター	SKL-B1-1(B1F 電気室)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91A
	SKL-B1-2 (B1F 食材倉庫)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91B
	SKL-1-1 (1F西側EPS)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91C
	SKLP-1-1 (1F西側厨房)	屋内壁掛け、電灯・動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91D
	SKL-1-2 (1F東側EPS)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91E
	SKL-2-1 (2F西側EPS)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91F
	SKL-2-2 (2F東側EPS)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91G
	SKLP-2-1 (2F西側業務用EVホール)	屋内壁掛け、電灯・動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91H
	SKP-B1-1 (B1F電気室)	屋内壁掛け、電灯	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91I
	SKP-B1-2 (B1F屋外機械置場)	屋外自立、動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91J
	SKP-B1-3 (B1F屋外機置場)	屋内壁掛け、動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91K
	SKP-1-1 (1F西側EPS)	屋内壁掛け、動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91L
エントランスセンター	SKP-2-2 (2F東側EPS)	屋内壁掛け、動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91M
	SKP-3-1 (3F西側空調機械置場)	屋内壁掛け、動力	2007年3月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 91N
総合事務所1階	バス車庫 L-1S	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 92A
	バス車庫 S-3	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 92B
	運転手控室屋外 S-2	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 92C
	車庫機材庫 S-1	屋内壁掛け、動力	2007年1月	大興電設(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 92D
北入口サイクルセンタ屋外	中継ポンプ制御盤	屋外自立、動力	2007年1月	幸栄電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 93A
	開閉器箱S-1	屋外壁掛け、動力	2007年2月	大栄電業(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 93B

電気通信設備保守点検計画

履行場所	機器名	規格・形式名	製造年月	製造社名	数量	技術的所見のとりまとめ	点検回数				準拠する基準						備考
							総合		個別		電気通信施設点検基準(案)		個別点検における複数年周期点検			点検基準に対する条件明示	
							6	12	6	12	総合点検	個別点検	2年	3年	5年		
北入口サイクルセンタ動力分電盤	T1LM-1	屋内壁掛け、電灯・動力	2007年2月	大栄電業(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 94
上下水道施設	電灯盤	屋内壁掛け、電灯	1994年9月	日成電機製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95A
さとやまポンプ室	制御盤	屋内壁掛け、電灯	1995年1月	川本製作所	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95B
展示館倉庫	排水ポンプ制御盤	屋内壁掛け、電灯	-	ﾃﾗﾙ極東	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95C
芝生広場休憩施設	噴水制御盤	屋外自立	1998年3月	東洋水芸	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95D
エントランスセンター	S-M3-1	屋内壁掛け、電灯	2008年2月	エビス電工(香東電機)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95E
中水設備機械室	中水設備制御盤	屋内壁掛け、電灯	2007年1月	幸栄電機	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95F
エントランスセンター西	拠点分岐1	屋外自立	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95G
第6駐車場	トイレ分電盤	屋内壁掛け、電灯	2009年1月	河村電気産業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95H
第6駐車場北東	拠点分岐盤2	屋外自立	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95I
第6駐車場南東	拠点分岐盤3	屋外自立	2007年3月	エビス電工(光和電気)	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95J
鉄工房	制御盤	屋内壁掛け			1 面					1		34-4					別図-10 No. 32
北入口交差点付近	照明分電盤	屋外自立	2009年11月	ﾃﾝﾊﾟｰﾙ工業	1 面					1		33-4					別図-10 No. 95K
CCTV設備																	
ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ	CCTV制御装置	ｷﾞｶﾞﾋﾞｯﾄｲｰｻｰ	2012年10月	(株)芝通	1 台	○		1		1	10-1	24-3				個別点検 No2除く	放送室(新庁舎)
	操作端末装置	ノートPC	2012年10月	(株)芝通(Acer)	2 台					1		24-3				No2除く	公園分室／管理センター(新庁舎)
	ルータ	L2-SW	2012年10月	(株)芝通(Cisco)	2 台					1		24-4				No1除く	ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀｰ／放送室(新庁舎)
	ﾌﾟﾗｽﾞﾏﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	50ｲﾝﾁ(松下)	2001年9月	ﾊﾟｲｵﾆｱ	1 台					1		24-2					管理センター
	コーデック	OFDM変調器	2012年11月	芝通(ﾐﾊﾙ通信)	1 台					1		11-1					管理センター
ひばの里	カメラ装置		2012年10月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV1
中の広場	カメラ装置		2012年10月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV2
花の広場	カメラ装置		2012年10月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV3
大芝広場	カメラ装置		2012年10月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV4
第2駐車場	カメラ装置			パナソニック	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV8
第3駐車場	カメラ装置		2017年11月	パナソニック	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV9
グランド・ゴルフ	カメラ装置		2012年10月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No3(ﾜｲﾊﾟ,旋回装置の確認),No4除く	CCTV6
第5駐車場	カメラ装置		2014年3月	芝通(パナソニック)	1 台					1		14-1				No4除く	CCTV7 料金所監視用
光ファイバーネットワーク設備																	
ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀ	CCTV、第3変電所	SM60C(40C+20C)	2001年9月	三菱電機	1 箇所	○				1		4-4-3					
第3変電所	ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀ	SM12C	2007年3月	日本無線	1 箇所	○				1		4-4-3					
ﾋﾞｼﾞﾀｰｾﾝﾀ	利用拠点施設	SM20C	2007年3月	日本無線	1 箇所	○				1		4-4-3					

※3年点検の実施は契約後指示により追加実施する

防火対象物 及び 消防用設備等
さとやま展示館
神楽殿
鉄工房
土工房
農家（１）
農家（２）
林間広場・休憩所
備北オートビレッジ管理棟
きゅうの森休憩所
さとやま屋敷
クラブハウス
お堂
イベント倉庫
ログハウス
ビジターセンター
屋外変電所
屋外消火栓設備
木工房
湖畔レストハウス
ひばの里中の茶屋
コテージ
エントランスセンター国兼
北入口ゲート
北入口サイクリングセンター
総合管理事務所
合　　計

消防設備保守点検計画

防火対象物	消火器	屋内消火栓設備							屋外消火栓設備			自動火災報知設備												誘導灯			配線	防火対象物定期点検
	粉末	加圧送水装置	制御盤	消火栓	表示灯	水源（貯水槽、給水装置、バルブ類等）	呼水装置	放水試験	消火栓	水源（貯水槽、給水装置、バルブ類等）	放水試験	受信機		副受信機	差動式		定温式	煙感知器	中継器	発信器		表示灯	音響装置	常用電源	非常電源		B級	C級	階段灯	絶縁抵抗測定及び配線点検	
	ガス加圧											P型1級	P型2級		分布型	スポット型	スポット型			P型1級	P型2級				蓄電池設備					
	本	組	面	組	灯	組	組	式	組	組	式	面	面	面	個	個	個	個	個	個	個	灯	個	組	組	灯	灯	灯	式	式
さとやま展示館	2												1			4		9			1	1	1	1	1	5	2		1	
神楽殿	4												1			15	7	3			1	1	1	1	1				1	
鉄工房	5												1			14	4				3	3	3	1	1				1	
土工房	4												1			14	1	1			1	1	1	1	1				1	
農家（1）	2												1			13	6				2	2	2	1	1				1	
農家（2）	2												1			15	7				2	2	2	1	1				1	
林間広場・休憩所	1																													
備北オートビレッジ管理棟	14											1		1		13	11	25		3		3	3	1	1	9	1		1	
きゅうの森休憩所	1																													
さとやま屋敷	16											1			13	29	11			5		5	6	1	1				1	
クラブハウス	3												1			8		1			2	2	2	1	1				1	
お堂	1												1			3					1	1	1	1	1				1	
イベント倉庫	3																													
ログハウス	2												1			3	3	1			2	2	2	1	1				1	
ビジターセンター	26											1				42	7	5		6		6	6	1	1		4		1	
屋外変電所	11																													
屋外消火栓設備									18	18	1																			
木工房	2																													
湖畔レストハウス	7											1				48	4	9		2		2	2	1	1	11	5		1	
ひばの里中の茶屋	6												1			11	4	1			2	2	2	1	1	1	2		1	
コテージ	29								6	6	1		1			46	33	2			19	19	19	1	1				1	
エントランスセンター国兼	19	1	1	7	7	1	1					1				44	49	40	2	7		7	7	1	1	28			1	1
北入口ゲート	1												1			4					1	1	1	1	1				1	
北入口サイクリングセンター	3												1			29		1			2	2	2	1	1	8			1	
総合管理事務所	14											1		1		39	13	32		7		7	7	1	1	17	1	4	1	
花の展望台	2																													
合　　計	180	1	1	7	7	1	1	0	24	24	2	6	13	2	13	394	160	130	2	30	39	69	70	19	19	79	15	4	19	1

内　訳　書

費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
消防設備点検		式	1			
さとやま展示館		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	2			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	4			
感知器	煙	個	9			
発信機	P型2級	個	1			
表示灯		灯	1			
音響装置		個	1			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	7			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
神楽殿		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	4			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	15			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	7			
感知器	煙	個	3			
発信機	P型2級	個	1			
表示灯		灯	1			
音響装置		個	1			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
鉄工房		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	5			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	14			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	4			
発信機	P型2級	個	3			
表示灯		灯	3			
音響装置		個	3			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
土工房		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	4			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	14			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	1			
感知器	煙	個	1			
発信機	P型2級	個	1			
表示灯		灯	1			
音響装置		個	1			
常用電源		個	1			

費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
農家（1）		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	2			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	13			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	6			
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
農家（2）		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	2			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	15			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	7			
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
林間広場・休憩所		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	1			
備北オートビレッジ管理棟		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	14			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
副受信機		面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	13			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	11			
感知器	煙	個	25			
発信機	P型1級	個	3			
表示灯		灯	3			
音響装置		個	3			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	10			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
きゅうの森休憩所		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	1			
さとやま屋敷		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	16			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
感知器	差動式分布型	個	13			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	29			

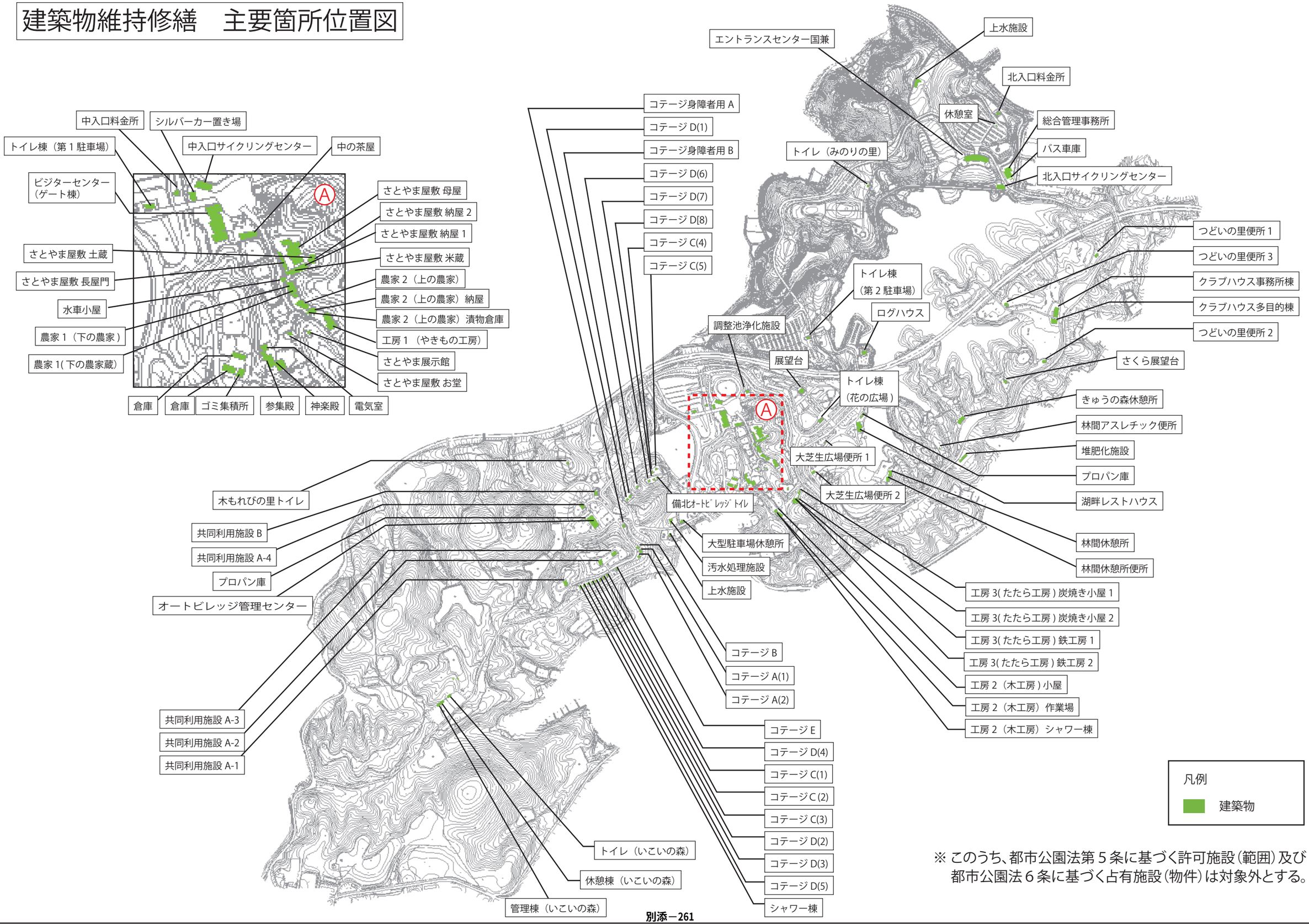
費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	11			
発信機	P型1級	個	5			
表示灯		灯	5			
音響装置		個	6			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
クラブハウス		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	3			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	8			
感知器	煙	個	1			
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
お堂		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	1			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	3			
発信機	P型2級	個	1			
表示灯		灯	1			
音響装置		個	1			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
イベント倉庫		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	3			
ログハウス		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	2			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	3			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	3			
感知器	煙	個	1			
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
ビジターセンター		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	26			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	42			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	7			

費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
感知器	煙	個	5			
発信機	P型1級	個	6			
表示灯		灯	6			
音響装置		個	6			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	4			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
屋外変電所		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	11			
屋外消火栓設備		式	1			
屋外消火栓設備		式	1			
消火栓		組	18			
水源	ﾊﾞﾙﾌﾞ類等	組	18			
放水試験		式	1			
木工房		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	2			
湖畔レストハウス		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	7			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	48			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	4			
感知器	煙	個	9			
発信機	P型1級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	16			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
ひばの里中の茶屋		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	6			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	11			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	4			
感知器	煙	個	1			
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	3			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
コテージ		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	29			
屋外消火栓設備		式	1			
消火栓		組	6			
水源	ﾊﾞﾙﾌﾞ類等	組	6			
放水試験		式	1			

費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	46			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	33			
感知器	煙	個	2			
発信機	P型2級	個	19			
表示灯		灯	19			
音響装置		個	19			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
エントランスセンター国兼		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	19			
屋内消火栓設備		式	1			
加圧送水装置		組	1			
制御盤		面	1			
消火栓		組	7			
表示灯		灯	7			
水源	ﾊﾞﾙﾌﾞ類等	組	1			
呼水装置		組	1			
放水試験		式	1			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	44			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	49			
感知器	煙	個	40			
中継器		個	2			
発信機	P型1級	個	7			
表示灯		灯	7			
音響装置		個	7			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	28			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
北入口ゲート		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	1			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	4			
発信機	P型2級	個	1			
表示灯		灯	1			
音響装置		個	1			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
北入口サイクリングセンター		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	3			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型2級	面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	29			
感知器	煙	個	1			

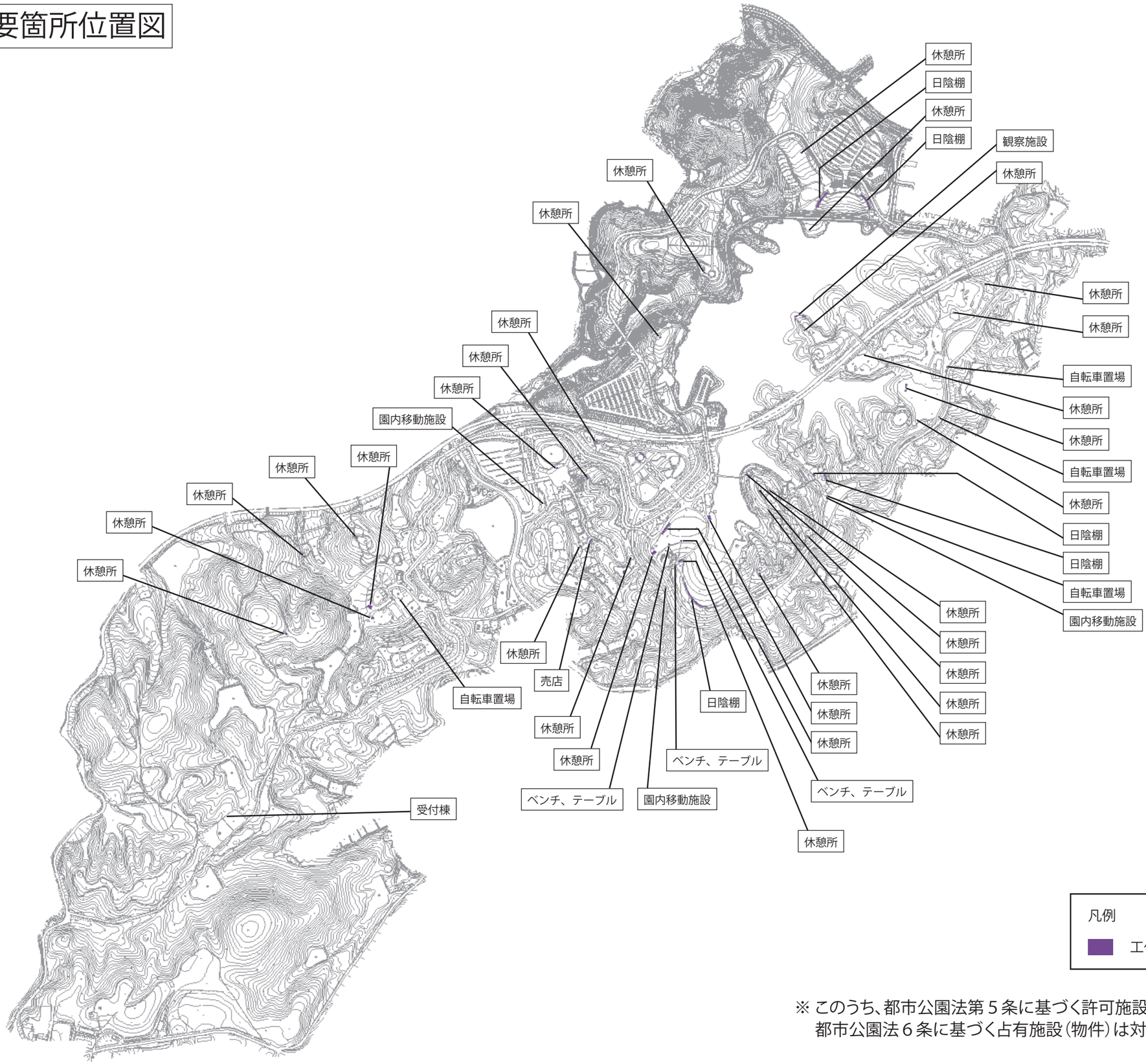
費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単　価	金額	適　用
発信機	P型2級	個	2			
表示灯		灯	2			
音響装置		個	2			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	8			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
総合管理事務所		式	1			
消火器	粉末　ｶﾞｽ加圧	本	14			
自動火災報知設備		式	1			
受信機	P型1級	面	1			
副受信機		面	1			
感知器	差動式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	39			
感知器	定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	個	13			
感知器	煙	個	32			
発信機	P型1級	個	7			
表示灯		灯	7			
音響装置		個	7			
常用電源		個	1			
非常電源	蓄電池設備	組	1			
誘導灯		灯	22			
配線	絶縁抵抗測定及び配線点検	式	1			
防火対象物定期点検		式	1			
エントランスセンター国兼		式	1			
小計		式	1			
消費税相当額		式	1			
合計		式	1			

建築物維持修繕　主要箇所位置図



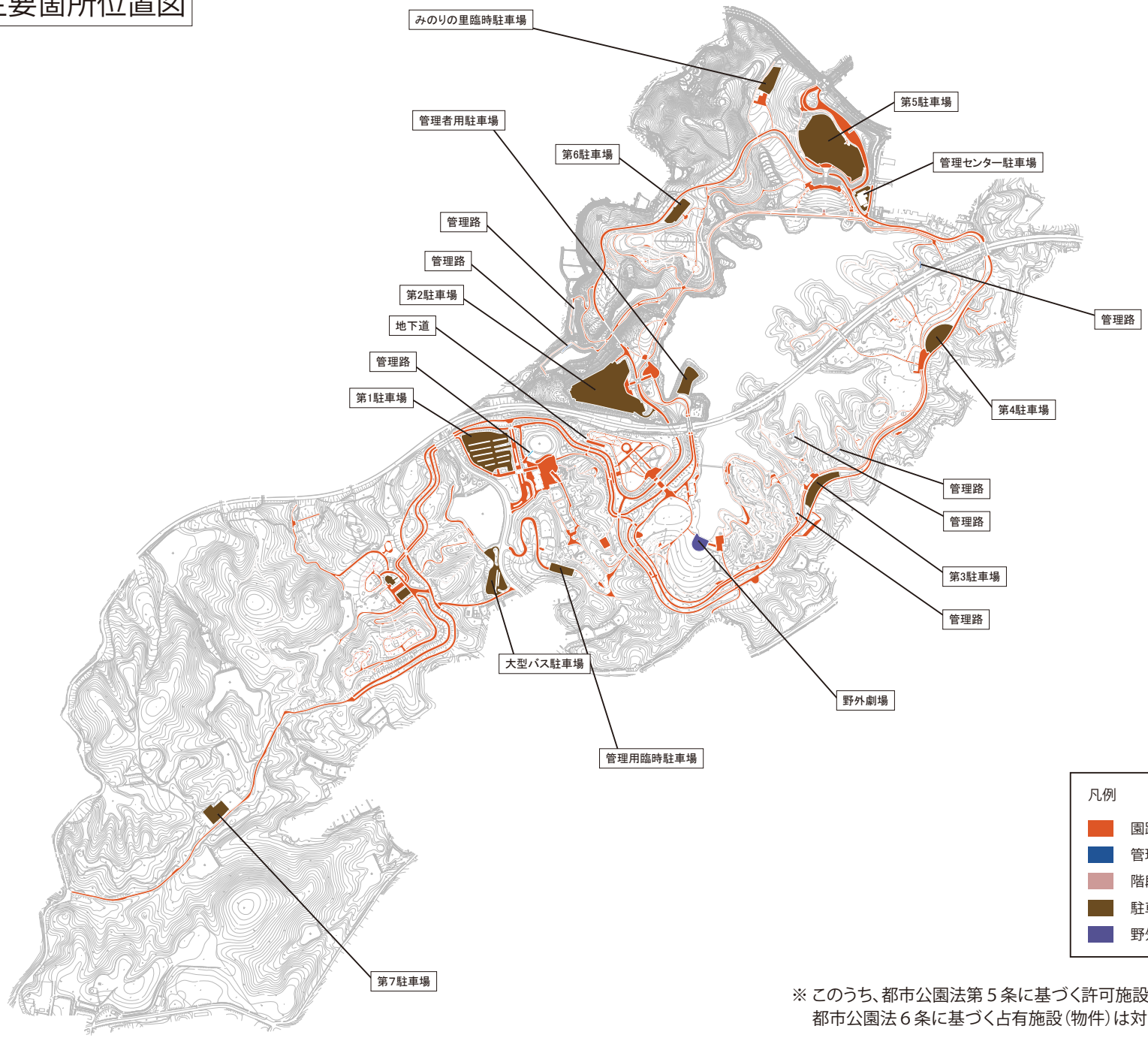
※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

工作物維持修繕　主要箇所位置図



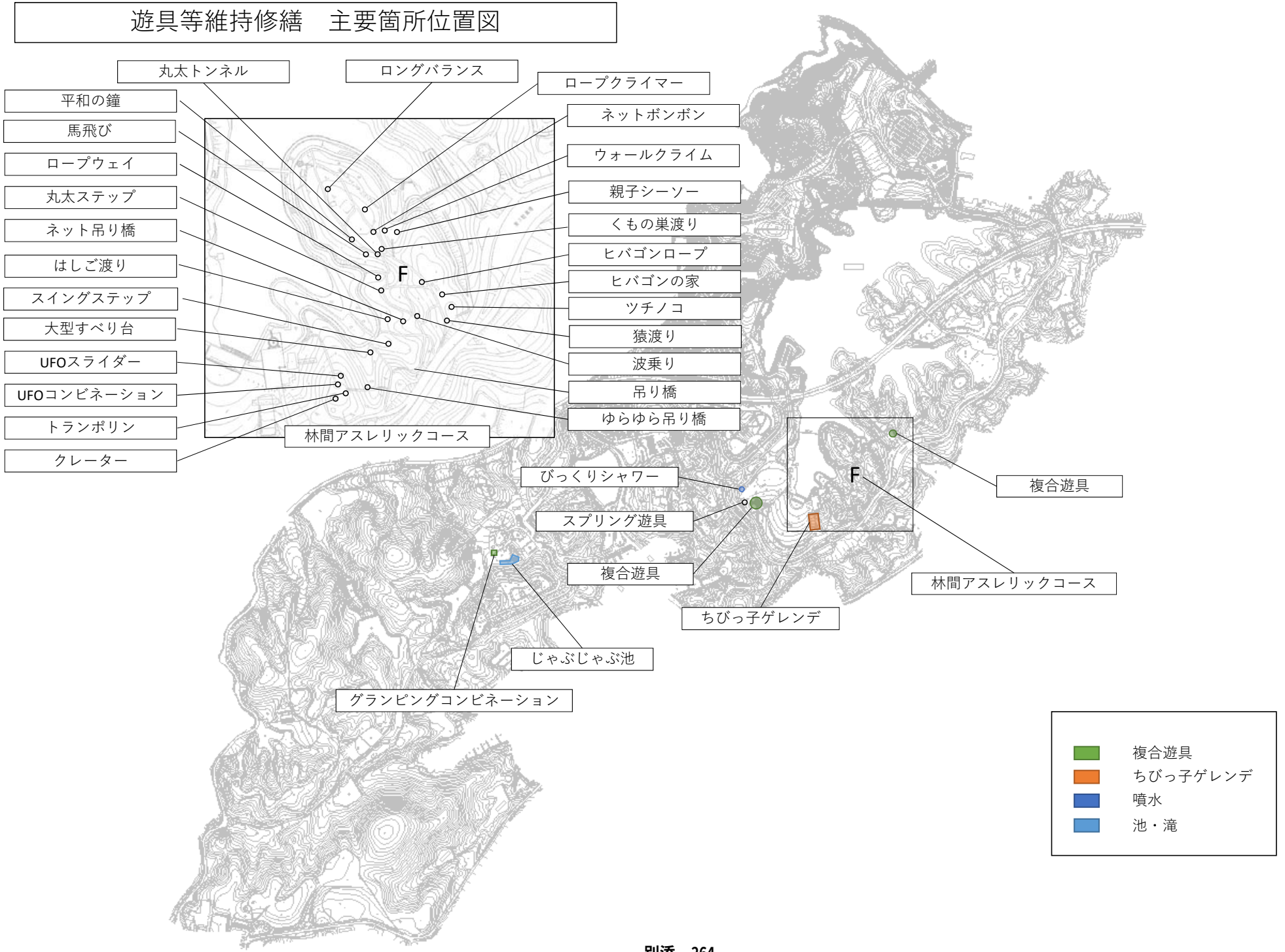
※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

園路広場維持修繕　主要箇所位置図

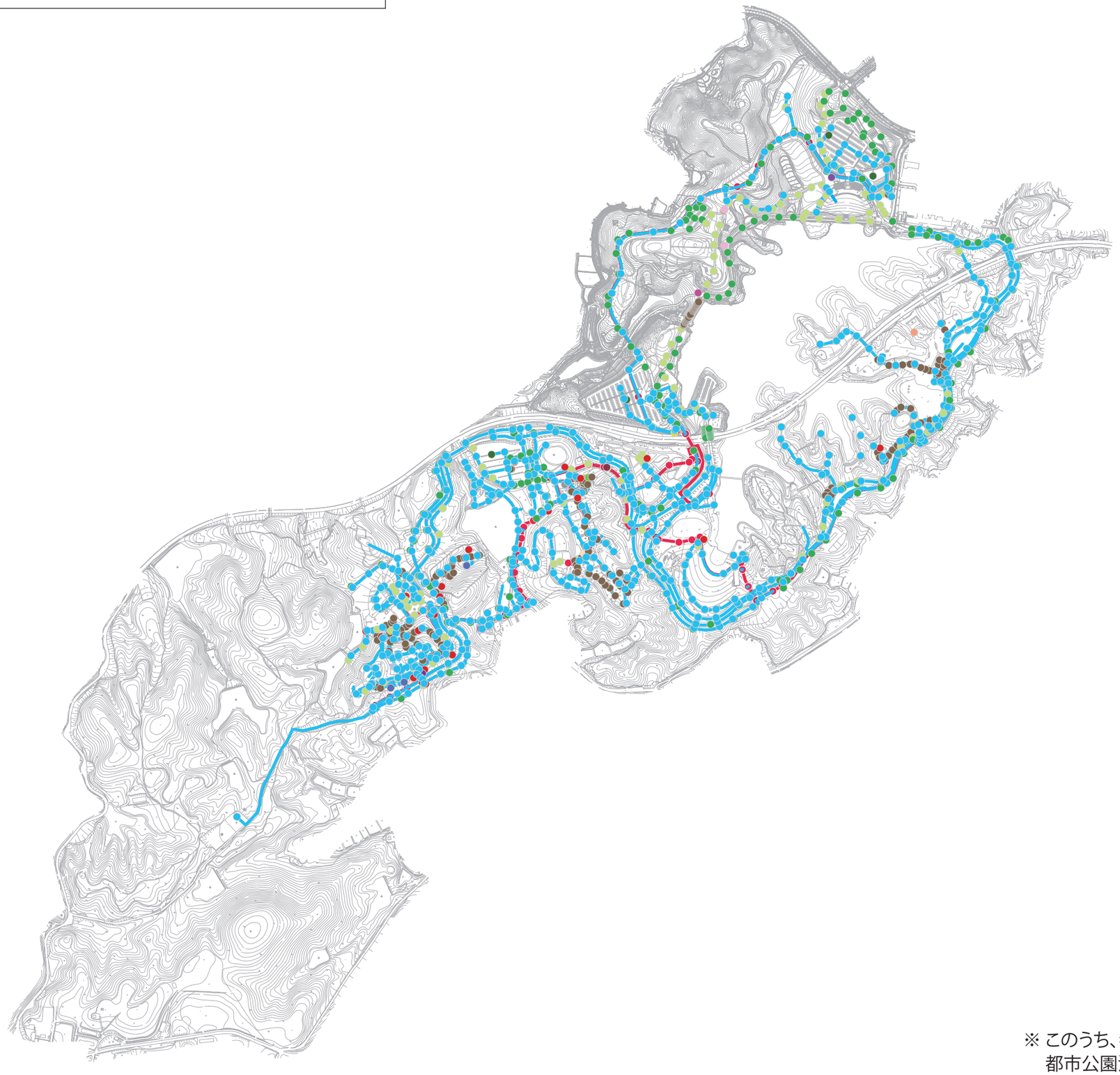


※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

遊具等維持修繕　主要箇所位置図



電気設備維持修繕　主要箇所位置図

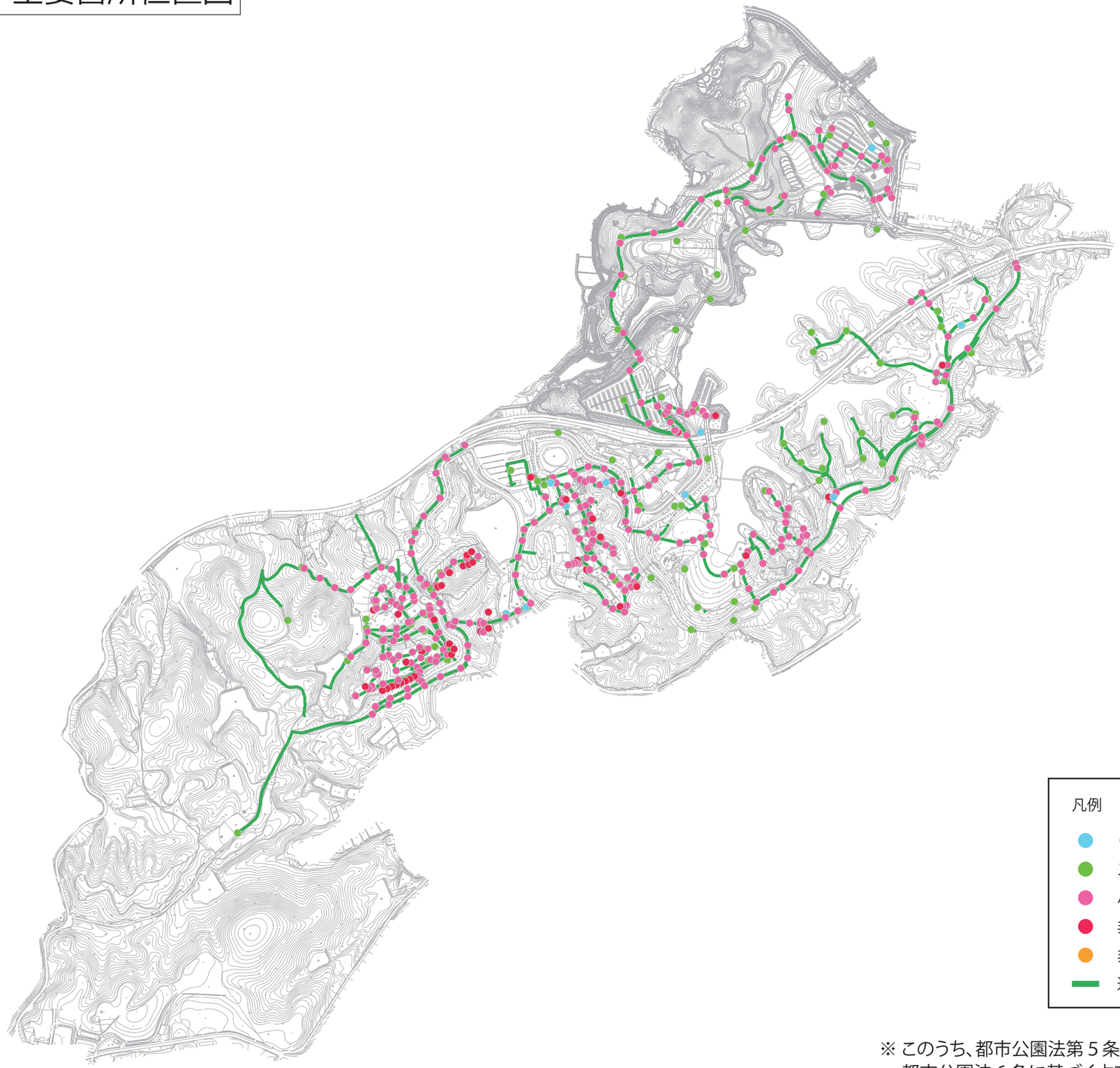


凡例

- イベント分電盤
- ビオトープ分電盤
- 分電盤
- 拠点分電盤
- 照明分電盤
- 屋外端子盤 LMC
- キャラバンサイトコンセント盤
- テントサイトコンセント盤
- 照明用変圧器盤
- 自家発電設備
- 受電施設
- 地下道照明盤
- 園路照明
- ライトアップ照明
- 道路照明
- 駐車場照明
- フットライト
- 電光案内板
- 駐車場電光案内板
- ハンドホール（低圧用）
- 低圧管路
- ハンドホール（高圧用）
- 高圧管路

※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

通信設備維持修繕　主要箇所位置図

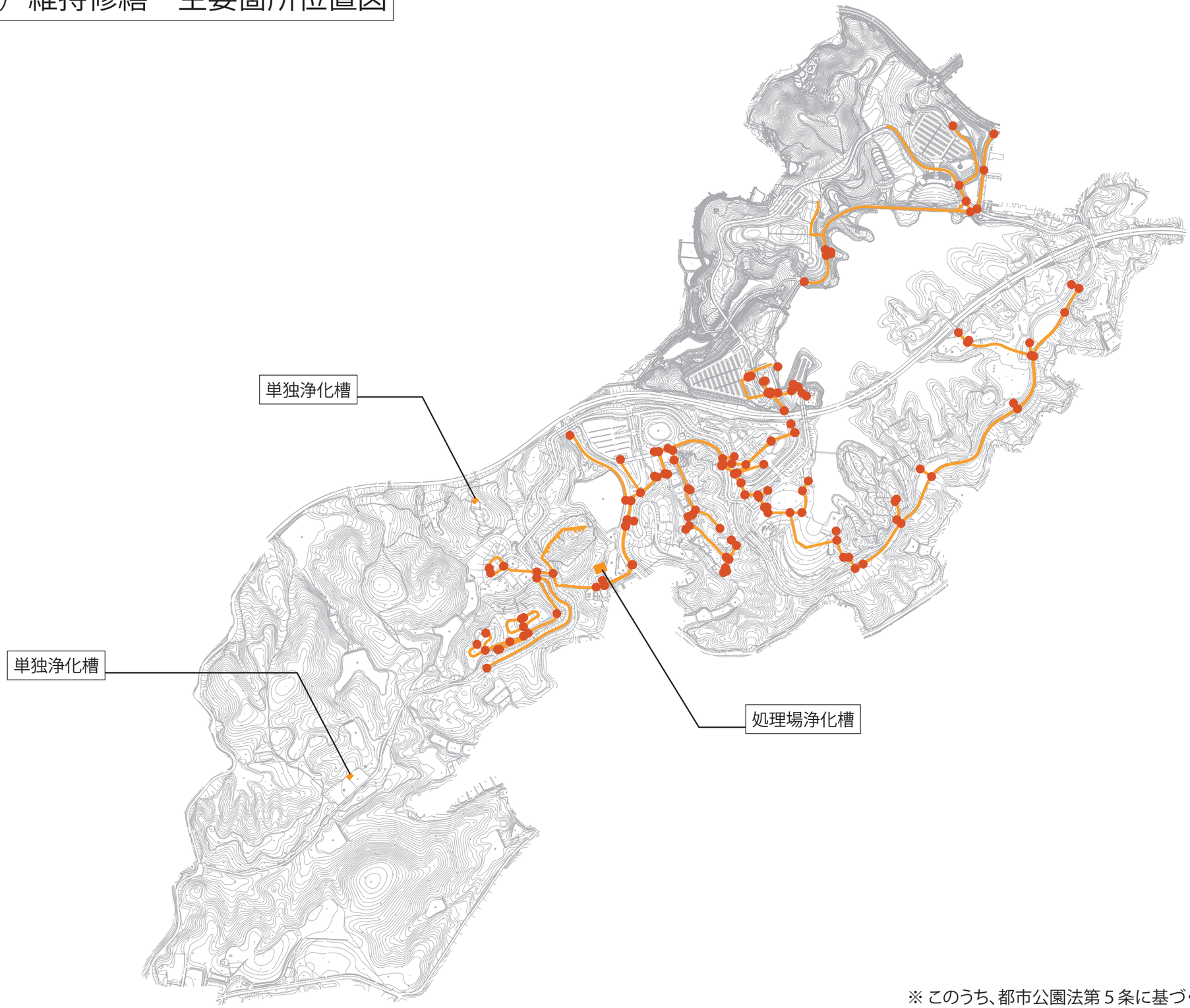


凡例

- ＣＣＴＶ機側装置
- スピーカー
- ハンドホール（通信用）
- 非常用押しボタン
- 非常電話
- 通信管路

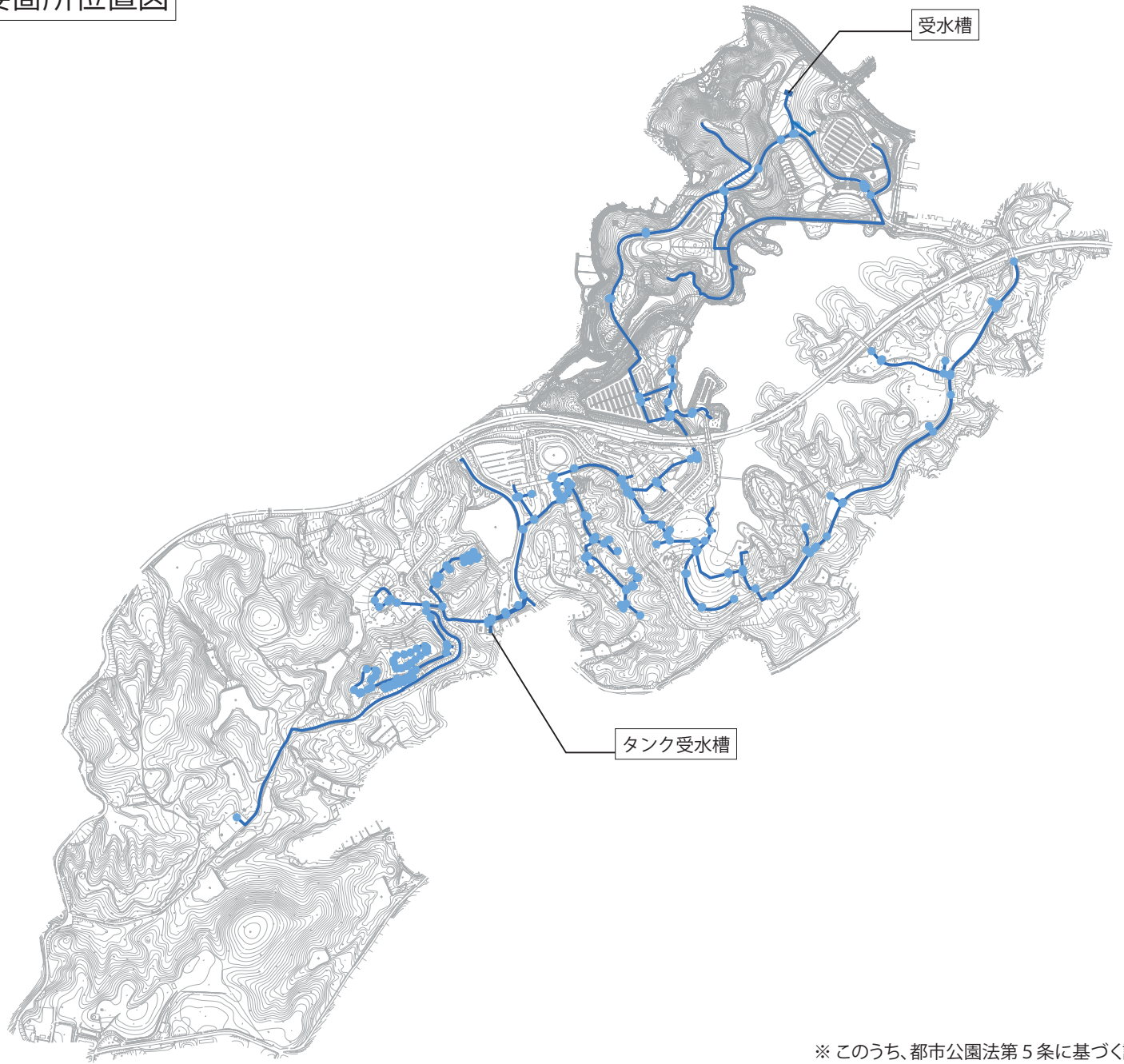
※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

浄化槽（汚水）維持修繕　主要箇所位置図



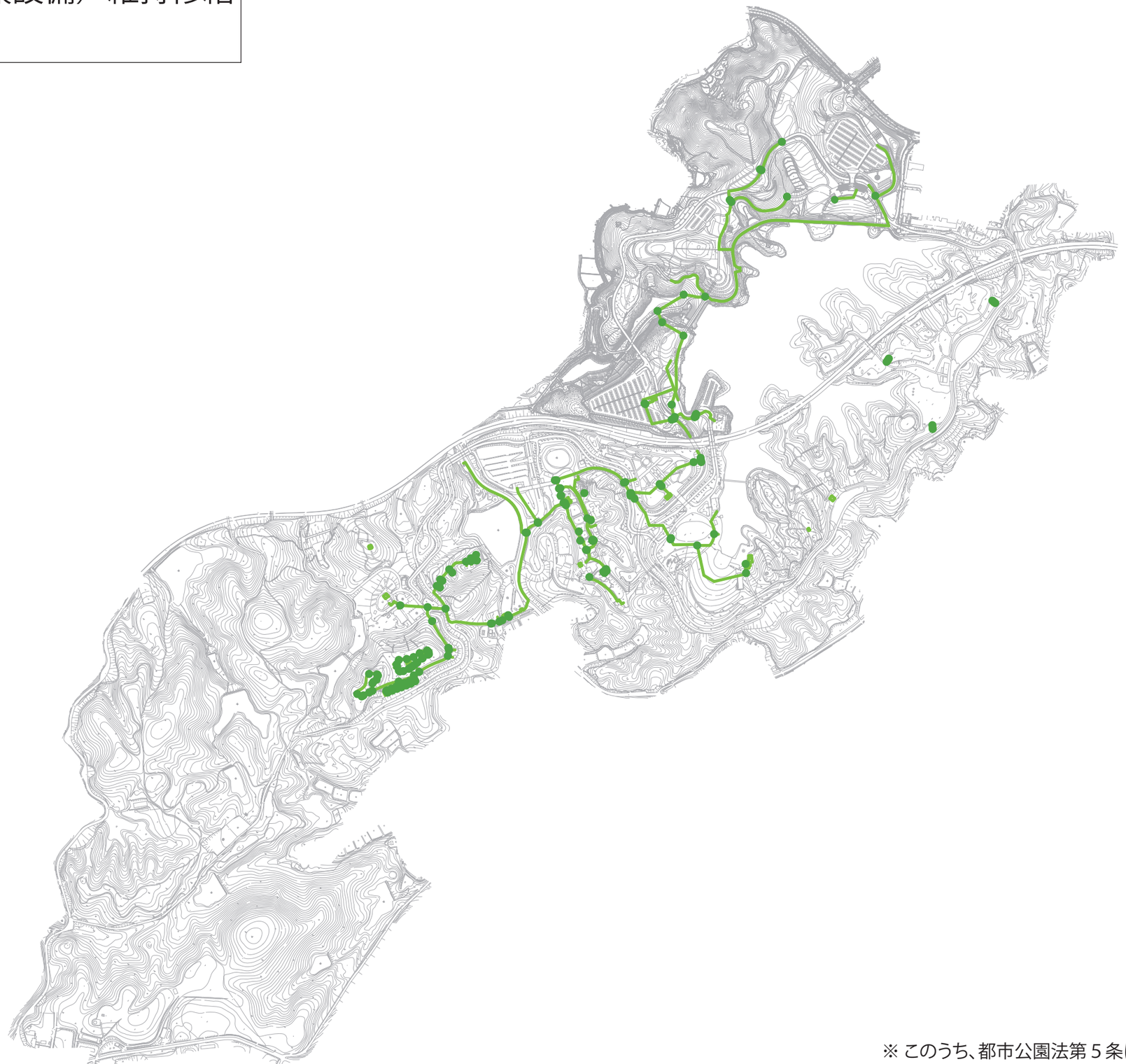
※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

給水設備維持修繕　主要箇所位置図



※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

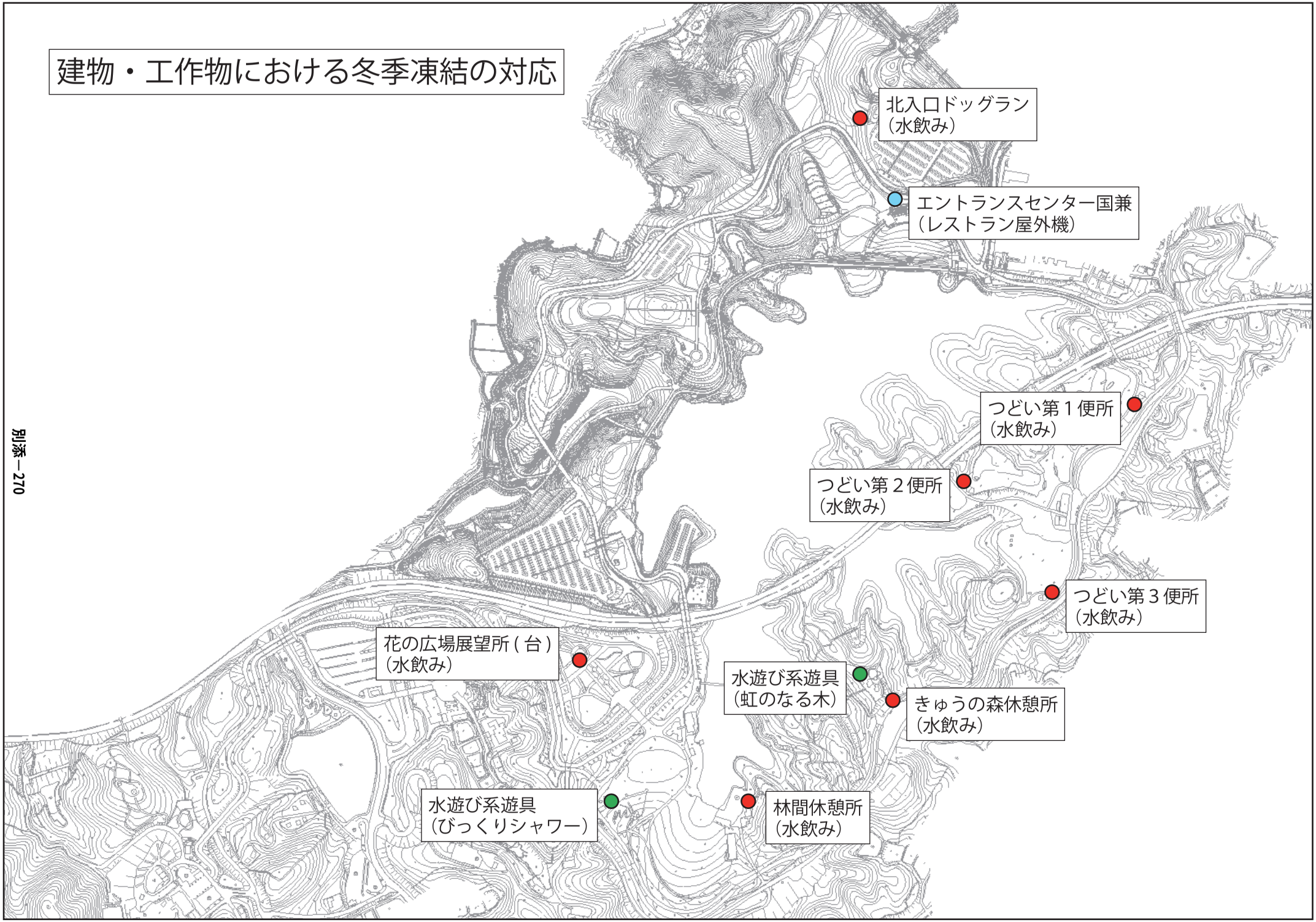
ポンプ設備（水循環設備）維持修繕
主要箇所位置図



凡例
- ポンプ・水栓等
- 配水管路

※ このうち、都市公園法第５条に基づく許可施設（範囲）及び
都市公園法６条に基づく占有施設（物件）は対象外とする。

建物・工作物における冬季凍結の対応



別添－270

建物・工作物にかかる冬季対応

冬季において最低気温が氷点下−5℃以下となると水道管及びその周辺設備が凍結により破損するため、その対策を行う。

〇エントランスセンター国兼

・2階レストラン用温水器の水抜き作業

冬季に同上設備を閉鎖する場合は、レストラン側の送水・給水バルブを閉鎖し、屋外機置き場の配管に設置されるドレンコックを開放し配管内の水抜きをする。

閉鎖期間：ウインターイルミネーション終了～春まつり開始

〇つどいの里周辺・きゅうの森・花の広場・林間休憩所・北入口ドックラン水飲み

・つどいの里及びきゅうの森、花の広場、林間休憩所の水飲みの閉鎖

天気予報等により最低気温が氷点下−5℃以下を予想された場合は、つどいの里 3 か所及び、きゅうの森、花の広場、林間休憩所１か所の水飲みの給水バルブを閉鎖し、蛇口の撤去・キャップ敷設・サインの設置を行う。

・北入口ドックランの水飲みの閉鎖

天気予報等により最低気温が氷点下−5℃以下を予想された場合は、地中内のバルブを閉鎖し水抜きにて凍結防止を行い使用中止のサインを設置する。

閉鎖期間：１２月中旬～４月初旬

〇水遊び系遊具

・びっくりシャワー及び虹のなる木の閉鎖

肌寒く感じるころより、きゅうの丘「びっくりシャワー」及びきゅうの森「虹のなる木」の給水バルブを閉鎖する。

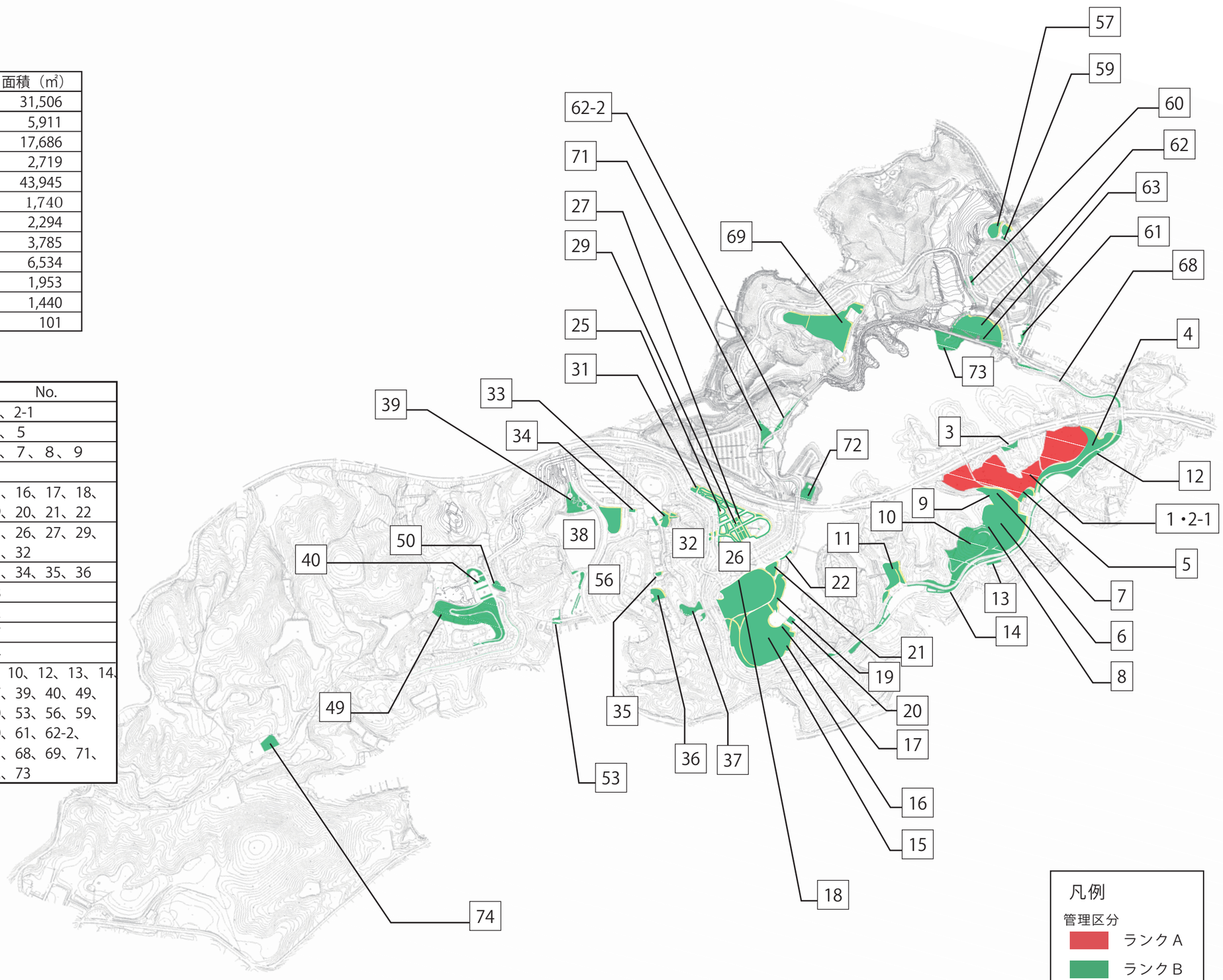
閉鎖期間：秋まつり終了～ゴールデウィーク開始

芝生管理区域図

芝生管理区域

ランク	エリア名	面積（㎡）
A	グラウンド・ゴルフコース	31,506
B	グラウンドゴルフクラブハウス周辺	5,911
	スポーツ広場	17,686
	きゅうの森遊具周辺	2,719
	大芝生広場及び周辺	43,945
	花の広場周辺	1,740
	ひばの里周辺	2,294
	中入口前	3,785
	北入口湖畔広場	6,534
	北入口前ロータリー	1,953
	いこいの森広場	1,440
	上記以外	101

ランク	エリア名	No.
A	グラウンド・ゴルフコース	1、2-1
B	グラウンドゴルフクラブハウス周辺	4、5
	スポーツ広場	6、7、8、9
	きゅうの森遊具周辺	11
	大芝生広場及び周辺	15、16、17、18、19、20、21、22
	花の広場周辺	25、26、27、29、31、32
	ひばの里周辺	33、34、35、36
	中入口前	38
	北入口湖畔広場	62
	北入口前ロータリー	57
	いこいの森広場	74
	上記以外	3、10、12、13、14、37、39、40、49、50、53、56、59、60、61、62-2、63、68、69、71、72、73



中低木管理区域図


6
5
3
4
44
48
30
31
47
46
36
40
41
28
1
32
38
7
8
10
61
60
50
13
25
16
22
12
15
23
21
14
20
19
2
24
凡例
低木

中低木管理数量表（樹種別）

エリア	樹種名	面積（㎡）	No.
寄植	アオキ	2	24
	アジサイ	6,022	2、24
	アベリア	996	3、19、22、28、32
	カンツバキ	16	2、48
	キリシマツツジ	452	2、4、6、19
	H.ヒデコート	159	48、60
	クチナシ	26	48、61
	コクチナシ	174	61
	サツキツツジ	1,336	2、3、4、6、21、23、24、48、50、
	シャリンバイ	73	19
	ジンチョウゲ	5	2
	ドウダンツツジ	1,165	2、3、19、20、23、24、47、48、50、60、61
	トサミズキ	441	2、19、20
	ニシキギ	222	3
	ハクチョウゲ	21	50
	ヒイラギナンテン	26	48
	ヒョウガミズキ	1,090	8、12、14、60、61
	H.カリシナム	942	3、48、61
	ヒラドツツジ	2,733	1、2、3、4、5、7、10、12、13、48、50、60
	フィリフィラオーレア	139	60
	マメツゲ	28	24、25
	ミツバツツジ	5,200	2、8、12、14、19、20、24、41
	ミヤギノハギ	237	2
	ヤマツツジ	741	2、19、20
	ヤマブキ	1,180	19、20、24、36、41、46、61
	ユキヤナギ	3,982	3、7、8、9、14、15、19、22、23、50
	レンギョウ	4,108	9、10、14、15、20、46
	矮性サルスベリ	53	25
	エリア計（寄植）	31,569	
生垣	アラカシ	160	10、24
	キンモクセイ	23	3
	シラカシ	179	58、60、61
	ナワシログミ	5	24
	ヒイラギモクセイ	5	50
	ヒラドツツジ	1,959	7、10、12、13、51、61
	ムクゲ	48	30、31、36
	レッドロビン	657	2、7、12、13、24、40、44、47、50
	エリア計（生垣）	3,036	
単木	タマイブキ	47	24
	ヒョウガミズキ	38	61
	ミツマタ	202	2、19、20、24
	ヤマハギ	101	15
	エリア計（単木）	388	
	エリア合計	34,993	

高木管理区域図

別添ー３８



凡例

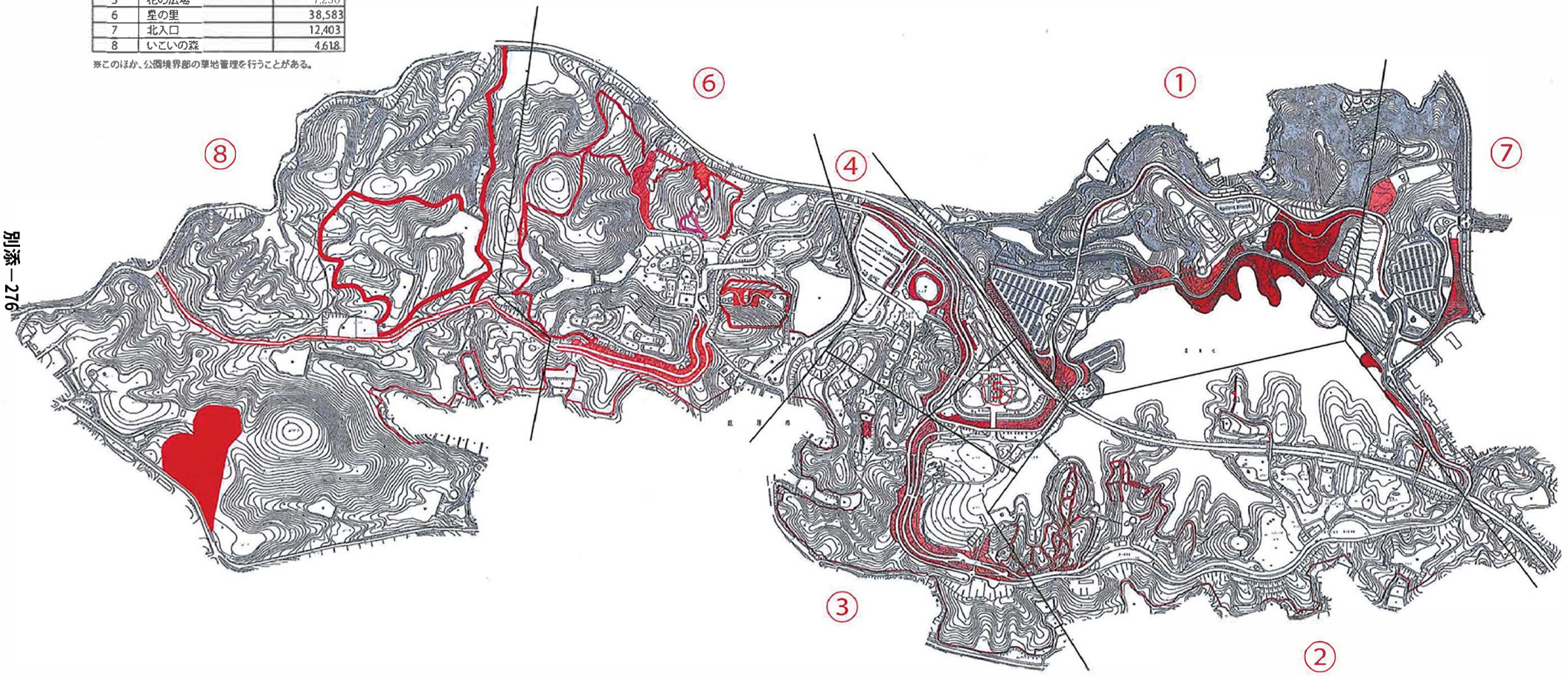
高木

草地管理区域図

草地管理区域

No.	エリア名	面積(m²)
1	みのりの里	61,264
2	つどいの里	27,990
3	ひばの里	2,720
4	中入口	13,011
5	花の広場	7,230
6	星の里	38,583
7	北入口	12,403
8	いこいの森	4,618

※このほか、公園境界部の草地管理を行うことがある。



花壇管理区域図

別添－40

花壇管理区域

No.	エリア名	面積(㎡)
1	展望台周辺	9
2	坂道花壇	203
合計	－	212



凡例

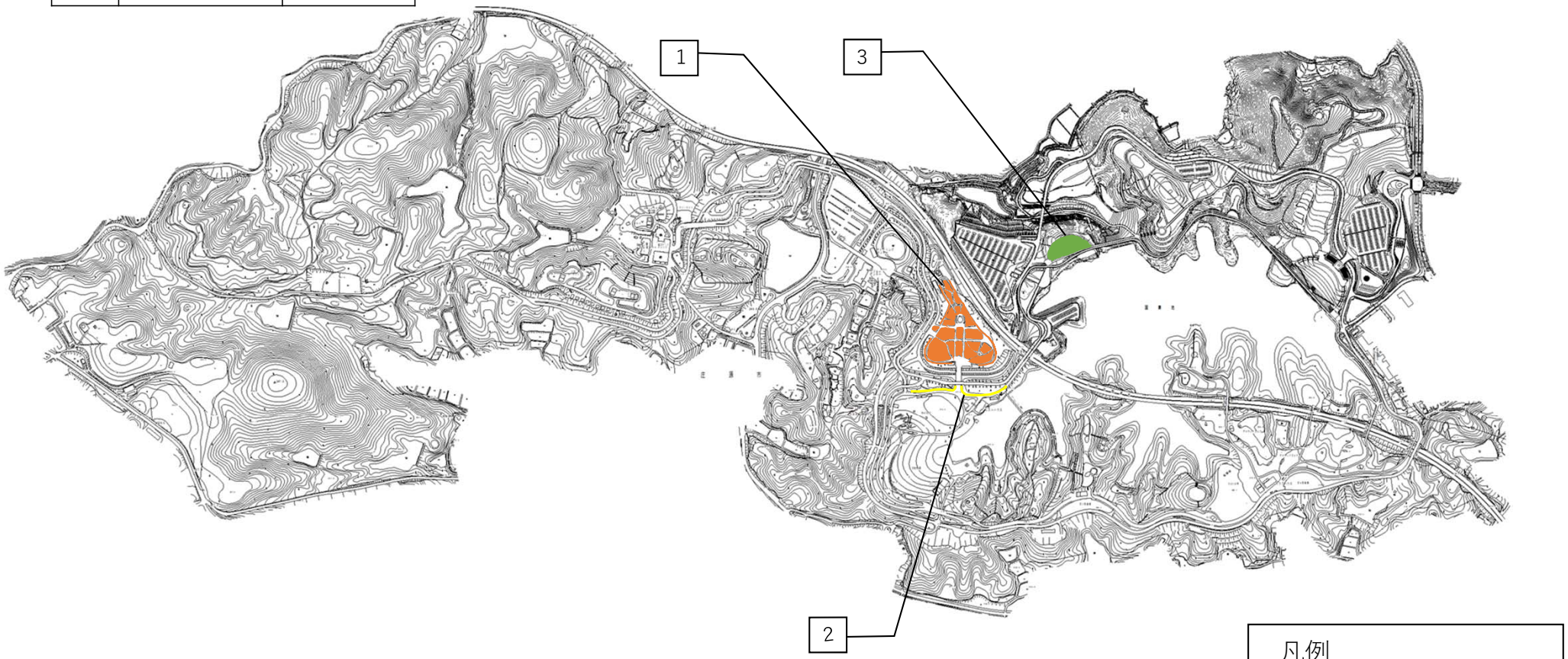
花壇

花畑管理区域図

別添ー41

花畑管理区域

No.	エリア名	面積(㎡)
1	花の広場	15,227
2	北斜面	536
3	ピクニック広場	4,693
合計	ー	20,456

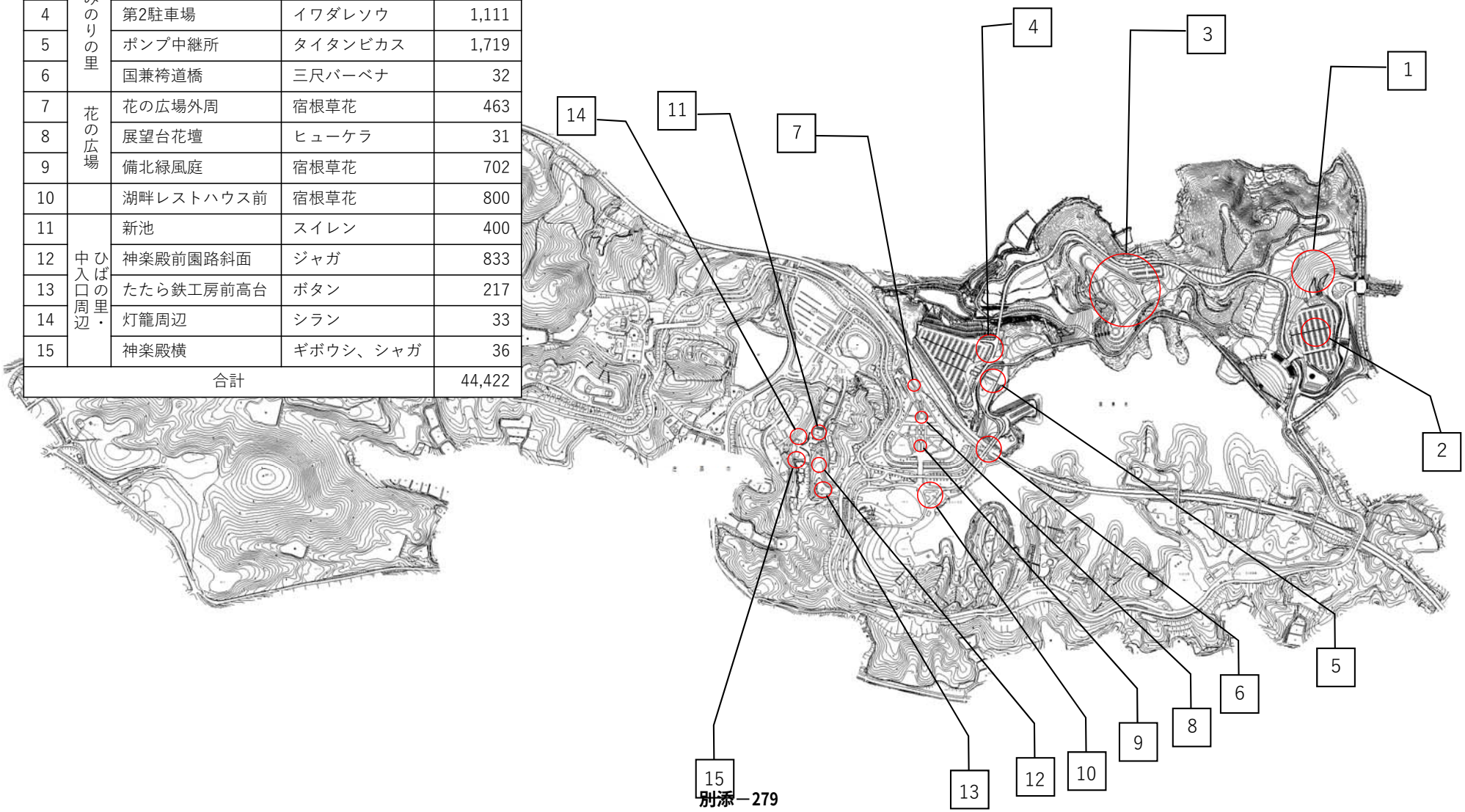


草花管理区域図

別添－42

草花管理区域

No.	エリア名		対象花草	面積(㎡)
1	北入口	北入口斜面地	ナノハナ	18,825
2		第5駐車場	ヒメイワダレソウ	459
3	みのりの里	スイセンガーデン	スイセン	18,761
4		第2駐車場	イワダレソウ	1,111
5		ポンプ中継所	タイタンビカス	1,719
6		国兼袴道橋	三尺バーベナ	32
7	花の広場	花の広場外周	宿根草花	463
8		展望台花壇	ヒューケラ	31
9		備北緑風庭	宿根草花	702
10		湖畔レストハウス前	宿根草花	800
11	ひばの里・中入口周辺	新池	スイレン	400
12		神楽殿前園路斜面	ジャガ	833
13		たたら鉄工房前高台	ボタン	217
14		灯籠周辺	シラン	33
15		神楽殿横	ギボウシ、シャガ	36
合計				44,422



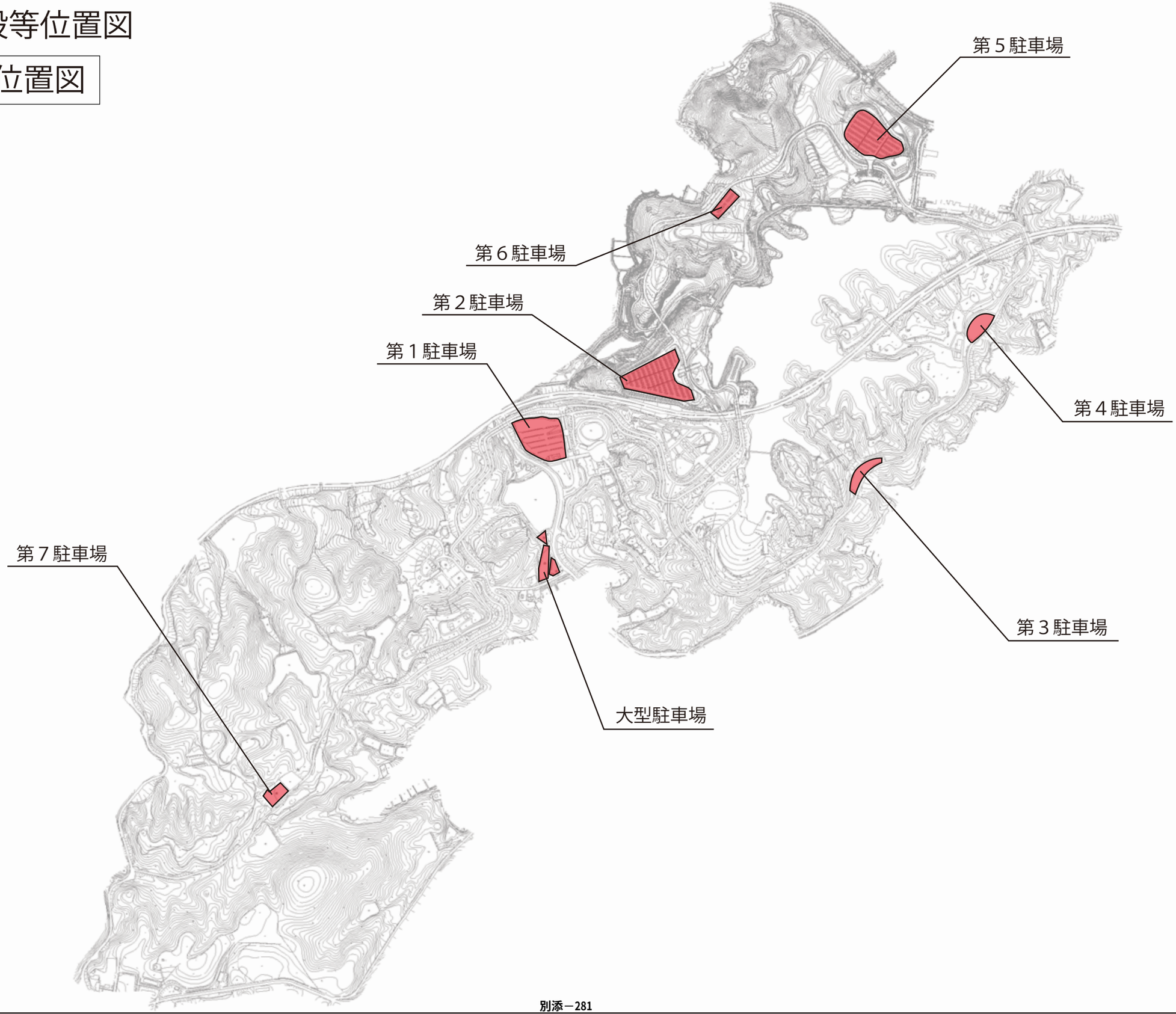
特殊管理区域図

別添－４３

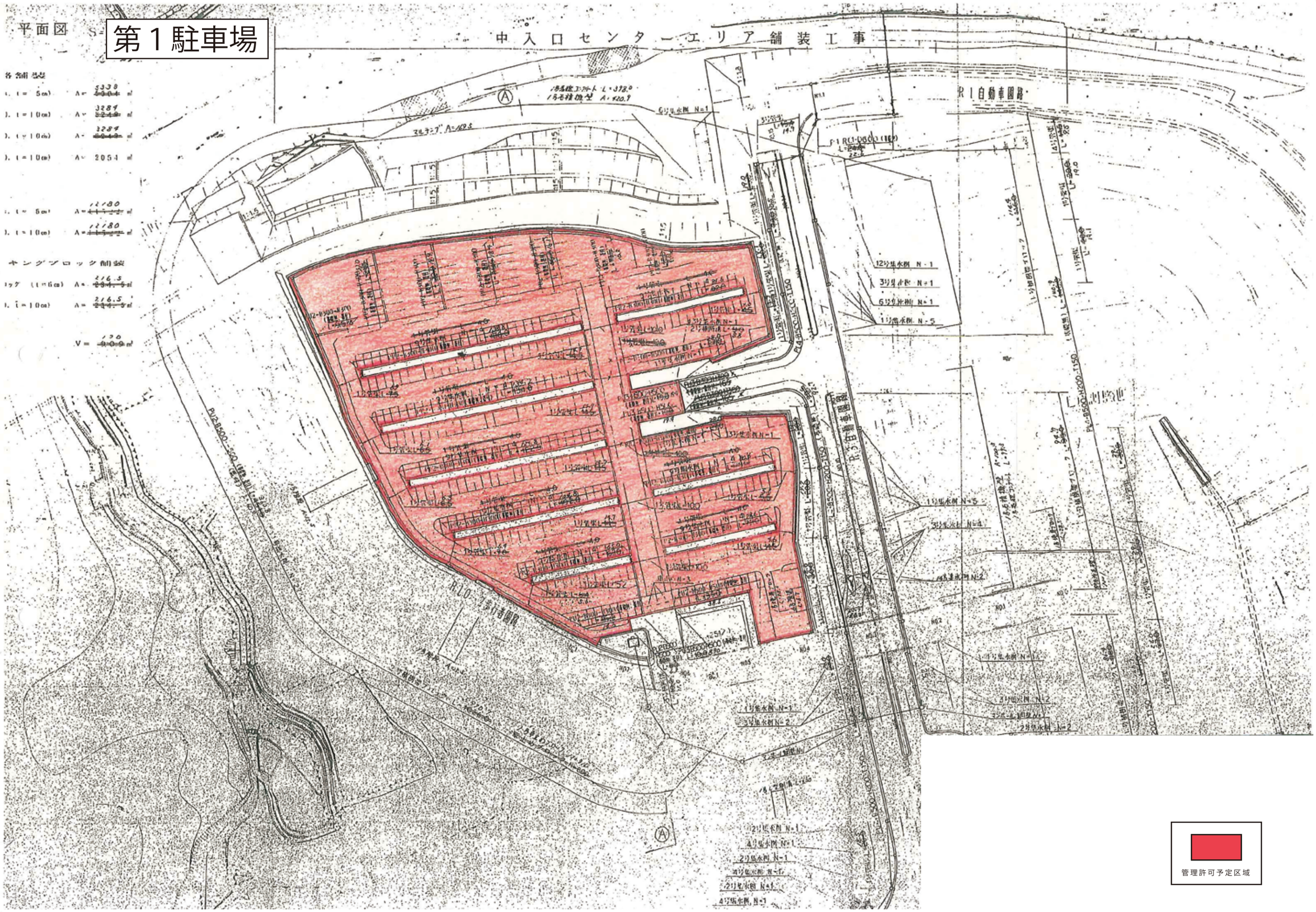


収益施設等位置図

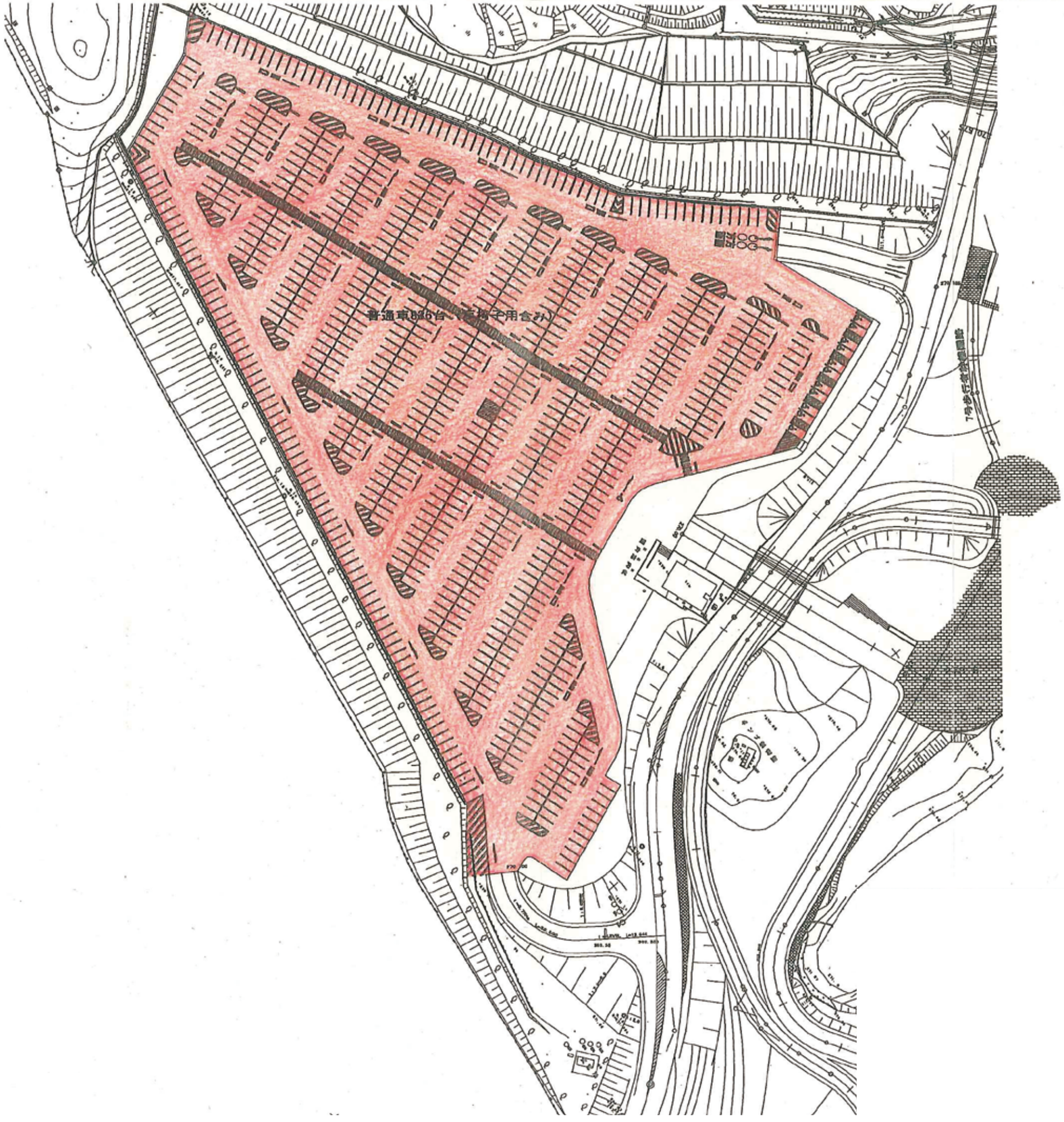
駐車場位置図



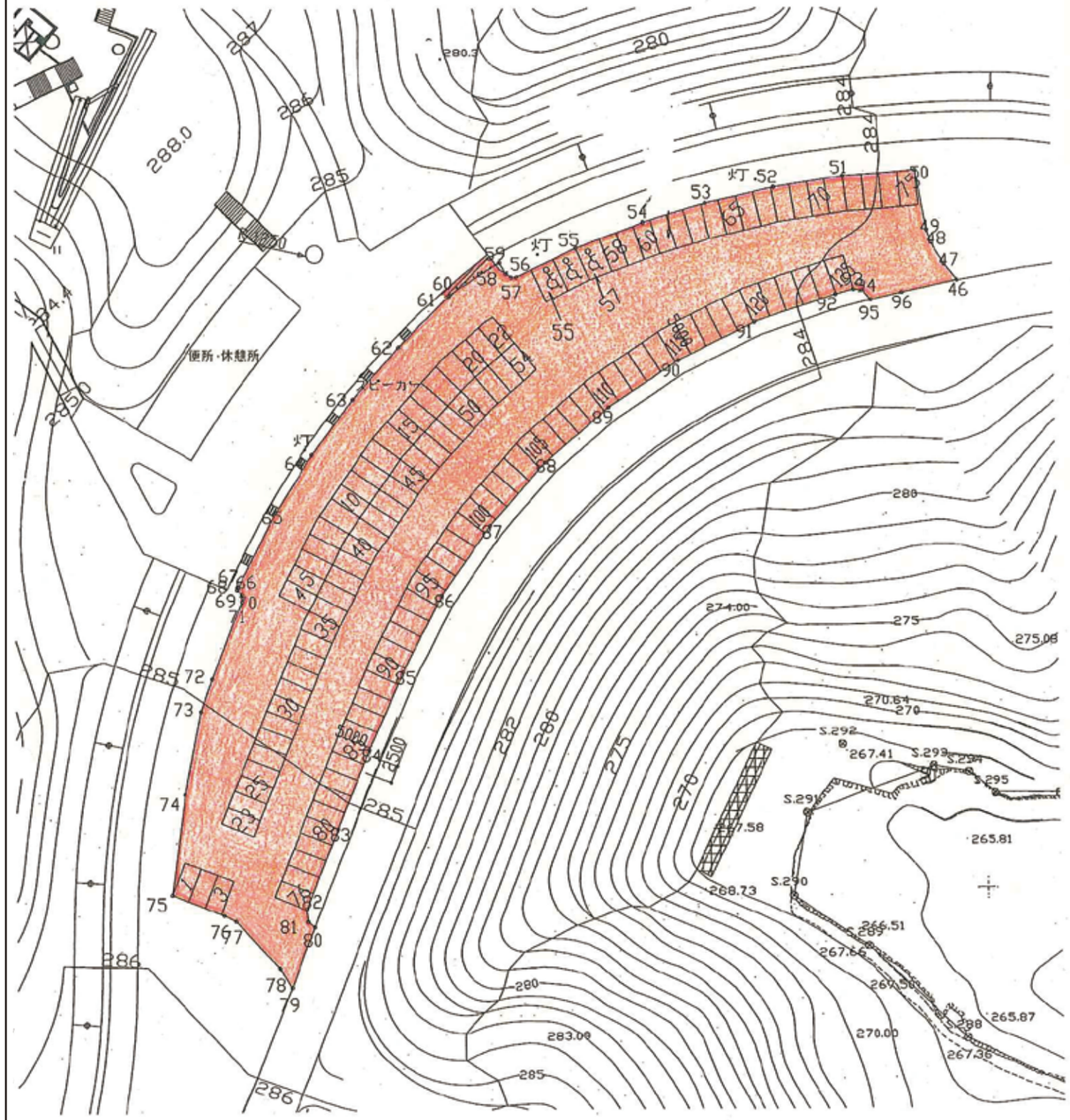
第１駐車場



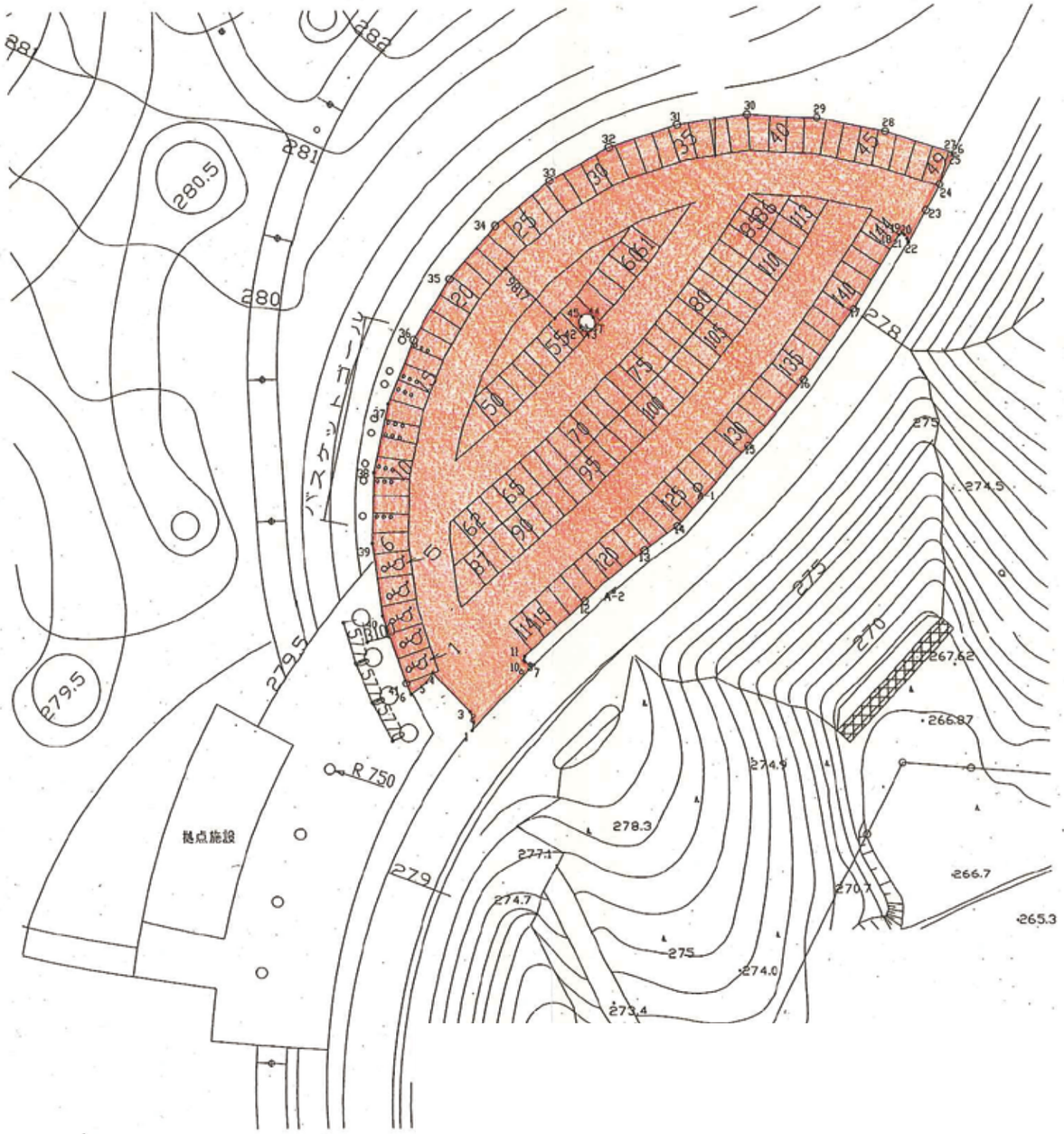
第２駐車場



第３、第４駐車場



第三駐車場



第四駐車場

管理許可予定区域

第５駐車場

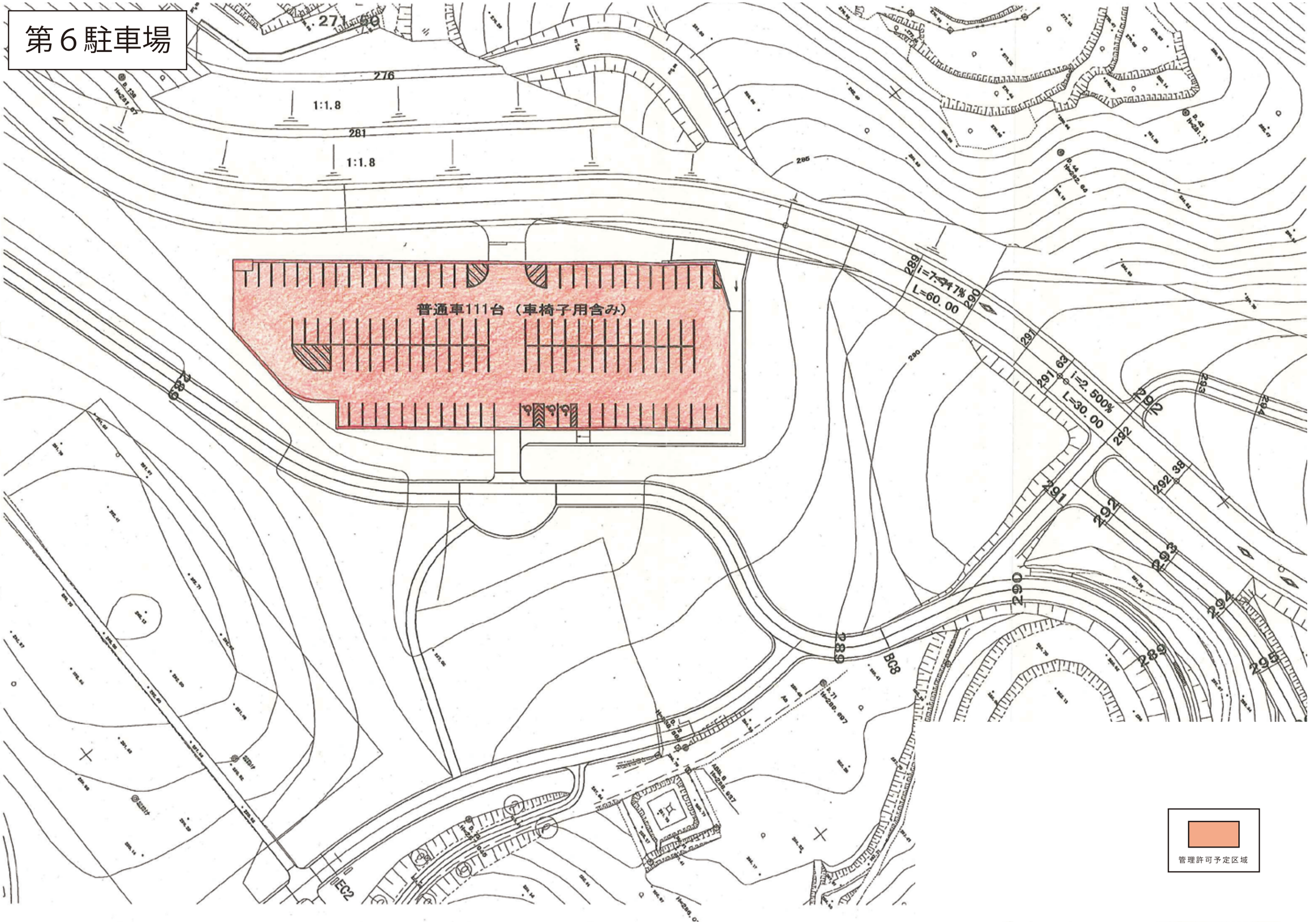
281.74

281.60～281.52

管理許可予定区域

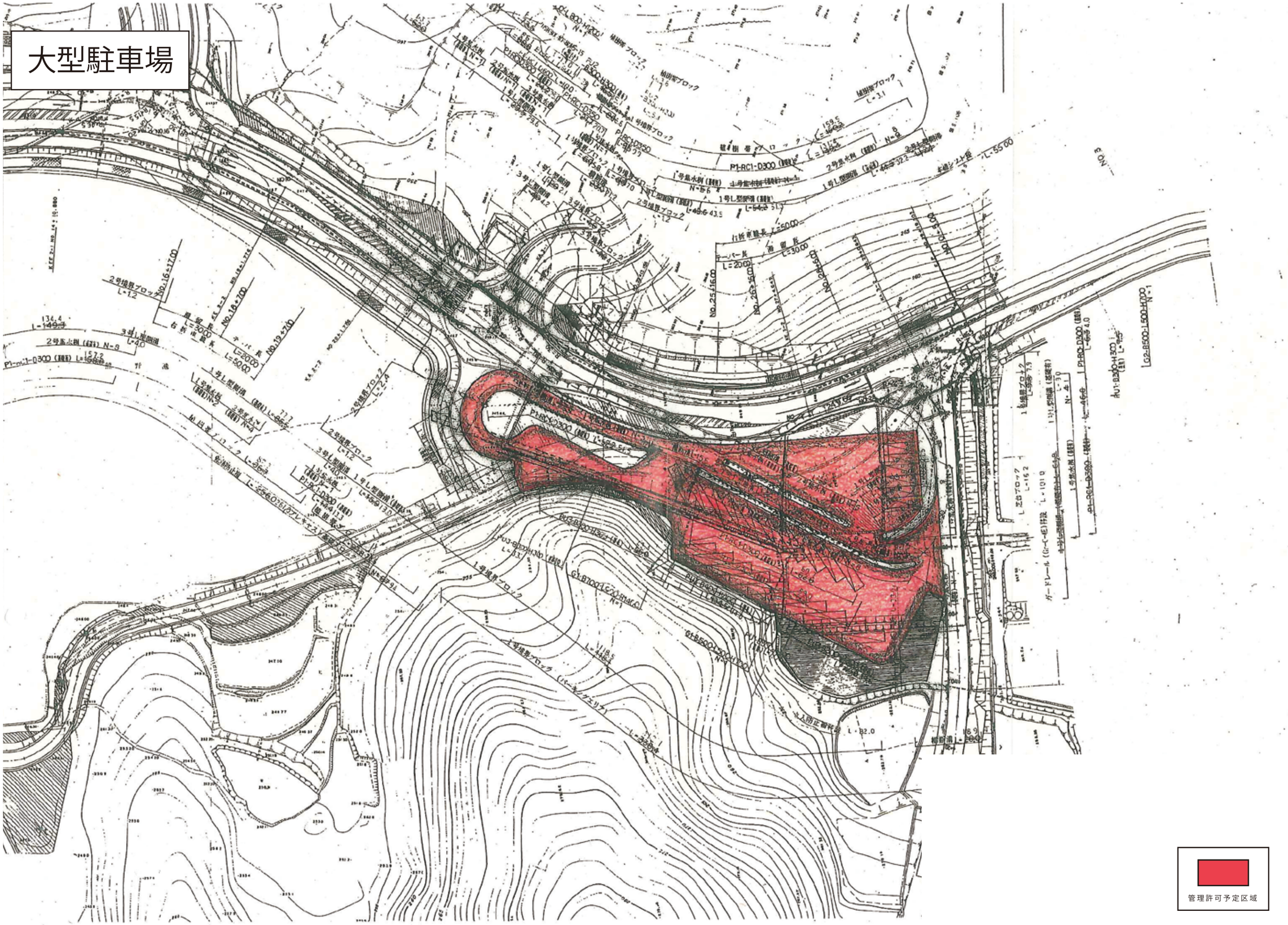
別添－285

第６駐車場


276
1:1.8
281
1:1.8
普通車111台（車椅子用含み）
i=7.947%
L=60.00
i=2.500%
L=30.00
BC8
EC2
管理許可予定区域

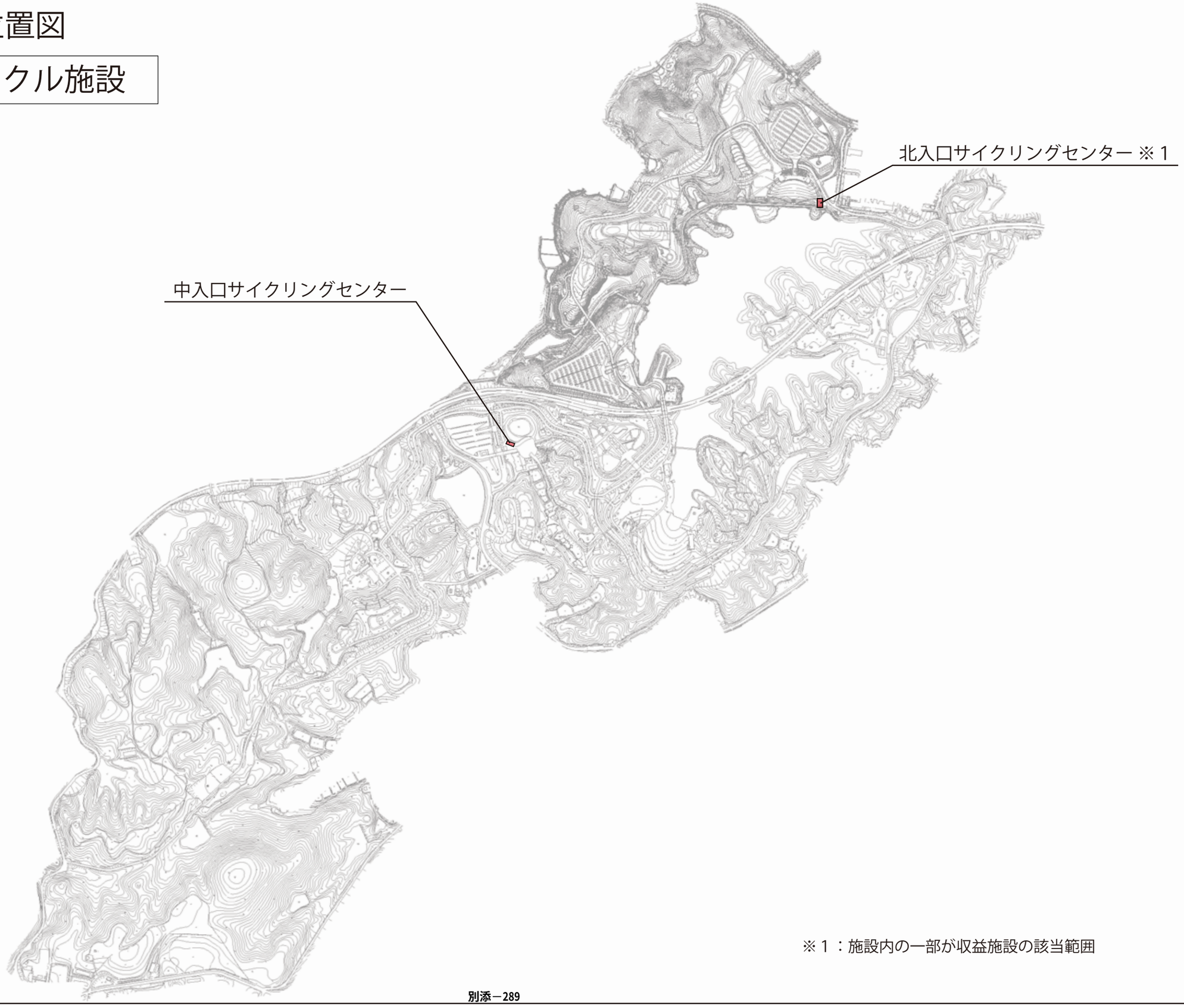

第7駐車場
N6.2
緑化検討地
管理許可申請区域

大型駐車場

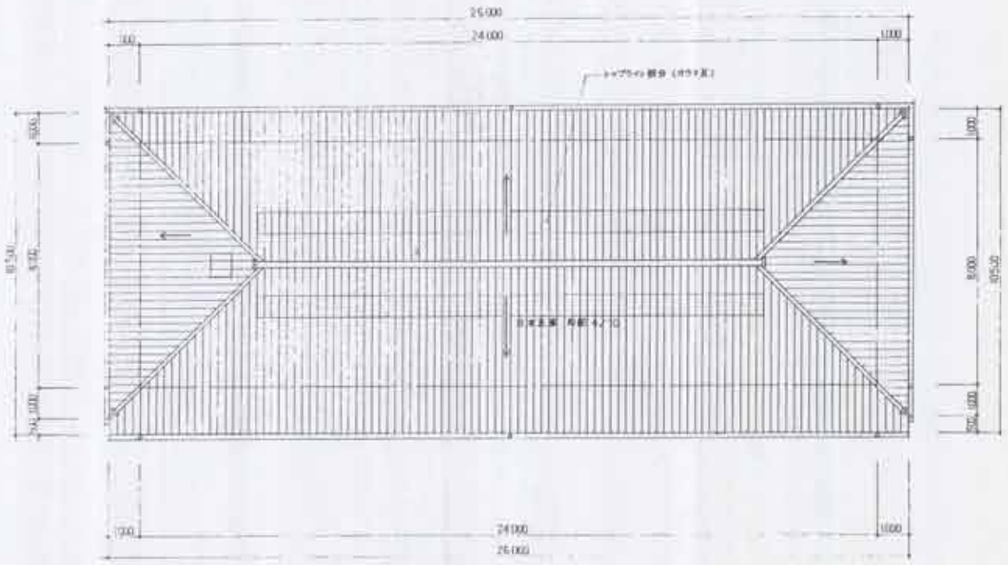


収益施設等位置図

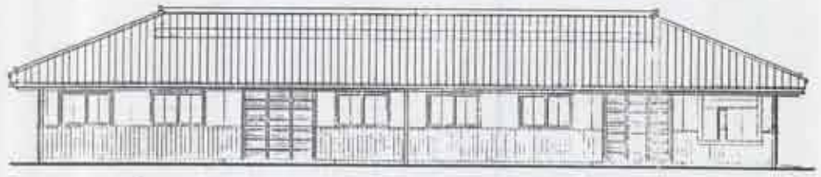
レンタサイクル施設



※１：施設内の一部が収益施設の該当範囲

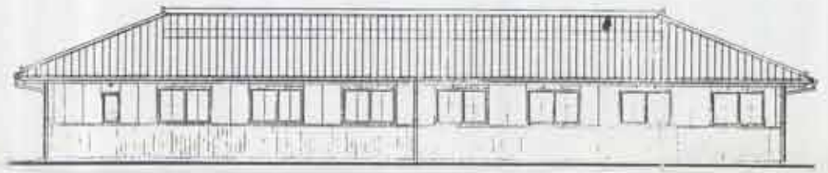


屋根伏図 S=1/100



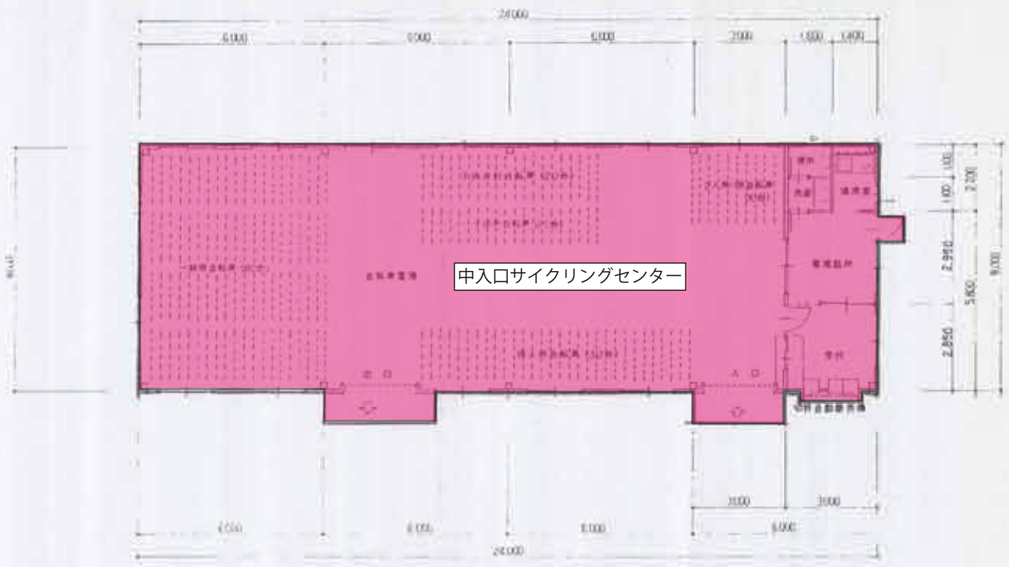
南面 立面図 S=1/100



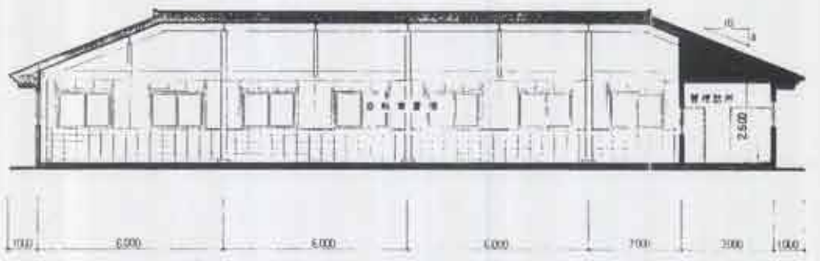


北面 立面図 S=1/100

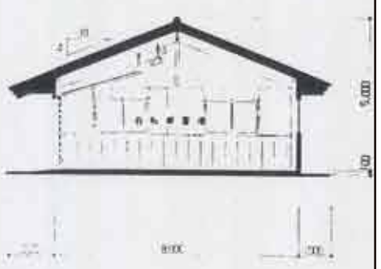




平面図 S=1/100



断面図 S=1/100



管理許可予定区域

トランジックセンター

面積表	
床面積	192.00㎡(58.08坪)
建築面積	204.00㎡

北入口サイクリングセンター

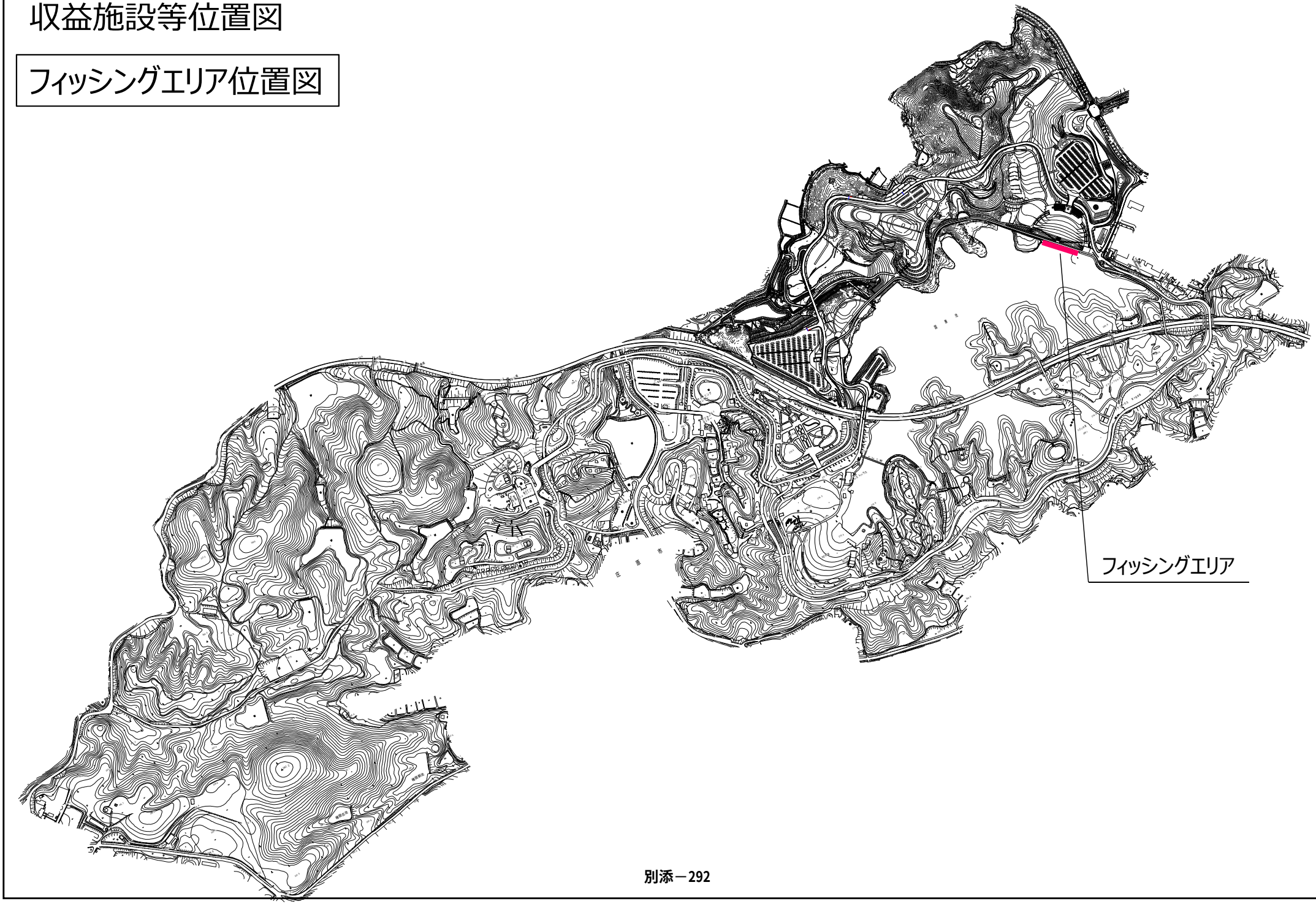
地階平面図

1階平面図

管理許可予定区域

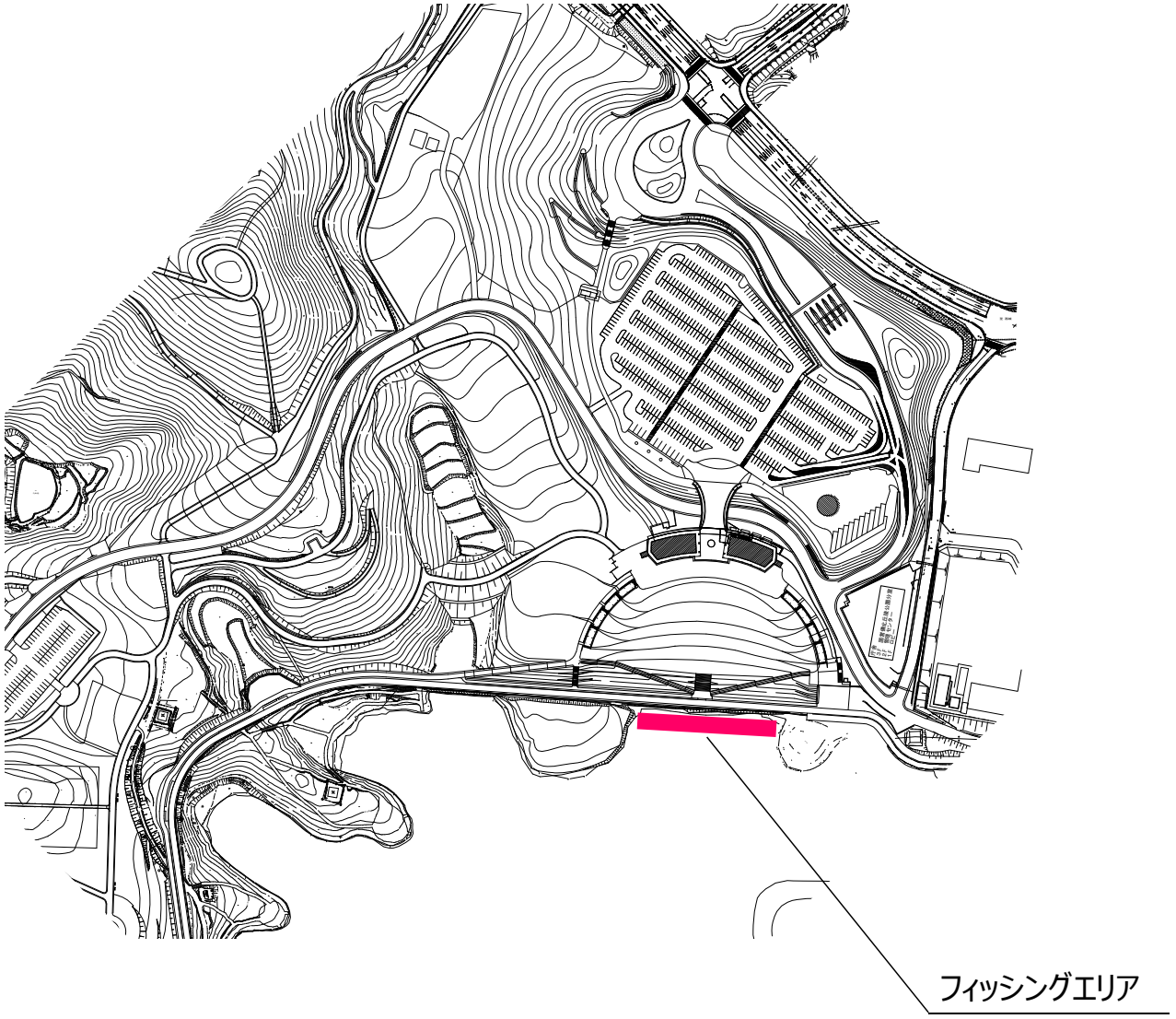
収益施設等位置図

フィッシングエリア位置図



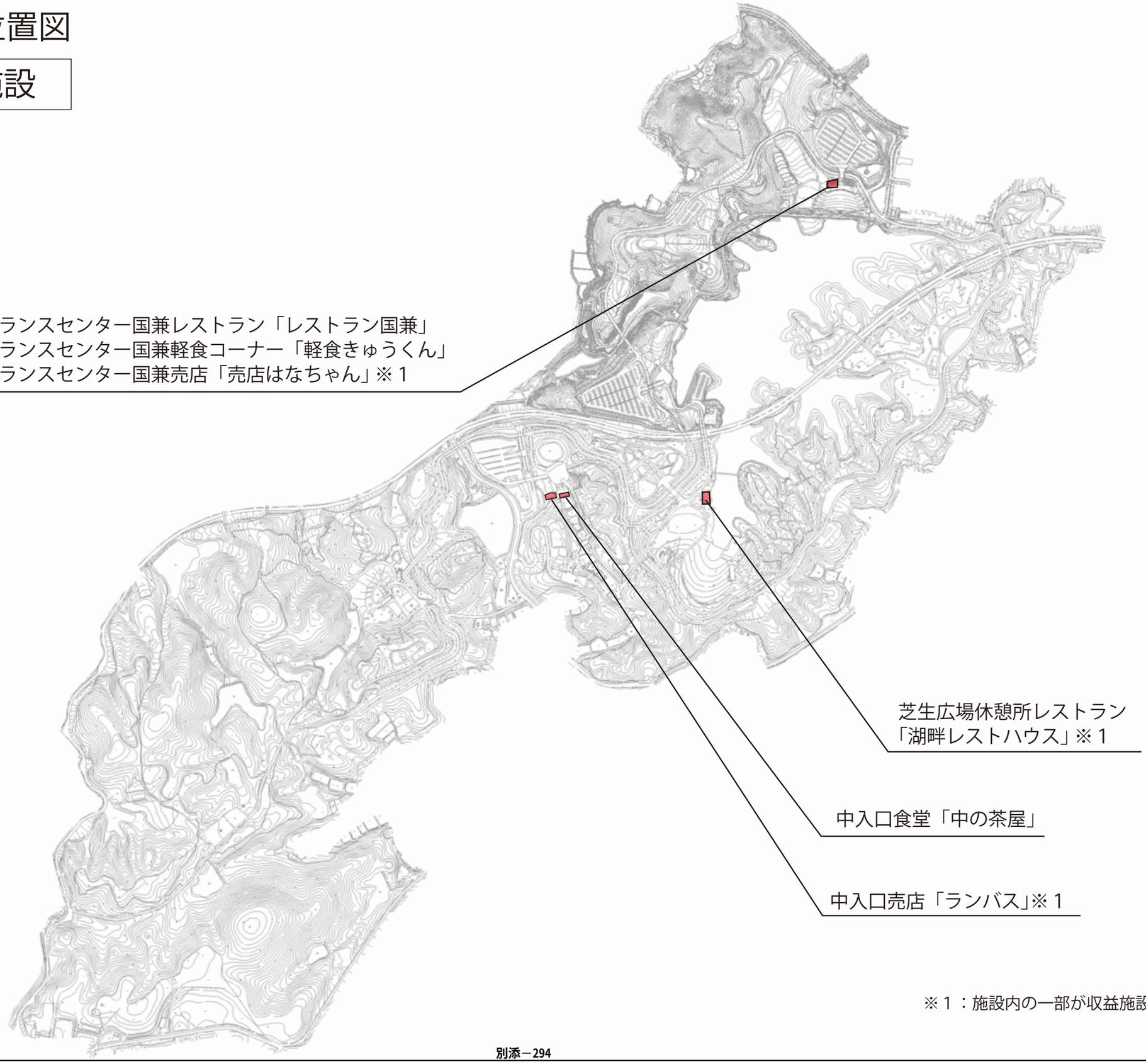
収益施設等位置図

フィッシングエリア

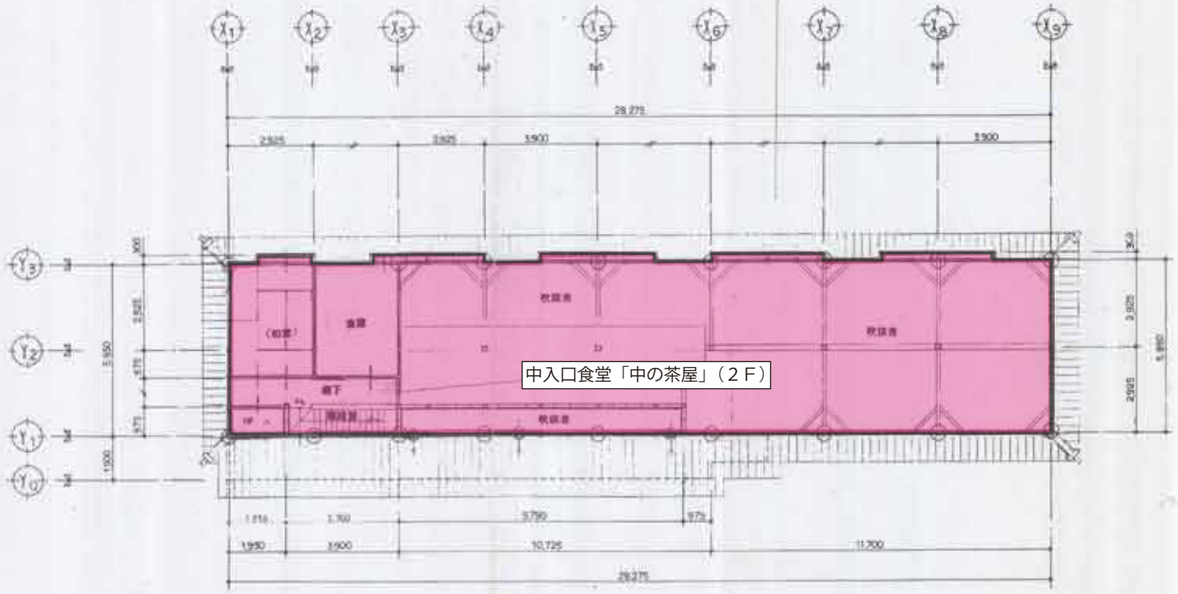


収益施設等位置図

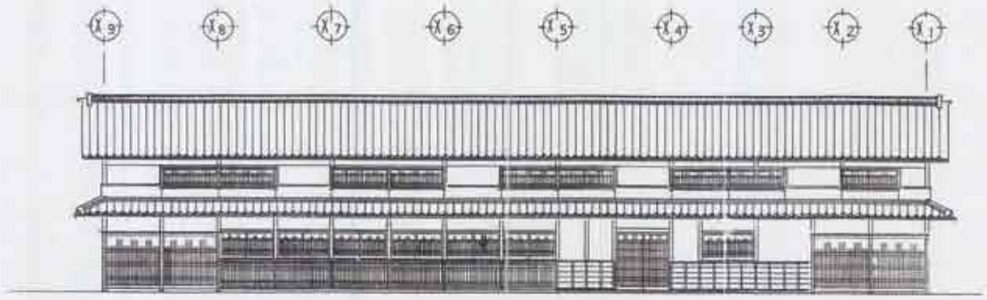
飲食物販施設



※１：施設内の一部が収益施設の該当範囲



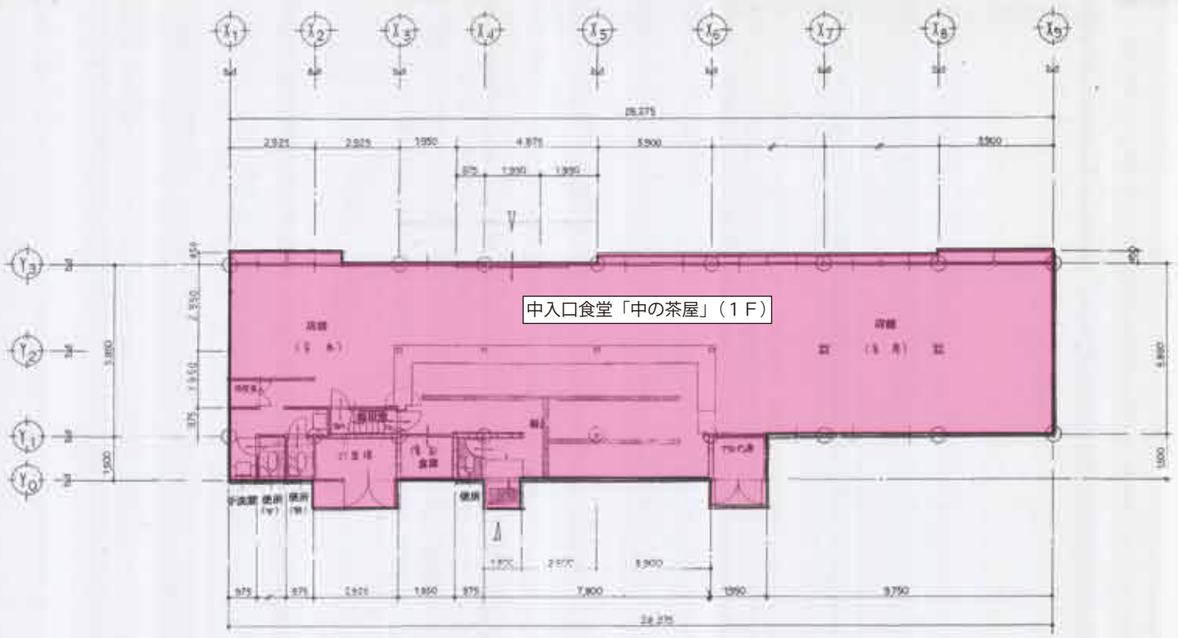
2F　平面図　S:1/100



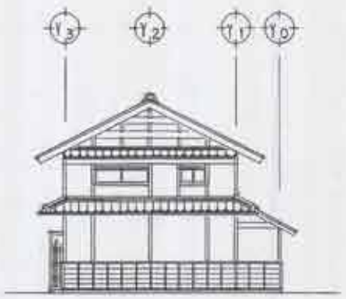
(Y3) 通り立面図　S:1/100



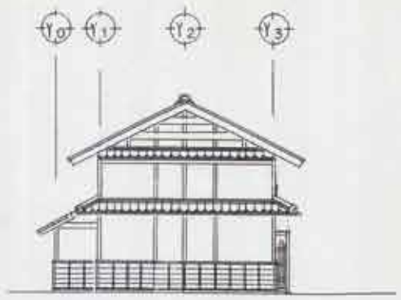
(Y0) 通り立面図　S:1/100



1F　平面図　S:1/100



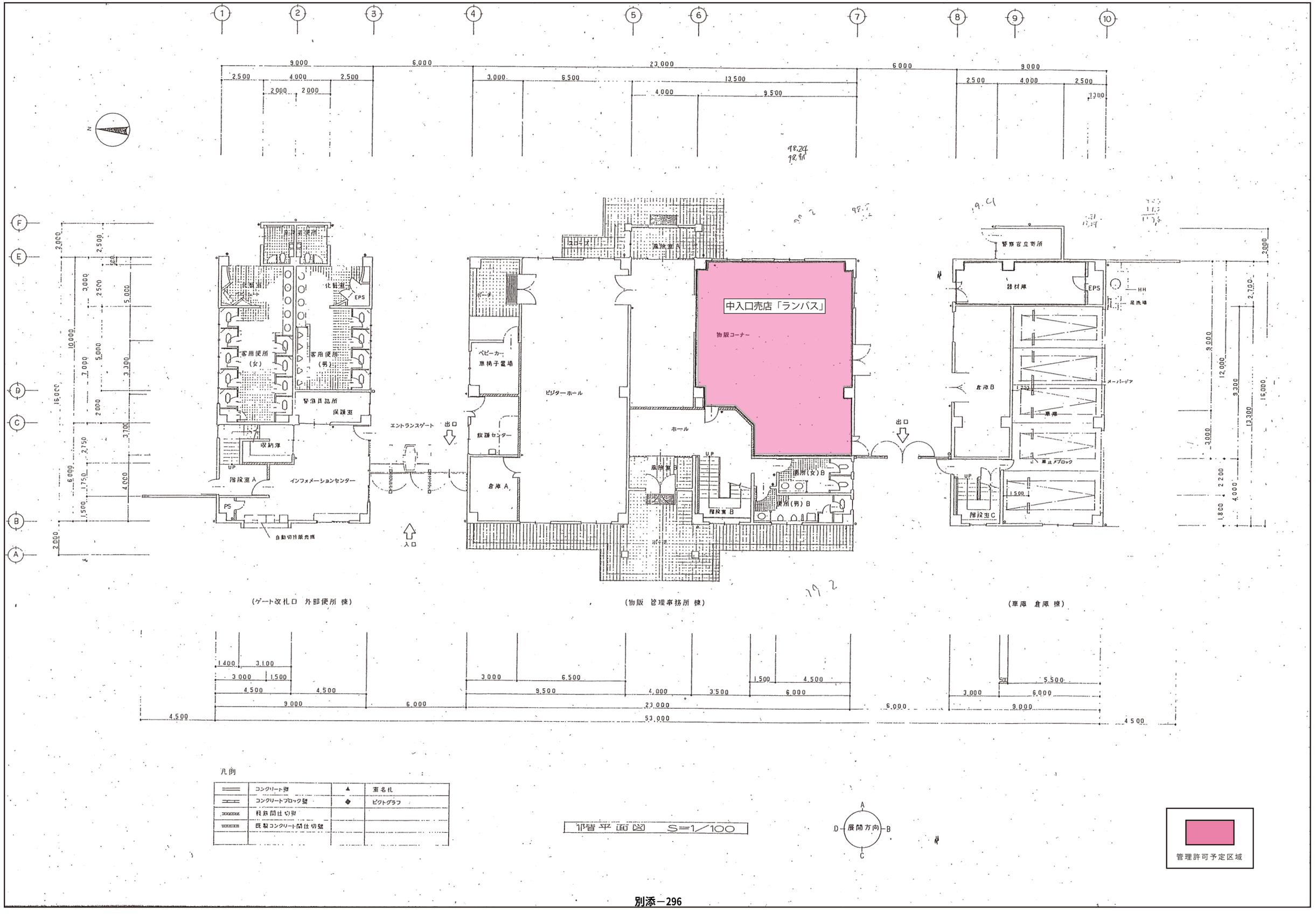
(Y1) 通り立面図　S:1/100



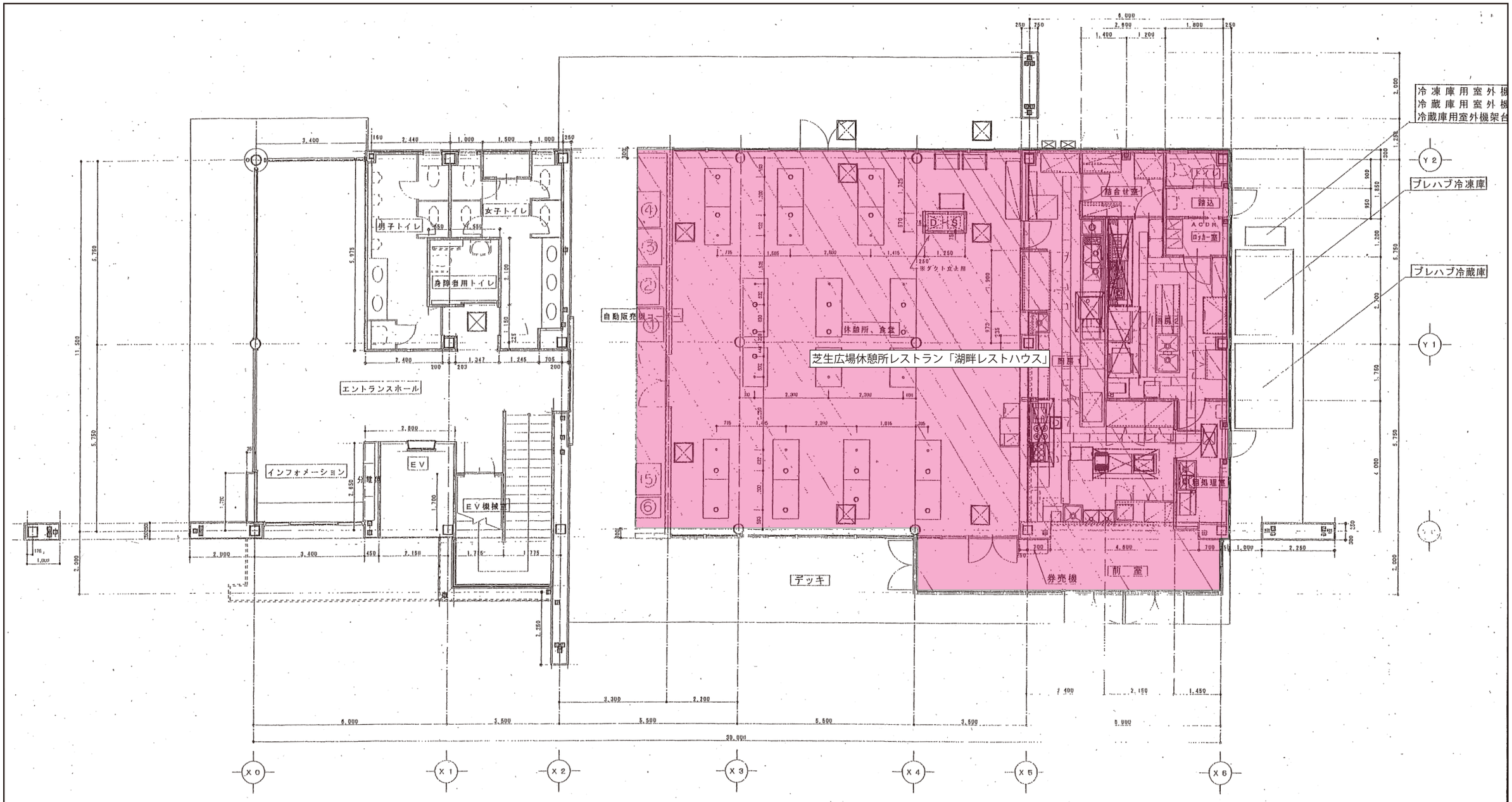
(Y2) 通り立面図　S:1/100

管理許可予定区域

別添－295


中入口売店「ランバス」
物販コーナー
ビジターホール
ホール
ロビー
展示室A
ベビーカー
車椅子置場
救護センター
倉庫A
風除室B
階段室B
便所(女)B
便所(男)B
ポーチ
エントランスゲート
出口
入口
客用便所(女)
客用便所(男)
化粧室
EPS
警備員詰所
保護室
収納庫
階段室A
インフォメーションセンター
PS
自動切符販売機
管理官立寄所
器材庫
足洗場
倉庫B
メーターボックス
階段室C
防止メブロック
(ゲート改札口 外部便所 棟)
(物販 管理事務所 棟)
(車庫 倉庫 棟)
凡例
コンクリート壁
コンクリートブロック壁
軽鉄間仕切壁
既製コンクリート間仕切壁
署名札
ピクトグラフ
階段平面図 S=1/100
展開方向
管理許可予定区域

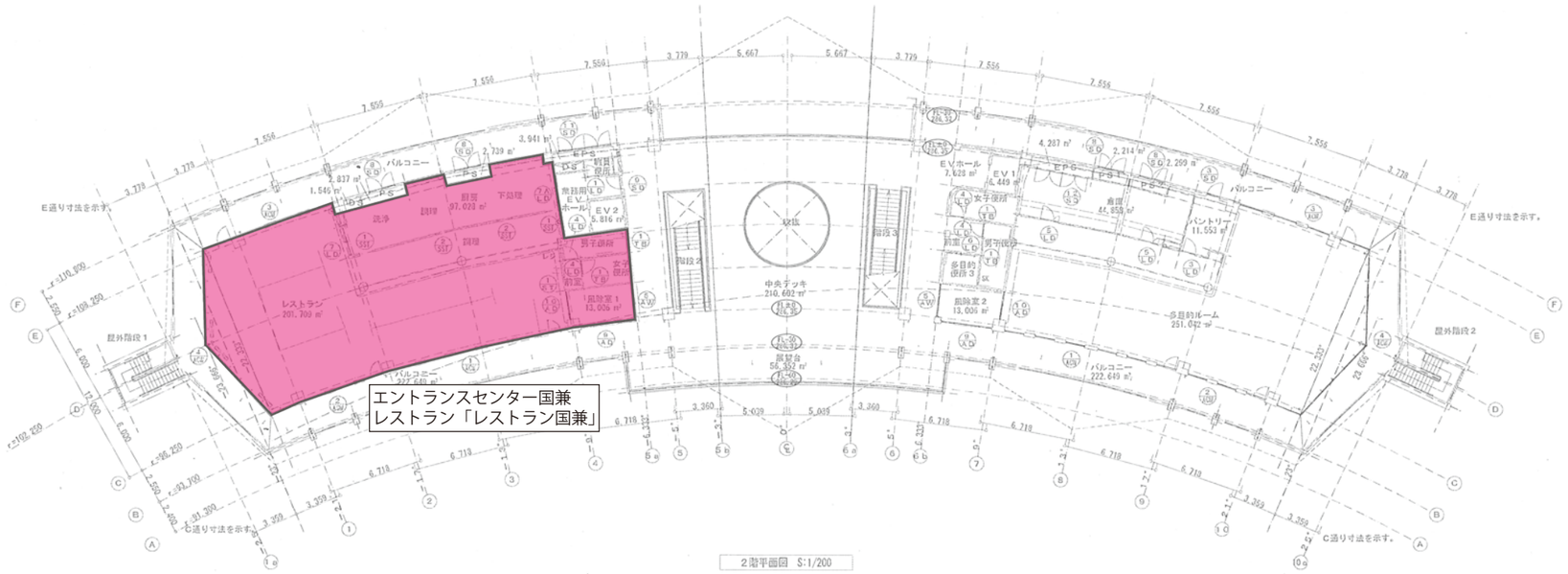
別添－296

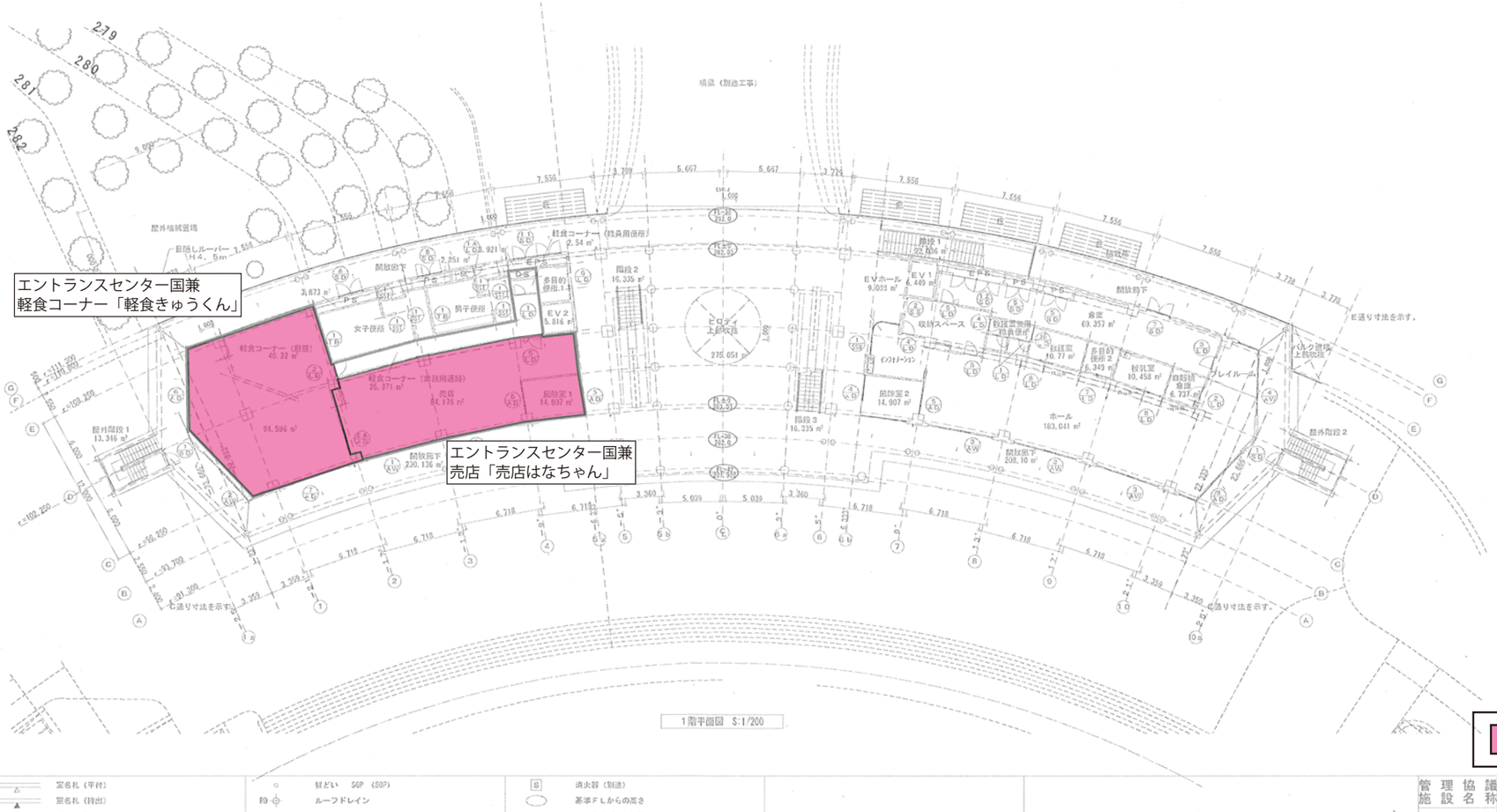


1階平面図

着色区域外（天井裏等）においても、レストランに係る電気設備、機械設備の配線、配管類については、管理範囲に含む。

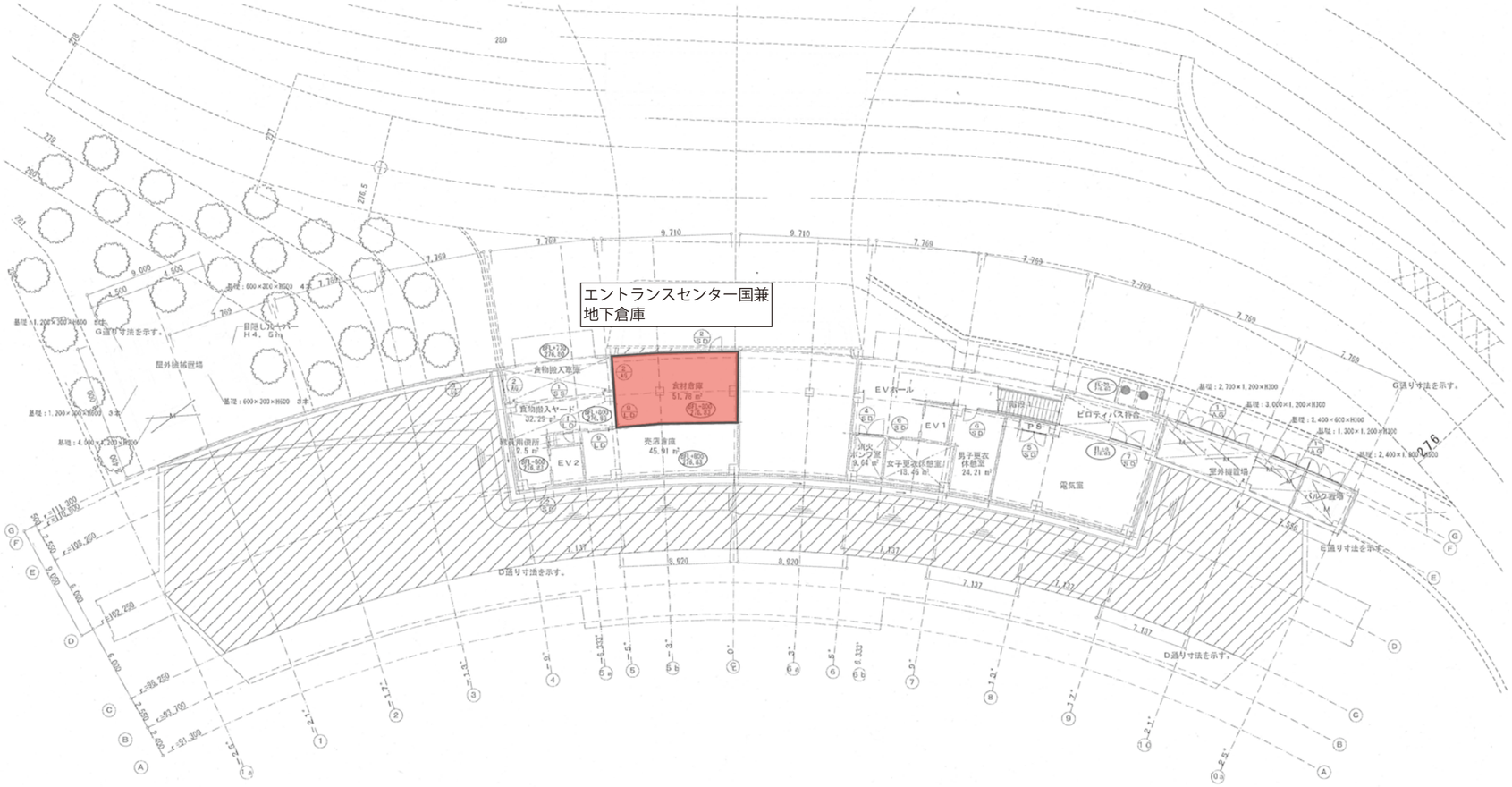
管理許可予定区域





管理許可予定区域

管理協議者	国営備北丘陵公園
施設名称	エントランスセンター国兼飲食及び物販施設
図面名称	管理区域図（1／2）
図面番号	



地階平面図 S:1/200

管理許可予定区域

(061211)

凡例	鉄筋コンクリート	室名札（平付）	○	桝どい SGP（SDP）	S	消火器（別途）	管理協議施設名称	国営備北丘陵公園 エントランスセンター国兼飲食及び物販施設
	コンクリートブロック壁	室名札（持出）	FD	ルーフドレイン		基準ＦＬからの高さ ＢＦＬ±0、ＢＦＬ+800		
	軽量鉄骨下地間仕切壁（一般） (LP-1)	ピクトグラフ（平付）				床下設備ピット範囲	図面名称	管理区域図（2／2）
	軽量鉄骨下地間仕切壁（一般） (LP-2)	ピクトグラフ（持出）			M	機械基礎		
	軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音） (LP-3)	視覚障害者用 誘導用床材Aタイプ				ネット張り範囲	図面番号	
		視覚障害者用 注意喚起用床材Bタイプ						

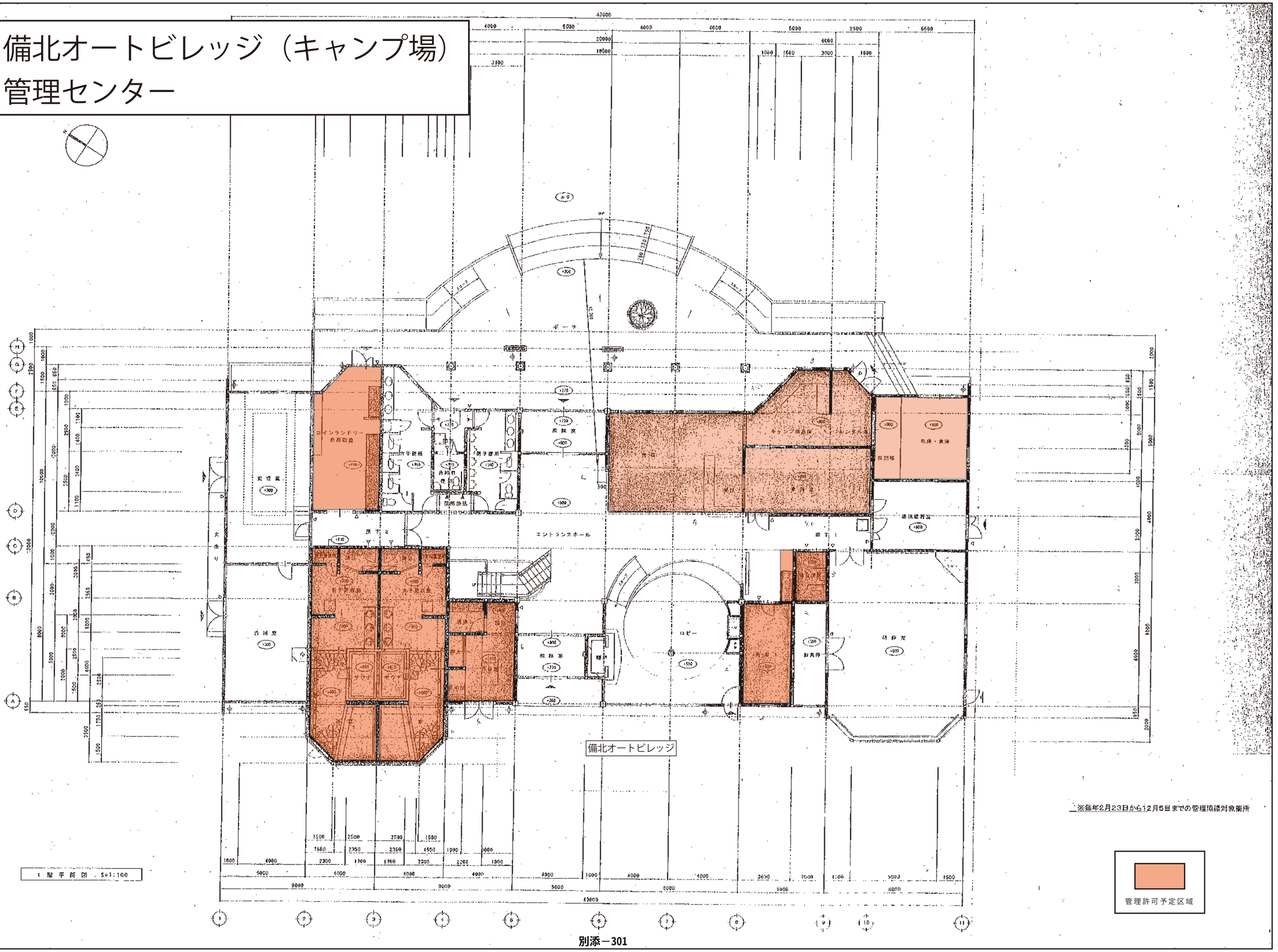
収益施設位置図

備北オートビレッジ（キャンプ場）

連絡自動車用路
フリーサイト
共同利用施設Ａ-１
共同利用施設Ｂ
キャンピングカーサイト ×１３
コテージＣ（１）
コテージＣ（２）
コテージＣ（３）
ゲート２
コテージＣ（５）
コテージＣ（４）
コテージ身障者用Ｂ
駐車場（駐輪場含む）
コテージＤ（１）
キャンプファイヤーサークル
駐車場（駐輪場含む）
備北オートビレッジ管理センター ※１
コテージ身障者用Ａ
共同利用施設Ａ-２
一般カーサイト ×２５
連絡自動車用路
一般カーサイト ×１３
共同利用施設Ａ-３
ゲート１
共同利用施設Ａ-４
コテージＢ
コテージＡ（１）
コテージＥ
コテージＡ（２）
シャワー棟
コテージＤ（２）
コテージＤ（８）
コテージＤ（３）
コテージＤ（７）
コテージＤ（４）
コテージＤ（６）
コテージＤ（５）

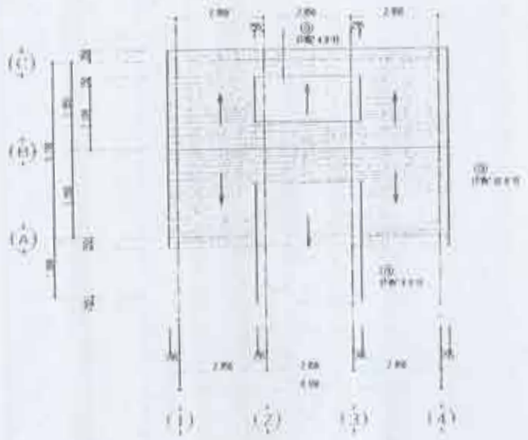
※１：管理棟については、施設の一部が
収益施設の該当範囲となっている。

備北オートビレッジ（キャンプ場）
管理センター



※毎年2月23日から12月5日までの管理協議対象箇所

管理許可予定区域



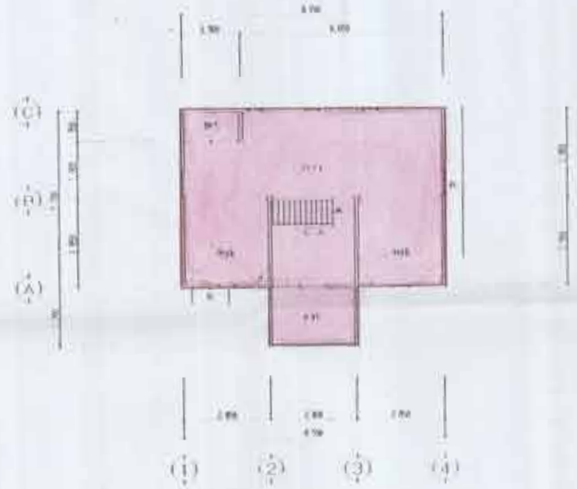
[現況図 S=1/100]



[南立面図 S=1/100]



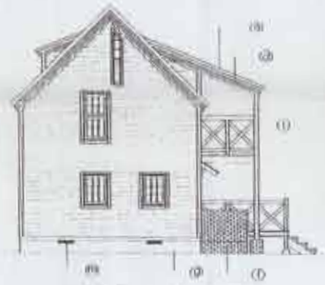
[東立面図 S=1/100]



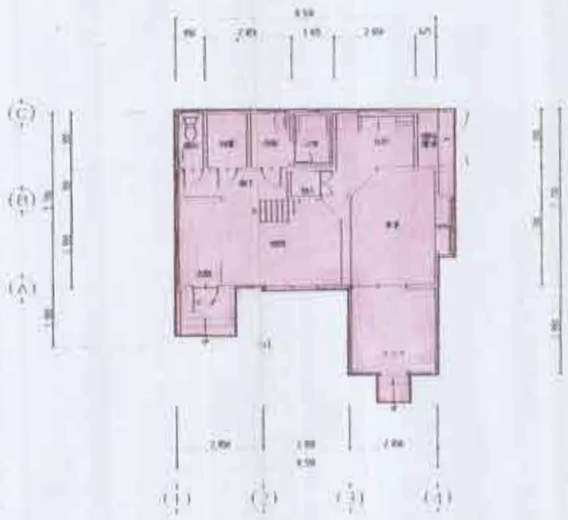
[2階平面図 S=1/100]



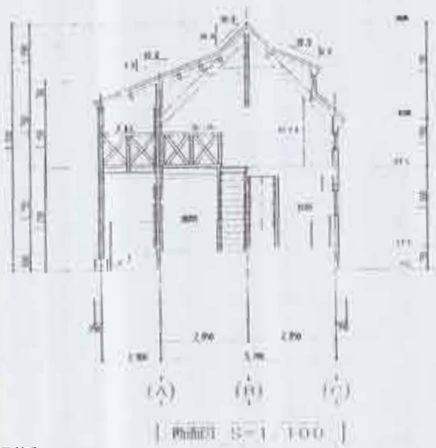
[北立面図 S=1/100]



[西立面図 S=1/100]



[1階平面図 S=1/100]

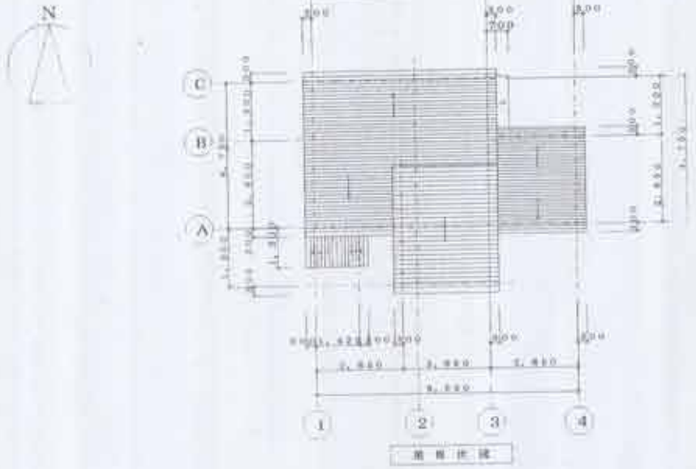


[断面図 S=1/100]

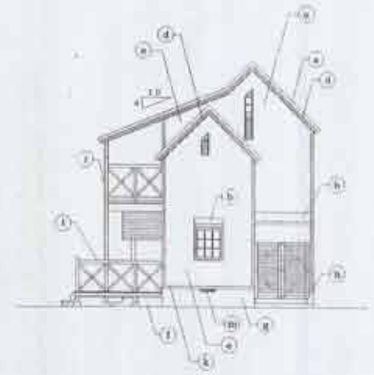
⑮	敷地面積：[illegible]
⑭	建築面積 70.1
⑬	1階床面積 [illegible]
⑫	2階床面積 [illegible]
⑪	延べ面積 [illegible]
⑩	外壁：[illegible]
⑨	屋根：[illegible]
⑧	1階床：[illegible]
⑦	2階床：[illegible]
⑥	基礎：[illegible]
⑤	1階通し柱：[illegible]
④	2階柱：[illegible]
③	1階柱：[illegible]
②	2階梁：[illegible]
①	1階梁：[illegible]

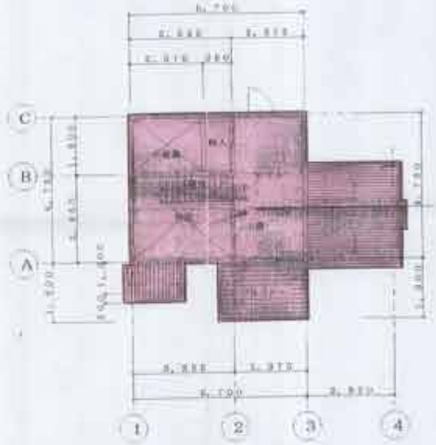
コテージA

管理許可予定区域



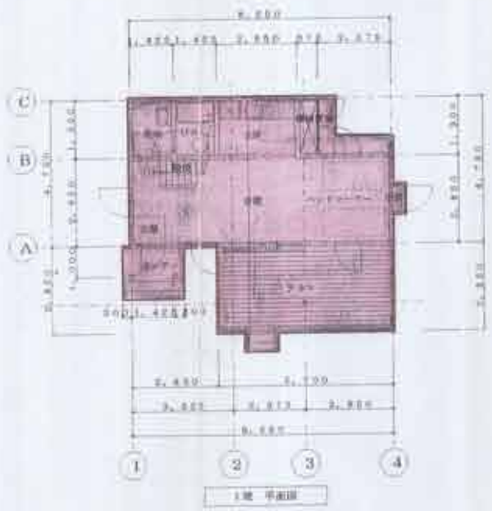










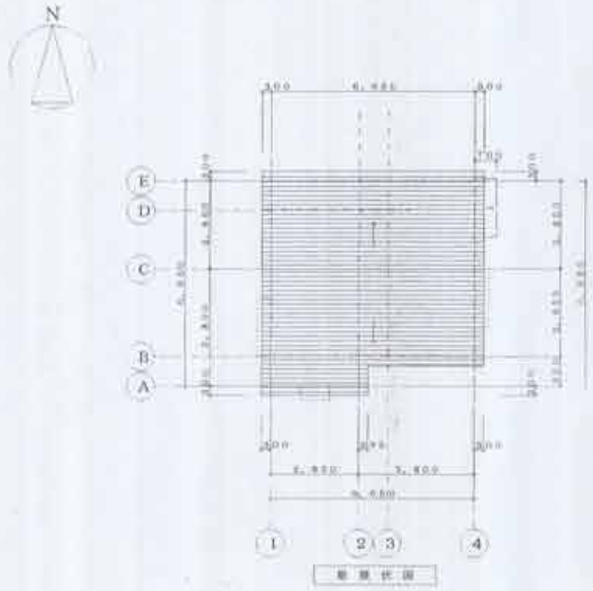




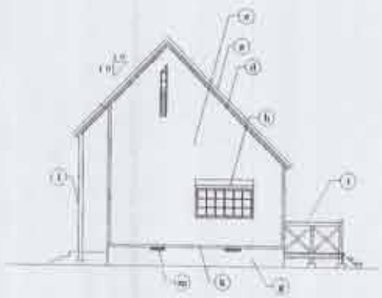
凡　例	
(a)	着色ケメント瓦厚6
(b)	ガルバリウム鋼板平葺き厚0．4
(c)	鼻隠し　OP
(d)	破風板　OP
(e)	防火サイディング貼り厚15　SP
(f)	レンガ貼り（タイル）
(g)	白木：キルクル節引き
(h)	キルクル金ゴテ押え
(i)	化粧通し柱　OP
(j)	防火サイディングコーナー役物
(k)	土台水切り　ガルバリウム鋼板　厚0．4
(l)	手摺　木製　KD
(m)	床下換気孔　鋳鉄製190X500（防虫網付）
(n)	アルミ製換気ガラリ（フード型）150φ（防虫網付）

コテージB

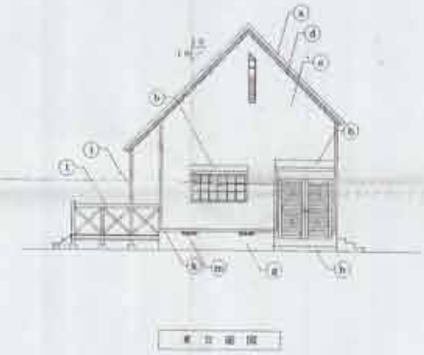
管理許可予定区域

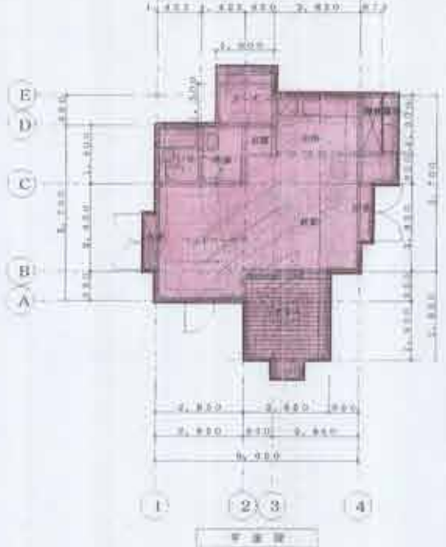


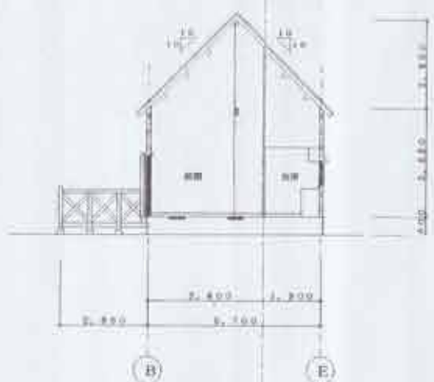








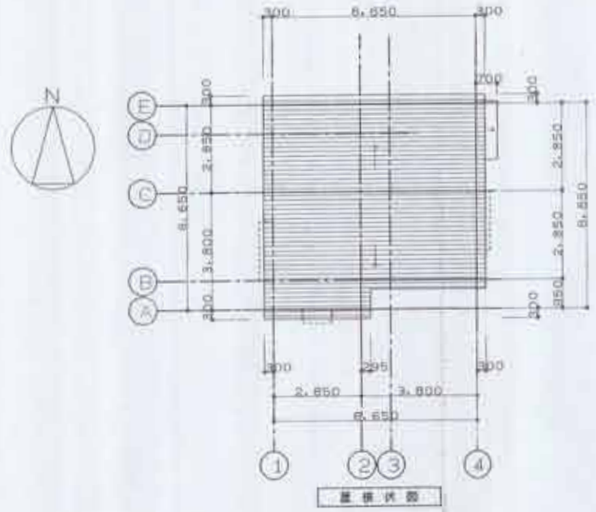




凡　例	
(a)	着色セメント板厚8
(b)	ガルバニュウム鋼板平葺き厚0．4
(c)	鼻隠し　OP
(d)	破風板　OP
(e)	防火サイディング貼り厚12　SP
(f)	トンガ貼り（ケイル）
(g)	巾木　モルタル塗り掛け引き
(h)	サルタル金ゴテ押え
(i)	化粧通し笠　OP
(j)	防火サイディングコーナー役物
(k)	上台水切り　ガルバリウム鋼板　厚0．4
(l)	手摺　木製　KD
(m)	床下換気孔　鋳鉄製100X300（防虫網付）
(n)	アルミ製換気ガラリ（フード型）150φ（防虫網付）

コテージC

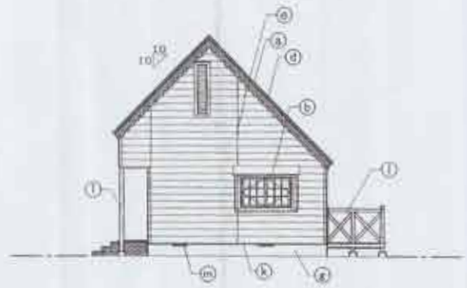
管理許可予定区域



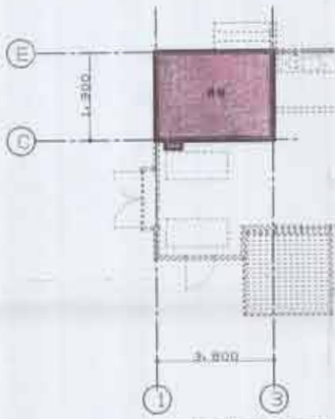
配置図



南立面図



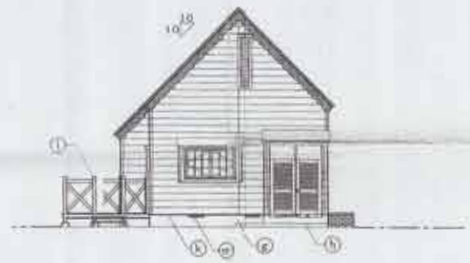
西立面図



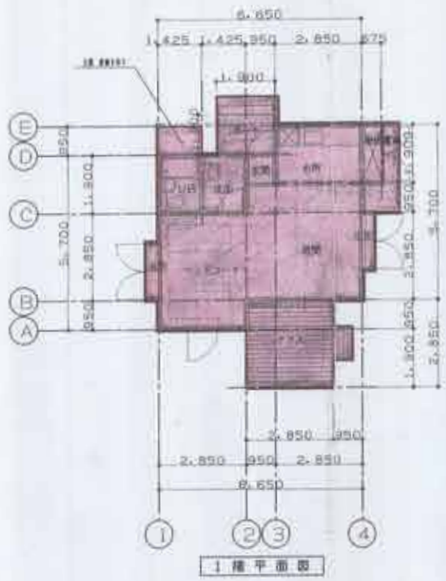
2階平面図



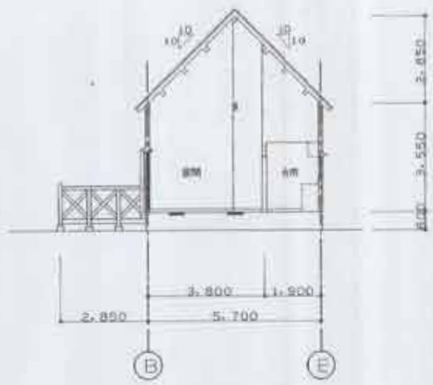
北立面図



東立面図



1階平面図

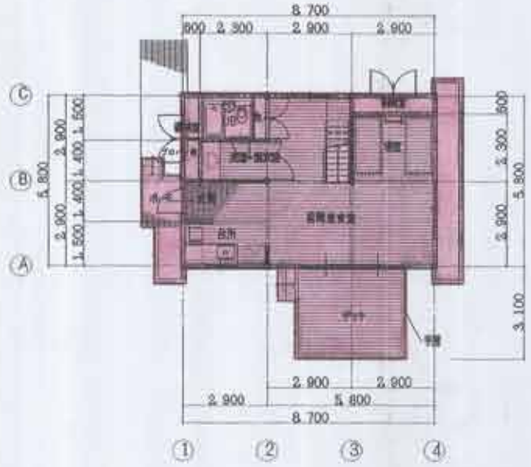


断面図

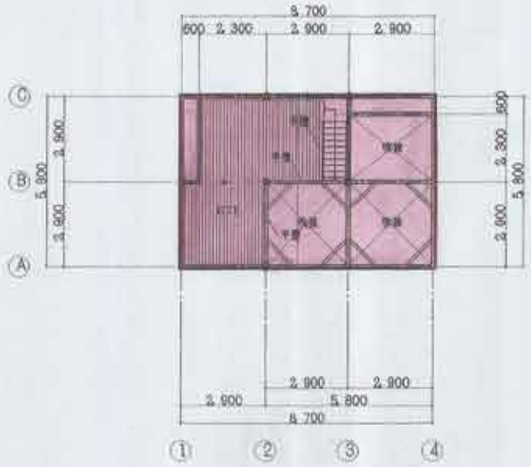
凡例	
a	着色セメント板厚6
b	ガルバリウム鋼板平板葺き厚0.4
c	鼻隠し OP
d	破風板 OP
e	防火サイディング貼り厚12
f	レンガ貼り(タイル)
g	巾木:モルタル塗り刷毛引き
h	モルタル金コテ押え
i	化粧通し柱 OP
j	防火サイディングコーナー役物
k	土台水切り ガルバリウム鋼板 厚0.4
l	半間 木製 KD
m	床下換気孔 鋳鉄製100X500(防虫網付)
n	アルミ製換気ガラリ(フード型)150ø(防虫網付)

コテージD

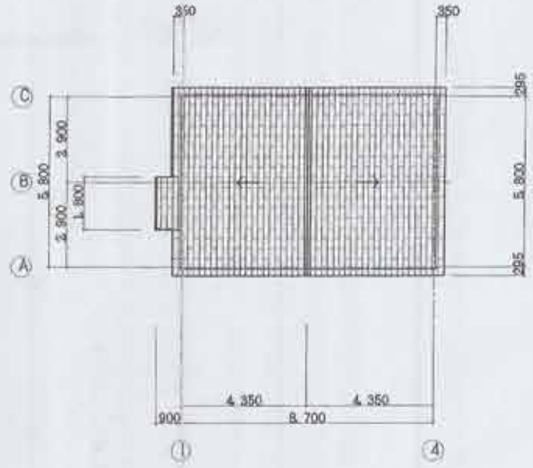
管理許可予定区域



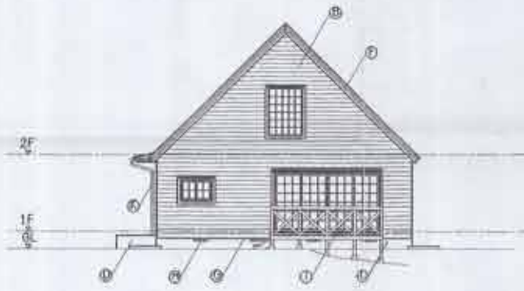
1階平面図　1/100



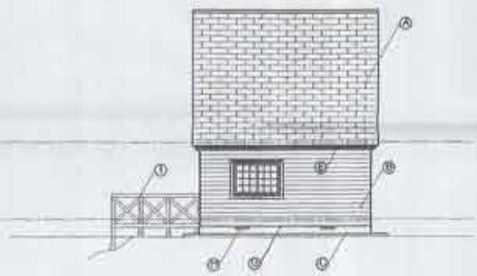
2階平面図　1/100



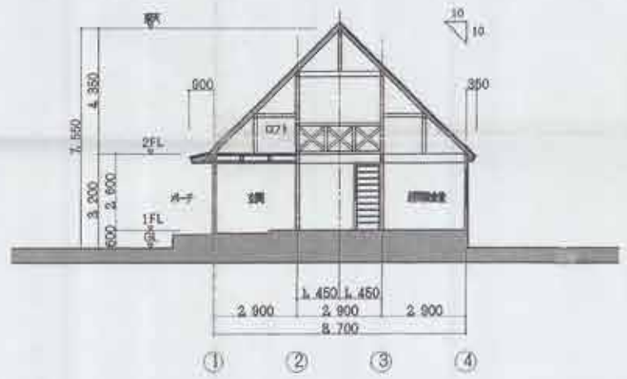
屋根伏図　1/100



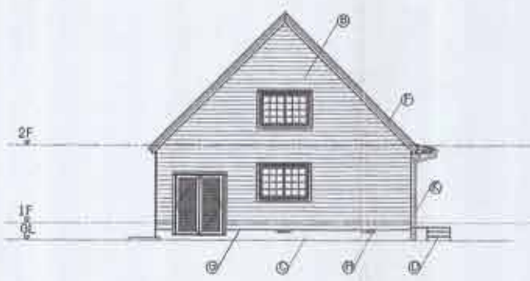
南立面図　1/100



東立面図　1/100



断面図　1/100



北立面図　1/100

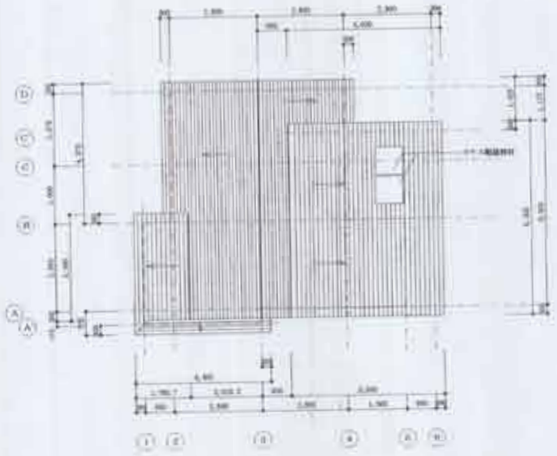


西立面図　1/100

凡　例	
Ⓐ	着色スレートt6
Ⓑ	サイディング張り t12 (横張)
Ⓒ	モルタル金ごて押え
Ⓓ	レンガ積み
Ⓔ	軒裏 OP
Ⓕ	破風 OP
Ⓖ	水切 亜鉛引鋼
Ⓗ	縁側基礎開口 500×100 (防虫網付)
Ⓘ	木製建具 KD
Ⓙ	幹縁 100×80
Ⓚ	笠木 460

コテージE

管理許可予定区域

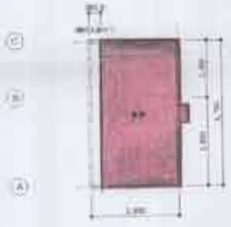


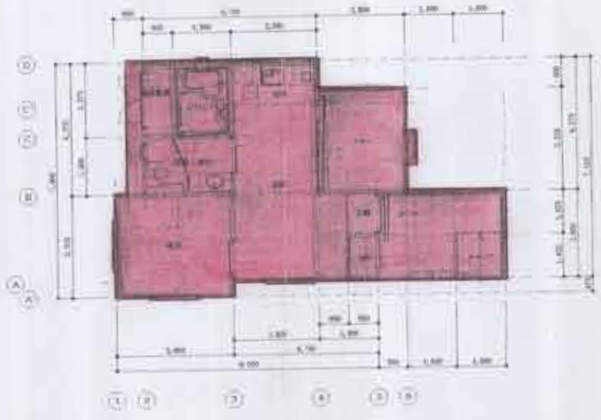


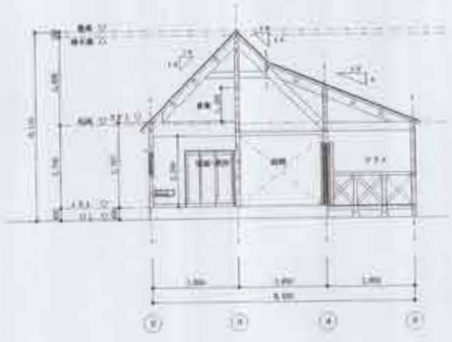








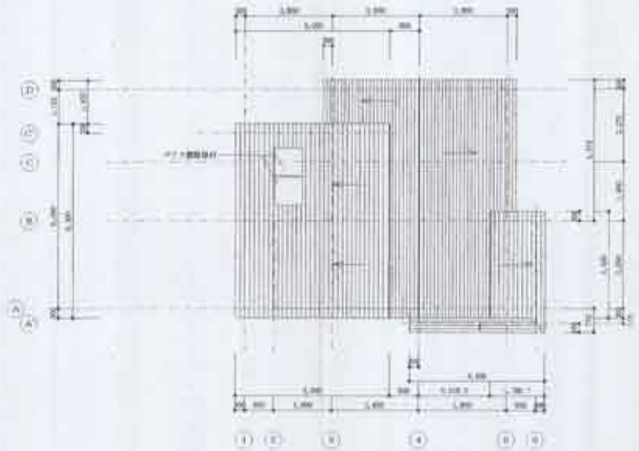




凡　例	
a	着色セメント板　厚8
b	鼻隠し　ひば
c	破風板　ひば
d	防水サイディング貼り　厚12
e	塗付け仕上塗材E
f	合木：ミルテル塗り樹脂形目地
g	ルーフィング張り
h	化粧桁　ひば
i	グルス製換気ガラリ（アーチ型）1504（防虫網付）
j	金属　ガルバリウム鋼板　厚0．4
k	手摺　木製　RD
l	床下換気孔　樹脂製180X300（防虫網付）
m	スロープ用手摺　ステンレス製
n	ガラス製造物材

コテージ身障者Ａ

管理許可予定区域



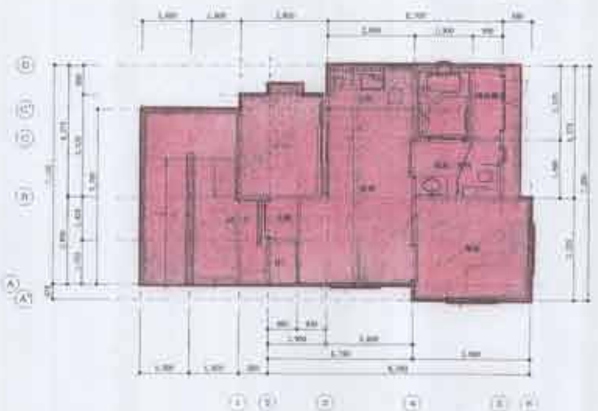










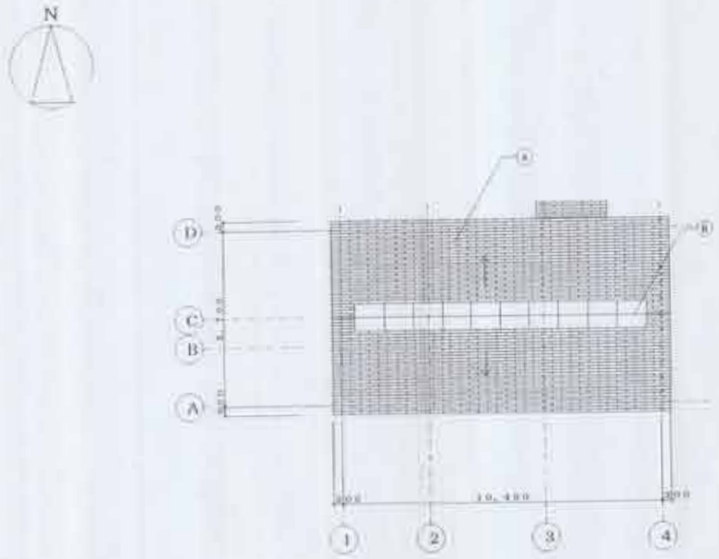


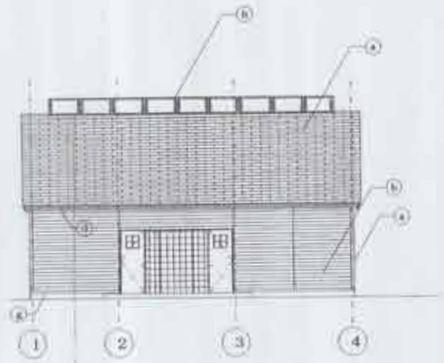


凡　例	
a	着色ヤメント瓦　厚さ
b	鉄筋L　OP
c	樹脂製　OP
d	防火サイディング貼り　厚12
e	塗材仕上塗材E
f	木材：セルテム塗り樹毛出き
g	ラミダム合ガラス
h	化粧材　OP
i	アルミ製横格ガラリ（アーチ型）1500φ（防虫網付）
j	木材　ガルバリウム鋼板　厚0.4
k	木製　木製　ALC
l	床下換気孔　樹脂製100X200（防虫網付）
m	スロープ笠木部　ステンレス製
n	ガラス製建具付

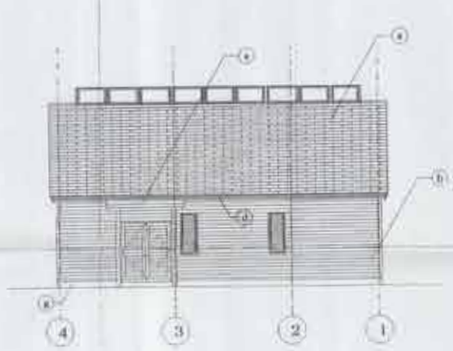
コテージ身障者Ｂ

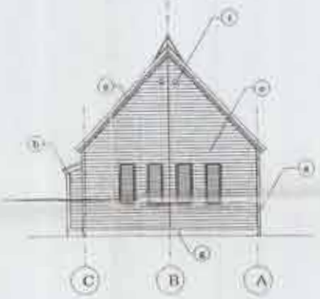
管理許可予定区域

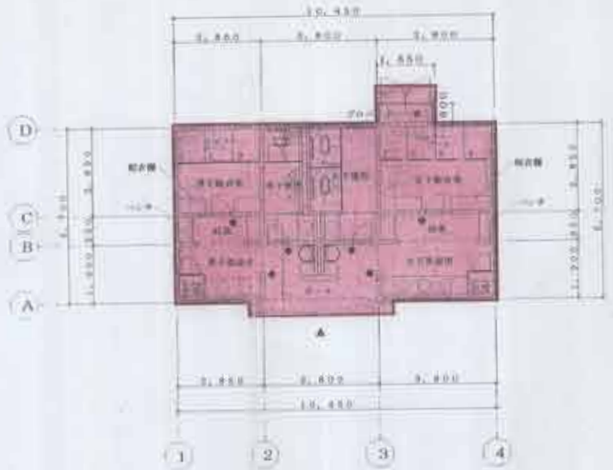


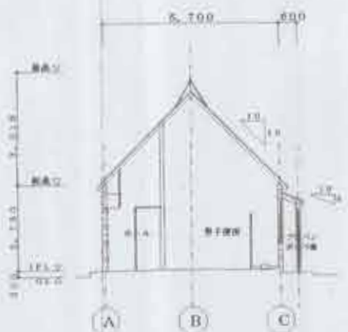








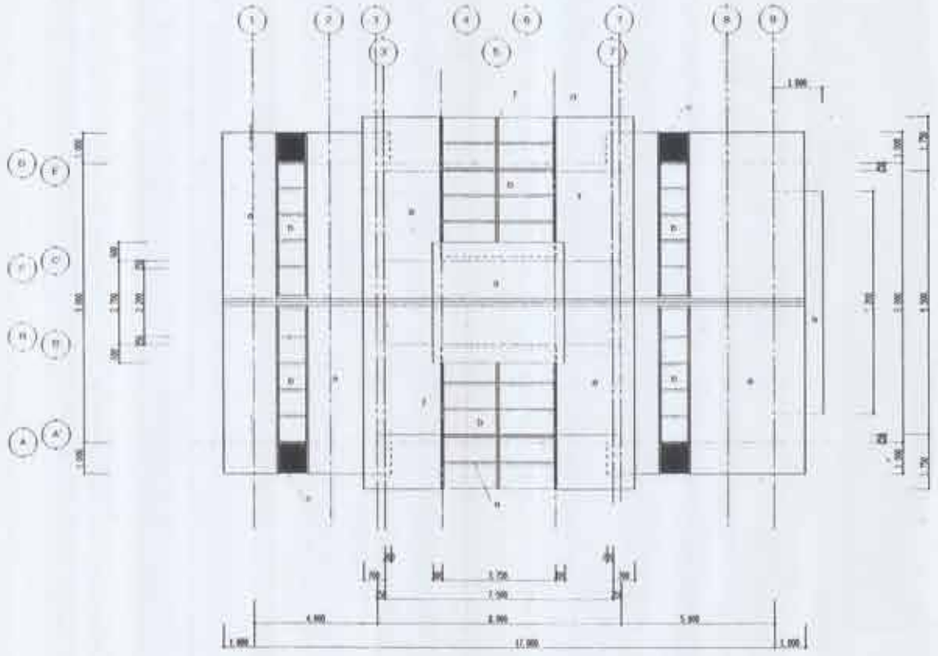




凡　例	
(a)	着色セメント板厚９
(b)	防火サイディング貼り厚１２　ＳＰ
(c)	防火サイディングコーナー役物
(d)	鼻隠し　ＯＰ
(e)	破風板　ＯＰ
(f)	土台水切り　ガルバリウム鋼板　厚０．４
(g)	出木：ホルタル塗り刷毛引き
(h)	アルミドップライト（着雪）
(i)	アルミ製複層ガラス（ワード型）１５０ｆ（防虫網付）

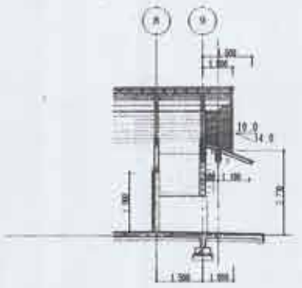
シャワー棟

管理許可予定区域

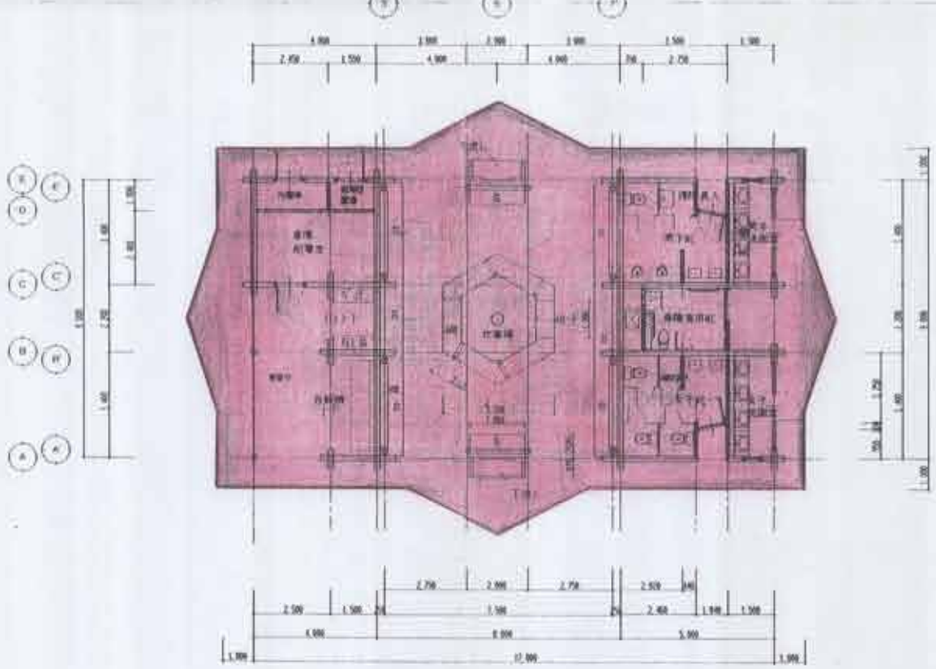


屋根伏図 S=1／100

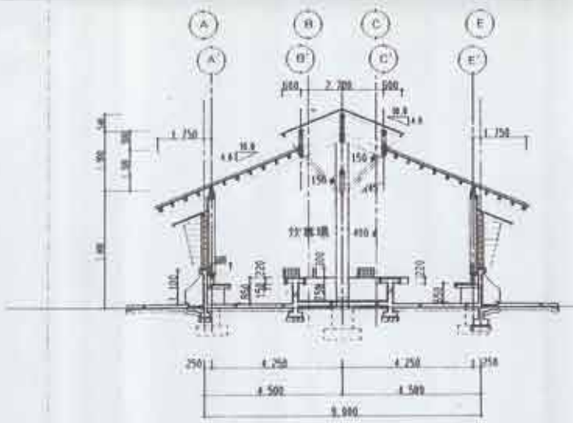
屋根仕上リスト	
a	着色石粒ルーフ葺き　勾配4．0（4°）注）特殊品）
b	網入り透明ガラス　t6．0
c	カラーアルミパネル　t=5．0
d	カラーアルミパネル　t=1．0　曲げ加工 W=75
e	押し縁SUS FB−70×3
f	1



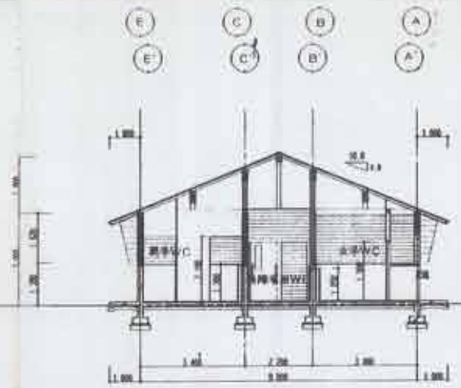
断面図(妻側端部　S=1／100



平面図 S=1／100



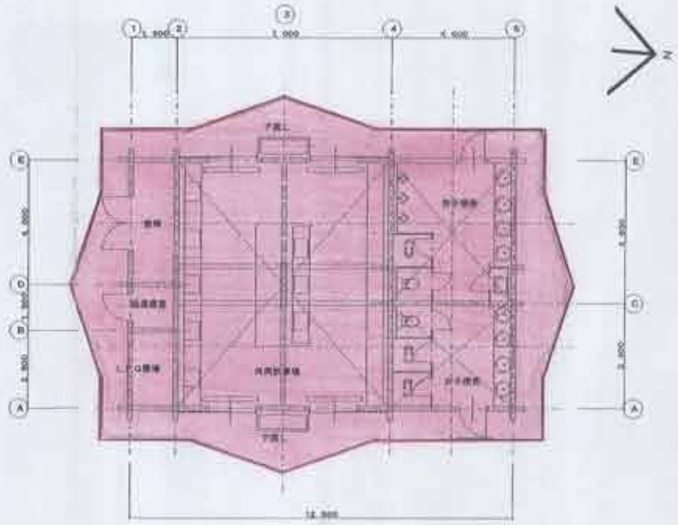
断面図(中央部　S=1／100



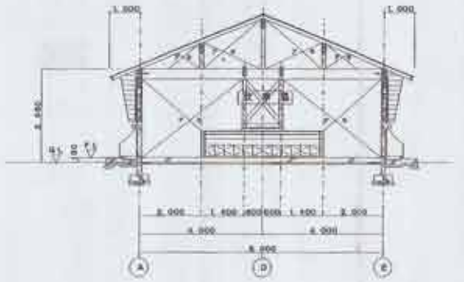
断面図(端部　S=1／100

共同利用施設A

管理許可予定区域



平面図



断面図

凡例	
a	着色スレート葺き　厚さ
b	丸型ログ材丸太組積み　150×120　屋内加工　DS
c	コンクリート打ち放し（A種）
d	断熱貼り　PIB　W=120（発泡ウレタンDS
e	玄関床タイル100角貼
f	鋳鉄板　DS
g	鼻隠し　DS
h	コンクリート打ち放し　（B種）



西立面図



南立面図



東立面図



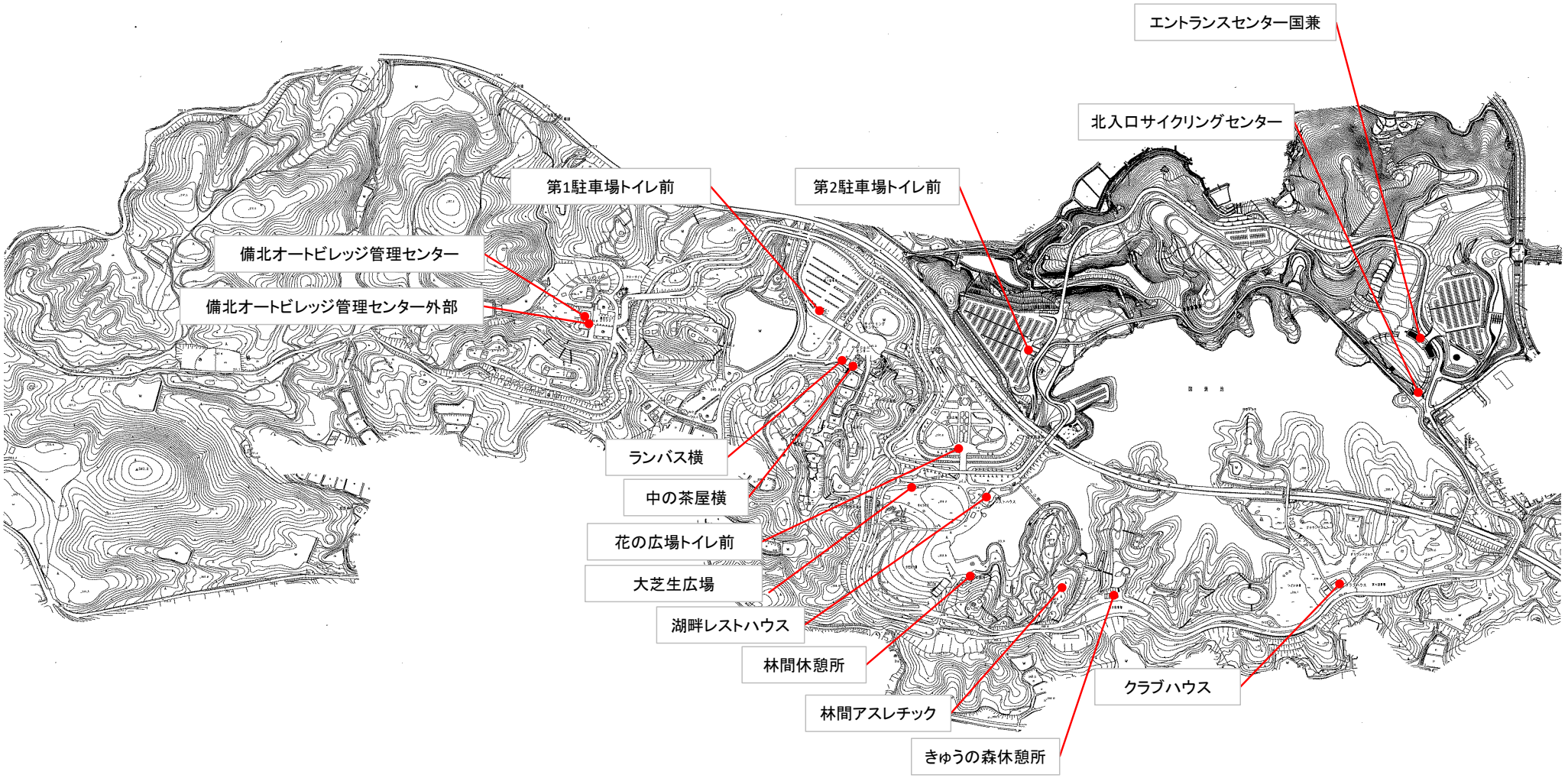
北立面図

共同利用施設Ｂ

管理許可予定区域

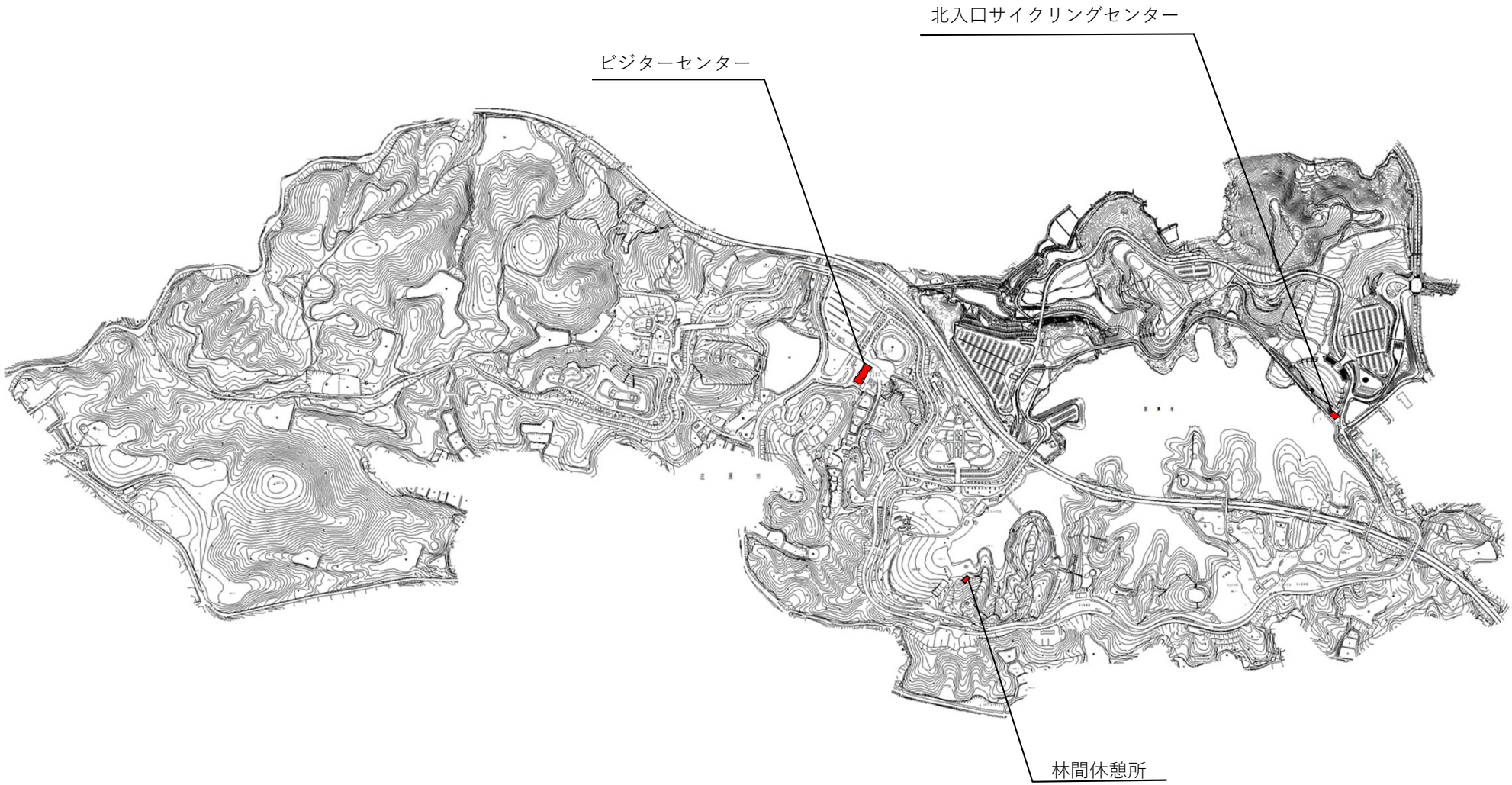
収益施設等位置図

自動販売機（参考図）



収益施設等位置図

コインロッカー(参考図)



収益施設資産一覧表

飲食施設：芝生広場休憩所レストラン「湖畔レストハウス」

区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備							
		テナント什器持ち込みによる配管等			一式	テナント		
		上記以外			一式	国		
	電気設備							
		テナント什器持ち込みによる配線等			一式	テナント		
		上記以外			一式	国		
	厨房機器							
		冷凍チルド冷蔵庫	ホシザキ	HRF-120S	1	テナント		2
		電気フライヤー	ホシザキ	FL－22TA	1	テナント		3
		台	タニコー		1	国	4	
		台	タニコー		1	テナント		5
		台			1	国	8	
		寸胴レンジ	タニコー	TAP-TGP-60	1	国	10	
		ガスウオーマー	タニコー	TGW-60	1	テナント		11
		茹麺器	タニコー	N-TU-60	1	テナント		12
		台			1	テナント		13
		一槽シンク	タニコー		1	国	14	
		かき氷器	中国コーポ	HF70OP	1	テナント		15
		二槽シンク	タニコー		1	テナント		16
		台下冷蔵庫	ホシザキ	RT18PNA	1	テナント		17
		電子レンジ	ホシザキ	HM-16B	1	テナント		18
		作業台			1	国	20	
		エレファントシェルフ			1	国	21	
		チルド冷蔵庫			1	国	22	
		上棚			1	国	23	
		台下戸棚			1	国	24	
		二槽シンク			1	国	25	
		移動台			1	国	26	
		自動計量洗米装置			1	テナント		27
		立体炊飯器			1	国	28	
		スチームコンベクションオーブン			1	国	29	
		脇台			1	国	30	
		ガステーブル			1	国	31	
		ガス自動フライヤー			1	国	32	
		脇台			1	国	33	
		パイプ棚			1	国	34	
		パイプ棚			1	国	35	
		移動台			2	国	36	
		チルド冷蔵庫			1	国	37	
		吊戸棚			2	国	38	
		台下戸棚			1	国	39	

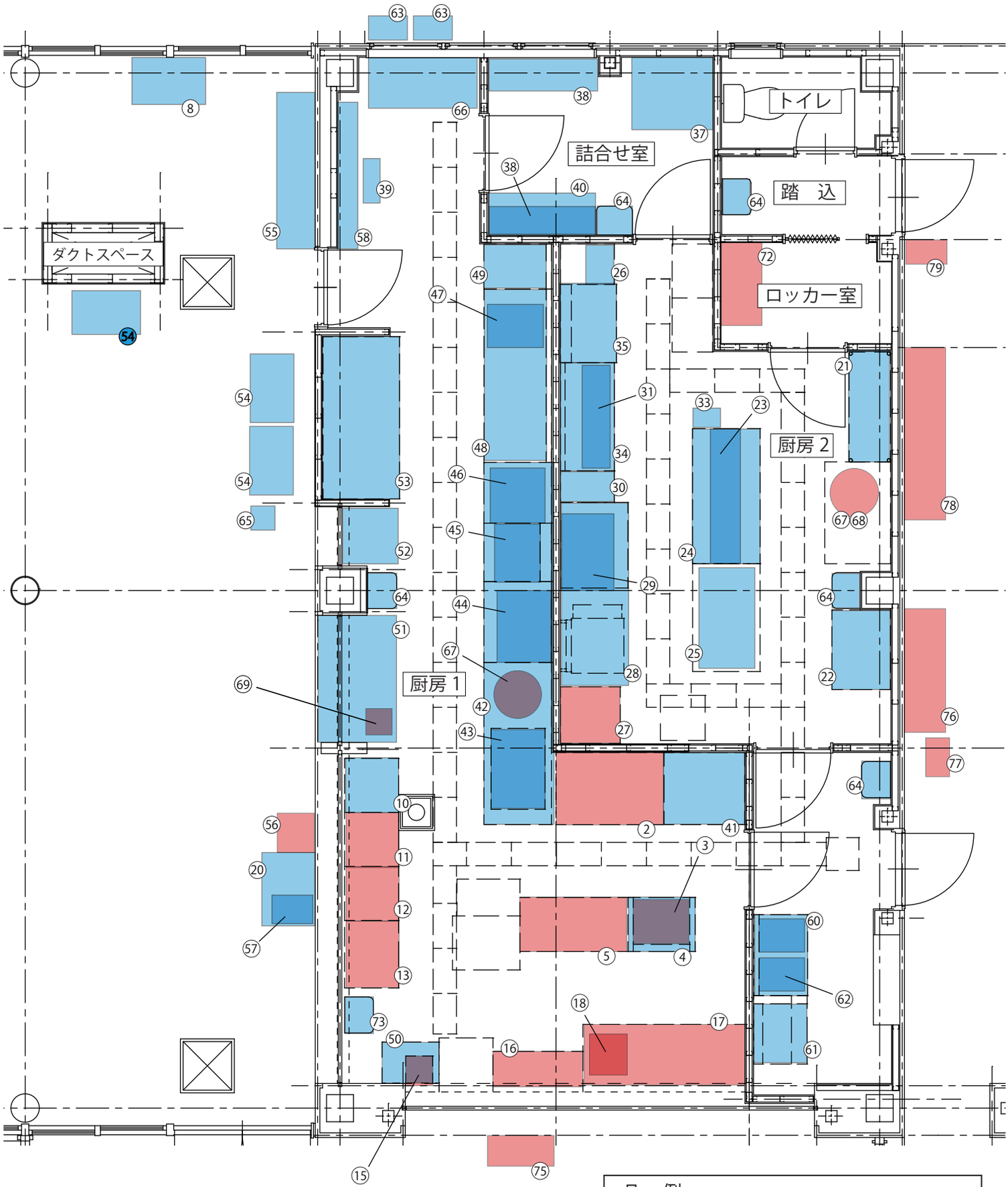
区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
		台下戸棚			1	国	40	
		冷凍庫			1	国	41	
		台下冷蔵庫			1	国	42	
		卓上冷凍スライサー			1	国	43	
		食器戸棚			1	国	44	
		クリーンテーブル			1	国	45	
		ドア型自動食器洗浄機			1	国	46	
		ラックシェルフ			1	国	47	
		ソイルドテーブル			1	国	48	
		ダストテーブル			1	国	49	
		製氷機（キューブアイス）			1	国	50	
		台下戸棚			1	国	51	
		一槽シンク			1	国	52	
		パススルー冷蔵庫			1	国	53	
		エレファントSUカート			3	国	54	
		ソリッドエレファントシェルフ			1	国	55	
		ティーサーバー			1	テナント		56
		チップアイスディスペンサー			1	国	57	
		平棚			2	国	58	
		二槽シンク			1	国	60	
		ロストルクリーナー			1	国	61	
		平棚			1	国	62	
		瞬間湯沸器			2	国	63	
		手洗器			6	国	64	
		サーバー台			1	国	65	
		冷蔵ショーケース			1	国	66	
		ジャー　2台		THS-C80	2	テナント		67
		ジャー　5台		THC-900A	5	テナント		68
		スープウオーマー		FW-T42W	1	テナント		69
		ソフトクリームサーバー			1	テナント		73
		冷凍ストッカー			1	テナント		75
		プレハブ冷蔵庫			1	テナント		76
		プレハブ冷蔵庫用室外機			1	テナント		77
		プレハブ冷凍庫			1	テナント		78
		プレハブ冷凍庫用室外機			1	テナント		79
内装								
		ロッカー				テナント		72
	テーブルセット	子供用椅子			6	テナント		
		上記以外椅子			一式	国		
		無煙ロースター			一式	国		
	券売機				1	テナント		
	その他営業機材				一式	テナント		

※　図面番号　1,6,7,9,19,59,70,71,74　欠番

図面番号14,32　テナント倉庫で保管

備北丘陵公園　財産区分図

芝生広場休憩所レストラン「湖畔レストハウス」



凡　例
テナントが設置
国が設置
※〇の番号は別紙「収益施設資産一覧表」の図面番号とする

収益施設資産一覧表

飲食施設 : 中入口食堂「中の茶屋」

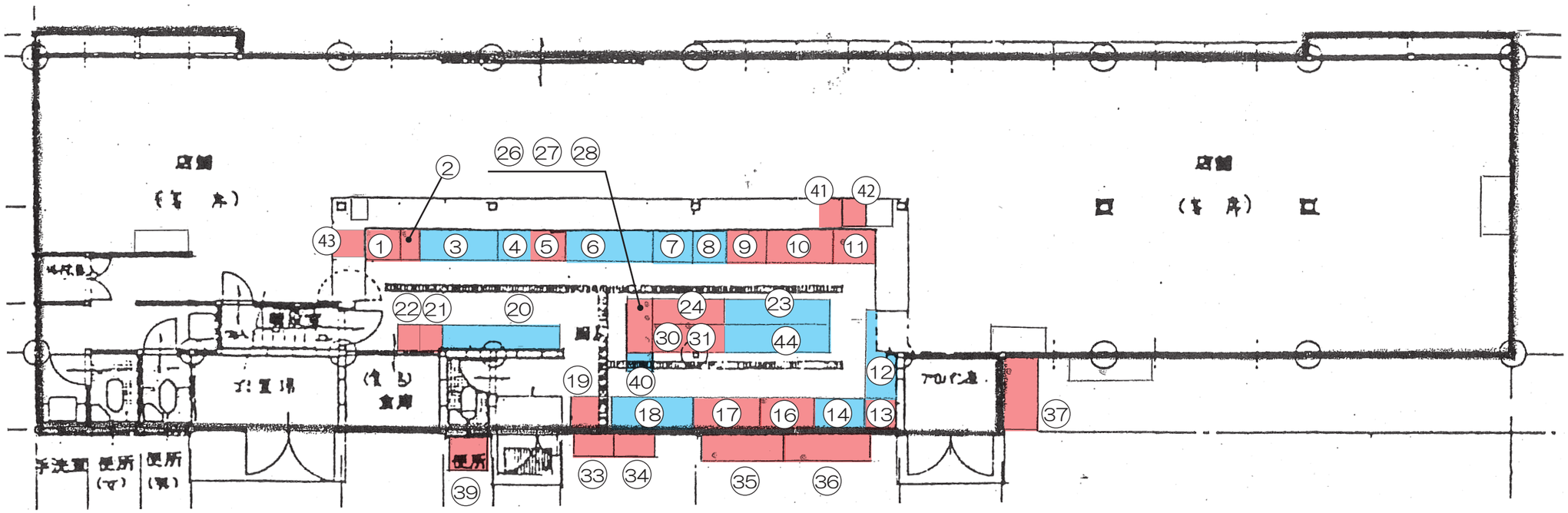
区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備							
		テナント什器持ち込みによる配管等			一式	テナント		
		上記以外			一式	国		
	電気設備							
		テナント什器持ち込みによる配線等			一式	テナント		
		上記以外			一式	国		
	厨房機器							
		ソフトクリームサーバー			1	テナント		1
		一槽シンク			1	テナント		2
		台下冷凍庫	ホシザキ	FT150SNA	1	国	3	
		二槽フライヤー	ホシザキ		1	国	4	
		一槽フライヤー	ホシザキ		1	テナント		5
		二槽シンク	マルゼン		1	国	6	
		寸胴用コンロ	マルゼン		1	国	7	
		調理台	マルゼン		1	国	8	
		ガス式ウォーマー	タニコー		2	テナント		9
		角型うどん釜	タニコー		1	テナント		10
		二槽シンク			1	テナント		11
		二槽シンク			1	国	12	
		食器洗浄機	ホシザキ		1	テナント		13
		平台			1	国	14	
		台下冷蔵庫	フクシマ	RXC-40RJ	1	テナント		16
		4口コンロ	タニコー	T1222	1	テナント		17
		4ドア冷凍庫	ホシザキ	HF-120PV3	1	国	18	
		ライスロボ	イセキ	AR-440A-LP	1	テナント		19
		6ドア冷蔵庫	ホシザキ	HR-180PV3	1	国	20	
		製氷機	ホシザキ	IM-45TL-1	1	テナント		21
		電子レンジ	ホシザキ	HM-16A	1	テナント		22
		台下冷蔵庫	ホシザキ	RT-180PNA	1	国	23	
		台下冷凍庫	ホシザキ	FT150SNA	1	テナント		24
		ジャー	象印	THA-C80	1	テナント		26
		ジャー	象印	THS-C80A	1	テナント		27
		ジャー	象印	THA-C80	1	テナント		28
		ウオーマー	タイジ	FW-T42N	1	テナント		30
		ウオーマー	タイジ	FW-T42N	1	テナント		31
		給湯器	NORITZ	GQ-3210WS	1	テナント		33
		給湯器	NORITZ	GQ-2438WS	1	テナント		34
		冷蔵庫			1	テナント		35
		冷凍ストッカー			1	テナント		36
		洗濯機			1	テナント		39
		オーブン	リンナイ	RCK-10M	1	国	40	

区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
		給茶器			1	テナント		41
		冷水器			1	テナント		42
		コーヒーサーバー			1	テナント		43
内装								
		簡易物置			1	テナント		37
	テーブルセット	テーブル			一式	国		
		椅子			一式	国		
	券売機				1	テナント		
	その他営業機材				一式	テナント		

※ 図面番号　15, 25, 29, 32,38 欠番

図面番号40　テナント倉庫で保管

備北丘陵公園　財産区分図
中入口食堂「中の茶屋」



凡　例
テナントが設置
国が設置
※〇の番号は別紙「収益施設資産一覧表」の図面番号とする

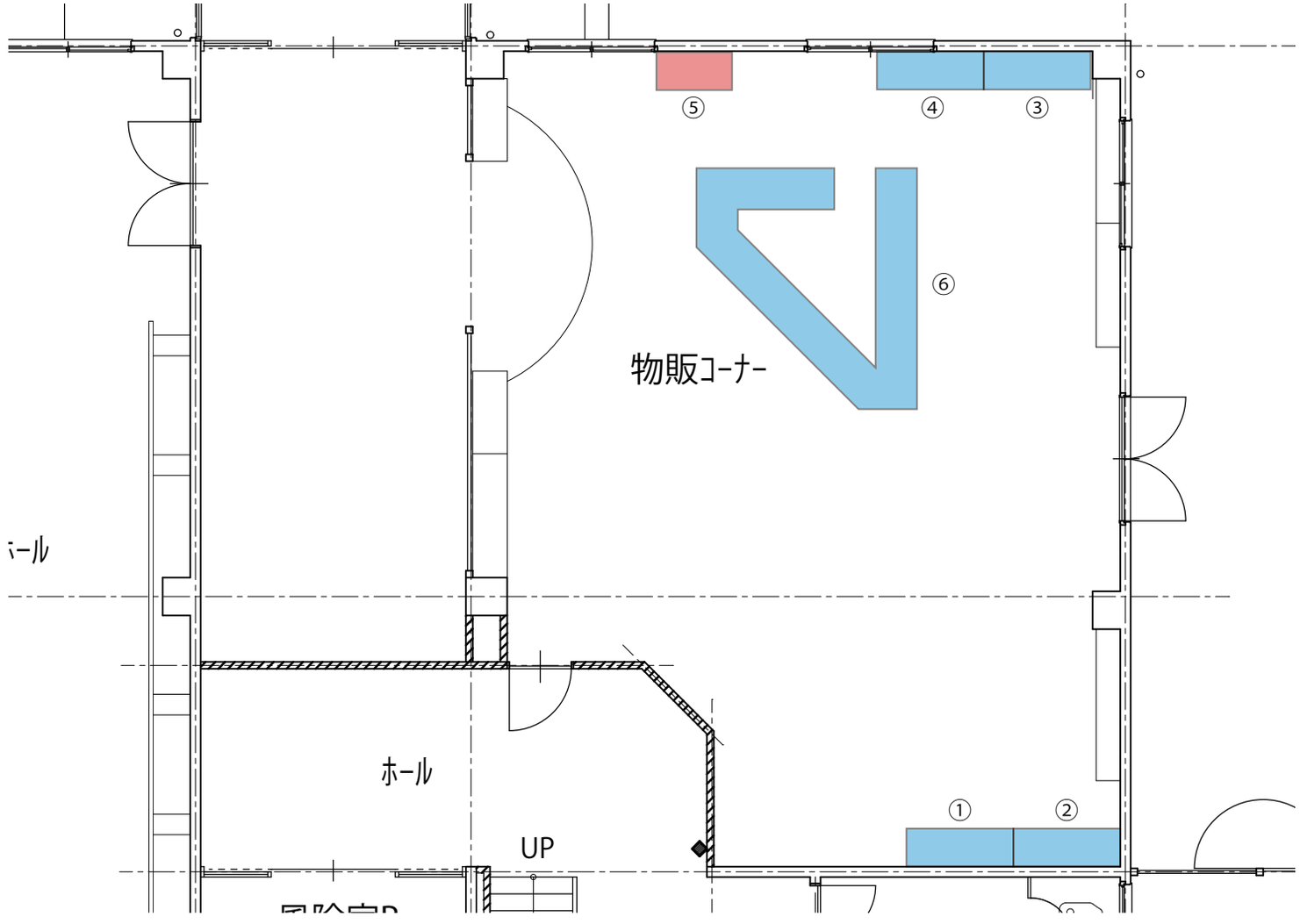
収益施設資産一覧表

飲食施設 : 中入口売店「ランバス」

区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備				一式	国		
	電気設備				一式	国		
	店舗設備				一式	国		
		冷蔵ショーケース	サンデン	RSD-LS1303Y	1	国	1	
		冷蔵ショーケース	サンデン	RSD-LS1303Y	1	国	2	
		冷蔵庫	ホシザキ	RS-120P	1	国	3	
		冷蔵庫	ホシザキ	RS-121P	1	国	4	
		冷凍ショーケース	サンヨー	GSR-D1503Y-B	1	国		5
		レジ周りカウンター			1	国	6	
		上記以外ショーケース、棚			一式	テナント		
内装								
	レジ				1	テナント		
	その他営業機材				一式	テナント		

備北丘陵公園　財産区分図

中入口売店「ランバス」



凡　例
テナントが設置
国が設置
※〇の番号は別紙「収益施設資産一覧表」の図面番号とする

収益施設資産一覧表

飲食施設 : エントランスセンター国兼レストラン「レストラン国兼」

区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備				一式	国		
	電気設備				一式	国		
	厨房機器				一式	国		
		冷凍庫	ホシザキ	HF-180X3	1	国	1	
		冷蔵庫	ホシザキ	HR-180CX	1	国	2	
		プレハブ冷蔵庫　冷蔵ユニット		HUS-11RA	1	国	3	
		一槽シンク	タニコー		1	国	5	
		調理台	タニコー	TX-WCT-150NB	1	国	6	
		作業台	タニコー	TX-WT-150NT	1	国	7	
		ソリッドエレファントシェルフ			1	国	9	
		調理台	タニコー	TX-WCT-150NB	1	国	15	
		吊戸棚	タニコー	TX-HBC-120	2	国	19	
		炊飯器	リンナイ	PR-50S1	1	国	26	
		調理台	タニコー	TX-WDT-150NB	1	国	28	
		吊戸棚	タニコー	TX-HCB-120	1	国	29	
		作業台	タニコー		1	国	30	
		サービステーブル	タニコー		1	国	32	
		製氷機	ホシザキ	CM-300AYF-SA	1	国	38	
		作業台	タニコー		1	国	40	
		ソイルドテーブル	タニコー		1	国	41	
		ラックシェルフ	タニコー		1	国	42	
		ドア型食器洗浄機	タニコー	TDWD-606SG16R	1	国	43	
		クリーンテーブル	タニコー		1	国	44	
		ソリッドエレファントシェルフ			1	国	45	
		コールドテーブル冷蔵庫	ホシザキ	RT-150SDE	1	国	50	
		一槽シンク	タニコー		2	国	51	
		トッピングコールド（パスタ用）	ホシザキ	RT-150SDE-H	1	国	52	
		スパゲッティーボイラー	タニコー	TG-SB-3	1	国	53	
		PIZZA OVEN	トロナジャヤパン	TJ-D400	1	国	56	
		トッピングコールド（ピザ用）	ホシザキ	RT-120SDE-H	1	国	57	
		一槽シンク	タニコー		1	国	58	
		コンベクションオーブン	ニチワ	SCO-6	1	国	60	
		ガステーブル	タニコー		1	国	61	
		台	タニコー		1	国	62	
		冷蔵庫	ホシザキ	HR-75CX	1	国	63	
		ホットフードウォーマーユニットⅡ	タニコー		1	国	66	
		ホットフードユニット	タニコー		1	国	67	
		温蔵庫	日軽パネルシステム	NH-035G	4	国	68	
		ヒートランプウォーマー		TO-177FS	4	国	69	
		ホットフードウォーマーユニットⅠ	タニコー		1	国	70	
		ガステーブル	タニコー	T1840	1	国	71	
		置台	タニコー		1	国	72	

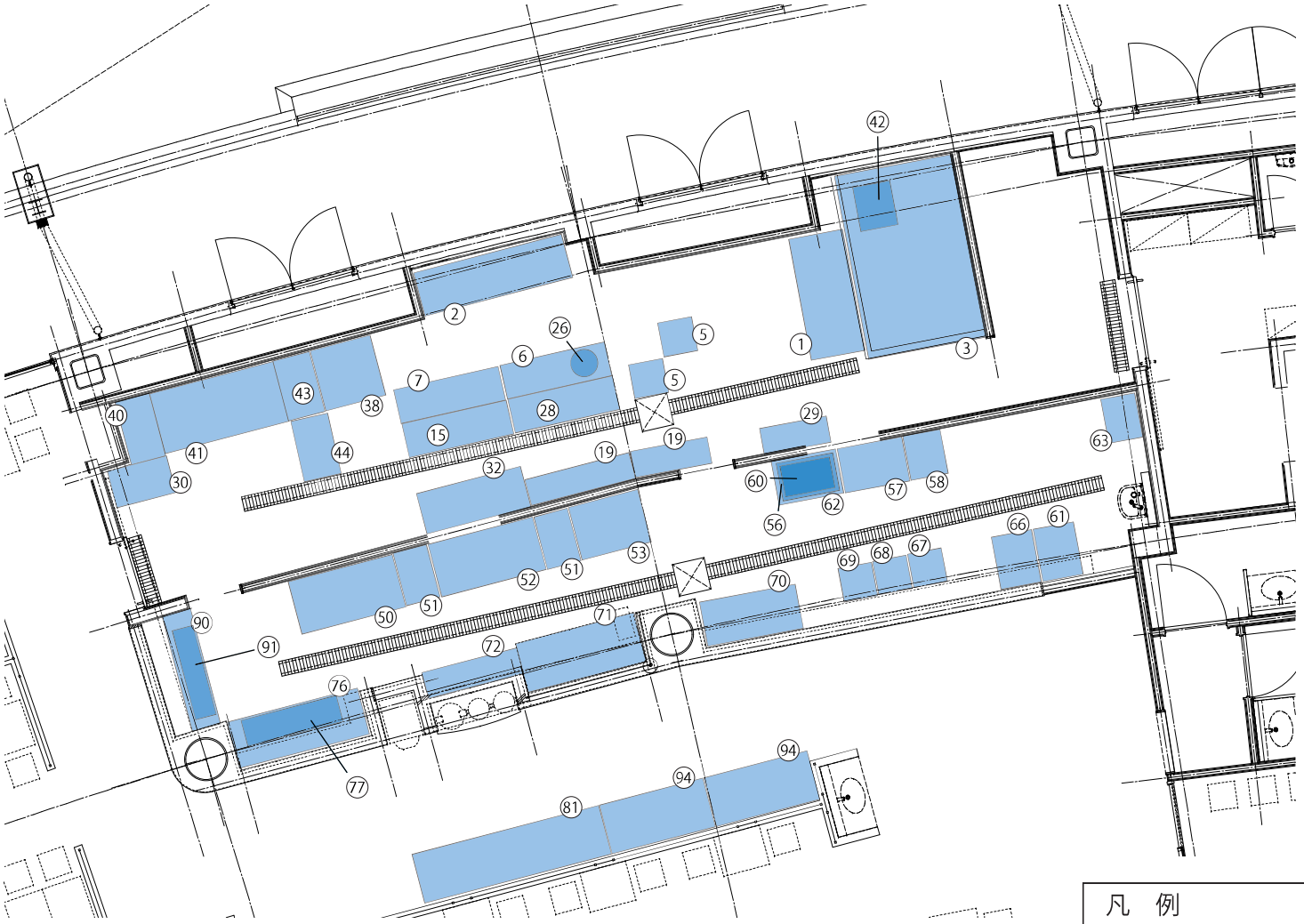
区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
		コールドディスプレイユニット（サラダ・デザート）	タニコー		1	国	76	
		低コールドテーブル	ホシザキ	RL-120SNC-T	1	国	77	
		サービスステーション	タニコー		1	国	81	
		コールドディスプレイユニット（サラダ・デザート）	タニコー		1	国	90	
		低コールドテーブル	ホシザキ	RL-120SNC-T	1	国	91	
		机			8	国	94	
		エレファントシェルフ			1	国	95	
内装	テーブルセット	子供用椅子			3	テナント		
		上記以外のテーブル、椅子			一式	国		
	その他営業機材				一式	テナント		

※ 図面番号　4, 8, 12～14, 17, 18, 20～25, 31,33～37, 39,46～49, 54,55, 64,65, 73～75, 78～80, 82～85, 87～89, 92, 93, 94 欠番

図面番号　9,45,95地下倉庫で保管
図面番号　10,11,16,27,59,86　軽食きゅうくんへ移設

備北丘陵公園　財産区分図

エントランスセンター国兼レストラン「レストラン国兼」（２Ｆレストラン）



凡　例
テナントが設置
国が設置
※〇の番号は別紙「収益施設資産一覧表」の図面番号とする

収益施設資産一覧表

飲食施設 : エントランスセンター国兼軽食コーナー「軽食きゅうくん」

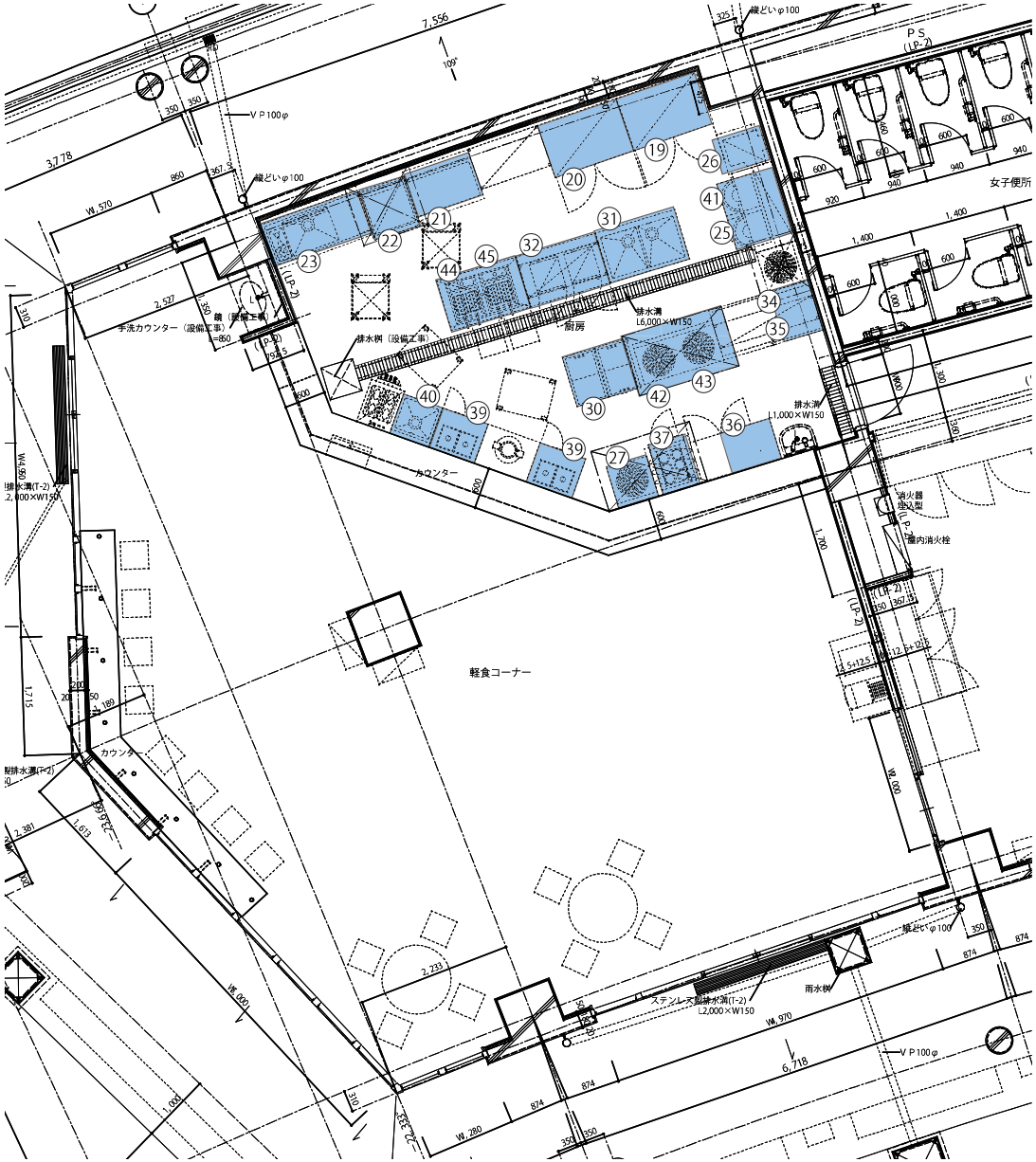
区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備				一式	国		
	電気設備				一式	国		
	厨房機器							
		エレファントシェルフ			1	国	9	
		冷凍庫	ホシザキ	HF-120X3	1	国	19	
		冷蔵庫	ホシザキ	HR-120CX	1	国	20	
		クリーンテーブル	タニコー		1	国	21	
		ドア型食器洗浄機	タニコー	TDWD-606SG16R	1	国	22	
		ソイルドテーブル	タニコー		1	国	23	
		炊飯台	タニコー	TX-R-120T	1	国	24	
		炊飯器	リンナイ	RR-50S1	1	国	25	
		平棚	タニコー	TX-H-120S	1	国	26	
		電気スープレンジ	タニコー	TEP-S-60	1	国	27	
		調理台	タニコー	TX-WCT-150AW	1	国	28	
		スープレンジ	タニコー	TAP-TGP-120FSG	1	国	29	
		コールドテーブル冷凍庫	ホシザキ	FT-120SPE	1	国	30	
		二槽シンク	タニコー	TX-2S-120ANB	1	国	31	
		コールドテーブル冷蔵庫	ホシザキ	RT-120SDE	1	国	32	
		ドロワー冷蔵庫	ホシザキ	RTL-120DDC	1	国	34	
		卓上電気フライヤー	タニコー	TCFL-4560E	1	国	35	
		コールドテーブル冷蔵庫	ホシザキ	RT-120SNE	1	国	36	
		電気ゆで麺器	タニコー	TEU-50A-0	1	国	37	
		電気ウォーマーテーブル	タニコー		1	国	39	
		一槽シンク	タニコー		1	国	40	
		炊飯台	タニコー		1	国	41	
		スープレンジ	タニコー	TAP-TGP-60FSG	1	国	42	
		ガステーブル	タニコー		1	国	43	
		スチコン専用架台	タニコー	TSCO-BB10N	1	国	44	
		スチームコンベクションオーブン	タニコー	TSCO-10EBN	1	国	45	
内装	テーブルセット	テーブル			一式	国		
		椅子			一式	国		
	券売機				1	テナント		
	その他営業機材				一式	テナント		

※ 図面番号 1～8,10～18,33,38 欠番

図面番号 9,24,28,29地下倉庫で保管
図面番号 41～45 レストラン国兼から移設

備北丘陵公園　財産区分図

エントランスセンター国兼軽食コーナー「軽食きゅうくん」（１Ｆ軽食）



凡　例
テナントが設置
国が設置
※〇の番号は別紙「収益施設資産一覧表」の図面番号とする

収益施設資産一覧表

物販施設 : エントランスセンター国兼売店「売店はなちゃん」

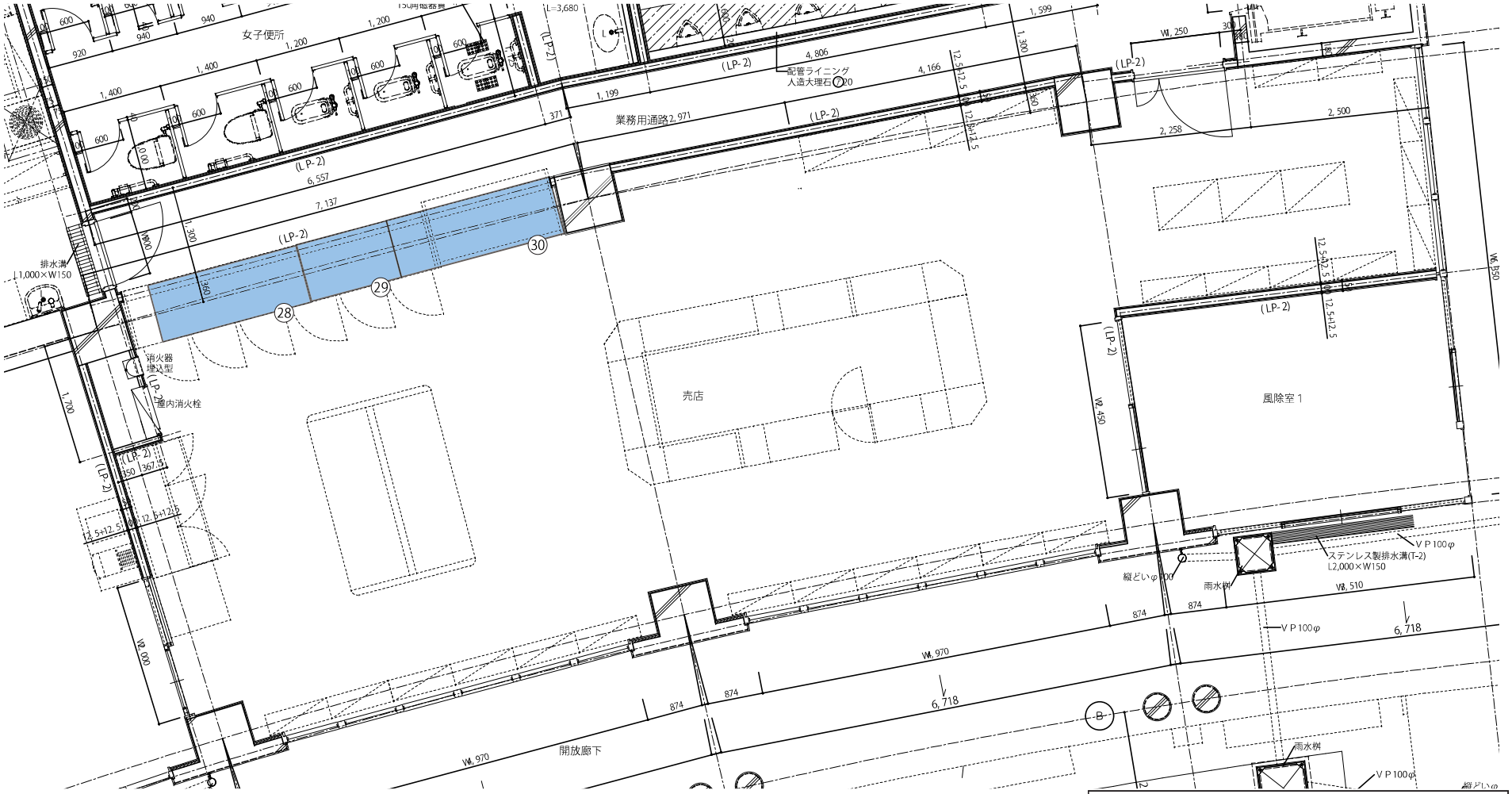
区分		施設			数量	財産区分	図面番号	
		機器名	メーカー	形式			国	テナント
躯体	建物区体				一式	国		
設備	空調設備				一式	国		
	給排水設備				一式	国		
	電気設備				一式	国		
	店舗設備							
		デュアル型冷凍ショーケース	三菱電機	EA-JC665BSK	1	国	27	
		リーチイン冷蔵ショーケース	三菱電機	GV-HB7UA	1	国	28	
		リーチイン冷蔵ショーケース	ホシザキ	RS-120X-4G	1	国	29	
		青果用オープンショーケース	三菱電機	RA-PS855LM	1	国	30	
		催事用冷蔵ショーケース	三洋電機	SAR-E900FEN	1	国	31	
内装								
	その他営業機材				一式	テナント		

図面番号　1～26欠番

図面番号27　地階エレベーターホール前で管理
図面番号31　地下1階倉庫で保管

備北丘陵公園　財産区分図

エントランスセンター国兼売店「売店はなちゃん」（１Ｆ売店）



令和4年4月1日改正

食中毒と懸念される事案が発生した場合の対応マニュアル（案）

国営備北丘陵公園内の飲食及び物販施設において、食中毒と懸念される事案が発生した場合、以下の流れを基本とし、国、備北公園管理センター及び運営者（(株)グリーンウインズさとやま）は緊密に連携し迅速な対応を図るものとする。

食中毒と懸念される事案の相談（発症者より）



（ステップ1）

保全措置

・食中毒と懸念される相談の一報があった場合、食材がその時点で食材が残っていれば速やかに保全措置を行う。



（ステップ2）

各関係機関への連絡

・各関係機関に速やかに第1報を報告。（資料1：連絡系統図）

・運営者から備北公園管理センターに報告を行い、備北公園管理センターは国に報告を行う。（以降この体制により逐次報告）



（ステップ3）

症状の詳細把握（運営者が発症者に確認）

・運営者より発症者に連絡（又は面会）を行い発症状況等の把握を行う。



（ステップ4）

状況を管轄の保健所に報告

・食中毒と懸念される事案の状況について、管轄の保健所に運営者が報告する。以降、何らかの指示があれば保健所の指示に従うことを優先とする。



（ステップ5）

初期対応の判断（国、管理センター及び運営者による協議）

・初期において保健所の指示が無い場合、その時点の状況を持って自主的対応を行うかどうかの判断を行う。

・自主的対応としては、以下を想定するが状況に応じて判断する。

〇食中毒と懸念される事案が発生した店舗の一時閉鎖

〇食中毒と懸念される食材の販売自粛

〇食中毒と懸念される食材を調理した従事者の隔離

初期対応の判断は、発症人数、園内状況等を踏まえ国、管理センター及び運営者とで協議し判断する。

（ステップ6）

初期対応の実施

・販売自粛、一時閉店等の初期対応を行う場合は、以下の内容を示した掲示文を店舗、券売機、公園入口等に掲示するものとする。（資料2：掲示文ひな形）

① 状況説明（食中毒と懸念される事案の発生内容）

② 自粛内容

③ 再開時期

（ステップ7）

従事者の検査

・食中毒と懸念される事案が発生した店舗の従事者全員の検便検査を実施する。

（保健所からの指示があれば必須であるが、衛生管理の徹底に努めるためにも従事者全員の検便検査を原則実施）

（ステップ8）

滅菌消毒の実施

・アルコール、次亜塩素酸ソーダ等で店舗を滅菌消毒

（検便検査で何らかの菌が検出された場合、各菌に対応した滅菌方法を行う）

（ステップ9）

保健所より販売自粛の要請

・保健所から、食中毒としての疑念が高まり販売自粛の要請があった場合は、速やかに販売自粛を行うとともに、公園内にその旨の掲示を行う。

（ステップ10）

想定問答の作成

・保健所から営業禁止等の処分となった場合を踏まえ、想定問答の作成を行う。

（ステップ11）

保健所より営業禁止等の処分

・保健所より、営業禁止等の処分が決定した場合、速やかに営業禁止の措置を実施するとともに、公園内にその旨の掲示を行う。



（ステップ12）

記者発表（投げ込み）

・保健所の営業禁止等の記者発表後、速やかに記者発表を行う。

・記者発表は投げ込みを基本（規模により適宜判断）とし、国による記者発表、原因者である運営者の記者発表を実施。

（投げ込みは広島合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、三次記者クラブへの同時投げ込み）

・記者発表と合わせて、公園HPに営業禁止措置の旨をアップする。

（資料3：記者発表資料ひな形）



（ステップ13）

衛生管理の改善指示

・食中毒事故の対策及び衛生管理の改善について、国から管理センターを経由して運営者に対し指示を行う。

（資料4：指示事項ひな形）



（ステップ14）

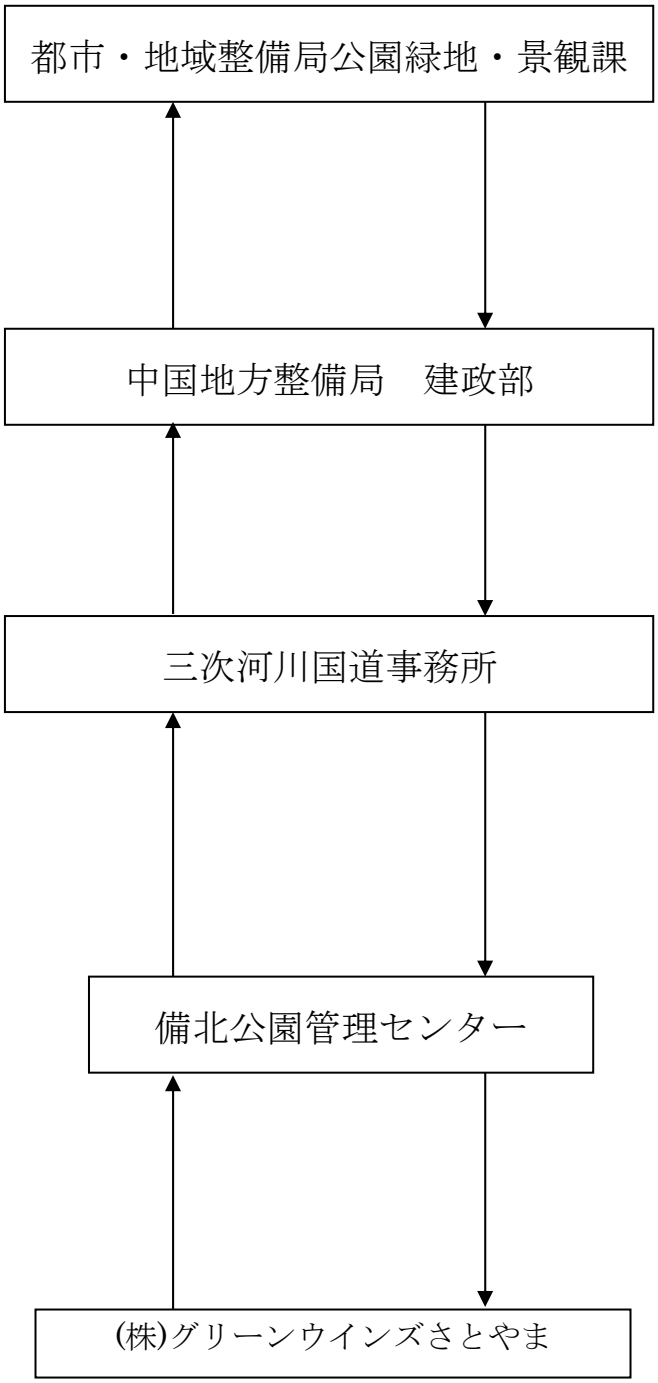
営業再開

・保健所の指導による衛生管理の改善措置を行い、営業再開についての確認がなされた後、店舗の営業を再開する。

注）（ステップ4）保健所への報告後、短期間の間に営業自粛の要請があった場合は（ステップ9）に移行するものとし、従事者の検査や店舗の消毒等について保健所の指示に従うものとする。

（資料１）

食中毒と懸念される事案が発生した場合の連絡系統図



（資料２）

掲示文ひな形

〇〇月〇日（〇）、公園内のレストラン「△△△」で□□□□□を食べたお客様から、腹痛等の症状（〇グループ・〇名）があったとのご連絡がありました。

現在、「△△△」での食事が原因かどうかも含めて調査中ですが、念のため、原因が特定できるまでの間、〇名の方が食べられた□□□□□の販売を自粛させていただきます。

お客様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

（資料3）
令和〇〇年〇〇月〇〇日
（資料提供）
広島合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ
三次記者クラブ

お知らせ

国営備北丘陵公園内飲食施設での食中毒事故について

このたび、国営備北丘陵公園内で、◎◎が営業する飲食施設「△△」において、〇月〇日に□□を食べられた方で〇人が××などの症状を訴えられ、うち〇名の方が医療機関で治療を受けられました。この原因は▲▲よる食中毒と聞いており、食中毒に遭われたみなさまには心からお見舞い申し上げます。

◎◎が営業する飲食施設「△△」は、広島県備北地域保健所より、本日（〇〇月〇〇日）営業禁止処分を受けました。広島県北部保健所の指導のもと、衛生管理の改善を図り保健所の確認が得られるまで、飲食施設「△△」は休業致します。
この間、公園を利用される皆様にご不便をおかけしますことに対しお詫び申し上げます。

このような事故が、国営備北丘陵公園内で起こってしまったことは誠に遺憾でございます。
今後、二度とこのような事故が起きないよう、国土交通省中国地方整備局及び施設の管理許可を受けている●●により以下の対策を講じていきます。

☆公園管理者である中国地方整備局としては、●●に管理許可を出している立場から、この事態を重く受け止めているところであり、●●に対しては再発防止策を含めた安全衛生管理の徹底を指示する。

☆●●は、国土交通省中国地方整備局からの指示に基づき、営業者である◎◎とともに、再発防止策の策定等安全衛生管理の徹底に取り組んでいく。

今後、再発防止に向けた取り組みについては、国としてもしっかり確認し、公園の安全管理に万全を期して参ります。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

問い合わせ先

国土交通省　中国地方整備局　三次河川国道事務所
事務所長　◇◇　◇◇
ＴＥＬ　××－××－××
（担当）公園課長　◆◆　◆◆

（資料４）

国中整○○○○○○○○号
令和○○年○○月○○日

R5-9 国営備北丘陵公園運営維持管理業務
○○共同体　様

国土交通省　中国地方整備局
三次河川国道事務所長

国営備北丘陵公園の公園施設（飲食・物販施設）の管理運営について

国営備北丘陵公園の公園施設（飲食・物販施設）の管理について（許可）（令和○年○月○日付国中整都住第○号）５（１）３）⑤に基づき、下記のとおり指示する。

記

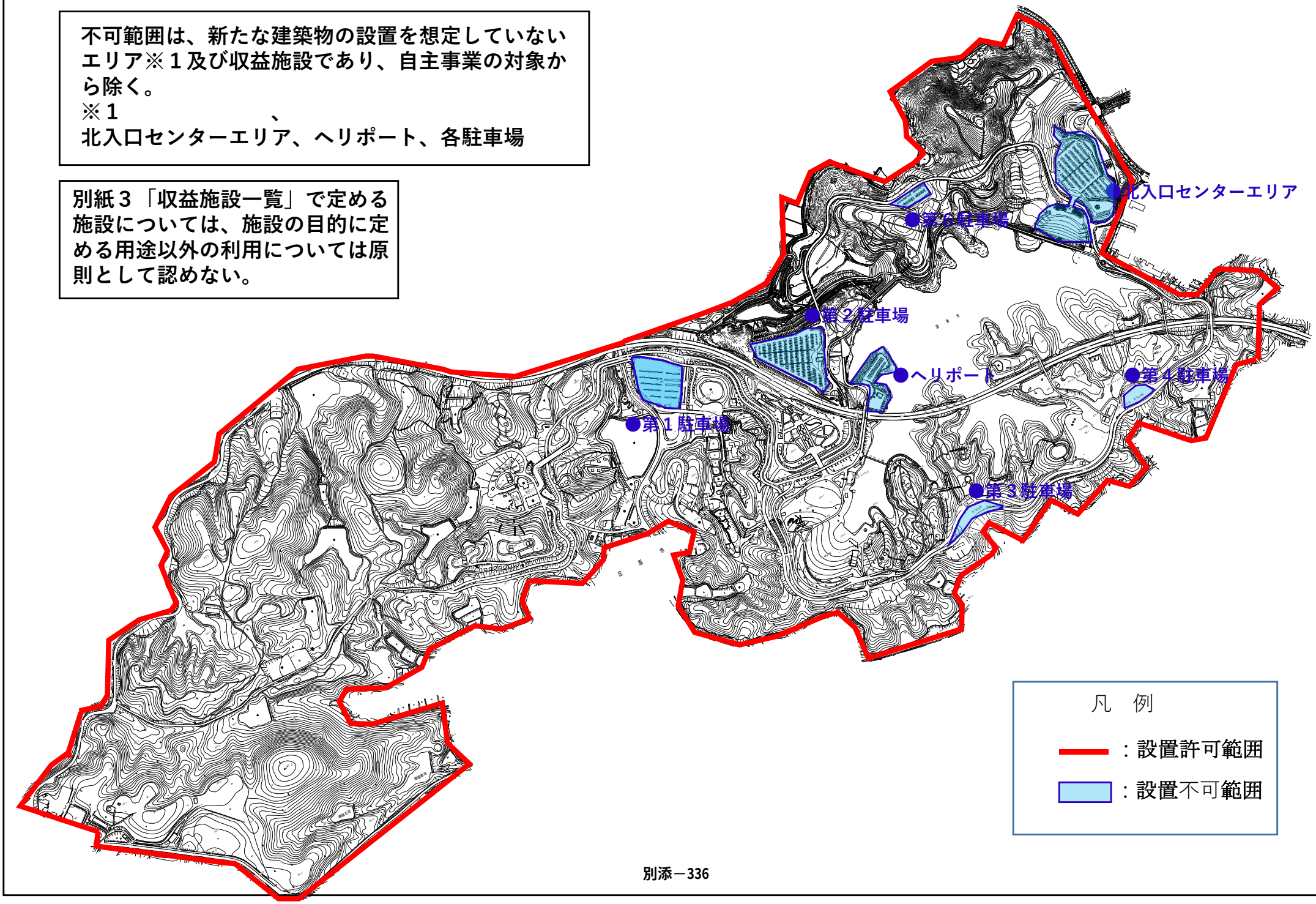
１．食中毒と懸念される事故の状況把握に努め、随時報告すること。

２．食中毒と懸念される事故の原因究明に努め報告すること。

以上

不可範囲は、新たな建築物の設置を想定していないエリア※１及び収益施設であり、自主事業の対象から除く。
※１　　、
北入口センターエリア、ヘリポート、各駐車場

別紙３「収益施設一覧」で定める施設については、施設の目的に定める用途以外の利用については原則として認めない。



自主事業対象施設一覧（既存施設改修可能分）

■指定する既存施設の改修可能施設は下表のとおりとする。

公園施設の名称		許可面積（㎡）	備　考
飲食施設	中入口食堂「中の茶屋」	227.4	

備北オートビレッジ（キャンプ場）

区分	名　称	施設内容	全体許可面積（㎡）	内建物面積（㎡）（建築面積）	内敷地面積（㎡）	備　考
キャンプ場	管理センター	1棟	314.5	314.5	－	部分許可
	駐車場	2箇所	1,051.0	－	1,051.0	
			782.0			
	管理棟・駐車場小計		2,147.5	314.5	1,051.0	
	一般カーサイト(上側)	一般カーサイト　13区画	7,142.0	－	6,976.7	
		共同利用施設(A)　1棟		165.3		
		細園路含む		－		
	一般カーサイト(下側)	一般カーサイト　25区画	11,584.0	－	11,253.4	
		共同利用施設(A)　2棟		330.6		
	一般カーサイト小計		18,726.0	496.0	18,230.0	
	キャンピングカーサイト	キャンピングカーサイト13区画	7,242.0	－	7,076.7	
		共同利用施設(A)　1棟		165.3		
	フリーサイト	フリーサイト　21区画程度	3,802.0	－	3,702.0	
		共同利用施設(B)　1棟		100.0		
		階段含む		－		
	キャンピングカーサイト・フリーサイト小計		11,044.0	265.3	10,778.7	
	コテージサイト（カーサイト側）	コテージ(D)　7棟	2,004.0	293.3	1,650.0	
		シャワー棟　1棟		60.7		
	コテージサイト（カーサイト側）	コテージ(A)　2棟	1,635.0	108.3	1,433.3	
		コテージ(B)　1棟		42.9		
		コテージ(E)　1棟		50.5		
	コテージサイト（カーサイト側）	コテージ身障者(A)1棟	328.0	61.4	266.6	
	コテージサイト（熊野池側）	コテージ(D)　1棟	904.0	41.9	800.7	
		コテージ身障者(B)1棟		61.4		
	コテージサイト（熊野池側）	コテージ(C)　1棟	398.0	41.9	356.1	
	コテージサイト（熊野池側）	コテージ(C)　2棟	717.0	83.8	633.2	
	コテージサイト（熊野池側）	コテージ(C)　2棟	1,160.0	83.8	1,076.2	
	コテージサイト小計		7,146.0	929.8	6,216.2	

	キャンプ場利用者用園路		6,323.0	－	6,323.0	繁忙期のフリーサイト利用者用駐車場を含む
	キャンプ場利用者用園路		1,299.0	－	1,299.0	
	園路小計		7,622.0	－	7,622.0	
	附帯施設	ゲート 2基	4.0	－	4.0	
		キャンプファイヤーサークル1基	3.0	－	3.0	
	附帯施設小計		7.0	－	7.0	
合　　計			46,692.5	2,005.6	43,904.9	

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（企画立案及びマネジメント）

項　目		対象内容			提出種別（提出頻度）		提出項目	提出内容
企画立案及びマネジメント								
行催事の開催・運営	行催事実施計画に示された内容が実施されているか	①春まつり ②夏まつり ③秋まつり ④ウインターイルミネーション ⑤その他			□	書面 （月１回、都度）		
					□	現地 （都度）		
公園ボランティア活動の支援・調整	ボランティアとの連携及び支援・活動の調整が行なわれているか	①ひばの里友の会遊びの学校運営ボランティア ②キャンプリーダー ③グリーンレンジャー ④森の楽校 ⑤しょうばら花会議			□	書面 （年１回）年度末		
広報	適切な広報がなされているか	①ポスター、チラシ等			□	書面 （都度）		
		②情報提供（ダイレクトメール、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞等）	各種媒体や記者クラブへの情報提供		□	書面 （月１回）		
			報道各社（三次記者クラブ）を対象にした事前説明会を、国事務所と合同で開催		□	書面 （都度）		
		③その他	ホームページアクセス解析		□	書面 （月１回）		
			テレビ、ラジオ、新聞、書籍、雑誌、情報誌、ウエブ等への公園の記事掲載		□	書面 （月１回）		
本業務全体のマネジメント	国事務所が実施又は要請する事業への参加・協力・実施を積極的かつ主体的に行っているか	例：緊急安全点検、防災訓練、安全パトロール、消防訓練、要人案内、公園に関する会議、監査・検査、視察、式典等			□	書面 （都度）		
	毎日、公園利用者数を計測し、調査職員等に報告しているか	公園利用者数			□	メール （毎日）		
					□	書面 （月１回）		

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（企画立案及びマネジメント）

項　目		対象内容		提出種別（提出頻度）	提出項目	提出内容
企画立案及びマネジメント						
入園料の徴収	入園料の徴収及び納付が正しく行われているか	入園料徴収	□	書面 （月２回、毎月15日及月末日）		
		入園料納付	□	書面 （月１回）		
利用サービス等	安全快適な利用のため適切なサービスの提供がなされているか	①公園利用者等への利用指導・案内 ②団体利用調整 ③拾得物・残置物処理 ④シルバーカー	□	書面 （月１回）		
園内巡視	安全利用の確保、利用サービス及び施設の点検確認を行うための巡視がおこなわれているか	①通常巡視 ②繁忙日巡視 ③休園日巡視 ④異常時巡視 ⑤囲障巡視 ⑥水遊び施設巡視 ⑦管理事務所内警備	□	書面 （月１回）		
繁忙日対応	繁忙日や胡淵利用者数を予測し、繁忙日対応のための事前準備を行っているか	①春まつり ②夏まつり ③秋まつり ④ウインターイルミネーション ⑤その他	□	書面 （都度）		
	繁忙日に利用者への支障が生じないような対応がとられているか		□	書面 （都度）		
グラウンド・ゴルフ	管理運営を適切に行い利用者への快適なサービスの提供及び安全確保がなされているか	グランド・ゴルフコース （つどいの里内）	□	書面 （月１回）		

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（植物管理）

項　目	管理水準	対象地（管理水準）	提出種別（提出頻度）	実施場所	実施日時	提出項目			提出内容
植物管理									
芝生管理	A. 状態を維持するためフェアウエイ及びラフとの機能・役割を明確にし、利用者が常に快適に利用できる状態	①グランドゴルフコース（フェアウエイ及びラフ）	□ 書面（月１回、４月～10月管理月報提出）	（　　）		芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□10	施工状況	
						雑工	□11	施工状況	
			□ 現地（月１回）（４月～10月）（芝生の生長期、芝刈り後等。代表箇所について）	（　　）	○月○日○時	芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□10	施工状況	
						雑工	□11	施工状況	
	B. 景観性に優れた状態で、動的利用が可能なエリアは快適に過ごせる状態	①花の広場周辺 ②大芝生広場及び周辺 ③つどいの里クラブハウス周辺 ④北入口湖畔広場周辺	□ 書面（月１回、４月～10月管理月報提出）	□①□②□③□④（　　）		芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□１０	施工状況	
						雑工	□１１	施工状況	
			□ 現地（月１回）（４月～10月）（芝生の生長期、芝刈り後等。代表箇所について）	□①□②□③□④（　　）	○月○日○時	芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□10	施工状況	
						雑工	□11	施工状況	
	C. 自然の状態を意識しながら、利用者が不快にならない程度に景観性を保つ	・A及びB以外の全ての芝生地	□ 書面（月１回、４月～10月管理月報提出）	（　　）		芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□10	施工状況	
						雑工	□11	施工状況	
			□ 現地（月1回）（４月～10月）（芝生の生長期、芝刈り後等。代表箇所について）	（　　）	○月○日○時	芝刈工	□１	施工対象範囲	
							□２	刈り込み高さ	
							□３	芝刈り後の施行均一性	
							□４	刈草処理状況	
						除草工	□５	施工後状況	
						施肥工	□６	施肥の均一性	
						目土掛工	□７	施工の均一性	
						エアレーション工	□８	施工状況	
						病害虫防除工	□９	施工状況	
						灌水工	□10	施工状況	
						雑工	□11	施工状況	
中低木管理	花修景としての景観及び園路と広場を分離するような遮蔽機能を維持するための剪定や樹形の管理、既存木や法面等の保全を維持するための機能等を発揮・維持	・中低木管理区域図のとおり	□ 書面（月１回、管理月報提出）	（　　）		剪定工	□１	施工後状況	
							□２	剪定処理後状況	
						除草工	□３	施工後状況	
						施肥工	□４	施工状況	
						病害虫防除工	□５	施工状況	
						灌水工	□６	施工時	
						巡回工	□７	巡回状況	
			□ 現地（年数回程度）（剪定後等。代表箇所について）	（　　）	○月○日○時	剪定工	□１	施工後状況	
							□２	剪定処理後状況	
						除草工	□３	施工後状況	
						施肥工	□４	施工状況	
						病害虫防除工	□５	施工状況	
						灌水工	□６	施工状況	
						巡回工	□７	巡回状況	
高木管理	花修景としての景観及び緑陰機能や遮蔽機能を維持するための剪定や樹形の管理、自然木としての機能等を発揮・維持	・高木管理区域図のとおり	□ 書面（月１回、管理月報提出）	（　　）		剪定工	□１	施工後状況	
							□２	剪定処理後状況	
						やご取り工	□３	施工状況	
						施肥工	□４	施工状況	
						支柱工（支柱撤去工）	□５	施工状況	
						病害虫防除工	□６	施工状況	
						灌水工	□７	施工状況	
						枯損木撤去	□８	施工後状況	
						巡回工	□９	巡回状況	
			□ 現地（年数回程度）（剪定後等。代表箇所について）	（　　）	○月○日○時	剪定工	□１	施工後状況	
							□２	剪定処理後状況	
						やご取り工	□３	施工状況	
						施肥工	□４	施工状況	
						病害虫防除工	□５	施工状況	
						灌水工	□６	施工状況	
						枯損木撤去	□７	施工後状況	
						巡回工	□８	巡回状況	

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（植物管理）

項　目	管理水準	対象地（管理水準）	提出種別（提出頻度）		実施場所	実施日時	提出項目			提出内容
植物管理										
草地管理	草地性植物の生育環境を保全するため自然の状況に配慮しつつ、利用者が不快にならない程度に景観性を保つ	・草地管理区域図のとおり	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		除草工	□１ □２	施工後状況 刈草処理後状況	
			□	現地 （年数回程度） （機械除草後等。代表箇所について）	（　　）	O月OO日 O時	除草工	□１ □２	施工後状況 刈草処理後状況	
花壇 花畑 草花管理	花壇 冬季以外のシーズンを通して見頃となるよう管理。	①花壇管理区域図のとおり	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		植栽工 除草工 病害虫防除工 施肥工 灌水工 雑工・巡回工 材料	□１ □２ □３ □４ □５ □６ □７	施工後状況 施工後状況 施工状況 施工状況 施工状況 巡回状況 材料確認	
			□	現地 （年数回程度） （播種、施肥、開花時の状況） （季節によって頻度は異なる。代表箇所について）	（　　）	O月O日 O時	植栽工 施肥工 巡回工	□１ □２ □３	施工後状況 施工状況 巡回状況	
	花畑 大型主催イベントに連携した花の演出が行えるように管理。	②花畑管理区域図のとおり	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		材料 耕耘工 植栽工 除草工 刈込工 施肥工 病害虫防除工 灌水工 雑工・巡回工	□１ □２ □３ □４ □５ □６ □７ □８ □９	材料確認 施工状況 施工後状況 施工後状況 施工後状況 施肥の均一性 施工後状況 施工状況 巡回状況	
			□	現地 （年数回程度） （播種、施肥、開花時の状況） （季節によって頻度は異なる。代表箇所について）	（　　）	O月O日 O時	材料 耕耘工 植栽工 除草工 刈込工 施肥工 病害虫防除工 雑工・巡回工	□１ □２ □３ □４ □５ □６ □７ □８	材料確認 施工状況 施工後状況 施工後状況 施工後状況 施肥の均一性 施工後状況 巡回状況	
	草花 花壇・花畑の植栽と連動し、冬季以外のシーズンを通して観賞できるように管理。スイセン畑は、適切な育成環境を維持し、確実に株分けできるように管理。	③草花管理区域図のとおり	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		除草工 施肥工 補植 防除工（薬剤散布） 雑工・巡回工	□１ □２ □３ □４ □５	施工後状況 施工状況 施工後状況 施工状況 巡回状況	
			□	現地 （年数回程度） （播種、施肥、開花時の状況） （季節によって頻度は異なる。代表箇所について）	（　　）	O月O日 O時	除草工 施肥工 補植 防除工（薬剤散布） 雑工・巡回工	□１ □２ □３ □４ □５	施工後状況 施工後状況 施工後状況 施工状況 巡回状況	
	【リサイクル工】 園内で発生した全ての植物性発生材について、リサイクルし、全て園内で使用。	特殊管理区域図	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		リサイクル工	□	施工状況	
			□	現地 （年１回程度）	（　　）	O月O日 O時		□	施工状況	
	【カブトムシドーム管理】 カブトムシを主体として園内に生息する昆虫を飼育し、適正な期間に公園利用者に公開。	特殊管理区域図	□	書面 （月１回、管理月報提出）	（　　）		カブトムシドーム	□	実施状況	
			□	現地 （年１回程度、公開期間内）	（　　）	O月O日 O時		□	実施状況	

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（施設・設備維持管理）

項　目		対象地	提出種別（提出頻度）		実施場所	実施日時	提出項目			提出内容
施設・設備維持管理										
遊具	日常点検が適切に行われているか	<①きゅうの丘> 1.くさっぱら道 2.マウントクライム1,2,3. 3.神楽のおろろのぼり 4.おおきなひばおネット・きゅうのぬけみち 5.ウッドステップ・木の葉デッキ・木の実ボール 6.みのむしブランコ 7.きゅうのねどこ・たたらがまネット・だいこ橋 8.メインデッキ 9.どんぐりころころ・実いの実ボール 10.メイン塔 11.サブ塔 12.段々のぼりネット・ひばおの吊り橋 13.きゅうのトンネルすべり台・ はなのトンネルすべり台 14.みんなでウェーブすべり台・ 風のウェーブすべり台・階段 15.鳥のローラースライダー 16.わいわいローラースライダー 17.光のローラースライダー 18.はなのネットわたり 19.さとの散歩道 20.たんぽぽわたげロープウェイ 21.ほっぱのかごブランコ・鳥かごブランコ 22.スプリング遊具・木の葉スプリング・ ぐにゃぐにゃつくし・もしもしボール <②林間アスレチック> 1.クレーター 2.トランポリン 3.UFOコンビネーション 4.UFOスライダー 5.大型すべり台 6.スイングステップ 7.ネット吊り橋 8.丸太ステップ 9.ロープウェイ 10.丸太トンネル 11.馬とび 12.平和の鐘 13.ロングバランス 14.ネットボンボン 15.ロープクライマー 16.くもの巣渡り 17.ウォールクライム 19.親子シーソー 20.はしご渡り 21.鐘渡り 22.ツチノコ 23.ヒバゴンの家 24.ヒバゴンロープ 25.渡のり 26.吊り橋 27.ゆらゆら吊り橋 <③きゅうの森> 1.切り株の道 2.森の時計台 3.光線銃・虹のなる木・ウォール クライマー・空気砲・スリム計 4.天空スライダー 5.ジグザグ階段 6.崖登り 7.虹の散歩道 8.空のえんとつ 9.わた雲ドーム 10.森の精木 11.空中トンネル 12.森の回廊 13.ネットクライマー 14.風のモノレール 15.スパイダーネット 16.小枝トンネル 17.ぐらぐらトンネル 18.ジャングルマット・ジャングル 丸太・あやとりネット 19.体重計 20.パチパチスライダー <④キャンプ場遊具> 1.グランピングコンビネーション <⑤ちびっ子ゲレンデ> 1.ちびっ子ゲレンデ	□	書面確認 （月１回、管理月報提出後）	（　　）		日常点検	□	実施状況 （書面及び写真）	
	定期点検が適切に行われているか（専門の有資格者自ら又は、専門の有資格者の指導による作業員の点検）		□	書面確認 （年１回程度） （定期点検記録簿提出後）	（　　）		定期点検	□	実施状況 （書面及び写真）	
	点検により確認された破損箇所について、小規模な修繕等が適切に行われているか		□	書面確認 （都度、管理月報提出後）	（　　）		小規模な修繕	□	作業完了実施状況 （書面及び写真）	
			□	現地確認 （年２回程度） （代表箇所について確認）	（　　）	OO月OO日 OO時OO分		□	作業完了実施状況 の確認	
建物 建物設備 園路広場 電気 汚水 給水施設 その他施設	施設を常に安全かつ良好に維持するための点検が行われているか	①建物 （１）管理事務所 1.管理事務所 2.北入口センターエリア・ エントランスサンター面業 3.中入口センターエリア・ ビジターセンター 4.つどいの里・クラブハウス （２）休憩所等 1.さとやま屋敷 2.農家１・２ 3.各工房 4.湖畔レストハウス 5.林間休憩所 6.四阿の休憩所 （３）車庫・倉庫等 1.車庫 2.作業棟 3.倉庫 （４）便所 1．園内便所 （５）その他 ②建物設備 （１）空調設備 1.園内の建物に設置 （２）昇降機等設備 1.園内の建物に設置 （３）消防設備 1.園内の建物に設置 ③園路広場 （１）園路 （２）舗装 （３）階段 （４）サイン・ファニチャー （５）手摺・柵等 （６）その他 ④電気設備 （１）園内の電気設備 ⑤汚水・排水施設 （１）園内の汚水・排水設備 ⑥給水施設 （１）園内の給水設備 ⑦水景観施設 （１）ジャブジャブ池 ⑧その他設備 （１）水循環設備 （２）放送設備 （３）電話設備 （４）その他	□	書面確認 <点検> 月1回（管理月報提出後）	（　　）		点検状況	□	実施状況 （書面及び写真）	
	点検の結果に応じ、清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、小規模な修繕が適切に行われているか		□	書面確認 都度（管理月報提出後）	（　　）		清掃、調整、消耗部品の交換及び補充、小規模な修繕	□	作業完了実施状況 （書面及び写真）	
			□	現地確認 年２回程度 （代表箇所について確認）	（　　）	OO月OO日 OO時OO分		□	作業完了実施状況	

R5-9　国営備北丘陵公園運営維持管理業務　管理月報　（RO年O月分）　（案）

個別業務の質（施設・設備維持管理）

項　目		対象地	提出種別（提出頻度）		実施場所	実施日時	提出項目			提出内容
施設・設備維持管理										
清掃	＜日常清掃＞ ごみが散乱しておらず、美観が維持されているか	①建物 建築物維持管理修繕主要箇所位置図 ②便所 建築物維持管理修繕主要箇所位置図 ③工作物 全園区域 ※収益施設等管理運営規定書第１条に定める施設は除く	□	書面確認 月１回（管理月報提出後）	（　　）		清掃状況	■	作業状況 （書面及び写真）	
			□	現地確認 月１回程度（代表箇所について確認）	（　　）	OO月OO日 OO時O分		□	作業状況の確認	
	＜定期清掃＞ 定期清掃が実施されているか	＜①建物＞ 1.ビジターセンター 2.さとやま展示場（カーペットクリーニング295m2含む） 3.参集殿 4.木工房 5.古代だたら工房 6.やきもの工房 7.湖畔レストハウス休憩所 8.備北オートビレッジ管理センター 9.エントランスセンター国兼 10.つどいの里クラブハウス 11.管理事務所（事業者部分） ＜②工作物＞ 1.ジャブジャブ池 （排水浄化タンクの洗浄含む）	□	書面確認 年１回（管理月報提出後）	（　　）		清掃状況	□	作業状況 （書面及び写真）	
			□	現地確認 年１回程度（代表箇所について確認）	（　　）	OO月OO日 OO時OO分		□	作業状況の確認	
	＜ごみ回収運搬＞ 庄原市の分別規定に従っての分別及び市指定の処理場に運搬されているか	公園内で発生したゴミ	□	書面確認 月１回（管理月報提出後）	（　　）		ごみ回収・運搬	□	処理状況 （書面及び写真）	
	＜除雪＞ 公園機能を維持するための除雪を実施されているか	①玄関周わり ②出入り口周り ③園路 ④その他	□	書面確認 月１回（管理月報提出後）	（　　）		除雪 （機械及び人力）	□	作業状況 （書面及び写真）	
	＜廃棄物処理＞ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係法令に従って処理されているか	産業廃棄物	□	書面確認 月１回（管理月報提出後）	（　　）		産業廃棄物処理	■	処理状況 （書面及び写真）	
	＜雑作業＞ 使用機材・車両等の改良・メンテナンス等	雑作業	□	書面確認 月１回（管理月報提出後）	（　　）		雑作業	□	作業状況 （書面及び写真）	

管 理 四 半 期 報（ 令和〇年度　第 〇 四 半 期 ）

国営備北丘陵公園運営維持管理業務　　期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

実　施　予　定					当 期 ま で の 契 約 ・ 支 出 状 況										
項	目	単位	数量	予定額	契約額	契約率（%）	支出額	支出率（%）	業務名等	金　額		業務等の内容	実施期間	請負業者名等	備考
										契約額	支出額				
植物管理		式	1												
	芝生管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	中低木管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	高木管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	草地管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	花壇管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	花畑管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	草花管理	式	1												
													月　日～　月　日		
	特殊管理	式	1												
													月　日～　月　日		
施設・設備維持管理		式	1												
	建物維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	建物設備維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	工作物維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	園路広場維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	遊具維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		

管 理 四 半 期 報（ 令和〇年度　第 〇 四 半 期 ）

国営備北丘陵公園運営維持管理業務　　期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

実　施　予　定					当 期 ま で の 契 約 ・ 支 出 状 況										
項	目	単位	数量	予定額	契約額	契約率（%）	支出額	支出率（%）	業務名等	金　額		業務等の内容	実施期間	請負業者名等	備考
										契約額	支出額				
	電気設備維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	汚水・排水施設維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	給水施設維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	水景施設維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	その他施設維持修繕	式	1												
													月　日～　月　日		
	園内清掃・公園内建物清掃	式	1												
													月　日～　月　日		
企画運営管理		式	1												
	企画広報	式	1												
													月　日～　月　日		
	広報	式	1												
													月　日～　月　日		
	利用者指導	式	1												
													月　日～　月　日		
	園内巡視	式	1												
													月　日～　月　日		
	グラウンドゴルフ	式	1												
													月　日～　月　日		
公園管理費		式	1												
	人件費	式	1												
													月　日～　月　日		
	庁費	式													
													月　日～　月　日		
業務費計		式	1												
一般管理費		式	1												
消費税		式	1												
計		式	1												

様式 －3

収益施設等管理運営業務の管理に関する勤務実績簿（案）

令和　　年　　月　役職　　氏名

確認印（センター長）	日	業務内容	開始時刻	終了時刻	実働時間（分）	備考
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
			:	:		
合　計						

事故情報記録

事故発生日時・場所			
事故発生日時	平成　　年　　月　　日 午前・午後　　時　　分頃	天候	
公園名		公園種別	
所在地			
管理者			
負傷者			
ふりがな		年齢	歳　　ヶ月
氏名		性別	
受傷内容			
負傷した部位 （頭部、大腿骨　等）	種類 （打撲、骨折　等）	程度 （全治１か月　等）	
事故概要			
公園施設名		設置年月	昭和・平成　　年　　月
事故発生箇所		製造・施工者	
直近の日常点検	平成　　年　　月　　日	点検者	
直近の定期点検	平成　　年　　月　　日	点検者	
事故発生の経緯			
事故発生の要因 （地面の状態、公園施設の構造、利用者の行動、服装・持ち物等）			
保護者等の見守り状況			

当該施設の写真・図面
□別紙添付あり　□別紙添付なし

事故発生後の対応		
負傷者の救助内容	応急手当	
	搬送	
当該施設の措置の内容	応急措置	
	本格的な措置	
関係機関への通報・連絡	□消防　□警察　□都道府県・国土交通省	

備考

記録者			
氏名		所属	

（特に、事故発生の要因や事故発生時の状況は詳しく記載するとよい）